

国道218号線高千穂バイパス建設関係発掘調査報告書

吾平原第2遺跡

AI RA BARU

宮ノ前第2遺跡

MIYA NO MAE

城ノ平遺跡

JOU NO HIRA

1993・3

宮崎県教育委員会

国道 218号線高千穂バイパス建設関係建設関係発掘調査報告書  
正誤表

頁 行	誤	正
P 1 11行	** 発掘調査	** 試掘調査
P 2 16行	*	(吾平原第1遺跡担当)
P 5	4 吾平原遺跡 遺跡の位置図	** 4 吾平原第2遺跡 *** 第1図 遺跡の位置図
P 35 12行	*	疑似縄文
P 70 10行	*	III期
P 112 31行	*	口唇部
P 159 27行	*	北方町町文
P 200	スケール 10cm ** 第5図石器実測図 ( 2/3 )	スケール 5 cm ** 第5図石器実測図 ( 4/3 )

国道218号線高千穂バイパス建設関係発掘調査報告書

吾平原第2遺跡

AI RA BARU

宮ノ前第2遺跡

MIYA NO MAE

城ノ平遺跡

JOU NO HIRA

1993・3

宮崎県教育委員会

## 序

宮崎県教育委員会では、建設省延岡工事事務所の依頼を受け、昭和63年度から3カ年にわたり、国道218号線高千穂バイパス建設予定地内に所在する遺跡の発掘調査を行ってまいりました。発掘調査の対象となったのは、吾平原第2遺跡、宮ノ前第2遺跡、城ノ平遺跡の3遺跡であります。

吾平原第2遺跡では、弥生時代の磨製石鋤が多量に出土し、宮ノ前第2遺跡では、高千穂地方で初めて古墳時代の集落跡が確認され、また城ノ平遺跡では、縄文時代後期の土器が出土するなど、調査の成果は各時代にわたり、また遺跡の性格もおのおの特徴的なものであります。こうした発掘調査の成果は、宮崎県の山間部に位置する高千穂地方の歴史解明に新たな資料を加えるものであります。

これらの貴重な調査成果が、学術関係者をはじめ、社会教育・学校教育の中で役立てられ、文化財保護行政の一層の発展の一助となることを期待します。

平成5年3月31日

宮崎県教育委員会

教育長 高 山 義 孝

## 例　　言

1. 本書は、一般国道218号線高千穂バイパス建設に伴い、建設省延岡工事事務所の委託を受けて県教育委員会が実施した3遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査の期間及び調査体制は、第Ⅰ章第1節のとおりである。
3. 本報告書の作成・執筆について、各遺跡毎の報告は発掘調査の担当調査員が当たり、その外第Ⅰ章第1節を北郷泰道、同第2節を飯田博之が執筆した。
4. 高千穂地方を中心とした山岳地域における竪穴住居跡の復元的考察について、建築史の立場から九州大学工学部山本輝雄氏に玉稿をいただいている。
5. 出土遺物は、宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターで保管している。

# 本文目次

## 序

### 例 言

#### 第Ⅰ章 はじめに

第1節 調査に至る経緯 ..... 1

第2節 位置と歴史的環境 ..... 3

#### 第Ⅱ章 吾平原第2遺跡

第1節 発掘調査の経過 ..... 7

第2節 包含層の状態 ..... 7

第3節 縄文時代の遺物 ..... 9

第4節 弥生時代の遺物 ..... 9

第5節 まとめ ..... 10

#### 第Ⅲ章 宮ノ前第2遺跡A地区

第1節 調査区の設定と遺跡の概要 ..... 31

第2節 包含層の状態 ..... 31

第3節 縄文時代の遺構と遺物 ..... 31

第4節 小結 ..... 45

#### 第Ⅳ章 宮ノ前第2遺跡B地区

第1節 調査区の設定と遺跡の概要 ..... 65

第2節 包含層の状態 ..... 65

第3節 旧石器時代の遺構と遺物 ..... 68

第4節 縄文時代の遺構と遺物 ..... 68

第5節 弥生時代の遺構と遺物 ..... 83

第6節 古墳時代の遺構と遺物 ..... 112

第7節 小結 ..... 154

#### 第Ⅴ章 城ノ平遺跡

第1節 遺跡の概要 ..... 195

第2節 包含層の状況 ..... 196

第3節 各時代の遺物 ..... 197

第4節 小結 ..... 200

#### 付編

五ヶ瀬川流域における堅穴式家屋に関する建築史上の問題点 ..... 205

## 挿 図 目 次

### 第Ⅰ章 はじめに

遺跡の位置図	5
--------	---

### 第Ⅱ章 吾平原第2遺跡

第1図 柱状土層比較図	7
第2図 吾平原第2遺跡周辺地形測量図	8
第3図 吾平原第2遺跡発掘区及び遺物出土分布図	11~12
第4図 吾平原第2遺跡出土土器実測図	20
第5図 吾平原第2遺跡磨製石器実測図(1)	21
第6図 吾平原第2遺跡磨製石器実測図(2)	22
第7図 吾平原第2遺跡出土土器・石器実測図	23

### 第Ⅲ章 宮ノ前第2遺跡A地区

第1図 宮ノ前第2遺跡A地区周辺地形図	32
第2図 宮ノ前第2遺跡A地区遺物ドット図	33~34
第3図 A地区出土縄文土器実測図(I)	36
第4図 A地区出土縄文土器実測図(II)	37
第5図 A地区出土縄文土器実測図(III)	39
第6図 A地区出土縄文土器実測図(IV)	40
第7図 A地区出土縄文土器実測図(V)	41
第8図 A地区出土縄文土器実測図(VI)	42
第9図 A地区出土縄文土器実測図(VII)	44

### 第Ⅳ章 宮ノ前第2遺跡B地区

第1図 宮ノ前第2遺跡B地区周辺地形図	66
第2図 B地区土層断面図	67
第3図 刺片尖頭器実測図	68
第4図 B地区出土縄文土器実測図(I)	69
第5図 B地区出土縄文土器実測図(II)	71
第6図 B地区出土縄文土器実測図(III)	72
第7図 B地区出土縄文土器実測図(IV)	73
第8図 B地区出土縄文土器実測図(V)	75
第9図 石器実測図	76
第10図 5号住居実測図	84

第11図	宮ノ前第2遺跡B地区遺構分布図	85~86
第12図	弥生土器実測図（I）	87
第13図	6号住居実測図	88
第14図	9号住居実測図	89
第15図	10号住居実測図	91
第16図	弥生土器実測図（II）	92
第17図	弥生土器実測図（III）	93
第18図	12号住居実測図	95
第19図	13号住居実測図	96
第20図	14号住居実測図	97
第21図	弥生土器実測図（IV）	99
第22図	弥生土器実測図（V）	100
第23図	石器実測図	101
第24図	宮ノ前第2遺跡B地区遺構分布図	113~114
第25図	B-1区遺構分布図	115
第26図	1号住居実測図	116
第27図	1号住居出土土器実測図（I）	117
第28図	1号住居出土土器実測図（II）	118
第29図	1号住居出土土器実測図（III）	119
第30図	2号住居実測図	121
第31図	2号住居出土土器実測図	122
第32図	3号・7号住居実測図	123
第33図	3号住居出土土器実測図	124
第34図	4号住居実測図	126
第35図	4号住居出土土器実測図	127
第36図	8号住居実測図	129
第37図	7号住居・8号住居出土土器実測図	130
第38図	11号住居実測図	131
第39図	11号住居・15号住居出土土器実測図	132
第40図	15号住居実測図	134
第41図	15号住居・1号土 遺構外出土土器実測図	135
第42図	遺構外出土土器実測図（I）	136
第43図	遺構外出土土器実測図（II）	137

## 第V章 城ノ平遺跡

第1図 地形図	195
第2図 土層図	196
第3図 土器実測図	198
第4図 土器実測図	199
第5図 石器実測図	200

## 表 目 次

### 第II章 吾平原第2遺跡

表1 吾平原第2遺跡出土土器観察表	13
表2 吾平原第2遺跡出土石器計測表	15
第III章 宮ノ前第2遺跡A地区	
表1 A地区出土縄文土器観察表	47
第IV章 宮ノ前第2遺跡B地区	
表1 B地区出土縄文土器観察表	77
表2 B地区出土弥生土器観察表	102
表3 壁穴住居計測表	137
表4 B地区出土須恵器土器観察表	138

## 図 版 目 次

### 第II章 吾平原第2遺跡

図版1 吾平原第2遺跡遠景	25
吾平原第2遺跡（I地区）発掘調査近景（開始期）	
図版2 吾平原第2遺跡（I地区）発掘調査近景（グリッド掘り下げ）	
I地区磨製石器出土状態	26
図版3 吾平原第2遺跡（I地区）発掘調査近景（終了時）	
吾平原第2遺跡（I地区）土層断面	27
図版4 吾平原第2遺跡（II地区）発掘調査近景	
吾平原第2遺跡（II地区）土層断面	28
図版5 吾平原第2遺跡出土磨製石器	29
図版6 吾平原第2遺跡出土土器	30

<b>第Ⅲ章 宮ノ前第2遺跡A地区</b>	
図版1 A地区全景	57
A地区出土縄文土器I類(1~14)	57
図版2 A地区出土縄文土器I類(15~34)	
A地区出土縄文土器II類(35~49)・III類(52~55)	58
図版3 A地区出土縄文土器III類(56~60)・IV類(61~75)	
A地区出土縄文土器IV類(76~79)・V類(80~91)・VI類97	59
図版4 A地区出土縄文土器VI類(98)・VII類(99~117)	
A地区出土縄文土器VII類(118~127)・(128~135)	60
図版5 A地区出土縄文土器(136~146)・I類(147~155)	61
A地区出土縄文土器I類(156~157)・II類(158~160)・III類(166)・IV(167~170)	
図版6 A地区出土縄文土器IV類(171~176)・底部(177~186)	
A地区出土縄文土器底部(187~197)・脚台付鉢(198)	62
図版7 A地区出土打製石器	
A地区出土扁平打製石斧	63
図版8 A地区出土扁平打製石斧	
A地区出土扁平打製石斧・石庵丁形石器	64
<b>第Ⅳ章 宮ノ前第2遺跡B地区</b>	
図版1 B地区全景、B地区縄文土器出土状況	165
図版2 10号住居出土剥片尖頭器、B地区出土勾玉、B地区出土縄文土器I・III	166
図版3 B地区出土縄文土器V類・その他、B地区出土縄文土器II・VI類	167
図版4 B地区出土縄文土器VI類、B地区出土縄文土器VII類	168
図版5 B地区出土縄文土器VII類・浅鉢I類、B地区出土縄文土器浅鉢I・II類	169
図版6 B地区出土打製石器、B地区出土扁平打製石斧	170
図版7 B地区出土扁平打製石斧、B地区出土扁平打製石斧・石庵丁形石器	171
図版8 B地区出土磨石、B地区出土石皿	172
図版9 宮ノ前第2遺跡B地区全景(北から)	173
図版10 宮ノ前第2遺跡B地区全景	174
宮ノ前第2遺跡B地区近景	
図版11 宮ノ前第2遺跡B地区全景(北から)	175
宮ノ前第2遺跡近景	
図版12 宮ノ前第2遺跡B地区住居検出状況(南から)	
宮ノ前第2遺跡B地区住居検出状況(東から)	176

図版13	5・6号住居	
	5・6号住居出土弥生土器	177
図版14	8・9号住居、9号住居出土弥生土器	178
図版15	10号住居・10号住居出土弥生土器	179
図版16	10号住居出土弥生土器・砥石・庖丁	
	12号住居・12号住居出土弥生土器	180
図版17	13・14号住居、13・14号住居出土遺物	181
図版18	B地区出土弥生土器	182
図版19	B地区出土磨製石器	183
図版20	1号住居・1号住居出土須恵器・土師器	184
図版21	1号出土土師器・須恵器・石器・勾玉	185
図版22	2号住居・2号住居出土土師器	186
図版23	2号住居出土土師器・石器	
	3号住居・3号住居出土土師器	187
図版24	4号住居・4号住居出土須恵器・土師器	188
図版25	7号住居・7号住居出土須恵器・土師器	
	8号住居	189
図版26	8・11号住居	190
図版27	11号住居出土須恵器・土器	
	11・15号住居・鉄製鍬先出土状況	191
図版28	鉄器出土状況、15号住居出土弥生土器・須恵器	192
図版29	15号住居出土須恵器・土師器	193
第V章 城ノ平遺跡		
図版1	調査区遠景	
	調査前の状況	201
図版2	調査区近景	
	土層の状況	202
図版3	調査区の状況	
	出土遺物	203
図版4	出土遺物	204

# **第Ⅰ章 はじめに**

## 第Ⅰ章 はじめに

### 第1節 調査に至る経緯

建設省では、高千穂町内の交通緩和と県北交通網整備の一貫として一般国道218号線高千穂バイパスの建設を計画し、県文化課で予定路線内の踏査及び試掘調査を実施した結果、5～6箇所の遺跡の所在を確認している。

建設工事は、本年度宮崎県が開催県となった全国高校総体に合わせ、高千穂町武道館までを1期工事として竣工するため、その区間に含まれる3遺跡の発掘調査を昭和63年度から平成2年度までの3箇年で実施することになった。今回、報告書として刊行するのはこの3遺跡の発掘調査の成果についてである。

なお、残り2箇間にについて、工事は継続して実施予定であるため、平成3・4年度は発掘調査を実施し、平成5年度から発掘調査を再開する予定である。

発掘調査の期間及び調査体制は、以下のとおりである。

#### 吾平原第2遺跡

場 所 高千穂大字三田井字吾平原

期 間 昭和63年5月9日～7月15日

調査員 北郷泰造

#### 宮ノ前第2遺跡

場 所 高千穂町大字三田井字宮ノ前

期 間 平成元年4月24日～平成2年3月30日

調査員 長津宗重

#### 城ノ平遺跡

場 所 高千穂町大字三田井字城ノ平

期 間 平成2年5月28日～7月12日

調査員 飯田博之

#### 調査体制

調査主体 県教育委員会

教 育 長 児玉 郁夫（昭和63年度～平成2年度）

高山 義孝（平成3年度～）

教 育 次 長	山本 一磨（昭和63年度）
	増井 彰宏（平成元年度～2年度）
	安田 天祥（平成3年度～）
教 育 次 長	高山 義孝（昭和63年度～平成2年度）
	宮路 幸雄（平成3年度～）
文 化 課 長	久徳 菊雄（平成63年度～平成元年度）
	梨岡 孝（平成2年度）
	長友 嶽（平成3年度）
	甲斐 敦雄（平成4年度）
同 課 長 補 佐	木幡 文夫（昭和63年度）
	片野坂次男（平成元年度～2年度）
	串間 安園（平成3年度～）
庶 務 係 長	小倉 茂光（主幹・昭和63年度～平成2年度）
	税田 輝彦（平成3年度～）
埋蔵文化財係長	岩永 哲夫（昭和63年度～）
主　　查	北郷 泰道（吾平原第1遺跡担当）
主　　查	長津 宗重（宮ノ前第2遺跡担当）
主　　事	飯田 博之（城ノ平遺跡担当）

## 第2節 遺跡の位置と歴史的環境

吾平原第2遺跡は、高千穂町大字三田井字吾平原に、宮ノ前第2遺跡は、大字三田井字宮ノ前に、城ノ平遺跡は、大字三田井字城ノ平に存在する。(第1図)

宮崎県の北西部にある高千穂町は、北側に祖母・傾山系、西側に阿蘇外輪山の山麓、南側に九州山地等、山々に囲まれた広大な盆地に位置する。面積は237.39km<sup>2</sup>で、そのうち山林原野の占める割合は82.9%である。盆地の北西から南東にかけて五ヶ瀬川が流れ、それに伴う支流が扇状に流れている。小河川が形成した谷間に阿蘇の溶岩が流れ込み、ふたたび支流の浸蝕を受けて段丘が形成されている。報告する三遺跡は、いずれも五ヶ瀬川左岸の、標高320~350mの南に向いて開けた丘陵の緩斜面に位置し、それぞれ谷を挟んで所在する。

今回、調査の行われた宮ノ前第2遺跡では、ナイフ形石器が出土しており、これまで高千穂町における旧石器時代の遺跡は、知られていなかったが、新しい知見をもたらすこととなった。五ヶ瀬川流域での旧石器時代遺跡は、下流域の延岡市で赤木遺跡<sup>①</sup>、片田遺跡<sup>②</sup>、畑山遺跡<sup>③</sup>、地蔵ヶ森遺跡<sup>④</sup>、林遺跡<sup>⑤</sup>が、中流域の北方町で岩土原遺跡<sup>⑥</sup>、矢野原遺跡<sup>⑦</sup>が、上流域では、日之影町の出羽洞穴遺跡<sup>⑧</sup>、そして宮ノ前第2遺跡で確認されたことになる。今後の資料の増加によって、五ヶ瀬川流域の旧石器時代の様相も明らかになってくるであろう。

縄文時代に入ると、三田井、押方、岩戸等で早期の遺跡の所在が確認されていた<sup>⑨</sup>。この内、平成4年に高千穂町教育委員会によって調査が行われた、岩戸五ヶ村遺跡では、押型文や手向山式、貝殻施文の塞ノ神式等の土器群の他、磨石、磨製石斧、石鎌等が出土している。遺構は集石遺構<sup>⑩</sup>が検出されている。

宮ノ前第2遺跡の東方、約300mの位置に県内の縄文時代遺跡を代表する陣内遺跡<sup>⑪</sup>が所在する。後期の磨消縄文系の西平式、黒色磨研の三万田式、御領式等の土器群の他、石棒、土偶、石刀、十字形石器などが出土している。後・晩期になると、遺跡も増加しており、薄糸平<sup>⑫</sup>、セベット<sup>⑬</sup>、梅ノ木原<sup>⑭</sup>、今回報告する三遺跡などが各地に展開する。出土遺物は、陣内遺跡とは共通しているが、セベット遺跡では、刻目突帯を有する突帯文上器も出土しており、地理的にみても、熊本・大分方面の土器の影響をうけていると考えられる。後・晩期の遺物の状況は明らかになりつつあるが、生活面の調査が少なく、わずかにセベット遺跡で、円形の堅穴式住居1軒が検出されているだけである。今後の資料の増加を期待したい。

縄文後・晩期から、他地域との交流が散見できるが、弥生時代にも、その断片を見出だせる。薄糸平遺跡では、下城式、工字突帯文の変形土器、重弧文の免田式土器が、梅ノ木原遺跡からは、工字突帯文の壺が、押方神社周辺遺跡では、須玖式や下城式の壺が出土している。

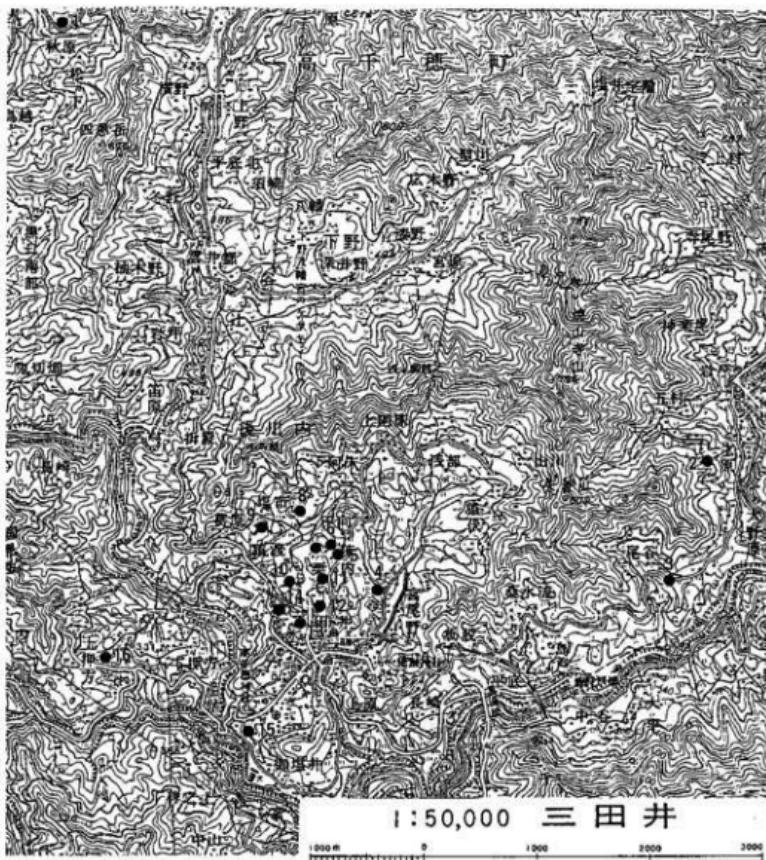
このように、弥生中期から後期にかけて、北・西九州、あるいは大分県の大野川流域の影響を受けた様相がかいまみることができる。

他地域との交流が進展し、この地方にも布留式土器の文化が流入してくる。宮ノ前第2遺跡の2号住居跡がそれである。高千穂町内で初めて調査された古墳時代集落跡であり、竪穴式住居跡8軒が検出されている。この宮ノ前第2遺跡の周辺には、谷を挟んで北側の丘陵に塙市横穴群と成木横穴群が、南側の丘陵に高千穂6・9・10号墳（円墳）<sup>(1)</sup>が、東側に車迫横穴群が所在する。いずれも未調査で、詳細は分からぬが、宮ノ前第2遺跡との関係を考えられてくると思う。

五ヶ瀬川上流域の古墳時代集落跡は、現在2例しかない。宮ノ前第2遺跡と、五ヶ瀬町の広木野遺跡<sup>(2)</sup>である。広木野遺跡の住居跡は埋甕を有するが、同じ時期の宮ノ前第2遺跡のそれは、埋甕をもたない。埋甕を有する同じ時期の住居跡としては、五ヶ瀬川下流の延岡市の中尾原遺跡<sup>(3)</sup>が確認されており、中流域の調査や今後の資料の蓄積によって、五ヶ瀬川流域の集落の構造も明らかになっていくであろう。

#### 註

- (1) 延岡市教育委員会「赤木遺跡発掘調査概要報告書」「延岡市文化財調査報告書」3
- (2) 延岡市教育委員会「片田遺跡」「延岡市文化財調査報告書」5
- (3) 延岡市教育委員会「上南方地区遺跡」「延岡市文化財調査報告書」8
- (4) 宮崎県教育委員会「宮崎県文化財調査報告書」31集
- (5) 宮崎県教育委員会「林遺跡」1990
- (6) 「宮崎県史」資料編 考古1
- (7) 平成4年度に県教育委員会により調査が行われた。AT直下より鶴片が出土している。
- (8) 鈴木重治「宮崎県見立出羽洞窟」「日本の洞窟遺跡」1970
- (9) 高千穂町教育委員会「高千穂町遺跡詳細分布調査報告書」1983
- (10) 戸高眞知子「宮崎考古学会第27回例会発表要旨」
- (11) 宮崎県教育委員会「陣内遺跡」「日向遺跡総合調査報告書」2 1962
- (12) 高千穂町教育委員会「薄糸平遺跡」1977
- (13) 高千穂町教育委員会「セベット遺跡」「高千穂町文化財調査報告書」3
- (14) 高千穂町教育委員会「梅ノ木原遺跡」「高千穂町文化財調査報告書」4
- (15) (9)と同じ
- (16) 平成4年度県教育委員会により調査が行われた。古墳時代の住居跡3軒が検出されている。
- (17) (3)と同じ
- (18) 中流域の古墳時代の集落は、北方町の笠下遺跡と速日峰地区遺跡で調査が行われている。



- 1. 薄糸平遺跡
- 2. 岩戸五ヶ村遺跡
- 3. 梅ノ木原遺跡
- 4. 吾平原遺跡
- 5. 車迫横穴群
- 6. 陣内遺跡
- 7. 陣内第2遺跡
- 8. 成木横穴群
- 9. 塩市横穴群
- 10. 宮ノ前第2遺跡
- 11. 高千穂6号墳
- 12. 高千穂10号墳
- 13. 高千穂9号墳
- 14. 城ノ平遺跡
- 15. セベット遺跡
- 16. 押方神社周辺遺跡

遺跡の位置図

## **第Ⅱ章 吾平原第2遺跡**

## 第Ⅱ章 吾平原第2遺跡

### 第1節 発掘調査の経過

発掘調査は、予定路線に含まれる標高約342mの谷地形を中心に実施した(第2図)。調査対象地の北方には、縄文時代後期から晩期にかけての陣内遺跡が所在するなど周辺高台には良好な遺跡が分布している。

調査対象地は、谷地形であるため、住居跡等の遺構存在の可能性は低いとみられたが、試掘調査の結果、縄文土器片等の遺物の出土を確認した。それらの遺物は、周辺高台からの流れ込みの可能性が高いと推定されたが、包含層の状態及び性格を判断することを調査の主眼として本調査を実施した。I地区は面的な確認を中心に行い、II地区は発掘の結果、遺物出土の密度が低かったため、I地区との層位の比較にとどめた。

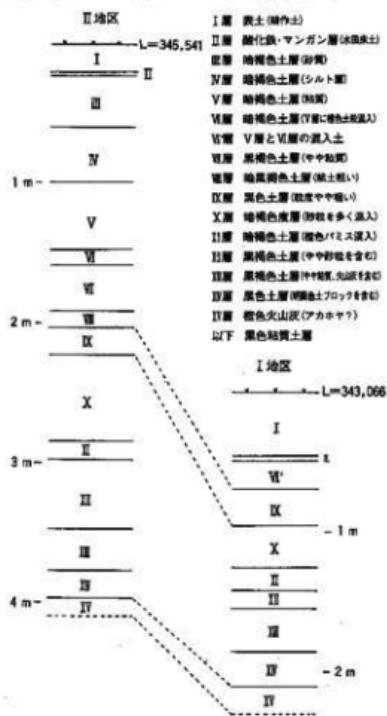
発掘調査の結果は、予想されたとおり住居跡等の遺構は検出されず、出土土器は周辺地からの流れ込みとみられた。ただ、多くの磨製石器が検出され、未製品がほとんどなく完成品の量が多いことから、遺跡の性格に後に述べるように一つの可能性を考えてみた。

### 第2節 包含層の状態

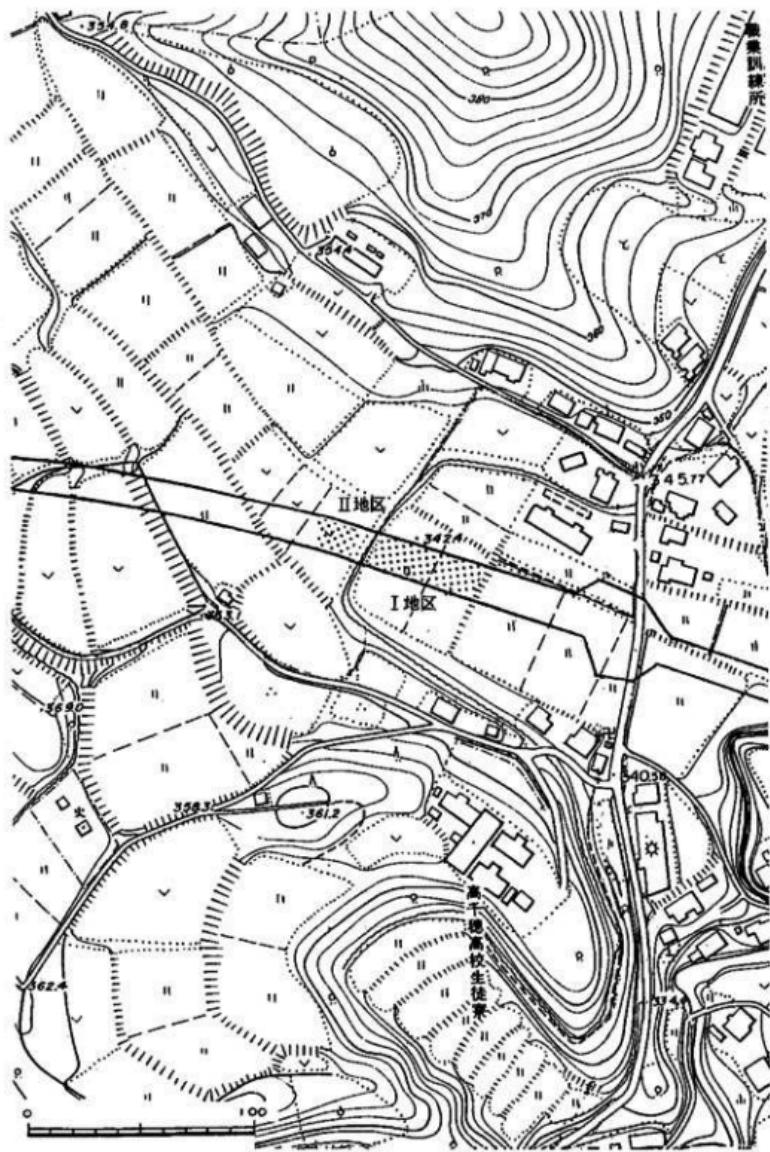
調査対象地は、主に水田として利用されており、現水田面下に旧水田面が確認され、表土下45~48cmに酸化鉄・マンガン層の床土が形成されている。包含層はXIII層を中心とするが、縄文時代、弥生時代の遺物は層位的に分層できる状態ではなかった。

I地区とII地区との比較でIX層黒色土層以下は層序は共通するが、上層の堆積はより上位に位置するII地区に厚い堆積が認められ、I地区的VI'層はII地区V層とVI層が下手に混在して流下した結果形成された土層と見られた。遺物包含層は、XIII層である(第1図)。

面的な遺物の出土状態は、1箇所に集中した状態は観察されず、調査区の下手に当たるb~c~



第1図 柱状土層比較図



第2図 吾平原第2遺跡周辺地形測量図

2区に密な分布を示している（第3図）。このことは、本遺跡の遺物包含層が周辺地からの流れ込みとして形成された証拠とみなすことが出来る。

### 第3節 桜文時代の遺物

#### 1. 土器（第4図1～17・第7図18）

出土した土器は、後期から晩期の時期に限られる。西平式を中心とする磨消櫻文系土器（第4図2～6・11～15）、晩期の黒色磨研土器（第4図9・10）が若干含まれている。

#### 2. 石器

出土した石器は、打製石鎌10点（第7図77～82・図版5）、打製石斧3点（第7図25・26・28）、石鎌1点（第7図29）である。石鎌の形態はバラエティがあるが、石質はチャートのみである。石斧は分銅形（第7図26）がみられる。第7図29は、全体形は不明であるが、石鎌とみておきたい。石材は、石斧が砂岩を主体とし、石鎌は粘板岩を素材である。そのほか、75は細石核、76は細石刃を思わせる資料で、ともにチャート製であるが、旧石器時代の所産であるかは保留しておきたい。

### 第4節 弥生時代の遺物

#### 1. 土器（第4図19～22・第7図23・24）

出土した土器は、中期と後期に属するが、特徴を把握できる土器片は数少ない。19は横方向の突帯と縦方向に突帯をもつ壺形土器片、20は中期の沈線文土器、22は底部内面に砂粒が付着する肥後系壺形土器の底部、23は肥後系の壺形土器の口縁部、24は山岳地域に特徴的な後期の尖底土器片などである。

#### 2. 石器

出土した石器の主体を占めるのは、磨製石鎌（第5・6・7図1～74）である。そのほかは磨製石斧1点（第7図27）を認めるに過ぎない。

磨製石鎌は、破片を含め80点余り出土しているが、60点近くは完形もしくは全体形を把握できる資料である。石質は、灰色、緑色、赤色の3色に分けられるシェールである。形態としては、長短いずれも砲弾形と五角形のものに大きく分けることができ、基部の形状は平基と凹基に分けることができる。ほとんど定形的で極端に特異な形態のものは認められない。

## 第5節 まとめ

出土遺物は、縄文時代では後期～晩期に限られ、弥生時代では中期～後期が中心となるものであった。縄文土器については、本遺跡の上方に位置する陣内遺跡と様相を同じくし、これらから谷部への流れ込みと理解される。土器としての特徴の把握できるものに限れば、縄文が多く、弥生は少ない。このことは、副部片等を含め総量の中で判断すべきであろうが、石鎚は弥生の磨製が圧倒的に多くを占め、縄文の打製は少量である点については、何らかの意味を認めてよいものと思われる。

遺物の出土状態の上からも、全体的な遺物の出土がb～c～2区に多くなる傾向を示すのに対して、磨製石鎚の出土は、d～4区で15点、b～3区で11点、c～2区で10点、d～3区で9点、b～2区で7点、ほかは3～4点と集中する地区を明瞭に指摘することができる。また、遺物全体の傾向に反し、d～4区に最も集中していることも指摘できる。

磨製石鎚の出土状況に集中化の現象を認識した調査時において、石鎚の鎌先の方向に着目し、記録をとった。しかし、鎌先の方向性に顕著な傾向を指摘することはできず、常に周辺地からの土砂の流入が考えられる以上、かならずしも現位置を表すものとは断定できない。とはいっても、出土状況の傾向、そして同時代の弥生土器の出土に比べ、未製品ではなく、欠損品を含め製品が多いことを考慮すれば、石鎚の使用の結果を表す場所、すなわち「狩り」あるいは「戦い」の場としての想定はなりたたないであろうか。



第3図 吾平原第2遺跡発掘区及び遺物出土分布図

表1 吾平原第2遺跡出土土器観察表

測定 番号	グリ ッド	遺跡	器種	文様 花文		形状	色 質		地 灰	備考
				外 壁	内 壁		外 壁	内 壁		
4 e-2 e-3 e-4	1	遺跡	口円錐形の4条の花文土 器	ヨコ方向のヘラミガキ	直壁	に赤い質 GYR 6/40	に赤い質 GYR 5/40	お青石・角閃石	外側にスス付着	
4 e-3	2	遺跡	口円錐形の2条の花文土 器	ヨコ方向の内縫、ナ ダ	直壁	に赤い質 GYR 7/40	青 GYR 7/40	青石・灰石	黒斑山	
4 e-2 e-4	3	口円錐形文、2条の花文 で、ついで1つヨ コ方向の内縫の長いナ ダ	ヨコナダ	直壁	黄褐色 GYR 4/20	に赤い質 GYR 6/40	青 GYR 6/40	石英・角閃石	黒斑山	
4 e-4	4	口円錐形の2条の花文土 器	ヨコナダ	直壁	に赤い質 GYR 7/40	黄褐色 GYR 6/30 青 GYR 6/10	青 GYR 6/30 青 GYR 6/10	青石・壳灰岩	黒斑山	
4 e-4	5	口円錐形、1条の花文、2 条の花文で、ついでヨ コ方向の内縫の長いナ ダ	ヨコナダ	直壁	に赤い質 GYR 6/40	に赤い質 GYR 6/40	青 GYR 6/40	石英・角閃石	黒斑山	
4 e-2	6	口円錐形、1条の花文土 器	ヨコ方向の内縫、ヨ コ方向のヘラミガキ	直壁	青 GYR 6/40	に赤い質 GYR 7/40	青石・青閃石			
4 e-3	7	ヨコ方向のナ ダ	ヨコナダ	直壁	青 GYR 6/40	青 GYR 6/40	青 GYR 6/40	青石・灰石(少)	黒斑山	
4 e-2	8	直壁	ヨコ方向の内縫文 ヨコナダ	直壁	青 GYR 5/40	青 GYR 7/40	青石		黒斑山	
4 -	9	直壁	ヨコ方向のナ ダ	ヨコナダ	直壁	に赤い質 GYR 6/40 青 GYR 4/20	に赤い質 GYR 5/40 青 GYR 4/20	青石		
4 -	10	直壁	ナ ダ	ナ ダ	直壁	黄褐色 GYR 5/40	に赤い質 GYR 5/40	青石・角閃石		
4 e-2 e-3 e-4	11	直壁	ヨコナダのヘラミガキ ヨコ方向の内縫、4条の花文土 器	ヨコ方向のヘナナダ ヨコ方向の内縫	直壁	黄褐色 GYR 5/40 青 GYR 5/10	に赤い質 GYR 5/40 青 GYR 5/10	石英・角閃石	外側にスス付着 内側に炭化物付着	
4 e-2 e-4	12	直壁	中縫文の上に、ヨコ方向の 4条の花文土 器	ヨコ方向の内縫	直壁	青 GYR 5/20	黄褐色 GYR 5/20	角閃石		
4 e-4	13	直壁	ヨコ方向の内縫文	ナ ダ	直壁	に赤い質 GYR 5/40	に赤い質 GYR 5/40	角閃石		
4 e-4	14	新石器時代 3条の花文土 器	ヨコ方向の内縫文 ナ ダ	ヨコナダ	直壁	に赤い質 GYR 6/40	青 GYR 5/40	青石・角閃石		
4 e-2	15	直壁	3条の花文土 器	ヨコ方向の内縫文 ナ ダ	直壁	に赤い質 GYR 7/40 青 GYR 6/40	青 GYR 5/40	青石・角閃石		
4 e-3	16	新石器時代 3条の花文土 器	ヨコ方向の内縫文 ナ ダ	ヨコナダ	直壁	に赤い質 GYR 5/40	青 GYR 5/40	青石・角閃石		
1 e-2	17	直壁	ヨコ方向の内縫文 ヨコナダ ヨコ方向の内縫文 ナ ダ	ナ ダ	直壁	青 GYR 5/40	青 GYR 5/40	青石・青閃石		
7 e-5	18	直壁	ヨコ方向のナ ダ ヨコ方向のナ ダ 中縫方向のナ ダ	ナ ダ	直壁	青 GYR 5/40 青 GYR 6/40	に赤い質 GYR 5/40 に赤い質 GYR 4/20	青石・角閃石(少)	外側にスス付着 内側に炭化物付着	
4 e-2	19	直壁	口円錐形のナ ダ 直壁 ヨコナダ ヨコ方向の内縫文 ナ ダ	ヨコナダ	直壁	に赤い質 GYR 6/40	青 GYR 6/40	青石・角閃石	黒斑山	
4 e-4	20	直壁	ついでナ ダ ヨコナダ ヨコ方向の内縫文 ナ ダ	ナ ダ	直壁	青 GYR 7/40 に赤い質 GYR 6/40	青 GYR 5/40	青石		

図面 番号	ゲリ ラード	高さ 番号	部材	文 様 圖 案		構成	色 調		地 土	標 高
				外 面	内 面		外 面	内 面		
4	e-2	22	裏	ヨコナガ	ヨコナガ 斜め斜面	直形	白い壁 (7.5YR 7/0)	淡青緑 (30YR 5/0)	瓦石・角閃石	最高水位 11.3m
4	e-3 e-2 e-4	22	裏	ナナ百葉ヨコナガ ヨコナガ	—	直形	淡青緑 (7.5YR 6/0)	灰白 (7.5YR 8/0)	長石	最高水位 4.7m
7	e-3	23	裏	ナナ百葉ヨコナガ ヨコナガ	ヨコナガ	直形	淡青 (2.5Y 6/0) 淡青 (2.5Y 7/0)	淡青緑 (30YR 5/0) (2.5Y 7/0)	石粉	最高水位 26.7m
7	b-2	24	裏	ナナ	長いナガ	直形	壁 (7.5YR 7/0)	淡青緑 (30YR 5/0)	石粉・長石・石英	谷底に入り仔岩

表2 吾平原第2遺跡出土石器計測表

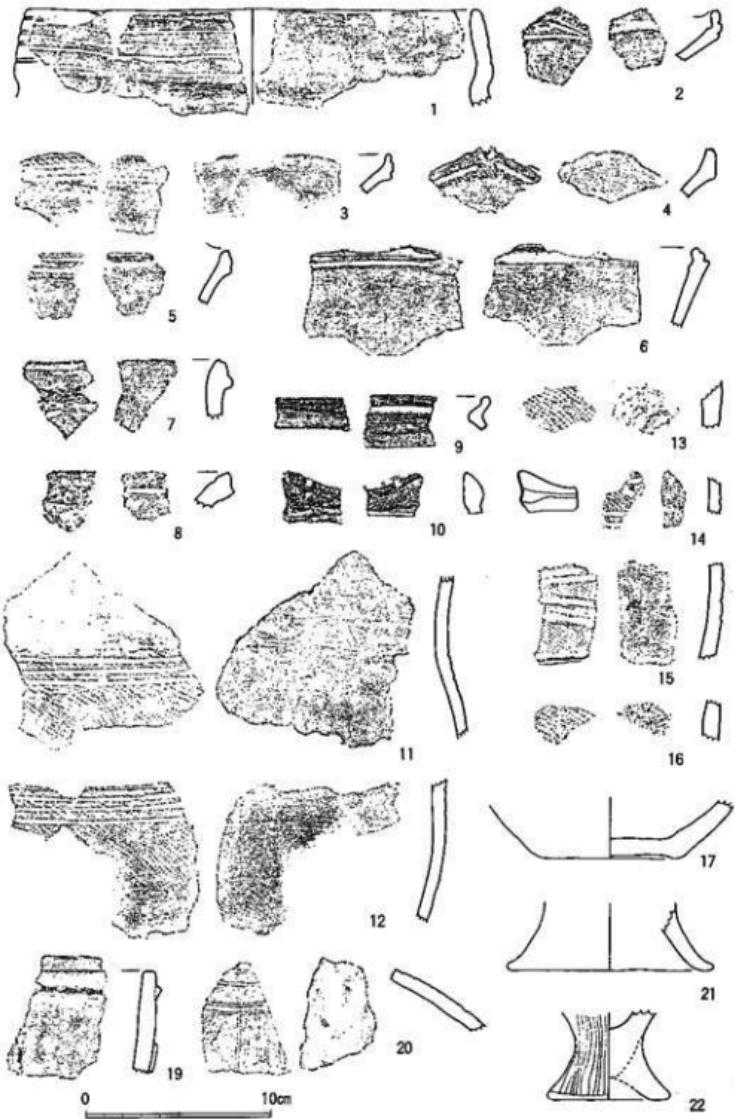
番号	グリッド名	全長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	形状		重さ(g)	石材	破損状態	備考
					幅(cm)	厚さ(cm)				
1	e-3	6.20+*	1.65	0.33	1.32	(0.15)	3.7	黒色頁岩		
2	c-2	5.73	2.26	0.42	1.66	0.18	6.3	灰色頁岩	先端部	
3	d-3	5.38+*	2.11	0.37	—	—	5.4	黑色頁岩	先端部	
4	b-3	5.25	2.00	0.29	0.90	0.10	3.2	黑色頁岩		
5	e-4	4.95+*	1.65	0.30	—	—	3.3	黑色頁岩	先端部	
6	b-2	5.10+*	2.10	0.30	1.50	0.15	4.4	灰色頁岩	先端部	
7	d-4	5.06+*	1.90	0.35	—	—	3.8	灰色頁岩	先端部	
8	d-4	5.15	1.59	0.35	—	—	2.9	灰色頁岩		
9	e-4	5.02	1.60	0.29	1.68	0.12	3.4	綠色頁岩		
10	d-4	4.86	1.72	0.37	—	—	3.5	黑色頁岩		
11	d-3	4.88	2.08	0.37	—	—	5.2	赤色頁岩	先端部	
12	b-2	4.95	2.19	0.40	(1.74+*)	0.35	4.2	赤色頁岩	先端部	
13	d-4	4.92+*	2.32	0.45	1.70	0.06	4.4	黑色頁岩		
14	b-3	4.68+*	2.15	0.41	—	—	5.0	灰色頁岩	先端・基盤片	
15	d-4	4.67	1.98	0.30	1.38	0.32	2.9	黑色頁岩		
16	d-4	4.69	2.06	0.28	(1.72)	(0.35)	2.7	黑色頁岩		
17	d-4	4.63	2.05	0.42	(1.52)	(0.09)	4.5	灰色頁岩		
18	b-3	4.40+*	1.80	0.35	—	—	3.1	綠色頁岩	先端部	
19	e-3	4.55	1.90	0.35	1.22	0.17	3.5	灰色頁岩		
20	—	4.40+*	1.75	0.40	—	—	3.2	黑色頁岩	先端部	

番号	グリッド名	全長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	块 力		重さ(g)	石 材	破損状態	備 考
					幅(cm)	高さ(cm)				
21	c-2	4.20+e	1.70	0.29	(1.04+e)	(1.02)	2.4	黑色頁岩		
22	d-6	4.34	1.75	0.27	—	—	3.5	黑色頁岩		
23	c-2	4.12	2.04	0.40	—	—	4.4	灰色頁岩		
24	c-3	4.02+e	2.40	0.30	—	—	3.7	流紋岩		
25	d-4	4.22	2.09	0.30	—	—	3.6	灰色頁岩		
26	e-3	4.20+e	1.50	0.30	—	—	2.8	黑色頁岩		
27	e-3	4.00	2.02	0.40	1.68	0.18	3.3	赤色頁岩		
28	d-3	3.86	1.82	0.29	1.64	0.12	2.4	灰色頁岩		
29	c-2	4.01	2.00	0.30	—	—	3.3	黑色頁岩		
30	d-4	3.85+e	1.88	0.19	—	—	2.1	灰色頁岩		
31	d-6	3.85+e	1.94	0.28	1.50	(0.12)	2.4	黑色頁岩		
32	e-3	3.66	1.77	0.20	—	—	1.6	黑色頁岩		
33	d-4	3.30	1.45	0.20	1.12	0.14	1.3	黑色頁岩		
34	b-3	3.50+e	1.55	0.39	1.35	0.06	1.7	黑色頁岩		
35	b-3	3.68+e	1.77	0.26	—	—	1.7	灰色頁岩	基部	
36	d-3	3.63	1.52	0.28	(1.02)	(0.35)	1.6	綠色頁岩		
37	d-4	3.52	1.49	0.22	—	—	1.2	黑色頁岩		
38	d-3	3.43+e	1.41	0.34	(1.06)	(0.18)	1.8	黑色頁岩		
39	—	3.30	1.40	0.30	—	—	1.4	赤色頁岩		
40	b-3	3.42	1.80	0.30	—	—	2.5	灰色頁岩		

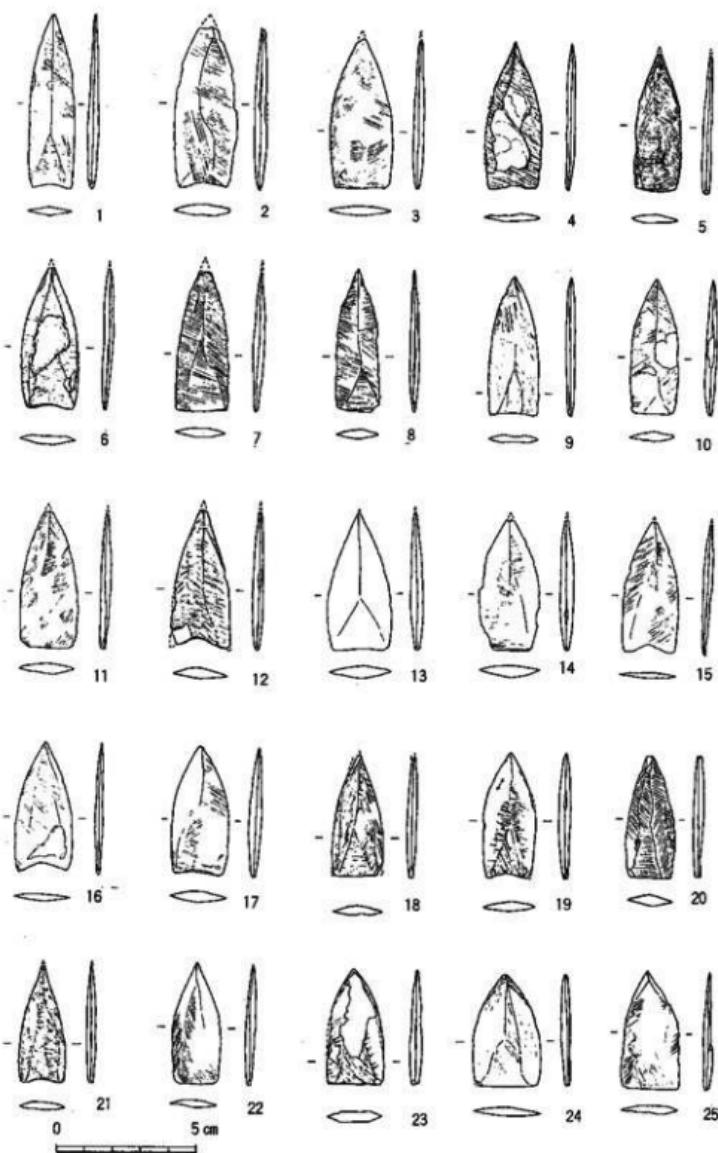
番号	グリッド名	全長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	扶 り		重さ(g)	石 材	破損状態	備 考
					幅(cm)	深さ(cm)				
43	d-4	3.37±*	1.69	0.27	—	—	1.8	赤色頁岩		
42	c-2	3.30±*	1.65	0.25	1.36	(0.15)	2.0	灰色頁岩		
43	c-3	3.34±*	1.45	0.28	—	—	1.4	黑色頁岩		
44	d-4	3.31±*	1.39	0.25	—	—	1.5	黑色頁岩		
45	e-2	3.18	1.66	0.21	—	—	1.7	黑色頁岩		
46	—	3.06	1.70	0.40	(1.00)	(0.25)	1.9	灰色頁岩		
47	b-3	3.10±e	1.50	0.25	—	—	1.5	灰色頁岩		
48	d-4	3.02±*	1.52	0.24	—	—	1.3	黑色頁岩		
49	d-5	3.03±*	1.68	0.27	—	—	1.5	灰色頁岩		
50	—	3.34	1.63±*	0.24	(0.82±*)	(0.68)	1.1	黑色頁岩	下半部	
51	b-2	3.15±*	1.80	0.20	—	—	1.3	灰色頁岩	下半部	
52	d-3	2.86±*	1.62±*	0.22	—	—	1.1	赤色頁岩	下半部	
53	b-3	2.48±*	1.53±*	0.35	(0.44±e)	(0.42)	0.8	黑色頁岩	下半部	
54	b-3	2.96±*	1.78±*	0.46	(0.82±*)	(0.12)	1.2	綠色頁岩	下半部	
55	—	3.08	1.12±*	0.22	—	—	0.4	綠色頁岩	下半部	
56	c-2	2.93±*	1.90	0.35	—	—	2.3	綠色頁岩	最先部	
57	e-4	3.75±*	1.70	0.30	—	—	1.6	灰色頁岩	最先部	
58	b-2	3.15±*	1.55	0.29	—	—	2.0	灰色頁岩	最先部	
59	b-2	3.62±*	1.85	0.20	1.45	0.19	2.3	灰色頁岩	最先部	
60	d-4	3.95±*	1.74	0.22	(1.18±*)	(0.18)	2.4	黑色頁岩	最先部	

番号	グリッド名	全長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	块 り		重さ(g)	石 材	破 壊状態	備 考
					幅(cm)	厚さ(cm)				
61	d-3	3.10±ε	1.79	0.25	—	—	2.2	黒色頁岩	無先端	
62	c-2	3.85±ε	1.45	0.35	(1.24±ε)	(0.13)	1.6	灰色頁岩	無先端	
63	—	1.84±ε	1.82	0.31	—	—	1.8	灰色頁岩	上半部	
64	b-2	1.84±ε	2.00±ε	0.27	(1.70±ε)	(0.23)	1.3	灰色頁岩	上半部	
65	—	3.68±ε	1.31±ε	0.28	(0.40±ε)	0.20	1.8	灰色頁岩	大半	
66	—	3.50±ε	2.05	0.40	(1.40)	(0.20)	2.8	灰色頁岩	先端部	
67	—	3.70±ε	1.55	0.30	—	—	1.9	灰色頁岩	先端部	
68	—	2.45±ε	1.60	0.30	1.50	(0.15)	1.5	緑色頁岩	無先端	
69	—	3.22±ε	1.65±ε	0.34	—	—	2.7	灰色頁岩	無先・基部	
70	c-2	1.47±ε	1.81	0.21	—	—	0.7	灰色頁岩	上半・下半部	
71	b-2	2.18±ε	1.53±ε	0.17±ε	—	—	0.6	灰色頁岩	上半・下半部	
72	b-3	1.85±ε	0.97±ε	0.25	(0.65±ε)	(0.20)	0.6	黒色頁岩	大半	
73	—	2.29±ε	0.61±ε	0.26±ε	—	—	0.4	灰色頁岩	大半	
74	—	1.88±ε	1.42±ε	0.30	(0.75±ε)	(0.15)	0.9	緑色頁岩	大半	
75	—	3.06	3.28	—	—	—	14.3	チャート		石核
76	—	2.27	0.98	0.34	—	—	0.8	チャート		削片
77	—	3.12	1.65±ε	0.62	0.45	0.05	2.6	チャート		打製
78	—	2.32	1.32	0.32	(0.98)	(0.48)	0.7	チャート		打製
79	—	1.56	1.36	0.22	(0.27)	(0.28)	0.4	チャート		打製
80	—	1.93±ε	1.91	0.37	1.75	0.14	1.3	チャート	無先端	打製

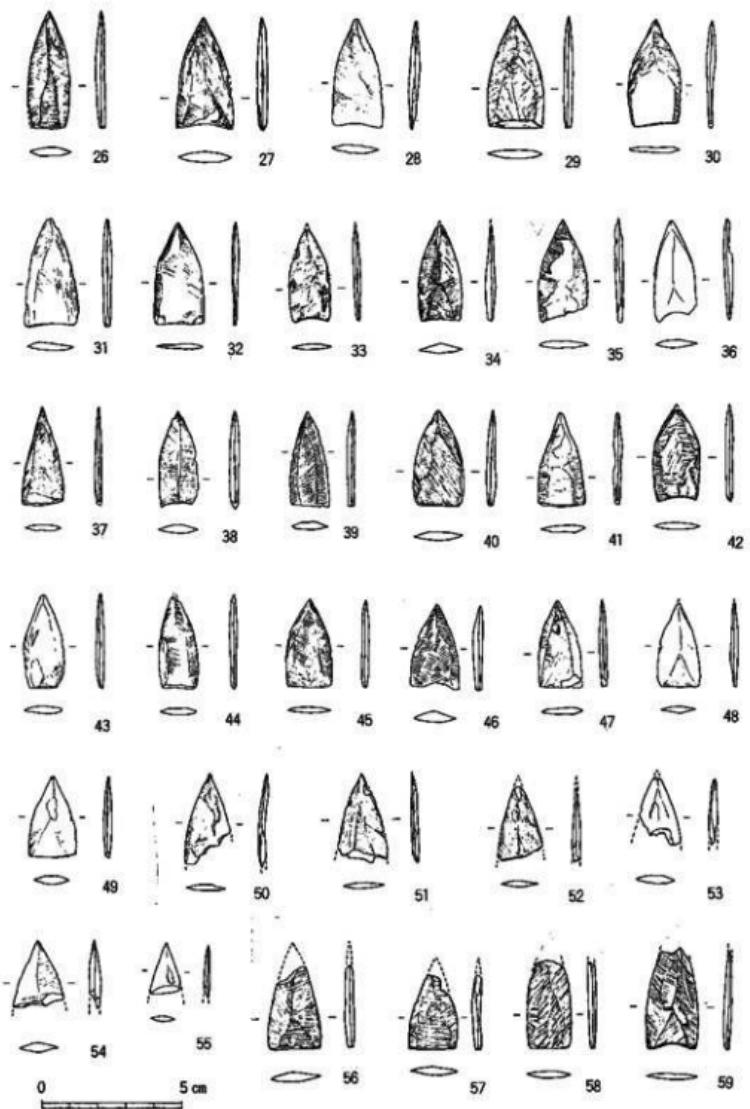
番号	グリッド名	全長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	块 り		重さ(g)	石材	取扱状態	備考
					幅(cm)	深さ(cm)				
B1	-	1.82+*	1.44+*	0.32	(1.24+*)	(0.64)	0.5	チャート		打製
B2	-	2.12+*	1.69+*	0.25	-	-	1.0	チャート	基部	打製



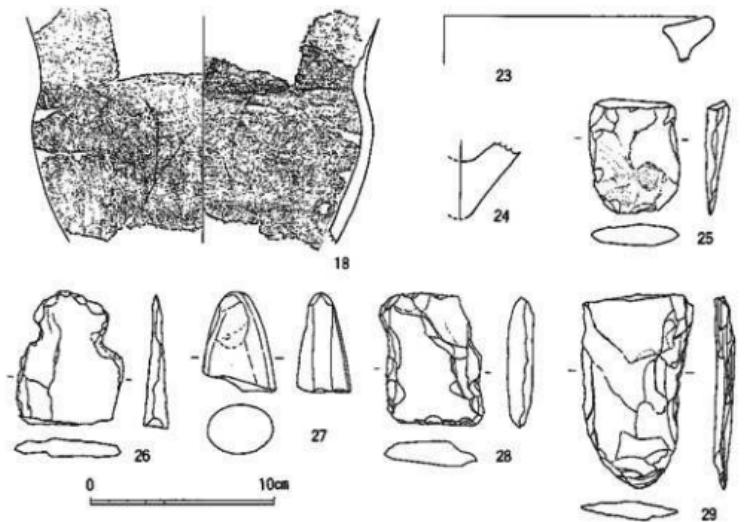
第4図 吾平原第2遺跡出土土器実測図



第5図 吾平原第2遺跡磨製石器実測図(1)



第6図 吾平原第2遺跡磨製石器実測図(2)



第7図 吾平原第2遺跡出土土器・石器実測図

# 図 版



吾平原第2遺跡遠景



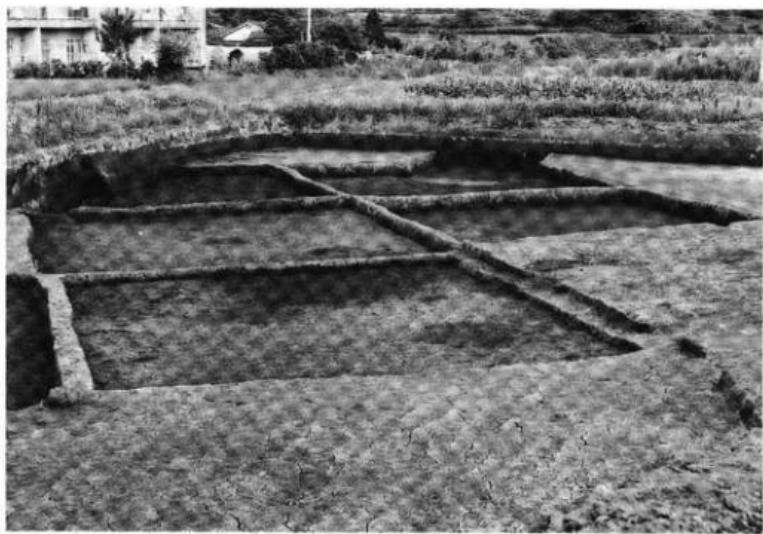
吾平原第2遺跡(I地区) 発掘調査近景(開始期)



呑平原第2遺跡(Ⅰ地区) 発掘調査近景(グリッド掘り下げ)



Ⅰ地区磨製石器出土状態



吾平原第2遺跡（I地区）発掘調査近景（終了時）

## 吾平原第2遺跡（I地区）土層断面



I 表土(耕作土)

II 酸化鉄・マンガン層

VI' V層とVI層の混入土

IX 黒色土層

X 暗褐色土層

XI 暗褐色土層

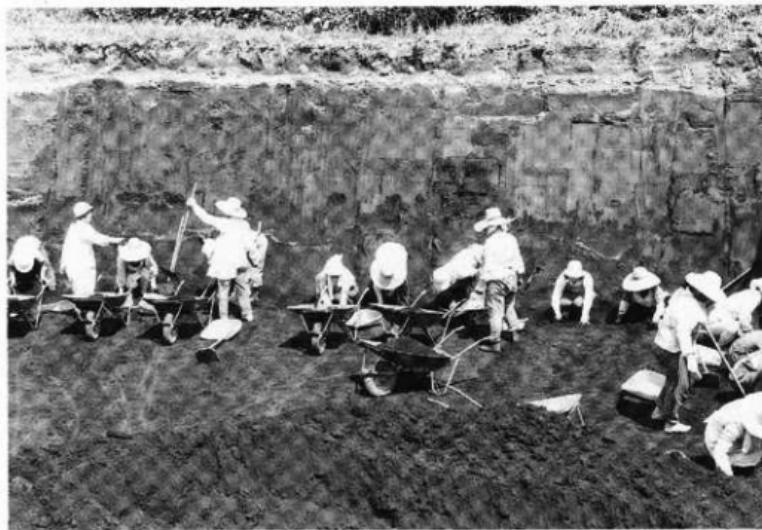
XII 黒褐色土層

XIII 黒褐色土層

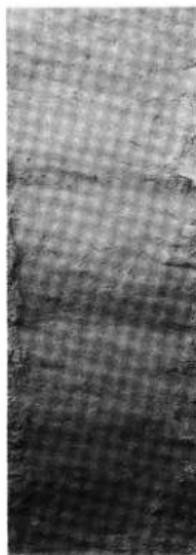
XIV 黒色土層

XV 橙色火山灰

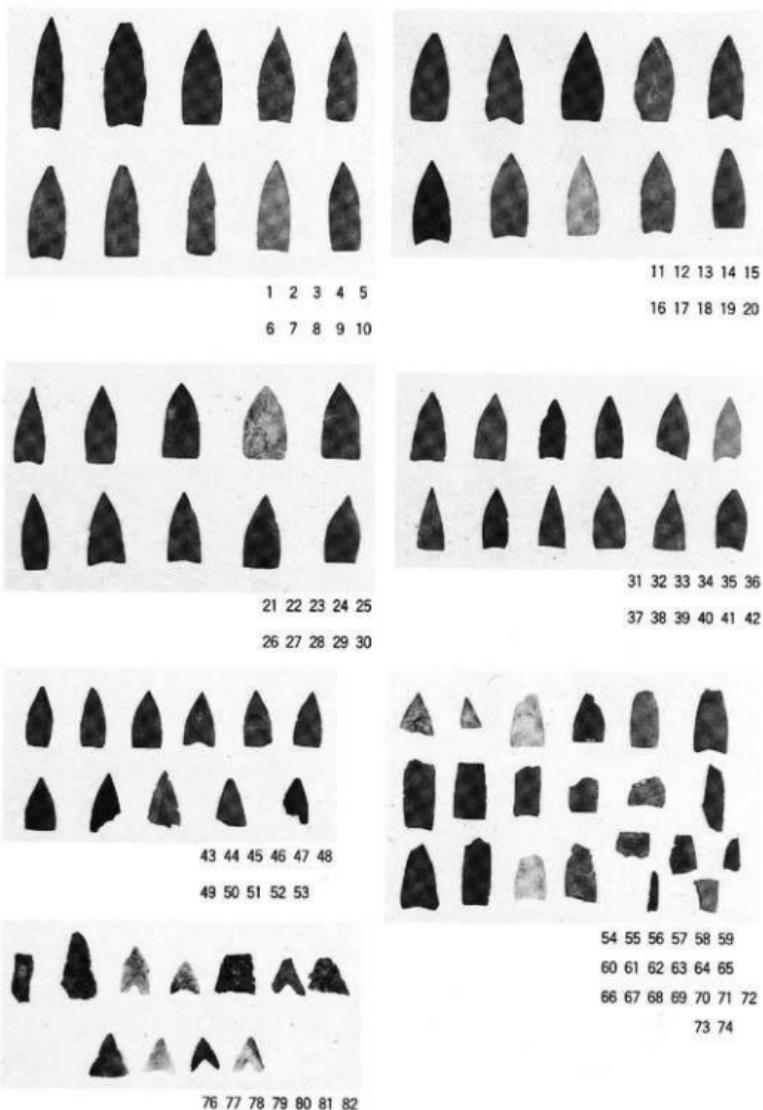
黒色粘質土層

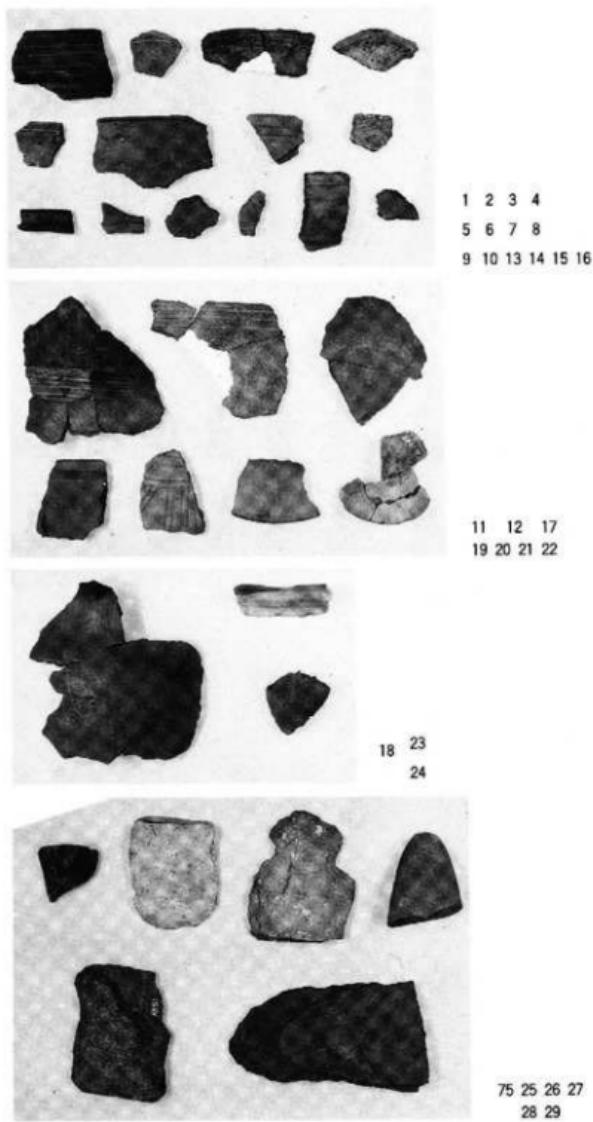


吾平原第2遺跡(II地区) 発掘調査近景



吾平原第2遺跡(I地区) 土層断面





### **第Ⅲ章 宮ノ前第2遺跡A地区**

### 第Ⅲ章 宮ノ前第2遺跡A地区

#### 第1節 調査区の設定と遺跡の概要

宮ノ前第2遺跡は行政区では高千穂町大字三田井字宮ノ前であり、五ヶ瀬川を南に臨む標高330mの丘陵の斜面に位置する。当遺跡の東約300mには土偶・石棒・石刀が出土した陣内第2遺跡があり、昭和63年5月9日～7月15日に高千穂バイパス工事に伴う発掘調査が行われた吉平原第1遺跡では、縄文時代後・晩期の土器・打製石器・弥生時代中・後期の土器・磨製石器が出土した。

高千穂バイパス工事の2年度の調査として平成元年5月8日～8月4日に一次調査が、10月11日～11月2日に二次調査が行われた。A地区は一次調査で行われた。

A地区は丘陵の南斜面（標高355m）に位置し、10mメッシュのグリッドによって400m<sup>2</sup>を発掘調査した結果、縄文時代後期後半～晩期前半の土器と共に打製石斧・打製石器・弥生時代後期の磨製石器が出土した。地形が斜面であるために堅穴住居などの遺構は営まれていない。

B-1地区は丘陵の西斜面（標高338m）に位置し、300m<sup>2</sup>を発掘調査した結果、弥生時代後期後半の土器・磨製石器・古墳時代後期の須恵器・土師器が出土した。また古墳時代の6世紀中頃の堅穴住居が1軒検出され、一辺6mの方形プランの住居である。堅穴住居からⅢ期の須恵器が出土しているので6世紀中頃の時期である。

B-2～5地区は丘陵の北斜面（標高333～334m）に位置し、2800m<sup>2</sup>を発掘調査した結果、弥生時代の住居が7軒、古墳時代の住居が7軒検出されると伴に縄文時代後・晩期の土器・打製石斧・打製石器・古墳時代後期の6世紀後半～末の須恵器・土師器などが出土した。特に10号住居は弥生時代後期初頭の住居で、石垣と併せて農後系統・肥後系統の土器が出土すると共に、埋土から剥片尖頭器が出土した。2号住居は古墳時代初頭の堅穴住居で規模は一辺7mの方形プランで、布留式土器の壺が出土した。

#### 第2節 包含層の状態

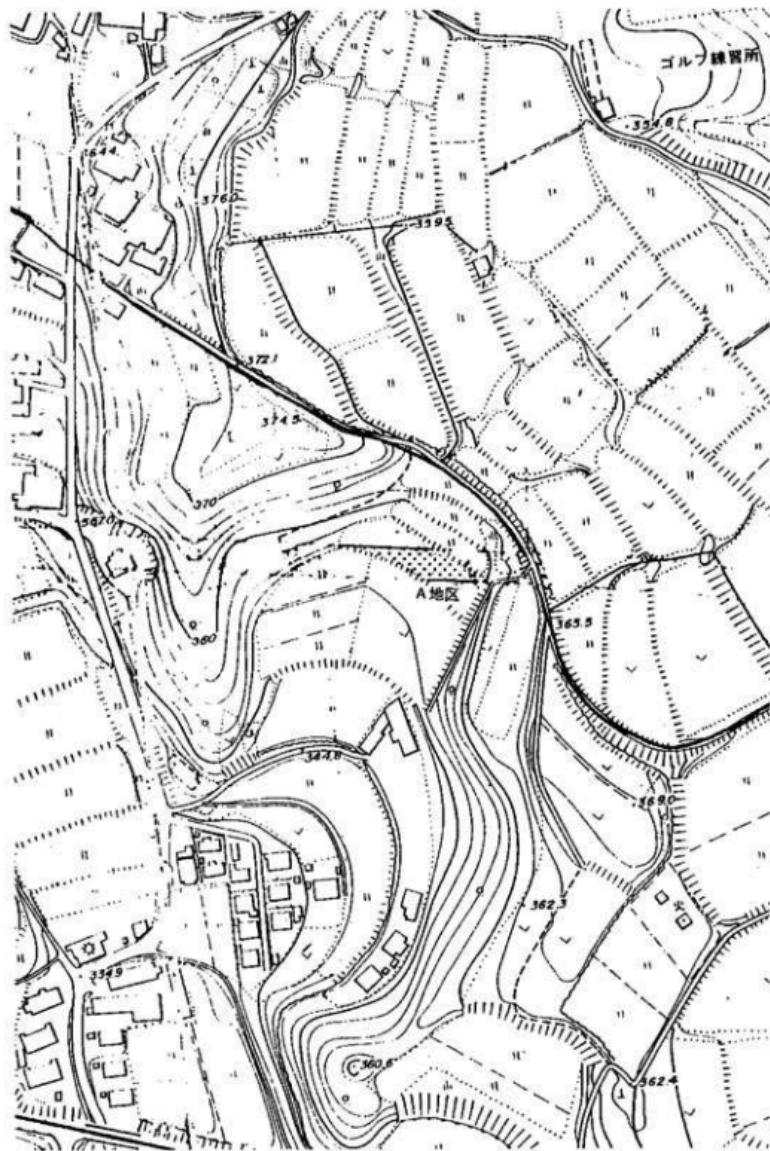
当調査区は標高353.5m～355.5mの南斜面であり、畑と水田の段々畑である。

#### 第3節 縄文時代の遺構と遺物

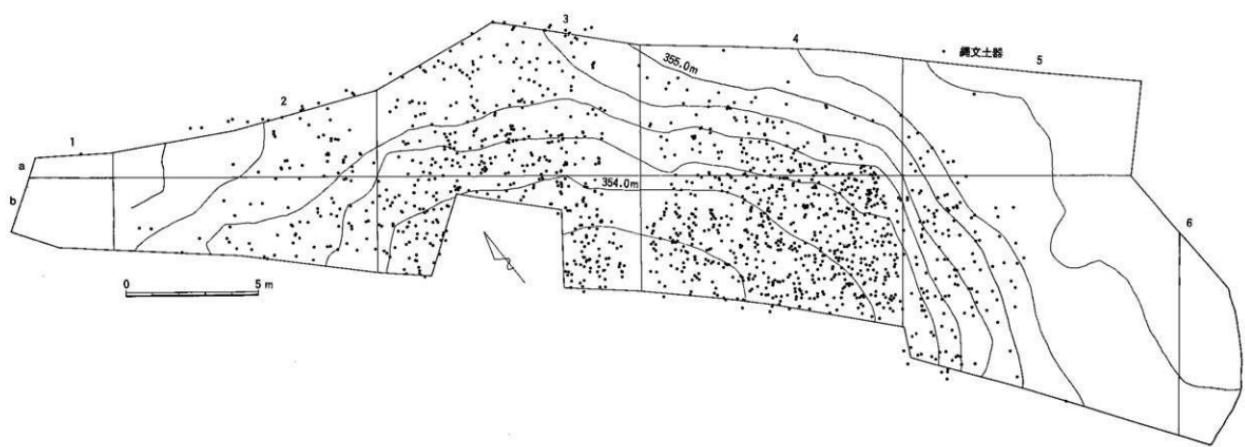
調査地が南側斜面地という地形であったために遺構は検出されなかったが、縄文時代後・晩期の土器・石器などが出土した（第1図）。

##### (1)縄文土器 (第3～9図)

縄文土器は調査区の北部のa・b-2・3区から集中して出土しており、特にb-3区に集中



第1図 宮ノ前第2遺跡A地区周辺地形図 (S=1/2500)



第2図 宮ノ前第2遺跡A地区遺物ドット図

している。(第2図)。

当遺跡から出土した縄文土器は深鉢形土器の口縁部形態や文様、その他の特徴をもとに説明し、次に浅鉢・底部・脚台付鉢の順に説明する。

#### I類 (第3図1~17・第4図18~34)

口縁部はくの字状を呈し、頸部はわずかに反転しながらしまり、頸部との境で屈曲し、球形の胴部となる。口縁部は磨消縄文・2~3本の沈線・刺突文で構成される。頸部は無文で、頸部と胴部の境に連続刺突文を入れる。胴部上位の文様は4~5本の沈線と磨消縄文によって構成され、下位は無文である。施文部以外は丁寧な横方向のヘラ磨きを施した精製土器である。水平口縁のa類と波状口縁のb類に分かれる。波状口縁の頂部にはV字形・U字形の刻み目を入れる。従来、西平式土器・磨消縄文系三万田式土器と呼ばれた一群である。

1は当遺跡で口縁部から胴部下半部まで残存している唯一のものである。波状口縁部の頂部に2本の刺突文を入れ、口縁部には擬似縄文・2本の沈線・刺突文で構成されている。頸部は無文で、頸部と胴部の境には沈線の上から連続刺突文を施している。4本の沈線の上下に擬似縄文を施している。外面ともヘラ磨きを施している。2~6は磨消縄文の波状口縁部であるのに対して、8~15は磨消縄文の水平口縁部である。8・9が3本の沈線であるのに対して、10~15は2本である。17~30は頸部と胴部の境に連続刺突文を施した頸部から胴部上半部の破片である。胴部上半部の文様構成は17~19のように平行沈線と磨消縄文を基本としている。18は縄文を施していない。21は擬似縄文、25・31は沈線の上から縱方向の刺突文を、26は平行沈線間に波状沈線を施す(西平Ⅲ期)。

#### II類 (第4図35~47・第85図48・49)

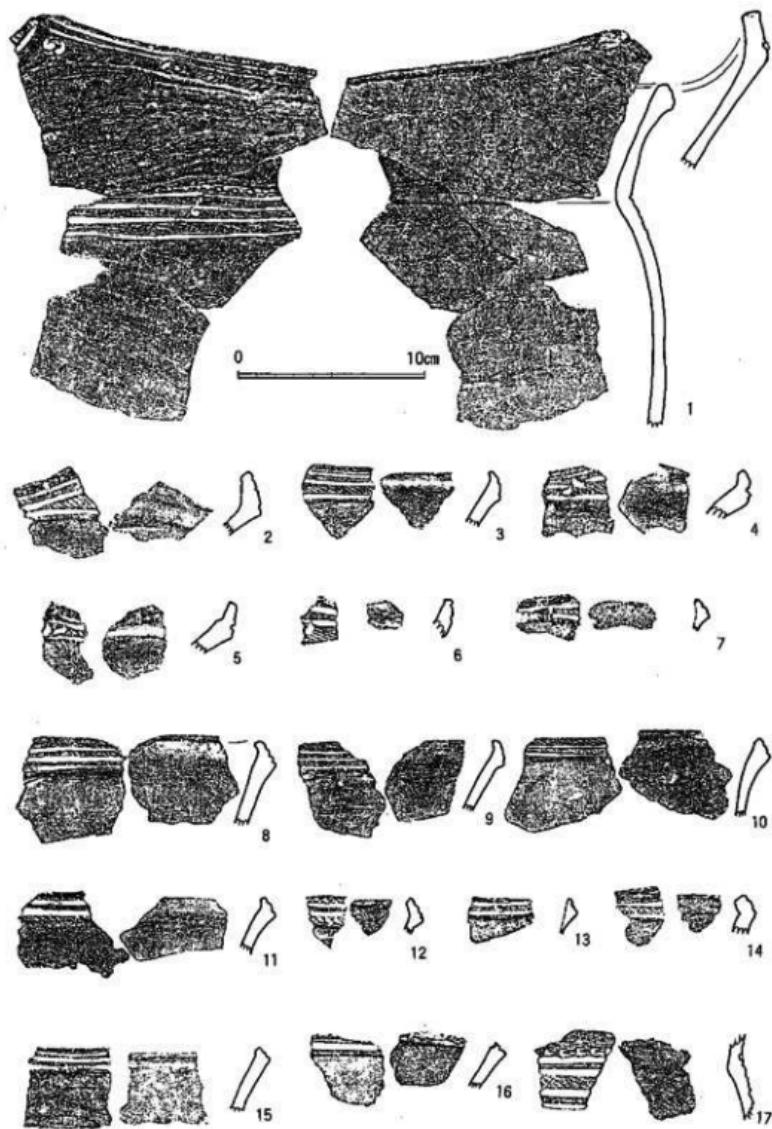
口縁部内面の一条の沈線以外は無文で、横方向のヘラ磨きを施す。水平口縁のa類と波状口縁のb類に分かれる。所謂三万田式土器の一群である。

35~41は口唇部を平坦に仕上げ、内面に一条の沈線を施している。42~44は口縁部が内傾し、内面に一条の沈線がある。45は頂部に押圧し、内面に一条の沈線を施している(三万田Ⅰ期)。46は口唇部に縄文を施している。49は波状口縁で、内面に一条の沈線を施している。50は頸部と胴部上半部の境に細線羽状文と沈線を施している。51も細線羽状文を施している(三万田Ⅲ期)。

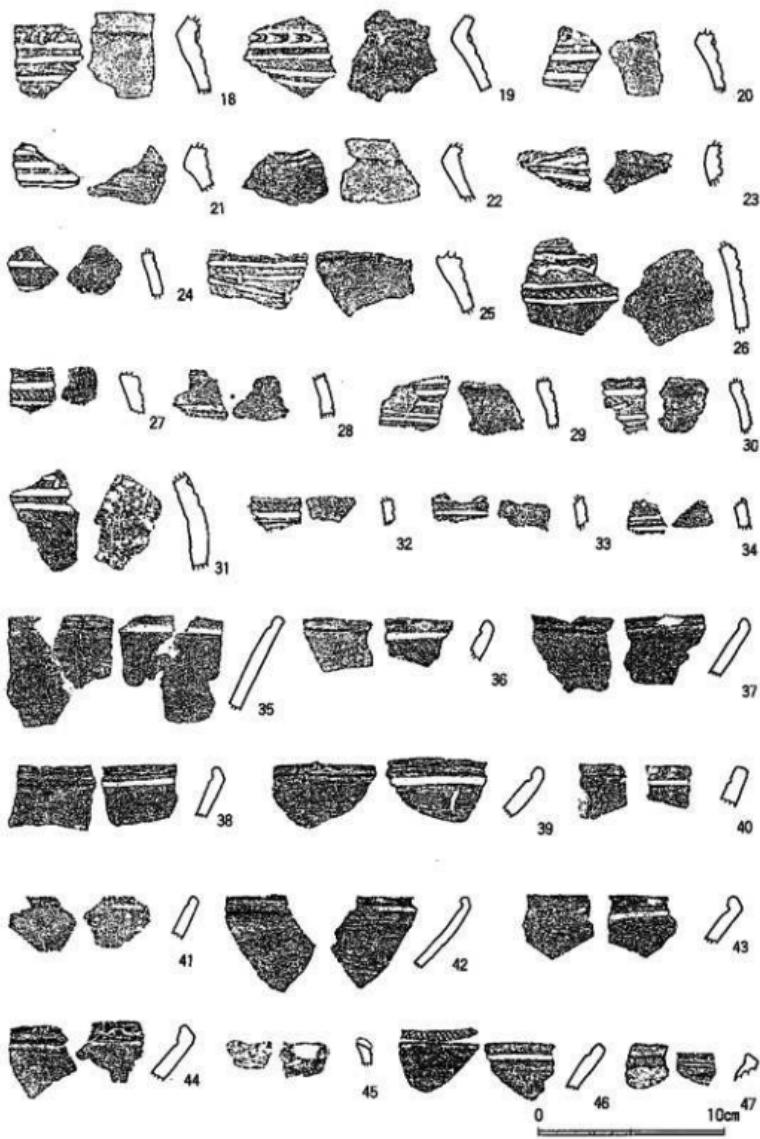
#### III類 (第5図52~60)

口縁部はやや内傾し、頸部はゆるく内湾し胴部に甘い稜を有する。口縁部外面に2~3条の凹線を施し、胴部最大径の上位に一条の凹線を施す。横方向のヘラ磨きを施す。所謂御領式土器の一群である。

52~56は口縁部外面に2条の沈線を施し、口唇部は平坦に仕上げている。52~56は施文幅が短いが、55・56は特に狭い。52は凹線気味である。58・59は3条の沈線を施している。



第3図 A地区出土縄文土器実測図(I) 1~17



第4図 A地区出土縄文土器実測図(Ⅱ) 18~47

**IV類** (第5図61~79)

口縁部に3本以上の沈線を施す。横方向のヘラナデを施す。III類より施文幅は長い。

61~65は口縁部外面に3本以上の沈線を施し、口唇部は平坦に仕上げている。口縁部と頸部の境は66・67・69のように緩やかに屈曲するものと68・70のように段状を呈するものがある。73は10本以上の細い沈線である。

74~79は細い沈線を施しており、口唇部は74・75のように丸く仕上げているものもある。

**V類** (第5図80・第6図81~91)

内傾する口縁部に幅広の2~3本の凹線を施す。御領式。

80~91は90・91を除くと施文部幅は短く、口唇部は平坦か凹気味に仕上げている。

**VI類** (第6図92~98)

外傾する口縁部の外面に一条の刻み目のない突帯文土器である。

92・93は口唇部に1状の凹線を施して、突帯風にしている。

95・96は断面三角形で高めの突帯であるのに対して、94・97・98は断面幅広三角形で低目の突帯である。

**VII類** (第6図99~116・第7図117~127)

無文の土器群である。

99・100は口唇部の断面が三角形で、内傾している。105も内傾しているが、口唇部は平坦に仕上げている。その他の口縁部はほぼ直線的に外反している。

**浅鉢**

**I類** (第7図147~149・第8図150~157)

口縁部の外面に1条の沈線を施し、横方向の丁寧なヘラ磨きを施す。

147~157の口縁部は頸部からほぼ直角的に立ち上がる。

**II類** (第8図158~160)

口縁部内面に1条の沈線を施し、横方向の丁寧なヘラ磨きを施す。

158~160は斜め上方に伸びている。

**III類** (第8図166)

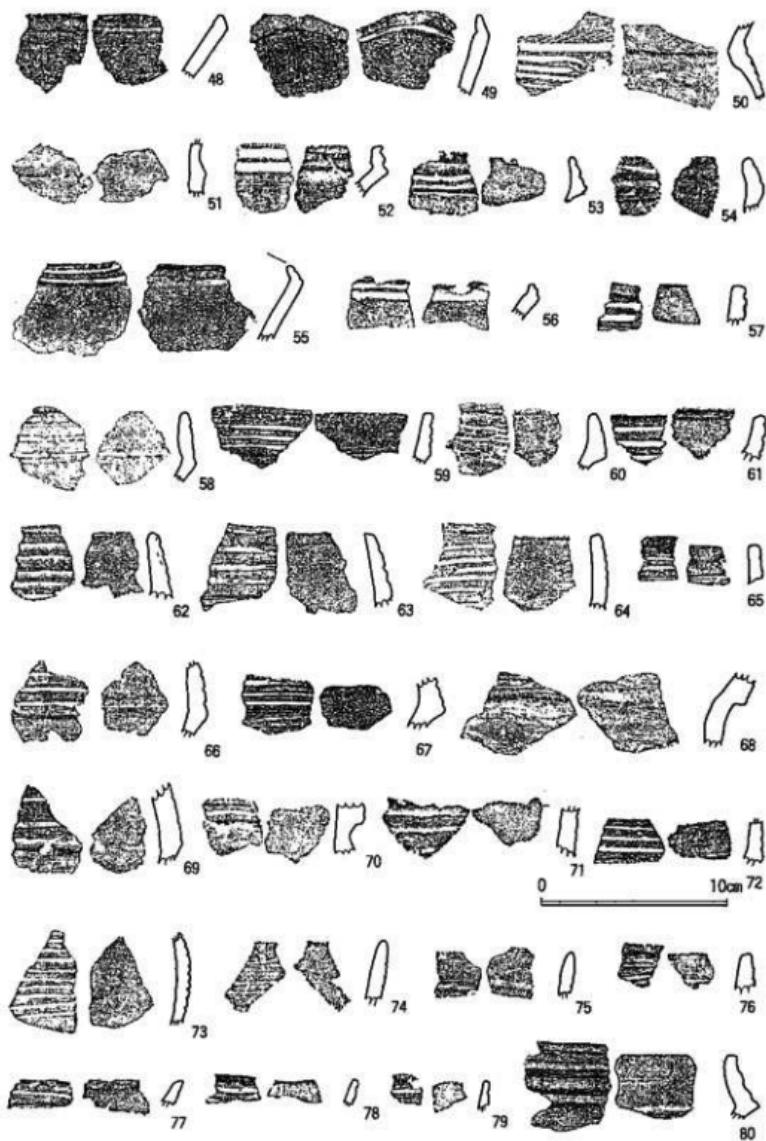
胴部の最大径がある屈曲部の上に2本の沈線の上・中・下に細線羽状文を施す。三万田Ⅲ

**IV類** (第8図167~171・第9図172~176)

短い口縁部が外反し、球形状の胴部を呈する。口縁部外面に一条の沈線を施している。

**底部** (第9図177~197)

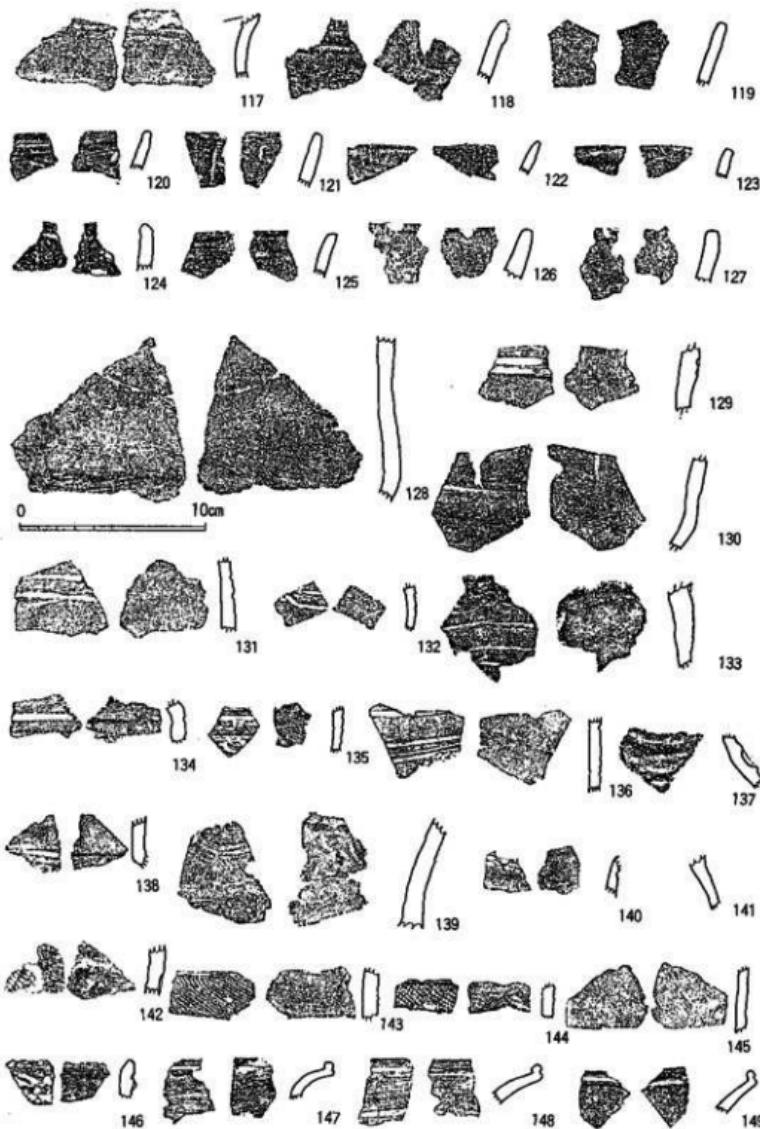
口縁部から底部まで残存する完形の土器が全然出土していないので、I類~VII類の土器のどの底部に対応するのか不明である。よって一括して取り扱い、立ち上がりの形態で分類した。



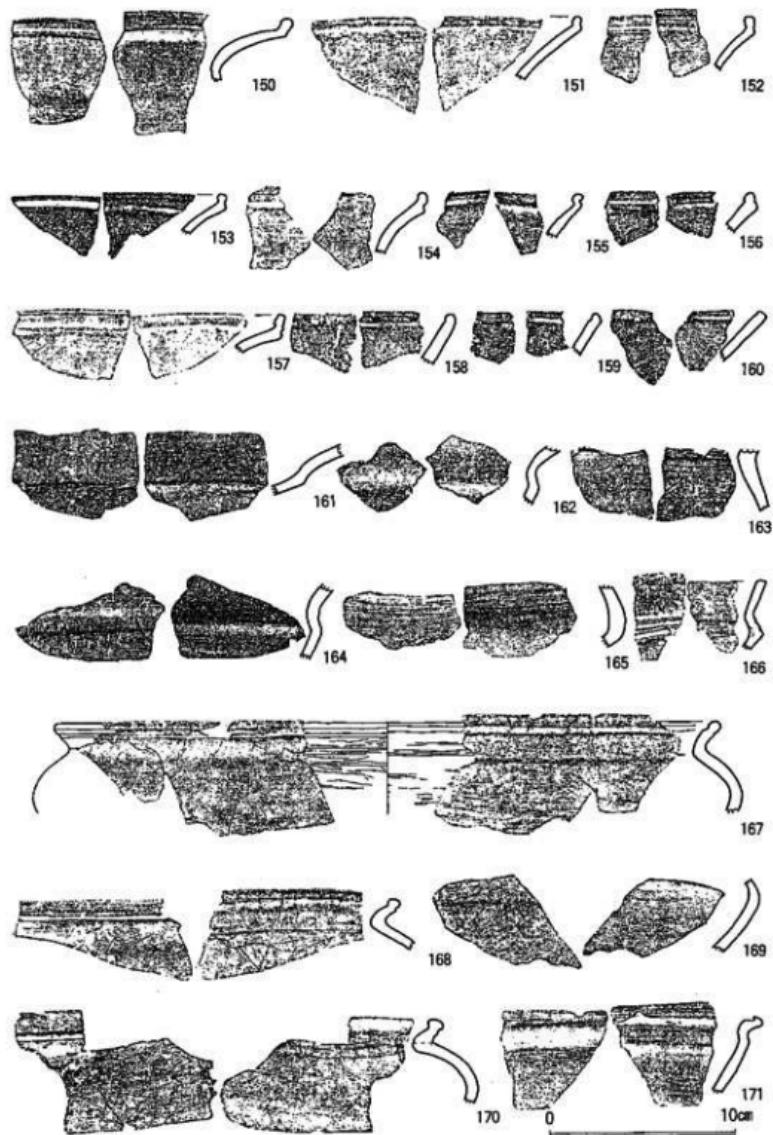
第5図 A地区出土縄文土器実測図(Ⅲ) 48~80



第6図 A地区出土縄文土器実測図(IV) 81~116



第7図 A地区出土縄文土器実測図(V) 117~149



第8図 A地区出土縄文土器実測図(VI) 150~171

底部の形態には真っ直ぐに立ち上がるもの（177～182）、底面が外へ張り出してその上部が若干くびれているもの（183～186）、上げ底（187～195）がある。

178は底面から斜め上方に伸びるタイプで、底径5.3cmである。内外面ともナデを施している。

183は底面が外へ張り出してその上部が若干くびれているタイプで、底径が10.6cmである。内面の上部は斜方向の貝殻条痕を、内面下部と外面はナデを施している。185は底径7.8cmで、内外面ともナデを施している。

188は底径8.5cmの上げ底で、190は底径7.0cm、191は底径5.0cm、192は5.5cmである。4点とも内外面ともナデを施している。

#### 脚台付鉢（図版9～198）

198は当遺跡では唯一の脚台付鉢で、坏部の口縁部の波頂部外面にU字形に粘土紐を張り付け、その斜め上凹線と刺突による孔を有する。内外面とも横・斜方向のナデを施している。

#### (2) 石器（図版7～8）

当地区の石器としては、打製石鎌11点・磨製石斧1点・扁平打製石斧25点・磨石4点・石皿1点計42点が出土している。

#### 打製石鎌（図版7）

打製石鎌は11点出土しており、無茎三角形鎌2点以外はすべて凹基無茎鎌である。石材の内訳は、チャート7点、黒曜石2点、頁岩1点、砂岩1点であり、チャートが63.6%と割合が高い。

#### 磨製石斧（図版7）

磨製石斧は1点だけ出土しているが、全面に丁寧に研磨された刃部のみの破片であり、形態は不明である。

#### 扁平打製石斧（図版7～8）

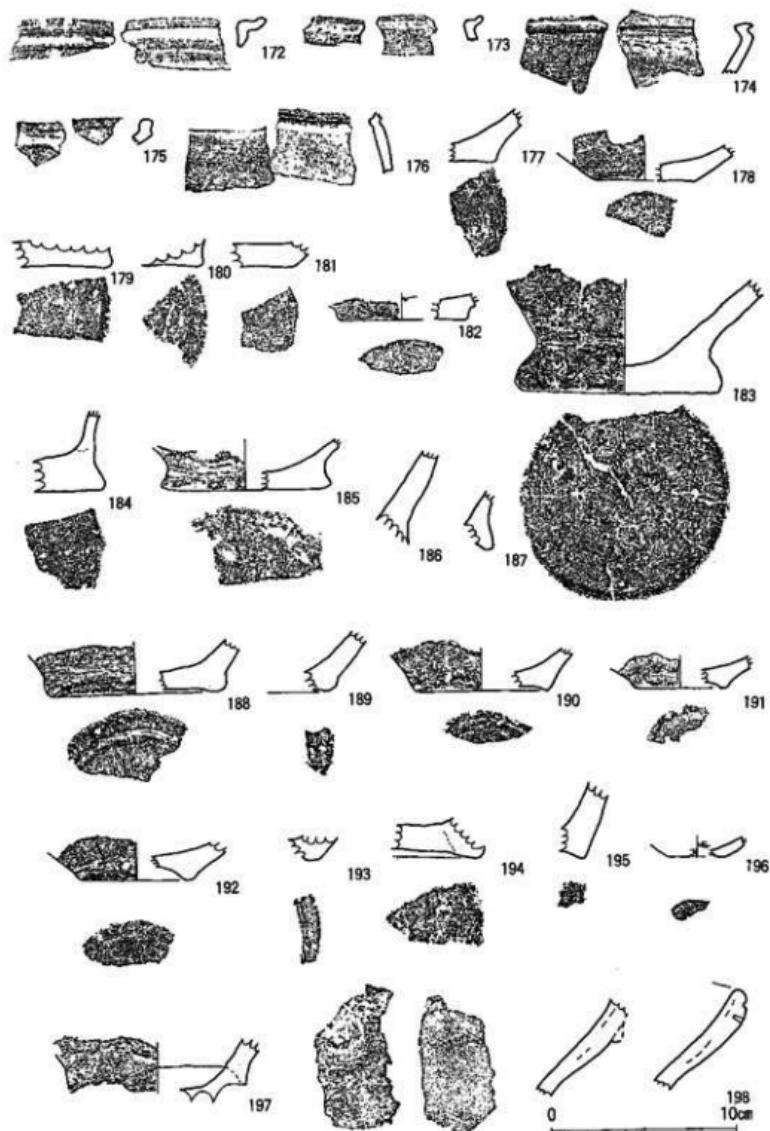
扁平打製石斧は25点出土しており、長方形をした短冊形のものと三昧線の縁に似た撥形のものである。石材の内訳は、シルト岩18点、頁岩5点であり、シルト岩が72.0%と高い。

#### 磨石

磨石は4点出土しているが、3点は破片であり、形態は不明である。1点は完形で、長さ8.5cm、幅6.0cm、厚さ4.5cmである。全面研磨されているが、側面は敲打されていない。

#### 石皿

石皿は1点だけ出土しており、全体の四分の一ほど残存している。縁と使用面を加工しており、中央の使用面が弓状に緩く窪んでいる。石材は砂岩である。



第9図 A地区出土縄文土器実測図(VII) 172~198

#### 第4節 小結

当遺跡の調査は、斜面地という地形と国道の道路部分に限られたため遺跡の性格を把握することは困難であったが、縄文後期後半の土器群や石器が出土した。

##### (1)縄文土器について

日向における縄文後・晩期の編年は、良好な遺跡の少なさと地域性を取捨して綱式一下弓田式一陣内式一松添式と位置付けられた。宮崎平野部では、1980年以降、宮崎学園都市遺跡群で55軒の堅穴住居が調査され、松添式の前段階の陣内式併行とその次の土器群が解明されたが、県北の山間部とは様相を異にしている。

当地では、鈴木重治氏が陣内遺跡出土の土器群を8類に分類した。そのうちの後期・晩期である陣内3・4類は西平式土器・磨消縄文系三万田式土器に、陣内5類は羽状文系三万田式土器に、陣内6類は陣内式、陣内6・7類は御領式に、陣内8・9類は晩期前半に比定される。

1967年調査の陣内第2遺跡出土土器を岩永哲夫氏は西平式土器を3期に、三万田式土器を4期に、御領式、晩期初頭に分類している。それによれば西平式Ⅰ期は口縁部施文帯が広く、波頂部には二方向からの口唇部刺突を行い、縄文施文後、3条の沈線を口縁端に添って巡らしている。西平式Ⅱ期は3条の沈線には細刺突文・爪形状刺突文、内面に凹線を施す。西平式Ⅲ期は口縁部の施文帯が狭まり、沈線は2本になる。三万田式Ⅰ期は波頂部に外面からの弱い凹圧文に変化し、胴部に数条の沈線によるX字文に変化する。三万田式Ⅱ期は細線羽状文が登場し、内面沈線を多用する。三万田式Ⅲ期は繊細な細線羽状文が最も盛行し、黒色磨研技法の確立・定着の時期で、凹線の幅が広くなる。三万田式Ⅳ期は凹線の幅が最大になり、文様が簡略化される。御領式土器は文様帯の縮小退化と凹線の縮小である。

1980年調査の陣内遺跡出土土器を永友良典氏は磨消縄文系土器と細線文・凹線文系土器に大別し、口縁部の形態と文様で細分しているが、大筋では岩永編年を追認している。

また陣内遺跡以外ではセベット遺跡・梅ノ木原遺跡でも調査されたが、調査面積が少なかったために十分に行われていない。今回も調査面積が少なかったために層序的にも十分に把握できなかったが、後期後半の西平式土器・磨消縄文系の三万田式土器から晩期前半の刻み目のない突唇土器まで追うことができた。

##### (2)石器について

当遺跡の石器組成は、扁平打製石斧25点などの耕具が59.5%と過半数を占めているのに対して、打製石鎌11点などの狩猟用具が26.2%、石皿1点・磨石4点などの植物調理用石器が11.9%と低い。石錘は欠如している。今回の調査は調査面積が非常に狭かったために縄文時代後・晩期の様相のほんの一部をかいま見るに止まった。

今回の調査は南側斜面地という立地と400m<sup>2</sup>という調査面積の狭小さのために土器量が少なかったために十分な土器羅年を行うことができなかつた。

#### 註

- (1) 鈴木重治「陣内式の設定をめぐって」『陣内遺跡』1982
- (2) 宮崎県教育委員会「平畠遺跡」『宮崎学園都市遺跡発掘調査報告書』第2集 1985
- (3) 鈴木重治「土器及び土製品」『陣内遺跡』1962
- (4) 岩永哲夫「陣内第2遺跡」『埋蔵文化財調査研究報告』I 1987
- (5) 永友良典「陣内遺跡(第2次調査)」『高千穂町文化財調査報告書』第8集 1989
- (6) 長津宗重「セベット遺跡」『高千穂町文化財調査報告書』第3集 1984
- (7) 長津宗重「梅ノ木原遺跡」『高千穂町文化財調査報告書』第4集 1985

表1 A地区出土縄文土器觀察表

番号	器物	マツ	目録	番名	文		目		形状	色		地	種	分類
					外	内	外	内		外	内			
3	1	b-2	縄錐	口輪部	側面文 波紋状表面 三重乳突 直縫文			側方向の直な ヘラ型	側方向の直な ヘラ型	直形 に赤い黄緑 (10YY 7/4)	灰青 (10YY 5/2)	0.5~1cmの光る黒色、黄 色、青色で光る粉紅 色、無色透明で光る粉紅 色、淡青、茶色の砂粒を含 む。	内面に高脚、 外側に入火付帯 部有り	1
3	2	b-2	縄錐	口輪部	側面波文 直縫文			側方向の直な ヘラ型	側方向の直な ヘラ型	直形 に赤い黄緑 (10YY 5/3)	灰青 (10YY 6/4)	0.5~1cmの光る黒色、黄 色、青色、白色で光る粉紅 色を含む。		1
3	3	b-2	縄錐	口輪部	側面波文 直縫文			ヘラ型	側方向の直な ヘラ型	直形 に赤い黄緑 (10YY 5/3)	灰青 (10YY 5/2)	0.5~1.5cmの光る黒色、光 る黒色、白色。		1
3	4	b-2	縄錐	口輪部	波紋文 直縫文 圓形網文			ヨコナギ	ヨコナギ	直形 に赤い黄緑 (10YY 7/4)	灰青 (10YY 5/4)	0.5~1.5cmの深褐色・赤褐 色、無色透明で光る黒色、灰 色を含む。		1
3	5	b-2	縄錐	口輪部	直縫文			ヨコナギ	ヨコナギ	直形 青紫 (10YY 8/4)	灰青 (10YY 6/4)	0.5~2cmの赤褐色・白色、 青紫色、暗褐色、無色、灰色 を含む。		1
3	6	b-2	縄錐	口輪部	直縫文 直縫網文			ヨコナギ	ヨコナギ	直形 に赤い黄緑 (10YY 7/4)	灰 (10YY 2/4)	0.5~2cmの光る黒色、無色透 明、深褐色・褐色、灰褐色で 光る。		1
3	7	b-2	縄錐	口輪部	直縫文 直縫網文			ナゲ	側面の鳥面型不 規則	直形 灰青 (10YY 9/2)	灰 (10YY 4/2)	灰白、白色、黑色の砂粒共 に含む。		1
3	8	b-2	縄錐	口輪部	2条の波紋文 直縫網文			側方向のヘラ 型	側方向のヘラ 型	直形 (2.5Y 5/1)	灰 (10YY 1.7/1)	2mm以下の柱状で直く立ち形 成する無色の砂粒を含む。 2条の波紋で直く立ち形成する 無色の砂粒と2条の波紋で直く 立ち形成する無色の砂粒を含む。	外側にスズ付帯 部有り	1
3	9	b-2	縄錐	口輪部	3条の波紋文 直縫文			側方向のヘラ 型	側方向の直なヘ ラ型	直形 (10YY 3/1)	灰 (10YY 3/2)	0.5~3cmの深褐色、光る黒 色、無色透明で光る。		1
3	10	b-2	縄錐	口輪部	2条の波紋文 直縫網文			側方向のヘラ 型	側方向のヘラ 型	直形 (2.5Y 7/3)	灰 (10YY 3/2)	1mm以下の暗口(白色)と1.5mm 以上の白色、深褐色、灰褐色 の砂粒を含む。3mm程の白色 の砂粒が散在する。	直形口縫	1
3	11	b-2	縄錐	口輪部	直縫文 直縫文			側方向のヘラ 型	側方向の直なヘ ラ型	直形 (10YY 5/4)	灰 (10YY 5/4)	0.4cmの深褐色、0.5~1cm の光る黒色、深褐色、無色透 明、褐色砂粒を含む。		1
3	12	b-2	縄錐	口輪部	直縫文 直縫文			側方向のヘラ 型	ナゲ	直形 (10YY 5/2)	直形 (10YY 6/4)	2.5cmの深褐色、0.5~1cm の光る黒色、深褐色、無色透 明、褐色砂粒を含む。	外側にスズ付帯 部有り	1
3	13	b-2	縄錐	口輪部	直縫文 直縫文 直縫網文			ナゲ	側面の鳥面型不 規則	直形 (10YY 6/4)	直形 (3.5Y 5/2)	1mm以下~2.5cm程度の光白 色、黃土色、黑色の砂粒を含む。	直形口縫	1
3	14	b-2	縄錐	口輪部	直縫文 直縫文			側方向の直なヘ ラ型	側方向の直なヘ ラ型	直形 (10YY 3/4)	直形 (10YY 6/4)	0.5~2.5cmの深褐色、光る黒 色、灰褐色砂粒を含む。		1
3	15	b-2	縄錐	口輪部	波紋文 直縫文			丁寧なナゲ	丁寧なナゲ	直形 (10YY 6/4)	直 (10YY 7/6)	無色透明で光る砂粒を含 む。砂粒が細かく個性化 多量に含む。	外側にスズ付帯 部有り	1
3	16	b-2	縄錐	口輪部	直縫文 直縫網文			丁寧なナゲ	丁寧なナゲ	直形 (10YY 6/4)	直形 (10YY 6/4)	乳白色、白色、黑色の深褐色 、深褐色の光る白の砂粒を含 む。	直形口縫	1
3	17	b-2	縄錐	直 縫	4条の波紋文 直縫網文			ナゲ	丁寧なナゲ	直形 (10YY 6/4)	直形 (10YY 6/4)	2mm以下の光白、黑色、灰 褐色、黑色の砂粒を含む。 1mm以下の暗口(白色)を含 む。		1
4	18	b-2	縄錐	直 縫	4条の波紋文 直縫網文			ナゲ	ヨコナギ	直形 (10YY 6/4)	直形 (10YY 6/4)	1.5mm以下の光白の砂粒を含 む。2mm以上の暗口(白色)と 黑色の砂粒を含む。	外側にスズ付帯 部有り	1
4	19	b-2	縄錐	直 縫	4条の波紋文 直縫網文			ナゲ	ナゲ	直形 (10YY 6/4)	直形 (10YY 6/4)	4mm以下の柱状で直く立ち形 成する無色の砂粒を含む。 2mm以上の暗口(白色)と 黑色の砂粒を含む。		1
4	20	b-2	縄錐	直 縫	4条の波紋文 直縫網文			ヨコナギ	ナゲ ヨコナギ	直形 (10YY 6/4)	直形 (10YY 6/4)	1mm以下の乳白色、黑色の砂 粒を含む。		1

試験 番号	部位	ゲリ ラード	基準	解説	火 傷		調 理		結成		色 調		触 感	考 察	分類			
					外 面		内 面		外 面		内 面							
					外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面						
4	22	b-1	頭部	頭 頭	頭部及 其の腹側による 剥離皮		ヨコナデ	ヨコナデ ナダ	表面	に高い密度 (DGYE 7/4)	に高い密度 (DGYE 7/4)	3mm以下の粒状の細胞、黄色 色を含む。2mm以下の灰色 色・茶色・黑色透明な部分を含む。			I			
4	22	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ヨコナデ	ヨコナデ	表面	暗褐色 (DGYE 5/3)	暗褐色 (DGYE 5/3)	3mm以下の粒状で黒い光沢 色を含む。2mm以下の灰色 色を含む。1mm以下の乳白色 ・灰色・黑色透明な部分を含む。			I			
4	23	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ナデ	ナデ	表面	肉 (DGYE 4/2)	に高い密度 (DGYE 4/2)	1.5mm以下の基底の細胞、1mm 以下の肉色の細胞、4mm以 下の黒色を含む。黄色透明で 光沢感を含む。			I			
4	24	b-1	頭部	頭 頭	頭部皮	頭部皮	頭部皮のヘラ 巻き	ナデ	表面	黒褐色 (DGYE 5/1)	明褐色 (DGYE 5/1)	1mm以下の白色で黒く光る 部分、黑色透明な部分を含む。 1mm以下の黑色・白色・灰色 の部分と3mm他の白色の 部分を含む。	表面凹凸感		I			
4	25	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮	頭部皮		ヨコナデ	ヨコナデ	表面	に高い密度 (DGYE 4/2)	暗褐色 (DGYE 3/1)	1mm以下の黒色で白い部分、 内臓と1mm以下灰色の部分、黑 色・黑色透明な部分を含む。 1mm以下の黑色で光沢感を含む。			I		
4	26	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		頭部皮のヘラ 巻き	表面	暗褐色 (DGYE 5/1)	暗褐色 (DGYE 5/1)	1mm以下の基底の細胞、光沢 色・黒色透明な部分を含む。 1mm以下の黑色・白色・灰色 の部分と3mm他の白色の 部分を含む。	外観にスル付着 感有り	頭部山根	I				
4	27	b-1	頭部	頭 頭	頭部皮		ヨコナデ	ナデ	表面	に高い密度 (DGYE 7/2)	に高い密度 (DGYE 7/4)	3mm以下の黑色の細胞、 9mm以下の乳白色を含む。黑 色透明で光沢感を含む。	頭部山根		I			
4	28	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ナデ	ナデ	表面	に高い密度 (DGYE 5/4)	に高い密度 (DGYE 5/4)	1mm以下の黑色・白色・ 灰色の部分、薄物の光沢の ある表面感を含む。	外観にスル付着 感有り		I			
4	29	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ヘラ巻き	ナデ	表面	暗褐色 (DGYE 5/4)	淡褐色 (DGYE 5/4)	1mm以下の黒色・白色・ 灰色・黒く光る部分を含む。	頭部山根		I			
4	30	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ヨコナデ	ナデ	表面	暗褐色 (DGYE 5/1)	暗褐色 (DGYE 5/1)	3mm以下の基底の細胞、 5.5mm以下の黑色の部分、 1mm以下の白色を含む。	頭部山根		I			
4	31	(30)	頭部	頭 頭	頭部皮		ナデ	ナデ	表面	に高い密度 (DGYE 5/4)	に高い密度 (DGYE 5/2)	2mm以下の黒く光る部分、 1mm以下の黑色透明な部分と 表面の光沢感を含む。	成膜口端		I			
4	32	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ナデ	ナデ	表面	に高い密度 (DGYE 5/1)	に高い密度 (DGYE 5/1)	3mm以下の黑色の部分、 1mm以下の黒く光る、白色 透明で光沢感を含む。			I			
4	33	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ヘラ巻き	ナデ	表面	暗褐色 (DGYE 5/4)	暗褐色 (DGYE 5/4)	1mm以下の黑色・白色の 部分、0.5mm以下の白色透明で光 る部分を含む。	頭部山根		I			
4	34	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ナデ	ナデ	表面	暗褐色 (DGYE 5/4)	暗褐色 (DGYE 5/4)	2.5mm以下の黑色の部分、1mm 以下の黑色・白色、黑色透明で光 る部分を含む。	頭部山根		I			
4	35	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ヨコナデ	表面	暗褐色 (DGYE 5/2)	暗褐色 (DGYE 5/2)	ごく小さな黑色透明で光る 部分、1mm以下の黒色で光る 部分、1mm以下の黑色・白色 及び黑色の透明感を含む。	頭部山根		I				
4	36	b-1	頭部	頭 頭	頭部皮		後・前方角の ヘラ巻き	ナデ	表面	に高い密度 (DGYE 4/4)	暗褐色 (DGYE 3/2)	3mm以下の基底の細胞、1mm 以下の黑色の部分と表面の 光沢感を含む。			I			
4	37	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		頭・前方角の ヘラ巻き	表面	暗褐色 (DGYE 4/3)	暗褐色 (DGYE 4/3)	1mm以下の黒色の細胞を 含む。L3mm以下の黑色・灰 色・白色の部分を含む。	頭部山根		I				
4	38	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		後・前方角の ヘラ巻き	表面	暗褐色 (DGYE 4/3)	暗褐色 (DGYE 4/3)	2.5mm以下の黑色の部分と 表面の光沢感を含む。	頭部山根		I				
4	39	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		ヨコナデ	表面	に高い密度 (DGYE 5/4)	に高い密度 (DGYE 5/4)	1mm以下の黑色の部分、 0.5mm以下の白色透明で光 る部分を含む。	頭部山根		I				
4	40	b-2	頭部	頭 頭	頭部皮		頭部皮のヘラ 巻き	表面	暗褐色 (DGYE 5/1)	暗褐色 (DGYE 5/1)	1mm以下の黑色の部分と 表面の光沢感を含む。	頭部山根		I				





群 番号	名 称	ダ ラ ン ツ	日 本 名	説 明	大 群		中 群		小 群		基 土	備 考	分類			
					外 部		内 部		外 部							
					外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面						
6	81	b-2	蝶形	口被膜	2条の凹頭文		ヨコナデ	ヨコナデ	直脚	横 (D.SYR 7/6)	に高い-直脚 (D.SYR 6/2)	1.5mm以下の黒色で光る脚と、無 色透明で光る脚、赤褐色の 脚を含む。	道原山群	V		
6	82	b-3	蝶形	口被膜	井筒文				直脚	直脚 (D.SYR 6/0)	直脚 (D.SYR 7/4)	2.5mm以下の黒い脚と1.5mm 以下の赤色の脚と、ごく細か い黒い脚。黒色で光る脚を 含む。		V		
6	83	b-3	蝶形	口被膜	円筒文		ナデ	ナデ	直脚	に高い-直脚 (D.SYR 6/2)	に高い-直脚 (D.SYR 5/6)	黒か-直脚を含む。		V		
6	84	b-3	蝶形	口被膜	円筒文		ヨコナデ	ナデ	直脚	直脚 (D.SYR 5/4)	直脚 (D.SYR 6/4)	0.5mm以下の黒・灰・褐色・黑 くて光る、生活活動で光る脚 を含む。	道原山群	V		
6	85	b-3	蝶形	山被膜			ナデ	ナデ	直脚	に高い-直脚 (D.SYR 6/4)	に高い-直脚 (D.SYR 5/4)	1mm以下の赤褐色の脚を含 む。	内原に鹿度 口被膜ヨコナデ	V		
6	86	b-4	蝶形	口被膜	式筒文		ヨコナデ	ナデ	直脚	略脚 (SYR 3/2)	略脚 (SYR 3/2)	1mm以下の白白色、黒て光 る、黑色透明で光る脚を含む。	道原山群	V		
6	87	b-2	蝶形	山被膜	井筒文				直脚	直脚 (D.SYR 6/0)	に高い-直脚 (D.SYR 7/4)	1mm以下の黒白色、黒て光 る脚を含む。		V		
6	88	b-2	蝶形	口被膜	2条の凹頭文		ヨコナデ	ヨコナデ	直脚	直脚 (D.SYR 6/0)	直脚 (D.SYR 6/2)	直化の為 直脚不規		V		
6	89	b-3	蝶形	口被膜	凸頭文				直脚	直脚 (D.SYR 6/2)	に高い-直脚 (D.SYR 7/4)	1mm以下の黒色で光る脚と 無色透明で光る脚、赤褐色の 脚を含む。	口被膜ヨコナデ 直脚不規	V		
6	90	b-2	蝶形	口被膜	3条の凹頭文				直脚	直脚 (D.SYR 6/0)のハラ 脚キ	直脚	に高い-直脚 (D.SYR 7/3)	1mm以下の黒色で光る脚と 無色透明・青白色の脚 を含む。	門前町ヨコナデ 直脚不規	V	
6	91	b-2	蝶形	口被膜	4条の凹頭文		直化の為 直脚不規	ヨコナデ	直脚	直脚 (D.SYR 6/1)	直脚 (D.SYR 6/2)	0.5mm以下の黒色で光る脚と 無色透明・灰色・褐色の脚 を含む。		V		
6	92	b-2	蝶形	口被膜	新竹文		ナデ	ヨコナデ	直脚	直脚 (SYR 6/0)	直脚 (SYR 6/0)	3 - 5mmの直脚を多量に含 む、赤色・褐色・黑色の脚 を含む。	道原山群	V		
6	93	b-2	蝶形	口被膜	新竹文		ヨコナデ	ナデ	直脚	直脚 (SYR 6/0)	直脚 (SYR 7/6)	1 - 3mmの青白色の直脚を 多く含む、灰色・褐色・黑色 の脚を含む。	道原山群	V		
6	94	b-2	蝶形	口被膜	新竹文		ヨコナデ	ヨコナデ	直脚	に高い-直脚 (D.SYR 6/0)	略脚 (SYR 5/6)	1.5mm以下の黒色の脚と、 1.5mm以下の灰色の脚、1mm 以下の黑色で光る脚を含む。 黒・灰色の脚を含む。		V		
6	95	b-2	蝶形	口被膜	新竹文		ナデ	ヨコナデ	直脚	略脚 (SYR 5/6)	直脚 (SYR 6/0)	5 - 8mmの直脚を含む、 1.5mm以下の黒色の脚と、 1.5mm以下の灰色の脚、1mm 以下の黑色で光る脚を含む。 黒・灰色の脚を含む。	道原山群	V		
6	96	b-2	蝶形	口被膜	文管		ヨコナデ	ヨコナデ	直脚	に高い-直脚 (D.SYR 6/0)	に高い-直脚 (D.SYR 7/4)	2mm以下の黒で光る直脚と 1.5mm以下の黒色透明の脚 を含む。3mm以下の灰色の脚 と2.5mm以下の黑色で光る 脚、黑色・灰色の脚を含む。		V		
6	97	b-2	蝶形	山被膜	新竹文		ナデ	ヨコナデ	直脚	直脚 (SYR 6/0)	直脚 (SYR 6/0)	0.5mm以下の黒で光る直脚 と、1.5mm以下の黒色透明の 脚を含む。3mm以下の灰色の 脚と2.5mm以下の黑色で光 る脚、黑色・灰色の脚を含む。		V		
6	98	b-2	蝶形	口被膜	新竹文		ナデ	直脚 直脚不規	直脚	直脚 (D.SYR 6/0)	直脚 (D.SYR 6/0)	1.5mm以下の黒で光る直脚と 1.5mm以下の黒色透明の脚 を含む。4 - 5mmの黒色の脚 と、2.5mm以下の黑色で光 る脚、黑色・灰色の脚を含 む。		V		
6	99	b-2	蝶形	口被膜	新竹文				直脚	直脚 (SYR 6/0)	直脚 (SYR 6/0)	1.5mm以下の黒で光る直脚と 1.5mm以下の黒色透明の脚 を含む。4 - 5mmの黒色の脚 と、2.5mm以下の黑色で光 る脚、黑色・灰色の脚を含 む。		V		
6	100	b-2	蝶形	口被膜	新竹文				直脚	直脚 (D.SYR 6/0)	直脚 (D.SYR 6/0)	1.5mm以下の黒で光る直脚と 1.5mm以下の黒色透明の脚 を含む。4 - 5mmの黒色の脚 と、2.5mm以下の黑色で光 る脚、黑色・灰色の脚を含 む。	内原に銀葉	V		



回数	植物名	タガ	基種	部分	大きさ		質		色調		新芽	著者	分類			
					外葉		内葉		外葉							
					外 長	内 長	外 幅	内 幅	外 長	内 長						
7-131	b-9	薄葉	白樺						ナゲ	ナゲ	高級	に高い緑 (10YR 5/4)	に高い緑 (SYR 5/4)	1mm以下-2mmの光白色-淡 色-茶色の特徴を含む。		
7-132	b-2	薄葉	山樺						ナゲ	ナゲ	高級	浅緑 (2.5YR 5/4)	浅緑 (2.5Y 5/4)	透明-黑色の光沢のある銀鱗 紋-茶色-黑色の銀鱗紋を含む。		
7-133	a-1	薄葉	白樺						ナゲ	ナゲ	高級	灰青緑 (10YR 6/2)	浅緑 (2.5Y 5/4)	透明-黑色の光沢のある銀鱗 紋-茶色-黑色の銀鱗紋を含 む。		
7-134	a-9	薄葉	山樺						ナゲ	ナゲ	高級	に高い緑 (SYR 5/4)	に高い緑 (SYR 5/4)	乳白色-黑色の銀鱗紋-1mm 以下-2mmの透明-黑色の紋 を含む。		
7-135	b-2	薄葉	白樺						ナゲ	ナゲ	高級	灰青緑 (10YR 6/2)	灰青緑 (10YR 6/2)	1mm以下-2mmの茶色-黑色 の緑-透明-黑色の光沢のあ る銀鱗紋を含む。		
7-136	b-2	薄葉	白樺						ナゲ	ナゲ	高級	高級 (SYR 6/4)	高級 (2.5YR 5/4)	1.5mm以上の茶色も銀鱗紋と 1mm以下の銀鱗紋-透明-黑色 の緑-茶色-黑色-黑色の銀鱗 紋を含む。		
7-137	a-9	薄葉	山樺						丁寧なナゲ	丁寧なナゲ	高級	青 (SYR 6/6) に高い緑 (10YR 5/4)	青 (SYR 5/4)	1mm以下の茶色の緑や銀鱗 紋を含む。		
7-138	b-5	薄葉	白樺						青いロコナゲ ナゲ	ロコナゲ	高級	灰青緑 (10YR 4/2)	に高い緑 (2.5YR 5/4)	2mm以下で最も光沢感の強 い-1mm以下の光色透明の珍 種を多く含む。		
7-139	b-5	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ ナゲ	ロコナゲ ナゲ	高級	青 (SYR 6/6) に高い緑 (2.5YR 5/4)	青 (SYR 5/4)	2-3mmの黄褐色-灰色の 緑-2mm以下の光白色-灰白色 の緑-銀鱗紋を含む。		
7-140	b-2	薄葉	白樺	光澤文					ナゲ	ナゲ	高級	青 (2.5YR 4/4)	青 (2.5YR 3/1)	2mm以下の茶色-黒くも銀鱗 紋-1mm以下の光色透明を含 む。1mm以下の光白色-灰白色 の緑-銀鱗紋を含む。		
7-141	a-2	薄葉	白樺	光澤文					ナゲ	ナゲ	高級	青 (2.5YR 4/4)	青 (2.5YR 5/4)	2mm以下の茶色の緑や銀鱗 紋を含む。		
7-142	a-2	薄葉	白樺	光澤文					ナゲ	ナゲ	高級	青 (2.5YR 4/4)	青 (2.5YR 5/4)	2mm以下の茶色の緑や銀鱗 紋を含む。		
7-143	b-2	薄葉	白樺	光澤文					ナゲ	ナゲ	高級	青 (2.5YR 4/4)	青 (2.5YR 5/4)	2mm以下の茶色の緑や銀鱗 紋を含む。		
7-144	a-1	薄葉	白樺	光澤文					ナゲ	ナゲ	高級	青 (2.5YR 4/4)	青 (2.5YR 5/4)	2mm以下の茶色の緑や銀鱗 紋を含む。		
7-145	b-2	薄葉	白樺	光澤文					ナゲ	ナゲ	高級	青 (2.5YR 4/4)	青 (2.5YR 5/4)	2mm以下の茶色の緑や銀鱗 紋を含む。		
7-146	a-2	薄葉	白樺	光澤文					ナゲ	ナゲ	高級	青 (2.5YR 4/4)	青 (2.5YR 5/4)	2mm以下の茶色の緑や銀鱗 紋を含む。		
7-147	a-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	灰青緑 (10YR 6/2)	高級 (2.5Y 5/1)	0.5mm以下の光白色-灰-茶色 の銀鱗紋を含む。		
7-148	b-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	に高い緑 (SYR 6/4)	に高い緑 (SYR 6/4)	1.5mm以下の茶色で黒くも銀 鱗紋-1mm以下の光色透明の珍 種を含む。		
7-149	a-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	に高い緑 (10YR 5/2)	に高い緑 (2.5Y 6/4)	1mm以下の茶色-黒くも銀 鱗紋-1mm以下の光色透明の珍 種を含む。		
7-150	b-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	に高い緑 (2.5Y 6/4)	高級 (2.5Y 5/4)	1mm以下の茶色-黒くも銀 鱗紋-1mm以下の光色透明の珍 種を含む。		
7-151	a-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	に高い緑 (10YR 5/2)	に高い緑 (2.5Y 6/4)	1mm以下の茶色-黒くも銀 鱗紋-1mm以下の光色透明の珍 種を含む。		
7-152	b-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	に高い緑 (2.5Y 6/4)	高級 (2.5Y 5/4)	1mm以下の茶色-黒くも銀 鱗紋-1mm以下の光色透明の珍 種を含む。		
7-153	a-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	に高い緑 (2.5Y 6/4)	高級 (2.5Y 5/4)	1mm以下の茶色-黒くも銀 鱗紋-1mm以下の光色透明の珍 種を含む。		
7-154	b-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	に高い緑 (2.5Y 6/4)	高級 (2.5Y 5/4)	0.5-1mmの茶色の緑-深褐色- 茶色透明で黒くも銀鱗紋を含 む。		
7-155	a-2	薄葉	白樺	光澤文					ロコナゲ	ロコナゲ	高級	に高い緑 (10YR 5/2)	高級 (2.5Y 5/4)	0.5-1mmの茶色の緑-深褐色- 茶色透明で黒くも銀鱗紋を含 む。		

試験 番号	動物 番号	アリ アフ	部種	部位	大 様		周 間		色 調		地 点	備 考	分類
					外 部	内 部	外 部	内 部	頭 部	身 体			
7	342	b-4	深林 樹 葉				ナゲ	ナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 8/4)	1. 1mm以下の枝の葉に、赤褐色の斑紋を含む。2. 1mm以下の葉の葉肉色。葉裏色。白色の斑點を含む。		
7	343	b-3	深林 樹 葉	近縁文 葉表面			ナゲ	ナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 6/4)	0.5~2mmの淡紫色・赤褐色。葉裏色を含む。		
7	344	b-3	深林 樹 葉	近縁文 葉表面			ナゲ	ナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 6/4)	0.5mm以下の葉の葉肉色。葉裏色が赤褐色で、葉裏の斑點を含む。	内面に黑色物 付着	
7	345	a-1	深林 樹 葉	近縁文 葉表面			ナゲ	ナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 3/3)	2mm以下の葉の葉肉色。葉裏色。薄く赤褐色を含む。		
7	346	b-4	深林 樹 葉	近縁文 葉表面			極・前方内の ヘラ部分	極・前方内の ヘラ部分	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 3/3)	1. 1mm以下の枝の葉に、赤褐色の斑紋を含む。2. 1mm以下の葉の葉肉色。葉裏色。葉裏の斑點を含む。		
7	348	346a	深林 樹 葉	近縁文 葉表面			ナゲ	ナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 3/3)	0.5mm以下の葉肉色。薄く赤褐色を含む。		
7	347	b-2	浅林 樹葉	浅い近縁文			極・前方内の ヘラ部分 丁寧なコロナゲ	ヨコナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 3/3)	2mmの葉の葉肉色。葉裏色。葉裏の斑點を含む。		1
7	348	b-2	浅林 樹葉	近縁文			ヨコナゲ	ヨコナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 5/4)	1~2mm以下の葉の葉肉色。葉裏色。葉裏の斑點を含む。		1
7	349	a-2	浅林 樹葉	近縁文			極・前方の部分	極・前方の部分	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 4/4)	赤褐色。黒色の斑點を含む。	内面に黒斑 付着	1
8	350	a-2	深林 樹葉	深い近縁文			後方内のヘラ部分	後方内のヘラ部分	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 5/4)	ごく薄からぬ白・淡黃・黄色の部分。3mm程の葉肉色の部分。	外側に黒斑	1
8	351	b-2	深林 樹葉	深い近縁文			後方内の丁寧な ナゲ	後方内の丁寧な ナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4) 褐色 (2.5Y 6/4)	赤褐色 (2.5Y 5/4)	1mm程の葉肉色に赤褐色を含む。2mm以上の葉肉色の部分。	外側に黒斑	1
8	352	b-1	浅林 樹葉	近縁文			後方内の丁寧な ナゲ	ヨコナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 6/4)	1mmの葉の葉肉色の部分を含む。		1
8	353	b-2	浅林 樹葉	近縁文			極・前方の丁寧な ナゲ	後方内の丁寧な ナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 6/4)	1mmの葉の葉肉色の部分を含む。		1
8	354	b-2	浅林 樹葉	近縁文			後方内の丁寧な ナゲ	ヨコナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 6/4)	1mmの葉の葉肉色の部分を含む。		1
8	355	b-2	浅林 樹葉	近縁文			後方内のヘラ 部分	後方内のヘラ 部分	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 6/4)	1mm以下の葉の葉肉色の部分を含む。	成虫山跡	1
8	356	b-2	浅林 樹葉	近縁文			後方内のヘラ 部分	後方内のヘラ 部分	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 6/4)	1mm以下の葉の葉肉色の部分を含む。	成虫山跡	1
8	357	b-2	浅林 樹葉	近縁文			後方内のヘラ 部分	ヨコナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 7/4)	1mm以下の葉の葉肉色の部分を含む。		1
8	358	b-2	浅林 樹葉	近縁文			後方内のヘラ 部分	ヨコナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 7/4)	1mm以下の葉の葉肉色の部分を含む。	成虫山跡	1
8	359	b-2	浅林 樹葉	近縁文			後方内のヘラ 部分	ヨコナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 7/4)	1mm以下の葉の葉肉色の部分を含む。	成虫山跡	1
8	360	b-2	浅林 樹葉	近縁文			後方内のヘラ 部分	ヨコナゲ	黄褐色 (2.5Y 8/4)	赤褐色 (2.5Y 7/4)	1mm以下の葉の葉肉色の部分を含む。	成虫山跡	1

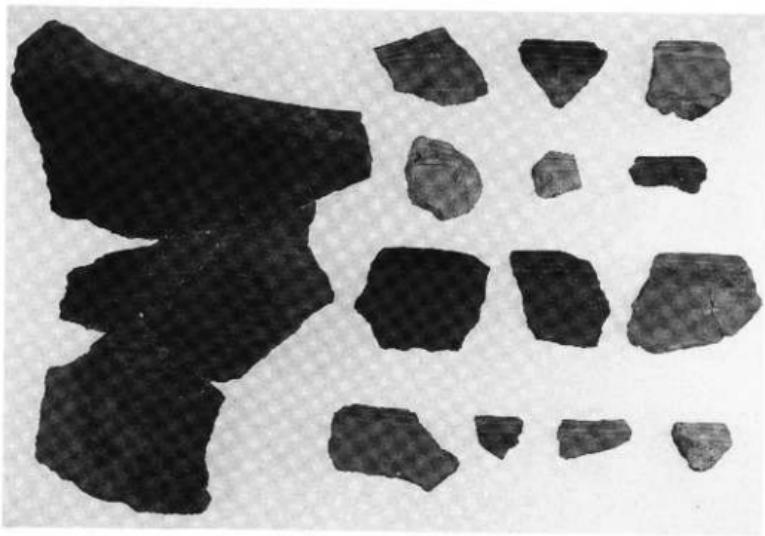
回数	動物	グリ	群種	群組	大 熊		周 遊		通 路		海 生	備 考	分類	
					外 山	内 山	外 山	内 山	通路	外 山	内 山			
8	161	Se-3	浅海	礁 砂			ヘラ骨キ	ヘラ骨キ	通路	底泥 (0.5m 4/1) に底泥・骨骼 (0.5m 5/1)	底泥 (0.5m 4/1)	3m以下の褐色と1m以下の 白い砂地と0.5m以下の光る砂 地の複合を含む。		
9	162	b-4	浅海	礁 砂			ヨコナメ	ヨコナメ	底泥	に底泥 (0.5m 6/2)	に底泥 (0.5m 6/2)	1m以下の黄褐色と白色透明 の砂地を含む。		
8	163	a-2	浅海	礁 砂			礁石地のヘラ骨キ	礁石地のヘラ骨キ	底泥	1.5m-2.0m (0.5m 7/2)	1.5m-2.0m (0.5m 7/2)	0.5m以下の黄褐色透明な砂地と 1m以下の褐色と灰色の砂地を含む。		
8	164	b-3	浅海	礁 砂			ヘラ骨キ	ヘラ骨キ	底泥	礁石 (0.5m 5/1) に底泥 (0.5m 6/2)	礁石 (0.5m 5/1) に底泥 (0.5m 6/2)	2.5m以下の黒く光る砂地と 1m以下の白い砂地を含む。		
8	165	b-2	浅海	礁 砂			礁石地のヘラ骨キ	礁石地のヘラ骨キ	底泥	礁石 (0.5m 3/1)	礁石 (0.5m 3/1)	0.5m以下の黒色の礁石地、礁 石を含む透明な砂地を含む。		
8	166	b-4	浅海	礁 砂			礁石地のヘラ骨キ	礁石地のヘラ骨キ	底泥	礁石 (0.5m 7/2)	礁石 (0.5m 7/2)	1m以下の白い礁石地の砂地、礁 石を含む透明な砂地を含む。		
8	167	b-4	浅海	門形礁	沈没木		礁石地のヘラ骨キ	礁石地のヘラ骨キ	底泥	礁石 (0.5m 7/2)	礁石 (0.5m 7/2)	1m以下の白い礁石地の砂地、礁 石を含む透明な砂地を含む。		
8	168	b-3	浅海	門形礁	沈没木		礁石地のヘラ骨キ	ヨコナメ 礁石地のヘラ骨キ	底泥	礁石 (0.5m 3/2)	礁石 (0.5m 3/2)	2.5m以下の黒い砂地と 1m以下の白い砂地を含む。		
8	169	b-2	浅海	門形礁	沈没木		礁石地のヘラ骨キ	礁石地のヘラ骨キ	底泥	礁石 (0.5m 1/2)	礁石 (0.5m 1/2)	0.5m以下の黒い砂地と 1m以下の白い砂地を含む。		
8	170	b-3 b-4 b-5	浅海	門形礁	沈没木		ヘラ骨キ	ヨコナメヨコナメ	底泥	礁石 (0.5m 4/1)	礁石 (0.5m 4/1)	0.5m以下の褐色と光る砂地、 褐色透明な砂地を含む。		
8	171	b-2	浅海	門形礁	沈没木		礁石地のヘラ骨キ	礁石地のヘラ骨キ	底泥	礁石 (0.5m 5/2)	礁石 (0.5m 5/2)	0.5m以下の黒い砂地と 1m以下の白い砂地を含む。		
8	172	b-3	浅海	門形礁	沈没木		礁石地のヘラ骨キ	礁石地のヘラ骨キ	底泥	に底泥 (0.5m 6/2)	に底泥 (0.5m 6/2)	1m以下の白い砂地、褐色と 灰褐色の礁石地の砂地を含む。	西側に黒礁	
8	173	b-2	浅海	門形礁	沈没木		ヨコナメ	ヨコナメ	底泥	礁石 (0.5m 8/4)	礁石 (0.5m 8/4)	1.5m以下の礁石地の砂地と 1.5m以下の褐色と光る砂地を含 む。	西側に黒礁	
8	174	b-2	浅海	門形礁	沈没木		礁石地のヘラ骨キ	ヨコナメ ヘラ ナメ	底泥	礁石 (0.5m 7/4)	礁石 (0.5m 7/4)	1.5m以下の白い砂地、褐色と 灰褐色の礁石地の砂地を含む。	浅波冲縄	
9	175	b-3	浅海	門形礁	沈没木		ヨコナメ ナメ	ナメ	底泥	に底泥 (0.5m 3/4)	底泥 (0.5m 3/4)	1.5m以下の礁石地の砂地と 1.5m以下の褐色と光る砂地を含 む。		
9	176	b-2	浅海	門形礁	沈没木		礁石地のヘラ骨キ	礁石地のヘラ骨キ	底泥	礁石 (0.5m 7/2)	礁石 (0.5m 7/2)	2.5m以下の褐色と光る砂地と 1.5m以下の白い砂地を含む。		
9	177	b-3	浅海	門形礁	沈没木		ナメ	ナメ	底泥	に底泥 (0.5m 6/4)	に底泥 (0.5m 6/4)	1.5m以下の褐色と光る砂地と 1.5m以下の褐色と光る砂地を含 む。		
9	178	b-2	浅海	門形礁	沈没木		ナメ	ナメ	底泥	に底泥 (0.5m 3/1)	底泥 (0.5m 3/1)	1m以下の褐色と光る砂地を含 む。1.5m以下の白い砂地、 黄褐色の礁石地の砂地を含む。		
9	179	b-1	浅海	門形礁	沈没木		ナメ	ナメ	底泥	に底泥 (0.5m 8/2)	に底泥 (0.5m 8/2)	2.5m以下の褐色と光る砂地と 1.5m以下の白い砂地を含む。1.5m 以下の褐色の礁石地の砂地を含む。		
9	180	b-2	浅海	門形礁	沈没木		ヨコナメ	ヨコナメ ナメ	底泥	に底泥 (0.5m 6/6)	に底泥 (0.5m 6/4)	3m以下の褐色の砂地、3m 以下の黒く光る砂地を含む。	黒礁-ナメ	

回数 番号	測定 部位 番号	ダリ ヤツ	基準 番号	天 然		真 理		端底	毛 理		新 上		目 考	分類	
				外 面	内 面	外 面	内 面		外 面	内 面	外 面	内 面			
3 181 b-1	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ ヘラ骨中	丁寧なナゲ ヘラ骨中	良好	浅黄色 (DYY 5/4)	浅黄色 (DYY 6/2)			1.5mm以下の骨柱で黒く光る部分 と、1mm以下の黄色を帯びた部分 と、1.5mm以上の黄色を帯 びた、黒褐色の部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 182 b-2	脚部 基部	脚部 基部				ヨコナゲ ナゲ	ヘラ骨キ ナゲ	良好	淡青 (DYY 7/3)	淡青 (DYY 8/1)			1.5mm以下の骨柱で黒く光る部分 と、1mm以下の黄色を帯びた部分 と、1.5mm以上の黄色を帯 びた、黒褐色の部分を含む。	背面にスズ付着	
3 183 b-2	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	脚口方向の 足根末底 ナゲ	良好	碧青 (DYY 5/6)	碧青 (DYY 5/6)			2-3mmの骨柱の先と骨柱の間 の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上の 黄色の部分と、1.5mm以上の 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 184 b-2	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	灰青 に淡い黄 (DYY 6/4)	灰青 に淡い黄 (DYY 6/4)			2-3mmの骨柱の先と骨柱の間 の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上の 黄色の部分と、1.5mm以上の 黄色を帯びた部分を含む。	内面にスズ付着	
3 185 181/15	脚部 基部	脚部 基部				軽なヨコナゲ	ナゲ	良好	淡青 に淡い黄 (DYY 7/4) に淡い黄 (DYY 6/4)	碧青 に淡い黄 (DYY 6/2)			2-3mmの骨柱の先と骨柱の間 の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上の 黄色の部分と、1.5mm以上の 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 186 b-3	脚部 基部	脚部 基部				ヨコナゲ ナゲ	ナゲ	良好	碧青 (DYY 7/3)	碧青 (DYY 6/3)			2-3mmの骨柱の先と骨柱の間 の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上の 黄色の部分と、1.5mm以上の 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 187 b-1	脚部 基部	脚部 基部				ヨコナゲ ナゲ	ナゲ	良好	碧青 (DYY 7/3)	碧青 (DYY 6/3)			2-3mmの骨柱の先と骨柱の間 の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上の 黄色の部分と、1.5mm以上の 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 188 b-1	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ ヨコナゲ	ナゲ	良好	灰青 に淡い黄 (DYY 6/4)	灰青 に淡い黄 (DYY 6/3)			1mm以下の骨柱で黒く光る部分 と、1mm以下の骨柱で透明な部分 と、1.5-2mmの黄色の部 分と、1.5-2mmの黄色の部 分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 189 b-2	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	碧青 (DYY 5/6)	碧青 (DYY 5/6)			1mm以下の骨柱で黒く光る部分 と、1mm以下の骨柱で透明な部分 と、1.5-2mmの黄色の部 分と、1.5-2mmの黄色の部 分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 190 b-3	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	碧青 (DYY 5/6)	碧青 (DYY 5/6)			1-2mmの骨柱の先と骨柱の 間の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上的 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 191 b-3	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	碧青 に淡い黄 (DYY 6/4)	碧青 に淡い黄 (DYY 6/3)			0.5-1-2mmの灰色の部分と、 1.5mm以下の骨柱で透明な部分 と、1.5-2mmの黄色の部 分と、1.5-2mmの黄色的 透明な部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 192 b-2	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	碧青 (DYY 5/6)	碧青 (DYY 5/6)			1-2mmの骨柱の先と骨柱の 間の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上的 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 193 b-2	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	碧青 に淡い黄 (DYY 6/4)	碧青 に淡い黄 (DYY 6/3)			2-3mmの骨柱の先と骨柱の 間の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上的 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 194 b-3	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	碧青 (DYY 7/3)	碧青 (DYY 7/3)			1-2mmの骨柱の先と骨柱の 間の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上的 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 195 b-2	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	碧青 に淡い黄 (DYY 6/4)	碧青 に淡い黄 (DYY 6/3)			1-2mmの骨柱の先と骨柱の 間の骨柱で、1mm以下の黄色を 帯びた部分と、1.5mm以上的 黄色を帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 196 b-4	脚部 基部	脚部 基部				ナゲ	ナゲ	良好	碧青 (DYY 4/3)	碧青 (DYY 4/3)			1mm以下の骨柱で黒く光る部分 と、1mm以下の骨柱で透明な部分 と、1.5mm以上的黄色を 帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 197 b-3	脚部 基部	脚部 基部				ヨコナゲ	ナゲ	良好	碧青 に淡い黄 (DYY 6/4)	碧青 に淡い黄 (DYY 7/3)			1mm以下の骨柱で黒く光る部分 と、1mm以下の骨柱で透明な部分 と、1.5mm以上的黄色を 帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	
3 198 b-1	脚部 基部	脚部 基部	基部文			ヨコナゲ 軽力向のナゲ	ナゲ 軽力向のナゲ	良好	碧青 (DYY 5/4)	碧青 (DYY 5/3)			1.5mm以下の骨柱で黒く光る部分 と、1mm以下の骨柱で透明な部分 と、1.5mm以上的黄色を 帯びた部分を含む。	内面に濃化物 付着	

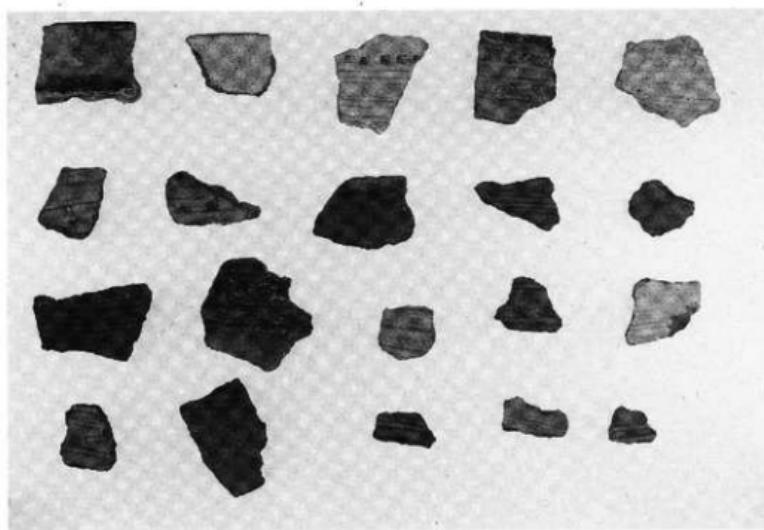
# 図版



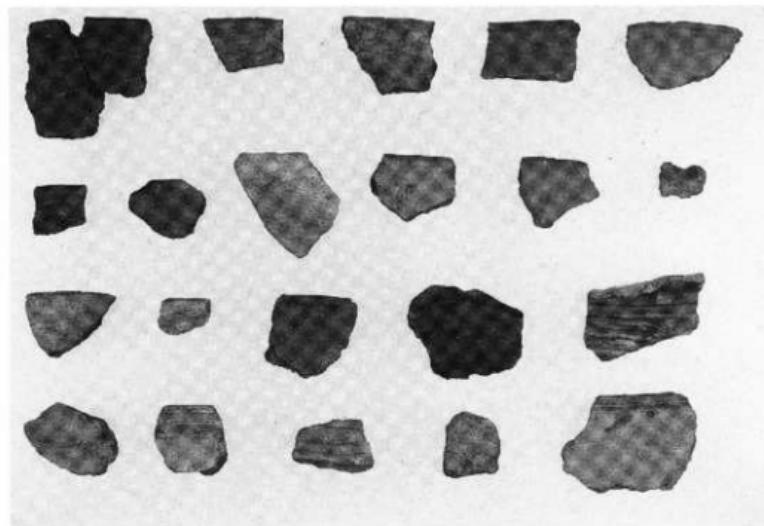
A地区全景



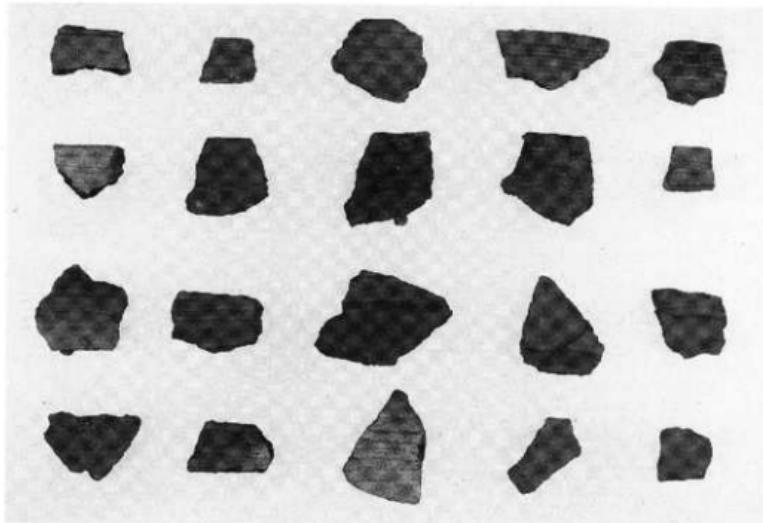
A地区出土绳文土器Ⅰ類（1～14）



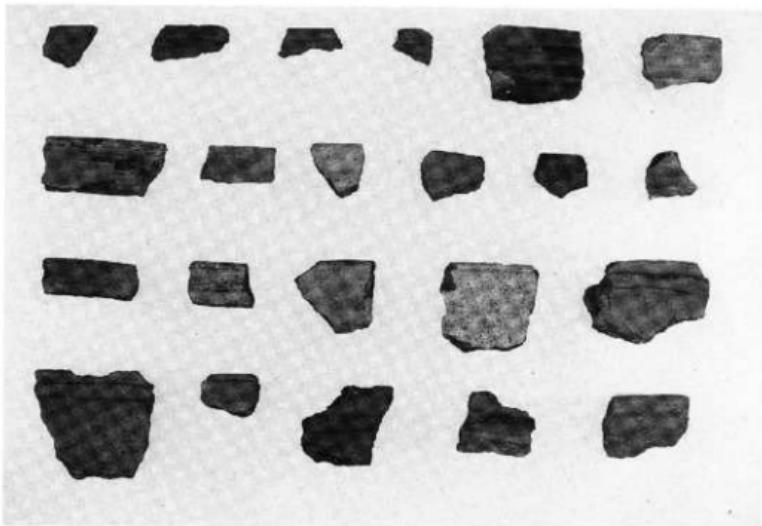
A地区出土縄文土器Ⅰ類（15～34）



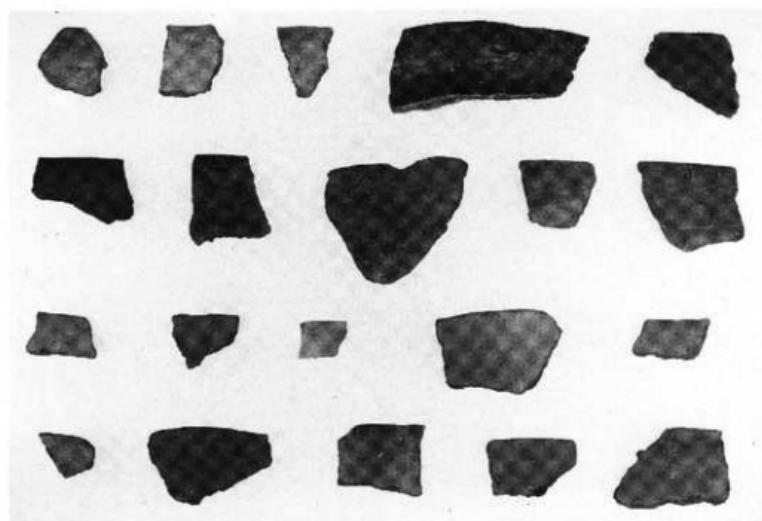
A地区出土縄文土器Ⅱ類（35～49）・Ⅲ類（52～55）



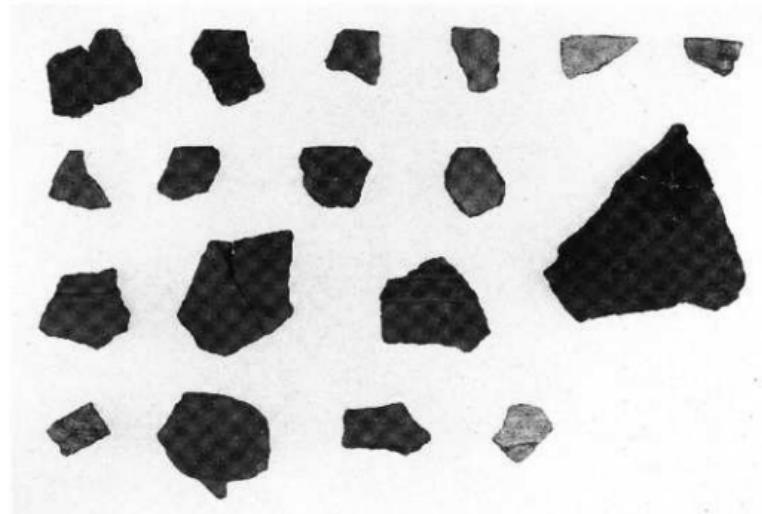
A地区出土縄文土器III類（56～60）・IV類（61～75）



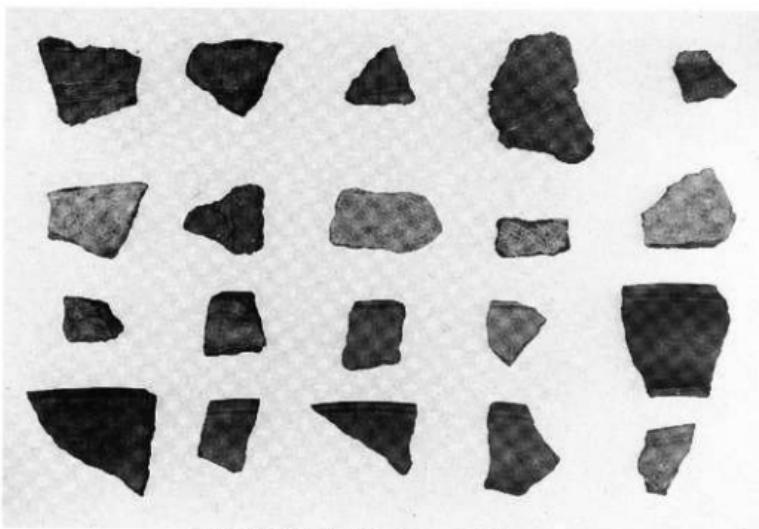
A地区出土縄文土器IV類（76～79）・V類（80～91）・VI類（92～97）



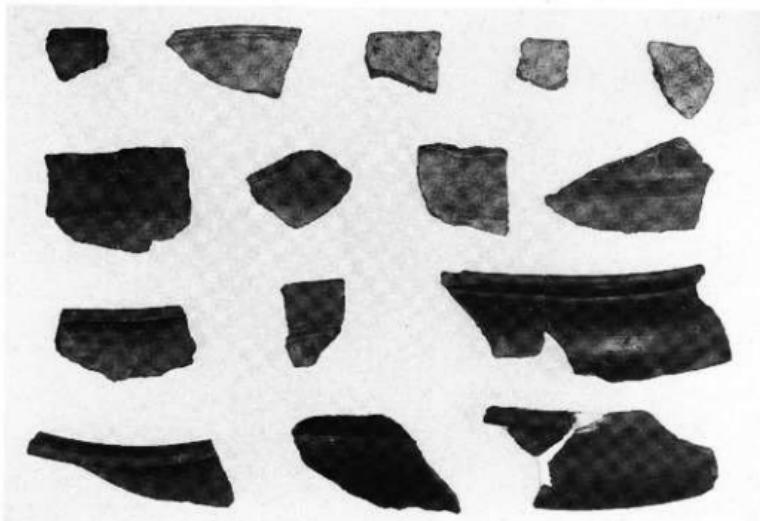
A地区出土繩文土器VI類 (98) · VII類 (99~117)



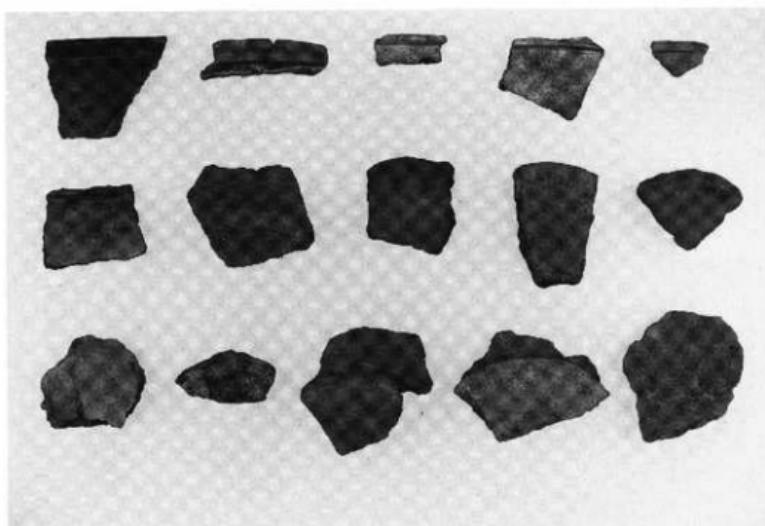
A地区出土繩文土器VII類 (118~127) · (128~135)



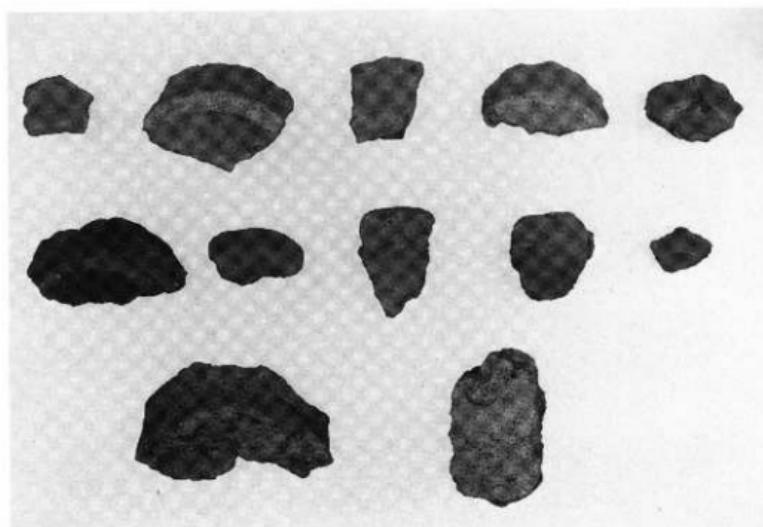
A地区出土繩文土器 (136~146) • I類 (147~155)



A地区出土繩文土器 I類 (156~157) • II類 (158~160) • III類 (166)  
IV類 (167~170)



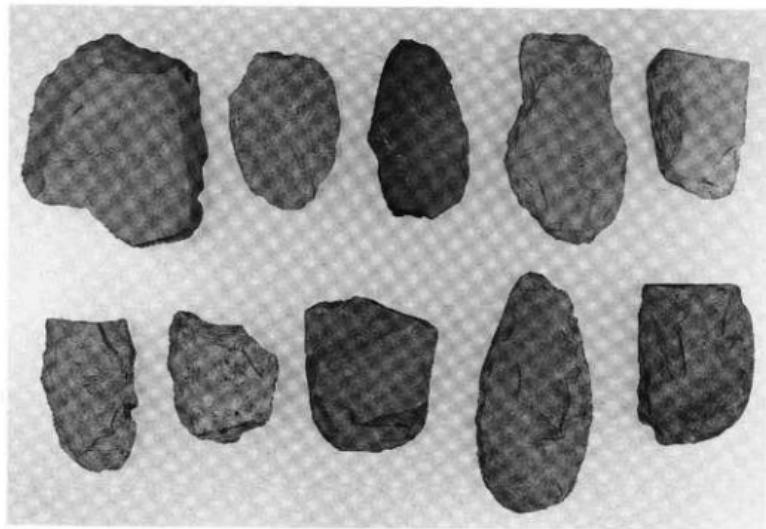
A地区出土繩文土器IV類（171～176）・底部（177～186）



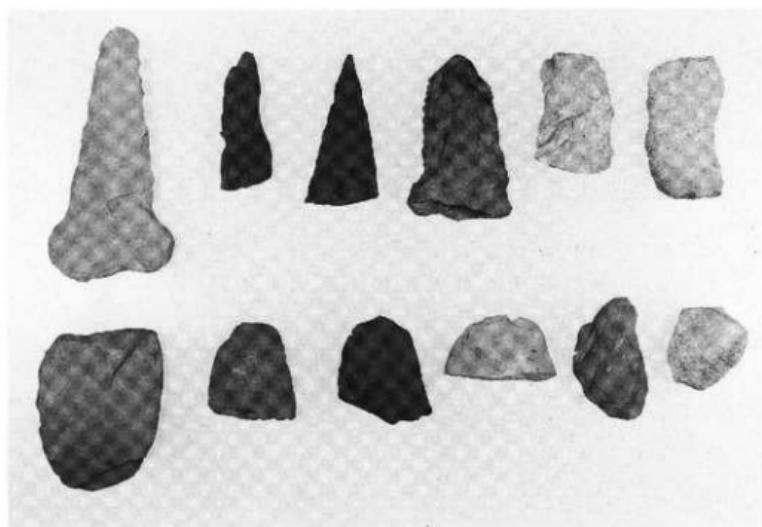
A地区出土繩文土器底部（187～197）・脚台付鉢（198）



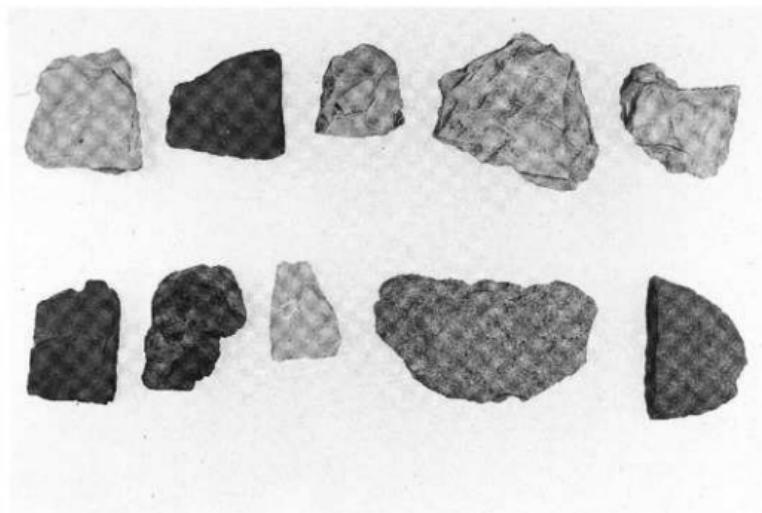
A地区出土打製石鎌



A地区出土扁打製石斧



A 地區出土扁平打製石斧



A 地區出土扁平打製石斧・石庖丁形石器

## **第Ⅳ章 宮ノ前第2遺跡B地区**

## 第IV章 宮ノ原前第2遺跡B地区

### 第1節 調査区の設定と遺跡の概要

宮ノ原第2遺跡は行政区では高千穂町大字三田井字宮ノ前であり、五ヶ瀬川を南に臨む標高330mの丘陵の斜面に位置する。当遺跡の東約300mには土偶・石棒・石刀が出土した陣内第2遺跡があり、昭和63年5月9日～7月15日に高千穂バイパス工事に伴う発掘調査が行われた吾平原第1遺跡では、縄文時代後・晩期の土器・打製石器、弥生時代中・後期の土器・磨製石器が出土した。

高千穂バイパス工事の2度目の調査として平成元年5月8日～8月4日に一次調査が、10月11日～11月2日に二次調査が行われた。B地区は一・二次調査で行われた。

A地区は丘陵の南斜面（標高355m）に位置し、400m<sup>2</sup>を発掘調査した結果、縄文時代後期後半・晩期前半の土器と共に打製石斧・打製石器、弥生時代後期の磨製石器が出土した。地形が斜面であるために堅穴住居などの遺構は営まれていない。

B-1区は丘陵の西斜面（標高338m）に位置し、300m<sup>2</sup>を発掘調査した結果、弥生時代後期後半の土器・磨製石器、古墳時代後期の須恵器・土師器が出土した。また古墳時代後期の堅穴住居が1軒検出され、一辺6mの方形プランの住居です。堅穴住居からⅢ期の須恵器が出土しているので6世紀中頃の時期である。

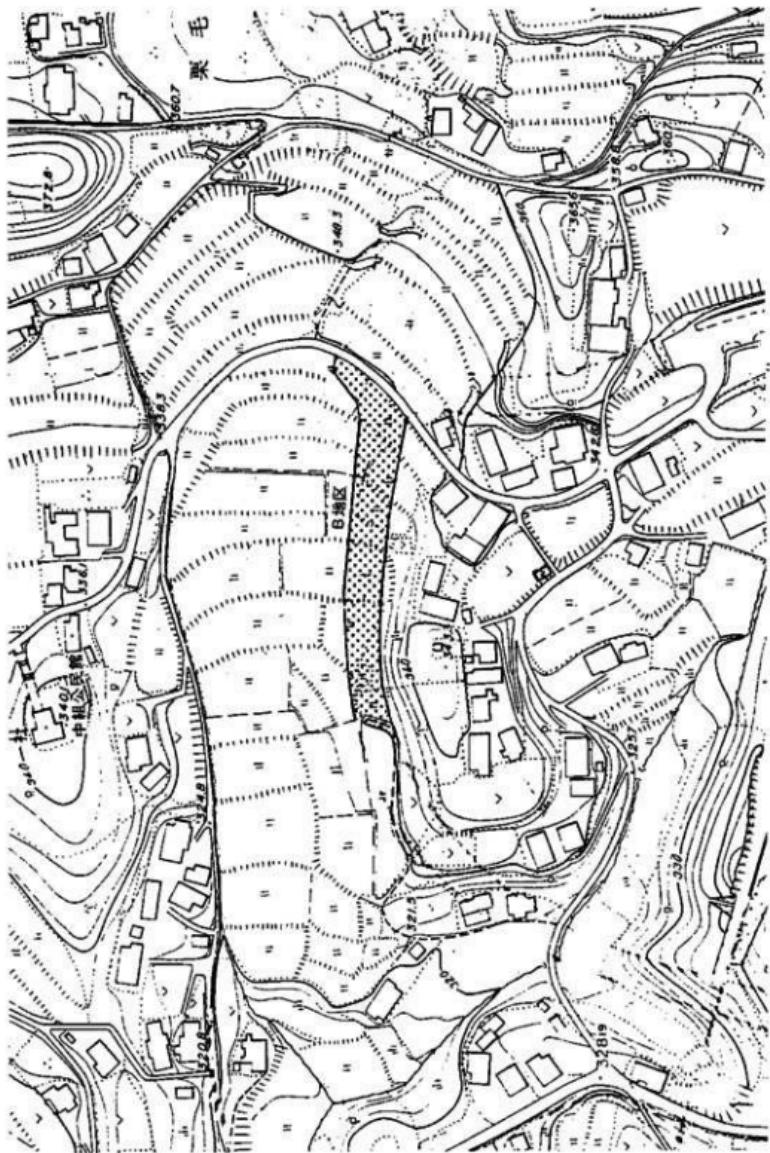
B-2～5区は丘陵の北斜面（標高333～334m）に位置し、2800m<sup>2</sup>を発掘調査した結果、弥生時代の住居が7軒、古墳時代の住居が7軒検出されると伴に縄文時代後・晩期の土器・打製石斧・打製石器、古墳時代後期の須恵器・土師器などが出土した。特に10号住居は弥生時代後期初頭の住居で、石庖丁と共に豊後系統・肥後系統の土器が出土すると共に、埋土から刺片尖頭器が出土した。2号住居は古墳時代初頭の堅穴住居で規模は一辺7mの方形プランで、布留式土器の甕が出土した。

### 第2節 包含層の状態

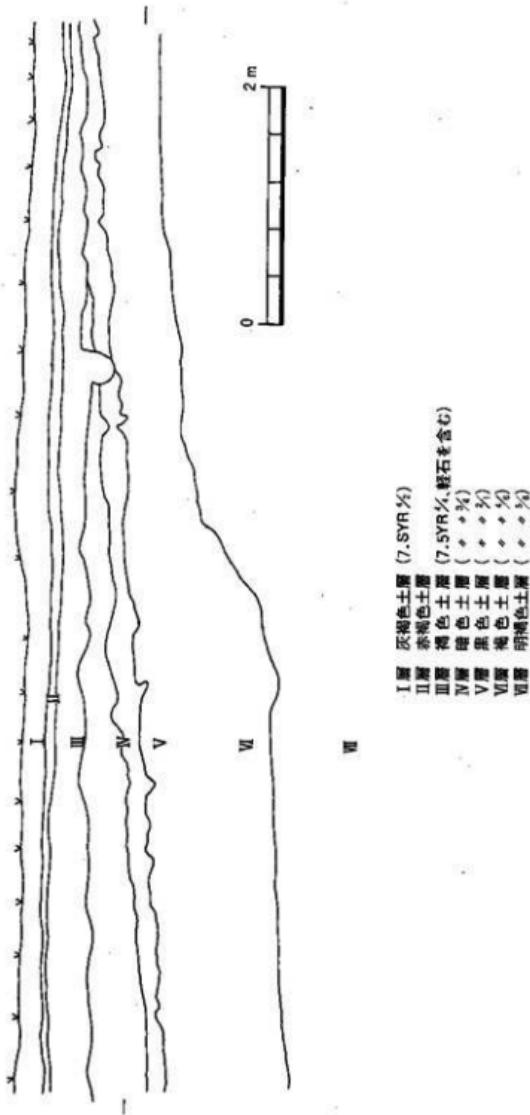
当地区は北側に傾斜する斜面地を段々の水田として地形を改変しているので、アカホヤ層は南側の高い部分で一部残存していた。

B-2区の東西壁面の層序は、第I層が灰褐色土層（Hue7.5YR 4/2・表土）、第II層が褐色土層（々々4/4）、第III層が褐色土層（々々4/4・軽石を若干含む）、第IV層が暗褐色土層（々々3/4）、第V層が黒色土層（々々2/2）、第VI層が褐色土層（々々4/6）、第VII層が明褐色土層（々々5/8）である（第2図）。遺物は第V層の黒色土層から出土している。

第1図 宮ノ前第2建設地区周辺地形図 (S=1/2500)



第2图 日地区土壤断面图



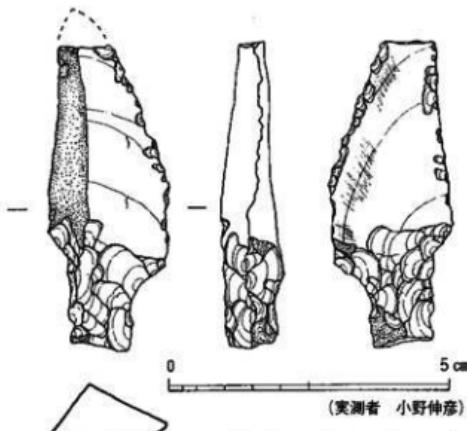
### 第3節 旧石器時代の遺構と遺物

旧石器時代の遺構は検出されなかったが、10号住居の埋土から剥片尖頭器が1点出土した。

#### (1) 遺物

##### 剥片尖頭器（第3図）

小型の黒曜石製の剥片尖頭器である。最大長5.45cm、最大幅2.21cm、重量9.95gを測る。先端部が欠損している。縦長剥片を素材として基部に両側縁からネガ・ポジ両面にプランティングを加えて茎を作出している。ポジ面と基部の末端部に自然面を残している。刃部に使用痕が顕著に見られる。石材は漆黒で透明度の低い良質の黒曜石を用いている。これは現在阿蘇産の黒曜石と考えられているものに相当する。（長友郁子）



第3図 剥片尖頭器実測図 ( $S=1/2$ )

（実測者 小野伸彦）

### 第4節 縄文時代の遺構と遺物

調査地が斜面地であるので縄文時代の遺構は検出されなかったが、包含層から縄文時代後期・晩期の土器が出土した。

#### (1) 縄文土器（第4～8図）

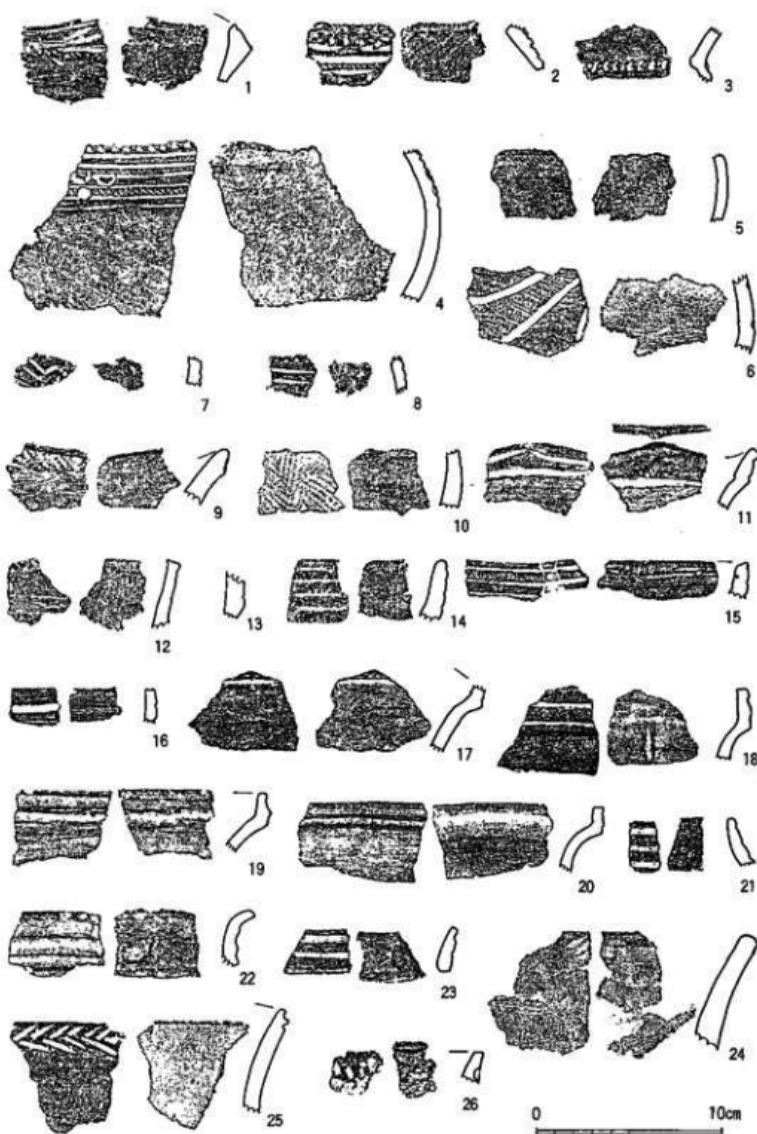
縄文土器は調査区の北部のB-2区から集中して出土している。

当遺跡から出土した縄文土器は深鉢形土器の口縁部形態や文様、その他の特徴をもとに説明し、次に浅鉢・底部・脚台付鉢の順に説明する。分類は第3章のA地区の縄文土器分類を基本とする。

##### I類（第4図1～10）

口縁部はくの字状を呈し、頸部はわずかに反転しながらしまり、頸部との境で屈曲し、球形の胴部となる。口縁部は磨消縄文・2～3本の沈線・刺突文で構成される。頸部は無文で、頸部と胴部の境に連続刺突文を入れる。胴部上位の文様は4～5本の沈線と磨消縄文によって構成され、下位は無文である。施文部以外は丁寧な横方向のヘラ磨きを施した精製土器である。水平口縁のa類と波状口縁のb類に分かれる。波状口縁の頂部にはV字形・U字形の刻み目を入れる。従来、西平式土器・磨消縄文系三万田式土器と呼ばれた一群である。

1は唯一の口縁部で、波状口縁部には擬似縄文・3本の沈線で構成されている。2の頸部と胴部の境には沈線の上から連続刺突文を施している。4本の沈線の上下に磨消縄文を施している。



第4図 B地区出土縄文土器実測図(I) 1~26

3の頸部は無文で、頸部と胴部の境には連続刺突文を施している。4は緩やかに内湾する胴部上半分で、連続刺突文の下位に6本の沈線間に磨消繩文を施している。内外面ともヘラ磨きを施している。5～8は沈線と磨消繩文の胴部片である。9は波状口縁部に磨消繩文のみを施している。10は繩文のみの胴部片である。西平Ⅲ期に相当する。

## II類 (第5図39～46)

口縁部内面の一条の沈線以外は無文で、横方面のヘラ磨きを施す。水平口縁のa類と波状口縁のb類に分かれる。所謂三万田式土器の一群である。

40は口唇部を平坦に仕上げ、内面に一条の沈線を施している。他は口唇部を丸く仕上げている。44～46は緩やかに伸びる頸部から胴部にかけての破片である。三万田Ⅰ期に相当する。

## III期 (第4図11)

11は口縁部が外傾し、波状口縁部の頂部を押圧し、外面に2条の凹線を施している。胴部最大径の上位に一条の凹線を施す。横方向のヘラ磨きを施す。所謂御領式土器の一群である。

## IV類 (第4図12～17)

口縁部に3本以上の沈線を施す。横方向のヘラナデを施す。III類より施文幅は長い。

12・14は細い沈線を施している。口唇部は14が丸いのに対して、他は平坦に仕上げている。口縁部と頸部の境は13のように緩やかに屈曲するものと17のように段状を呈するものがある。

## V類 (第4図18～23)

内傾する口縁部に幅広の2～3本の凹線を施す。御領式。

18～20は短い施文部に2本の凹線を施し、口唇部は19が丸いのに対して、18・20は平坦か凹気味に仕上げている。22は2本の凹線の上で大きく口縁部が外反する。

## VI類 (第5図47～52・第6図53～61)

外傾する口縁部の外面に一条の刻み目のない突帯文土器と刻み目のある突帯文土器に分かれる。

50・51は断面三角形で高めの突帯であるのに対し、56～59は断面幅広三角形で低目の突帯である。60は口唇部に1条の凹線を施して、突帯風にしている。61のみが低い断面三角形突帯に刻み目を有する。

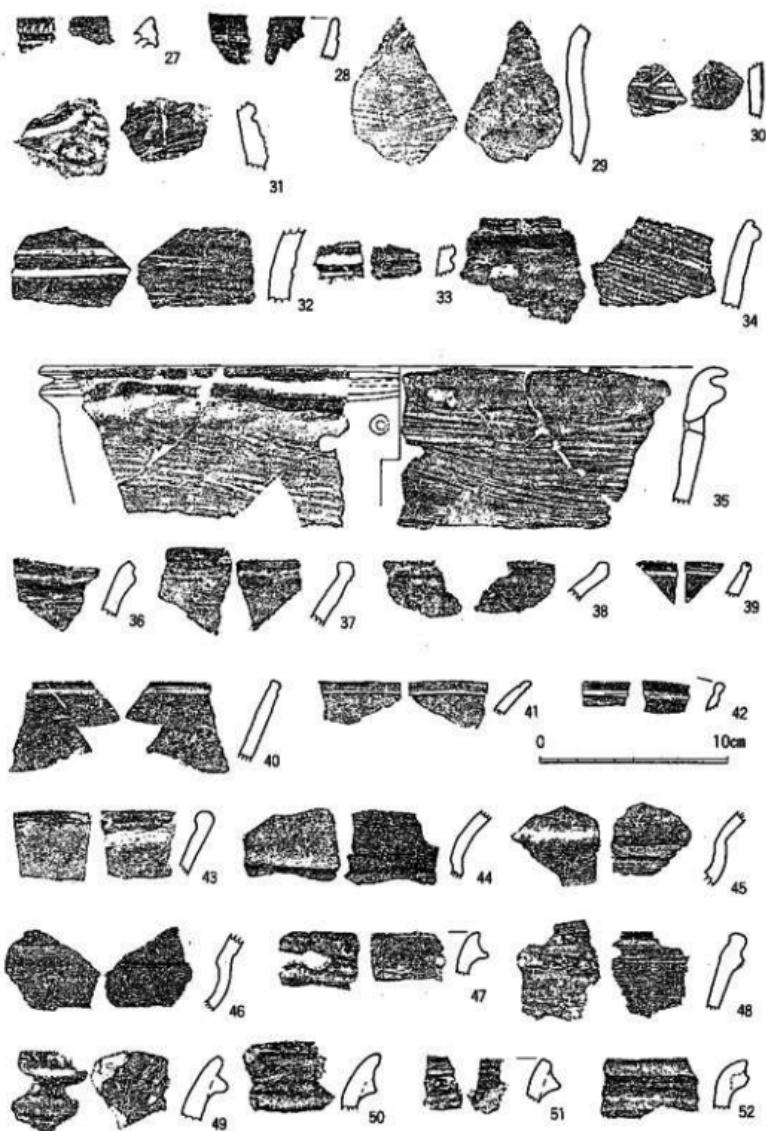
## VII類 (第6図62～73・第7図74～76)

無文の土器群である。

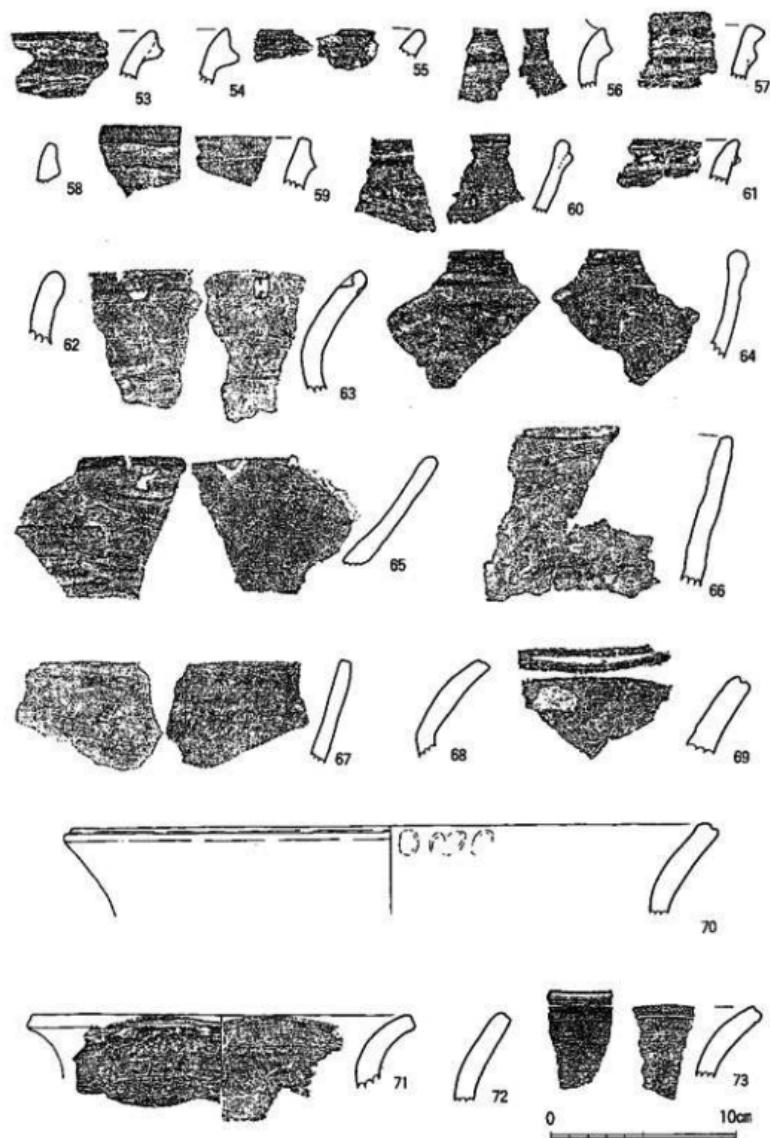
63は口縁部が大きく外反し、口縁部の内側から刺突を施している。64は口唇部のところで大きく丸く膨らんでいる。68～70は口唇部に1本の沈線を施している。66・67は口唇部が平坦に仕上げている。71・75が緩やかに外反するのに対して、その他の口縁部はほぼ直線的に外反している。

## その他 (第1・2図)

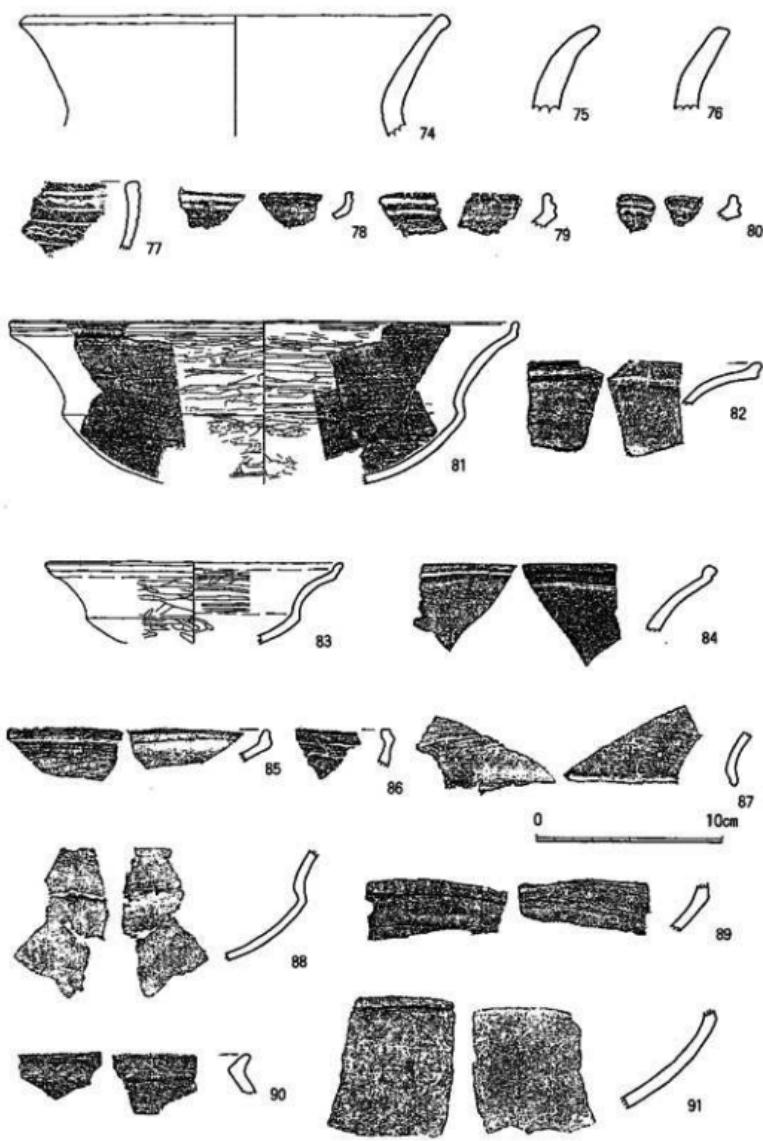
I～VII類の分類に属さない土器群である。



第5図 B地区出土縄文土器実測図(Ⅱ) 27~52



第6図 B地区出土純文土器実測図(Ⅲ) 53~73



第7図 B地区出土繩文土器実測図(IV) 74~91

24は口唇部外面斜方向の刺突文を、25は口縁部外面にハ状に刺突文を施している。26は口縁部外面に刺突文を施している。27は連続刺突文と沈線を施している。35は口縁部外面に1条の沈線を施し、内外面から施した穿孔を1ヶ所有する。

#### 浅鉢

##### I類 (第7図81~89・91)

口縁部の外面に1条の沈線を施し、脇部最大径のある屈曲部の上位に1条の凹線を施す。横方面の丁寧なヘラ磨きを施す。

81~86の口縁部は頸部からほぼ直角的に立ち上がる。87~89・91は頸部から脇部にかけての屈曲部である。

##### II類 (第8図92~94)

口縁部内面に1条の沈線を施し、横方面の丁寧なヘラ磨きを施す。

94は口縁部が斜め上方に大きく外反するのに対して、94は斜め上方に伸びている。

##### 底部 (第8図96~110)

口縁部から底部まで残存する完形の土器が全然出土していないので、I類~VII類の土器のどの底部に対応するのか不明である。よって一括して取り扱い、立ち上がりの形態で分類した。

底部の形態には底面が外へ張り出してその上部が若干くびれているもの(96~102)、上げ底(103~110)がある。

96は底面が外へ張り出してその上部が若干くびれているタイプで、底径が10.2cmである。100は底径7.5cmで、102は底径9.5cmで、3点ともすべて内外面ともナデを施している。101は底径5.8cmの上げ底で、105は底径5.5cm、106は底径6.2cm、107は5.0cm、108は6.0cm、109は6.5cm、110は5.7cmである。内外面ともナデを施している。

#### (2)石器 (図版6~8)

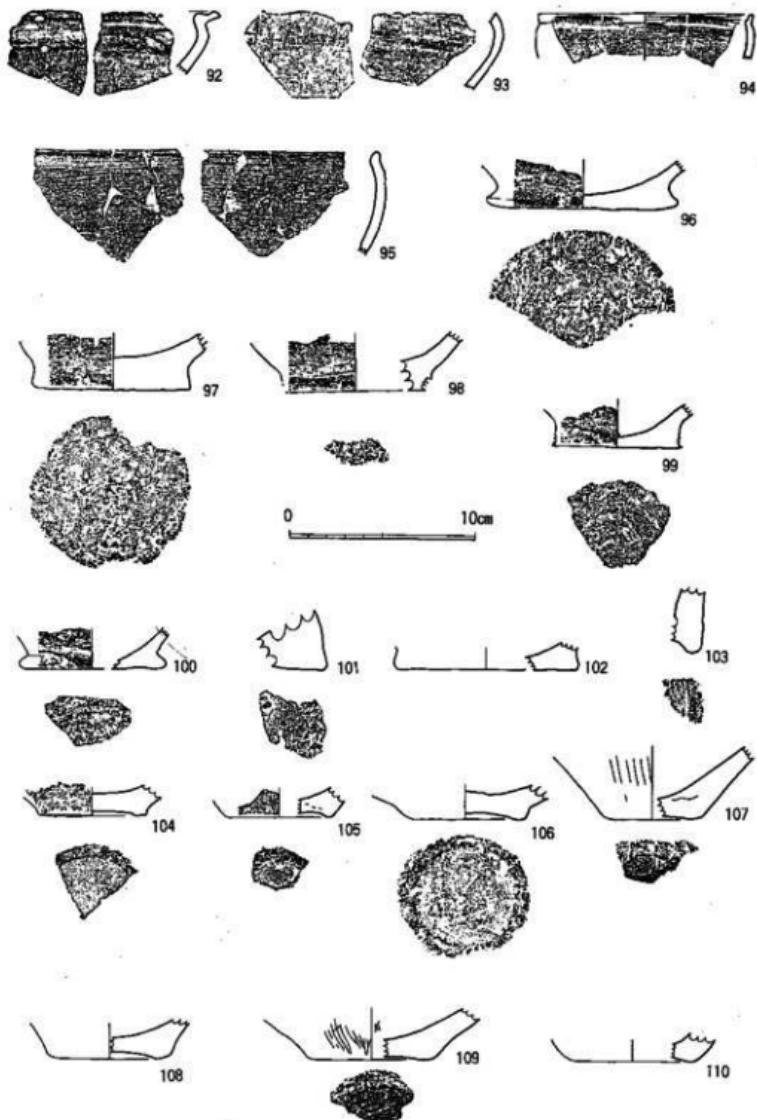
当地区的石器としては、打製石鎌11点・扁平打製石斧13点・磨石1点・石皿3点が出土している。

##### 打製石鎌 (図版6)

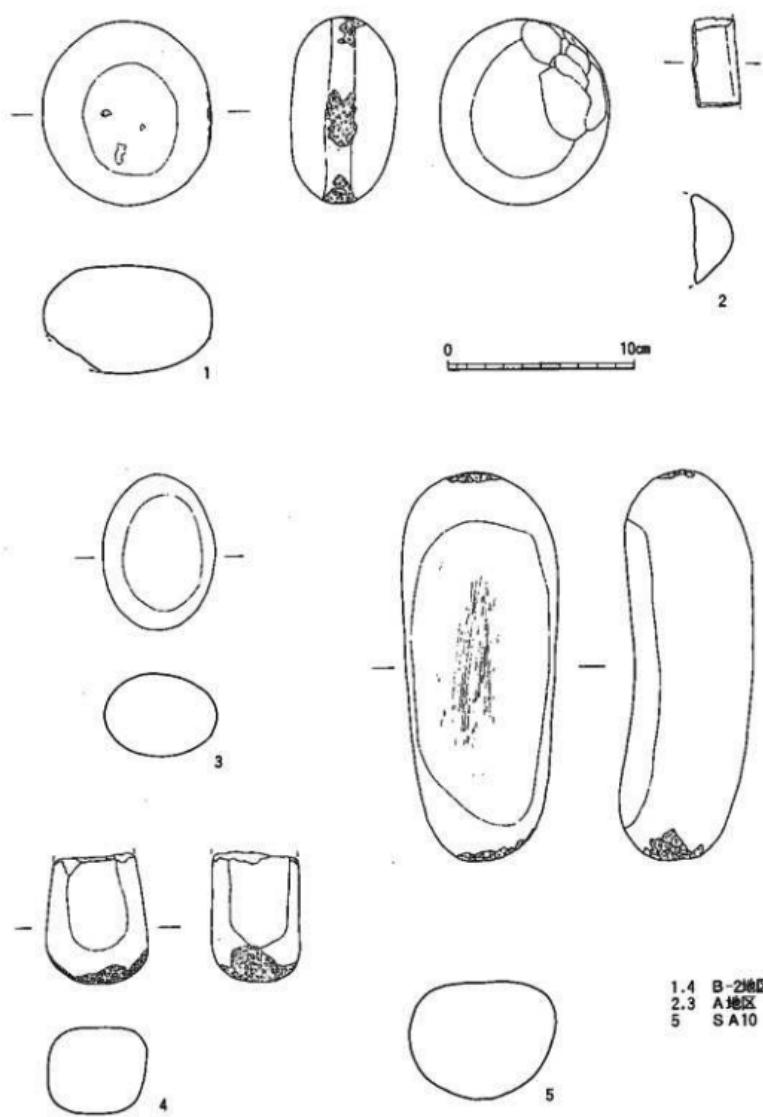
打製石鎌は11点出土しており、無茎三角形鎌1点と長手の五角形鎌1点以外はすべて凹基無茎鎌である。石材の内訳は、チャート5点、黒曜石3点(内2点は姫島産)、砂岩2点、頁岩1点であり、チャートが45.5%と割合が高い。

##### 扁平打製石斧 (図版6・7)

扁平打製石斧は16点出土しており、三味線の腰に似た腰形のものが1点だけで、残りは長方形をした短冊形のものである。石材の内訳は、シルト岩10点、頁岩6点であり、シルト岩が62.5%と高い。



第8図 B地区出土縄文土器実測図(V) 92~110



第9図 石器実測図 ( $S = \frac{1}{2}$ )

表1 B地区出土縄文土器観察表

番号	遺物	グリ	形態	剖面	天 球		圓 球		底	底 面	内 面	外 面	内 面	外 面	色	底	上	底	側	分類	
					外 面	内 面	外 面	内 面													
4	1	A	圓錐	口縫部	直縫文 附文、縫みなし		ヨコナデ	ナデ	直球	に高い壁 (7.5YR 7/3)	に高い壁 (7.5YR 7/3)	1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。				基出山跡		I			
4	2	SA	1	圓錐	直縫	北縫土、直縫文、 縫みなし		ナデ	前方内の直縫文 部	直球	に高い壁 (7.5YR 6/6)	灰黄	(10YR 5/7)	1mm下の黄。淡黄色。葉く 光る無地を多く含む。						I	
4	3	SA	2	圓錐	直縫	直縫文 直縫文		ナデ	ナデ	直球	に高い壁 (7.5YR 6/6)	に高い壁 (7.5YR 7/4)	1mm下の白。光る無地。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。				内面黒化		I		
4	4	B-2	圓錐	直縫	直縫文 直縫文、縫みなし 縫みなし		直縫文 (7.5YR 7/3)へテラキ 直縫文 (7.5YR 7/3)	直球	に高い壁 (10YR 5/2)	に高い壁 (10YR 5/4)	1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。 2mm以下の光る部分を 多く含む。				内面スズメ 一筋縫		I				
4	5	SA	3	圓錐	直縫	直縫文 直縫文		ナデ	ナデ	直球	に高い壁 (7.5YR 6/6)	に高い壁 (7.5YR 7/4)	1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。				内面黒化		I		
4	6	B-2	圓錐	直縫	直縫文 直縫文			ナデ	直ナデ ナブ	直球	に高い壁 (7.5YR 6/6)	明黄	(10YR 6/6)	1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。				内面スズメ 一筋縫		I	
4	7	SC	1	圓錐	直縫	直縫文 直縫文		ナデ	ナデ	直球	に高い壁 (7.5YR 7/4)	直球	(7.5Y 5/3)	1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。				内面黒化		I	
4	8	B-5	圓錐	口縫部	直縫文 直縫文			直ナカナ 直ナカナ	直球	直球	直球	(10YR 6/2)	灰黄	(10YR 6/2)	4mmの底面を1層含む。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。			底出門跡		I	
4	9	B-2	圓錐	口縫部	前方内の直縫文			前方内の直縫文 ヘタ部分	直球	に高い壁 (7.5YR 7/3)	に高い壁 (7.5YR 7/3)	1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。				底出門跡		I			
4	10	B-2	圓錐	口縫部	直縫文			ナデ	ナデ	直球	直球	(10YR 6/4)	直球	(10YR 5/2)	1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。			内面スズメ 一筋縫		I	
4	11	B-2	圓錐	口縫部	二条の直縫文	直縫文	直縫文のヘタ部分	直球	直球	直球	直球	(7.5Y 5/3)	直球	(7.5Y 5/3)	1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を多く含む。			内面黒化 直縫山跡		I	
4	12	S	1	圓錐	口縫部			直ナカナのナデ 一部強いナデ	直球	に高い壁 (7.5Y 4/3)	に高い壁 (7.5Y 6/4)	1mm下の白。葉など 多くの砂粒を含む。				内面黒化 直ナカナ		N			
4	13	SA	25	圓錐	直縫	直縫文		ついでないナデ	ナデ (直縫各部の凹)	直球	に高い壁 (7.5Y 4/3)	明小板	(7.5Y 5/5)	1~5mm程度の葉など 多くの砂粒を含む。葉 色透明の砂粒を多く含む。				内面黒化 直縫山跡		N	
4	14	SA	1	圓錐	口縫部	直縫文		ナデ	ナデ	直球	直球	(7.5Y 6/4)	直	(7.5Y 6/5)	5.5mm下の黄。透明の砂粒。 5.5mm以下の白色の砂粒。 1mm下の白。透明で光る層 多く光る部分を含む。						IV
4	15	SA	20	圓錐	口 緯	三条の直縫文		直ナカナのヘタ 部分	直ナカナ 直ナカナ	直球	直球	直球	直球	直球	1mm下の白。葉など 多くの砂粒を含む。 2mm以下の白。砂粒を含む。						IV
4	16	SA	20	圓錐	口 緯	二条の直縫文		直ナカナのヘタ 部分	直ナカナ 直ナカナ	直球	直球	直球	直球	直球	1mm下の白。葉など 多くの砂粒を含む。 2mm以下の白。砂粒を含む。						IV
4	17	SA	20	圓錐	口 緯	二条の直縫文		直ナカナのヘタ 部分	ヨコナデ	直球	直球	直球	直球	直球	1mm下の白。葉など 多くの砂粒を含む。 2mm以下の白。砂粒を含む。			底出山跡		N	
4	18	SA	20	圓錐	口 緯	直縫文		直ナカナのヘタ 部分	直球	直球	直球	直球	直球	直球	1mm下の白。葉など 多くの砂粒を含む。			底出山跡		V	
4	19	SA	20	圓錐	口 緯	直縫文		ヨコナデ 直ナカナのヘタ 部分	直ナカナ 直ナカナ	直球	直球	明小板	明小板	明小板	1mm下の白。葉など 多くの砂粒を含む。 2mm以下の白。葉など 多くの砂粒を含む。			内面黒化		V	
4	20	SA	20	圓錐	口 緯	二条の直縫文		直ナカナのヘタ 部分	ヨコナデ	直球	直球	直球	直球	直球	1mm下の白。葉など 多くの砂粒を含む。			内面黒化		V	
4	21	SA	20	圓錐	口 緯			直ナカナのヘタ 部分	ヨコナデ	直球	直球	直球	直球	直球	1mm下の白。葉など 多くの砂粒を含む。			内面黒化 直縫山跡		V	

番号	種類	アゲ	基準	説明	文		圖		色		記号	名	日付	
					外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面				
4 31	b-2	透体	口 線	三番の近縁文			ナデ ヨコナデ	ヘラ縁キ	白板	に高い青緑 (SYR 7/2)	に高い青緑 (SYR 7/2)	1mm以下の軽やかな光沢 及びごく薄明るい光沢を含む。 1mm以下の底色が底色の 緑色合。		V
4 32	SA 7	透体	口 線	透縫文			裏方向のヘタ 縁キ	脇向のヘタ ヨコナデ	白板	透青 (SY 6/10)	透青 (SY 6/10)	2mm以下の軽やかな光沢を含む。 1mm以下の底色が底色の 緑色合。		V
4 33	b-5	透体	口 線	三番の近縁文			ヘラ縁キ	横かへら縁キ	白板	に高い青緑 (SYR 7/2)	成青緑 (SYR 6/4)	0.5mm以下の軽やかな光沢を含む。 1mm以下の底色が底色の 緑色合。	透底板 表側口縫	V
4 34	b-1	透体	口 線	裏方向のナガ ヨコナデ			裏方向のナガと ヨコナデ	ヨコナデ	白板	透 (SY 6/10)	透 (SY 6/10)	0.5mm以下の軽やかな光沢を含む。 1mm以下の底色が底色の 緑色合。	裏口縫	
4 35	SA 20	透体	口 線	工具による 透縫文			裏方向のヘタ 縁キ	ヨコナデ	白板	透青緑 (SYR 6/2)	透青緑 (SYR 6/2)	2mm以下の軽やかな光沢を含む。 1mm以下の底色が底色の 緑色合。	透青緑 表側口縫	
4 36	b-5	透体	口 線	ヘラ工具による 透縫文			ナデ	ヨコナデ	白板	に高い青 (SYR 7/2)	に高い青 (SYR 7/2)	3mm以下の黄色を含む。	口縫 横ナデ	
5 37	b-2	透体	口 線	透縫文 透縫文			裏方向のヘタ 縁キ	ヘラ縁キ	白板	透青 (SY 3/1)	透青 (SY 3/1)	より緑か、黒く光る透縫部を 少含む。		
5 38	b-5	透体	口 線	二番の近縁文			ていよいなナデ	ヨコナデ	白板	透青緑 (SYR 6/2)	透青緑 (SYR 6/2)	1.5mm以上の黄色透青に光る 緑色を含む。明るい緑の緑かね 緑を含む。	スヌササ	
5 39	b-1	透体	脚 基	貝殻模様による 透縫文			裏・前方のナ ガ・ヨコナデ	ナデ ヨコナデ	白板	透 (SY 6/10) に低い青 (SY 6/4)	透 (SY 6/10) より少し青 (SY 6/4)	2mm以下の黄緑色、黒色、サ 基色、黒緑色の透青を含む。 1mm以下の青色透青の緑色を 含む。		
5 40	b-1	透体	脚 基	透縫 裏・前方に 花透文			ナデ	ナデ	白板	透青 (SY 6/2)	透青 (SY 6/2)	1mm以下の白色、黄緑色、サ 透青の緑色を含む。0.5mm以下の 緑色でなく光る青緑と無色 透青を含む。		
5 41	SA 2	透体	脚 基	透縫			ヨコナデ	ヨコナデ	白板	透青 (SY 6/2)	透青 (SY 6/2)	1mm以下の墨、茶、青色で光 る透青を少く含む。		
5 42	SA 9	透体	脚 基	透縫文			ヨコナデ	ヨコナデ	白板	透 (SY 6/2)	透 (SY 6/2)	1mm以下の白透青、黑色の 透青、黒く光る透青。白色の 透青を少含む。	内側一様的に 黒透	
5 43	SA 2	透体	脚 基	透縫文			ナデ	ナデ	白板	透青 (SY 6/2)	透青 (SY 6/2)	1mm以下の青透青、黑色の 透青、黒く光る透青。白色の 透青を少含む。		
5 44	SA 13	透体	口縫部				ヨコナデ	裏方向の貝殻模 様のナガとナデ	白板	に低い青 (SY 6/2)	明青緑 (SY 6/4)	3mm以下の青透青の緑色、 0.5mm以下の青透青の緑色、 1mm以下の青透青の緑色、 1mm以下の青透青の緑色で光る 透青を含む。		
5 45	SA 20	透体	口縫部	字左・底縫上・ 曲縫	字左		ナデ	貝殻模様	白板	透青緑 (SY 6/2)	透青緑 (SY 6/2)	4.5mm以下の墨、3.5mm以下の 灰色、1mm以下の白色、 2.5mm以下の青透青の緑色、 3mm以下の青透青の緑色を含む。	口縫一様の ナデナ デ	
5 46	SA 4	透体	U縫部	透縫文			ヨコナデ	裏方向の 横の方向	白板	透青 (SY 6/2)	透青 (SY 6/2)	1mm以下の墨、黒色で光る 透青を少含む。	透縫口縫	
5 47	SA 20	透体	口縫部	透縫文			ヨコナデ	ヨコナデ	白板	に低い青 (SY 6/2)	に低い青 (SY 6/2)	青緑、薄青の光沢のある深緑 色、0.5mm以下の青透青の緑色、 黒土色の緑を含む。		
5 48	SA 10	透体	口縫部				ヘラ縁キ	ヘラ縁キ	白板	に低い青 (SY 6/2)	透青緑 (SY 6/2)	0.5mm以下の青透青でなく光る 透青と黒透青を含む。 1mm以下の白色、深緑の透青 を少含む。	透底口縫	
5 49	SA 4	透体	口縫部	透縫文			裏方向のヘタ 縁キ	ヨコナデ	白板	透青 (SY 6/2)	透青 (SY 6/2)	1mm以下の工具によるナガと ヨコナデのヘタ縁キ。	透底口縫	E
5 50	SA 40	透体	口縫部	透縫文			前縫の工具に よるナガとナデ ヨコナデ	ヨコナデ	白板	透 (SY 6/2)	透 (SY 6/2)	1mm以下の工具によるナガと ヨコナデのヘタ縁キ。	透底口縫	E

回数 番号	植物 名	アリ ンド	基盤	基盤	丈		幅		色		底 土	考 察	分類			
					外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面						
5 41	SA 12	藻類	山地	光葉木			葉のへき葉を ていねいな側方 向のへき葉を	ていねいな側方 向のへき葉を	灰白	灰白 (7.5W 4/2) 灰白 (7.5W 5/4)	1.5m以下の白い砂粒を含む。		E			
5 42	SA 20	藻類	山地	光葉木			ていねいな側方 向のへき葉を	ていねいな側方 向のへき葉を	灰白	灰白 (7.5W 3/1)	1mm以下の白い砂粒を含む。	表面凹凸	E			
5 43	SA 6	藻類	口	樹			葉のへき葉を	葉のへき葉を	灰白	灰白 (2.5W 3/4)	1mm以下の白い砂粒を含む。	口側底面方向の へき葉を	E			
5 44	B-2	藻類	底	苔			葉のへき葉を	葉のへき葉を	灰白	灰白 (7.5W 2/2) 灰白 (7.5W 4/2)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。		E			
5 45	B-2	藻類	底	苔			葉のへき葉を	葉のへき葉を 側方に向てケズリ 切った様がみら れず	灰白	灰白 (7.5W 3/1)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
5 46	B-2	藻類	底	苔			葉のへき葉を	葉のへき葉を	灰白	灰白 (7.5W 4/2) 灰白 (7.5W 5/4)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
5 47	B-2	藻類	口	林	内側表面		葉のへき葉を	葉のへき葉を	灰白	灰白 (7.5W 4/2) 灰白 (7.5W 5/4)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
5 48	-	藻類	口	林	内側表面		葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 4/2)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
5 49	B-2	藻類	口	林	内側表面		葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 4/2)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
5 50	SA 11	藻類	口	林	内側表面		葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 5/4)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
5 51	B-2	藻類	口	林	内側表面		葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 5/2)	4m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
5 52	SA 13	藻類	口	林	内側表面		葉のものによ るコナデの根 葉の側方への へき葉を	葉のものによ るコナデの根 葉の側方への へき葉を	灰白	灰白 (7.5W 4/2) 灰白 (7.5W 5/2)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
5 53	SA 11	藻類	口	林			葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 5/2) 灰白 (7.5W 6/2)	3m以下の乳白色の砂粒。 1m以下の灰く光る砂粒を含む。	表面凹凸から内側 上面に異常。	E			
6 54	B-2	藻類	口	林			葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 4/2) 灰白 (7.5W 5/2)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
6 55	B-2	藻類	口	林			葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 5/2) 灰白 (7.5W 6/2)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
6 56	SA 1	藻類	口	林			葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 5/2)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
6 57	SA 2	藻類	口	林			葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 5/2)	3m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
6 58	SA 7	藻類	口	林			葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 7/2) (7.5W 8/2) (7.5W 9/4)	1m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
6 59	SA 13	藻類	口	林			葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 5/4)	2m以下の灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			
6 60	SA 20	藻類	口	林			葉のものによ るコナデ	葉のものによ るコナデ	灰白	灰白 (7.5W 6/6)	1~4mの灰く光る砂粒の砂 粒を含む。	表面凹凸	E			

試験 番号	被物 番号	ゲリ ヤド	接觸 部位	詳細	丈		腰		腰底	色		腰二	腰三	合計
					外 面	内 面	外 面	内 面		外 面	内 面			
5	61	SA 5	接觸 口 線	縫み付た裏面 SA-5			ミコナデ 斜ナダ	ミコナデ 斜向内ハケ毛	直折	黒褐色 (7.5YR 3/1)	黒褐色 (7.5YR 3/1)	さの細かく黒い光る繊維毛を 少々含む。		■
5	62	B-4	接觸 口 線				斜向内ナダ ミコナデ	ミコナデ	直折	黒褐色 (7.5YR 3/1)	黒褐色 (7.5YR 3/1)	1mm以下の形状で直く光る繊 維毛と、1mm以下の細い繊維毛 が混在。また、斜向内ナダの特徴 である、斜向内に走る繊維毛を 含む。	波状凹縮	■
5	63	SA 7	接觸 口 線				ミコナデ	ミコナデ	直折	黒褐色 (7.5YR 3/1)	黒褐色 (7.5YR 3/1)	1mm以下の形状で直く光る繊 維毛と、1mm以下の細い繊維毛 が混在。また、斜向内ナダの特徴 である、斜向内に走る繊維毛を 含む。	スズカ音(弱) 波状凹縮	■
5	64	SA 8	接觸 口 線				ミコナデ	ミコナデ	直折	黒褐色 (7.5YR 3/1)	黒褐色 (7.5YR 3/1)	1mm以下の形状で直く光る繊 維毛と、1mm以下の細い繊維毛 が混在。また、斜向内ナダの特徴 である、斜向内に走る繊維毛を 含む。	内凹波状凹縮	■
5	65	B-1	接觸 口 線				ミコナデ 斜方向ナダ 斜向内ナダ	ナダ ミコナデ 斜向内ナダ	直折	黒褐色 (7.5YR 4/1)	黒褐色 (7.5YR 4/1)	2mm以下の形状で直く光る繊 維毛と、1mm以下の細い繊維毛 が混在。また、斜向内ナダの特徴 である、斜向内に走る繊維毛を 含む。	外端スス付垂	■
5	66	B-4	接觸 口 線				斜方向の繊維 ナダ	ミコナデ	直折	黒褐色 (7.5YR 4/1)	黒褐色 (7.5YR 4/1)	2mm以下の形状で直く光る繊 維毛と、1mm以下の細い繊維毛 が混在。また、斜向内ナダの特徴 である、斜向内に走る繊維毛を 含む。	外端ナシス 付垂	■
5	67	B-1	接觸 口 線				織きヘア織キ 毛毛ナダ	ミコナデ	直折	にじむ白黒 (7YR 5/4)	にじむ白黒 (7YR 5/4)	4mm以下の白色毛。黒色の繊 維毛と、2mm以下の白黒の繊維毛 が混在。	外端葉葉	■
5	68	B-1	接觸 口 線				ミコナデ	ミコナデ ナダ	直折	にじむ白黒 (7YR 4/4)	にじむ白黒 (7YR 4/4)	1mm以下の形状で直く光る繊 維毛と、1mm以下の細い繊維毛 が混在。また、斜向内ナダの特徴 である、斜向内に走る繊維毛を 含む。		■
5	69	B-1	接觸 口 線				ミコナデ	ミコナデ	直折	黒褐色 (7.5YR 3/1)	黒褐色 (7.5YR 3/1)	2mm以下の形状で直く光る繊 維毛と、1mm以下の細い繊維毛 が混在。また、斜向内ナダの特徴 である、斜向内に走る繊維毛を 含む。	口唇部以降 波状凹縮	■
5	70	SC 1	接觸 口 線				ミコナデ 斜向内	ミコナデ 斜向内	直折	にじむ白黒 (7YR 7/4)	にじむ白黒 (7YR 7/4)	1mm以下の黒く光る。透明で 光る繊維毛を多く含む。5mm 以下の形状で直く光る。	口唇部以降 波状凹縮	■
5	71	SA 20	接觸 口綫部	ハナ豆茎葉ナダ の第一基ナダ、 ナダ			ミコナデ 斜向内	ミコナデ 斜向内	直折	黒褐色 (7.5YR 4/1)	にじむ白黒 (7YR 5/4)	3mm以下の、黒・白・黃色の 繊維毛。2mm以下の黒く光る繊 維毛を含む。	外端スス付垂 付掛	■
5	72	B-2	接觸 口綫部				ミコナデ	ミコナデ	直折	にじむ白黒 (7.5YR 7/4)	にじむ白黒 (7.5YR 7/4)	3~5mm以下の形状で直く光る 繊維毛と、1mm以下の細い繊 維毛が混在。また、斜向内ナダの 特徴である、斜向内に走る繊 維毛を含む。	口唇部…でいい ないナダ 外端スス付垂	■
5	73	SA 2	接觸 口綫部	細化織文	細度織文	ミコナデ	ミコナデ	直折	黒褐色 (7.5YR 5/1)	黒褐色 (7.5YR 6/2)	0.5mm以下の無色透明の繊 維毛。	口唇部織成	■	
5	74	B-2	接觸 口綫部				一か所に沿え らしき有り ミコナデ	ナダ ミコナデ 織き内に指揮	直折	明褐色 (7.5YR 5/4)	明褐色 (7.5YR 5/4)	2.5mm以下の無色透明で直く光 る繊維毛と、1mm以下の細い繊 維毛を含む。1~2mmの形状で直 く光る繊維毛を含む。	内凹向上葉葉 内凹付垂	■
5	75	B-2	接觸 口綫部				ミコナデ	ミコナデ	直折	明褐色 (7.5YR 3/2)	黒 (7.5YR 1/1)	2mm以下の黒く光る繊維毛と 1.5mm以下の細い繊維毛を含む。 また、斜向内ナダの特徴である、 斜向内に走る繊維毛を含む。	外端スス付垂 内凹葉葉	■
5	76	B-2	接觸 口綫部				一基から斜向内 のナダ、ミコナデ	ミコナデ、ナダ	直折	黒 (7.5YR 1/2)	黒 (7.5YR 6/3)	ミーー織の黒く光る繊維毛と、 1mm以下の細い繊維毛を含む。 また、斜向内ナダの特徴である、 斜向内に走る繊維毛を含む。		■
5	77	SA 4	接觸 口綫部	光触による押 し出し織文 4条の光触文 光触織による 光触文			ミコナデ	ミコナデ	直折	灰褐色 (7.5YR 4/2)	灰褐色 (7.5YR 4/2)	1.5mm以下の黒く光る繊維毛と、 1mm以下の細い繊維毛を含む。 また、斜向内ナダの特徴である、 斜向内に走る繊維毛を含む。		■
5	78	B-2	接觸 口綫部	光触文			ミコナデ	ミコナデ	直折	灰褐色 (7.5YR 6/4)	灰褐色 (7.5YR 6/4)	1mm以下の黒く光る繊維毛と、 1mm以下の細い繊維毛を含む。 また、斜向内ナダの特徴である、 斜向内に走る繊維毛を含む。	内凹葉葉	■
5	79	-	接觸 口綫部	2条の光触文			織りのヘア 織キ	織りのヘア 織キ	直折	にじむ白黒 (7.5YR 2/4)	にじむ白黒 (7.5YR 2/4)	白、透明で丸い繊維毛を多く 含む。	外端一概地被	■
5	80	SA 1	接觸 口綫部	光触文			ナダ	ナダ	直折	にじむ白黒 (7.5YR 6/4)	にじむ白黒 (7.5YR 6/4)	1mm以下の無色透明で光る繊 維毛。0.5mm以下の黒く光る繊 維毛を含む。		■

回数	音名 番号	ドリ ーピー	経度	緯度	大 陸			洲 洋			構成	色 調		地 上	場 所	分類
					西 洋	東 洋	外 國	方 洋				西 洋	東 洋			
7	BL	SA 19	西経 口音部 一音節	北緯文			十音節(1) ヘラ音4	東洋音 ヘラ音4	西洋	黒	黒 黒調 (GYR 5/1)	1.5m以下の黒でなく光る黒 及び黒と黒の接合を含む。 1.5m以上の黒の青色、黃色 の黒を含む。		外避スヌード		
7	BL	SA 6	西経 口音部 二音節	北緯文			近畿内低いコ ナチ 東方内ヘラ音4	東方内ヘラ音4	西洋	黒音 (GYR 6/4)	ものと黒の接合 を含む。ごく黒かい無 色透明のものと並んで、1.5m以下の 黒の青色の光りを含む。		内避セイ 内避の1音節			
7	BL	SA 12	西経 口音部 一音節	北緯文			ついに高い音 向のヘラ音4	ついに高い音向 向のヘラ音4	西洋	に高い音 音(GYR 7/3)	に高い音調 (GYR 7/3)	1.5m以下の黒の青色の光 り。1.5m以下の黒のある黒 を含む。		内避内...裏面		
7	BL	SA 13	西経 口音部 北緯文				東方内のていね いな音4	東方内のていね いな音4	西洋	に高い音 (GYR 7/4)	黒調 (GYR 8/1)	0.5m以下の黒音。黒くて光 る黒を含む。		外避...裏面		
7	BL	SA 18	西経 口 音	関を比較状の日			ヘラ音4	ヘラ音4	西洋	黒調 (GYR 8/1)	黒調 (GYR 8/1)	0.5m以下の黒の青色。 基色の光る黒。黒色、黃土 色の黒銀色を含む。				
7	BL	SA 39	西経 口 音				低なヘラ音4	低なヘラ音4	西洋	に高い音 音(GYR 9/3)	に高い音調 (GYR 9/3)	1.5m以下の黒の基 くなく光る黒 を含む。2.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...第一音節 のヘラ音4		
7	BL	SA 30	西経 黒 音				後方内のヘラ 音4	後方内のヘラ 音4	西洋	黒 (GY 3/1)	黒 (GY 3/1)	1.5m以下の黒の青色で黒く光る 黒。1.5m以下の黒の青色の黒銀 色を含む。2.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。				
7	BL	SA 10	西経 黒 音				後方内のヘラ 音4	後方内のヘラ 音4	西洋	に高い音 (GYR 9/4)	に高い音調 (GYR 9/4)	1.5m以下の黒の青色で黒く光る 黒。1.5m以下の黒の青色の黒銀 色を含む。2.5m以下の黒の青 色の黒銀色の黒銀色を含む。		内避...第二音節 の黒音		
7	BL	B-5	西経				後方内のヘラ 音4	後方内のヘラ 音4	西洋	に高い音 (GYR 9/5)	に高い音調 (GYR 9/5)	1.5m以下の黒の青色で黒く光る 黒。0.5m以下の黒の青色銀色 を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色の黒銀色を含む。		内避...第三音節 の黒音		
7	BL	B-5	西経				後方内のヘラ 音4	後方内のヘラ 音4	西洋	に高い音 (GYR 9/6)	に高い音調 (GYR 9/6)	1.5m以下の黒の青色で黒く光る 黒。0.5m以下の黒の青色銀色 を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色の黒銀色を含む。		内避...第四音節 の黒音		
7	BL	B-5	西経				後方内のヘラ 音4	後方内のヘラ 音4	西洋	に高い音 (GYR 9/7)	に高い音調 (GYR 9/7)	1.5m以下の黒の青色で黒く光る 黒。0.5m以下の黒の青色銀色 を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色の黒銀色を含む。		内避...第五音節 の黒音		
7	BL	B-5	西経				後方内のヘラ 音4	後方内のヘラ 音4	西洋	に高い音 (GYR 9/8)	に高い音調 (GYR 9/8)	1.5m以下の黒の青色で黒く光る 黒。0.5m以下の黒の青色銀色 を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色の黒銀色を含む。		内避...第六音節 の黒音		
8	BL	SA 30	西経 口 音				高音(1) ヘラ音4	高音(1) ヘラ音4	西洋	黒調 (GYR 3/1)	黒調 (GYR 3/1)	0.5m以下の黒の光るダラズ黒 の黒を含む。		外避...得音く黒		
8	BL	SA 30	西経 口 音				高い高いヘラ 音4	高い高いヘラ 音4	西洋	高い音 (GYR 3/1)	高い音 (GYR 3/1)	青色。乳白色の黒銀色を含 む。黒色、透明の光沢のある 黒銀色を含む。		内避...得音く黒		
8	BL	B-1	西経				後方内のヘラ 音4	後方内のヘラ 音4	西洋	明会場 (GYR 5/4)	暗会場 (GYR 5/1)	1.5m以下の青白色の黒を含 む。		外避...裏面あり		
8	BL	SA 10	西経	口 音 黒 音			ついに高い音 向のヘラ音4	ついに高い音 向のヘラ音4	西洋	に高い音 (GYR 5/5)	に高い音 (GYR 5/5)	1.5m以下の黒の青色で黒く光る 黒。1.5m以下の黒の青色銀色 を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。				
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			後方内のヘラ 音4 ミナチ	後方内のヘラ 音4 ミナチ	西洋	黒調 (GYR 5/1)	黒調 (GYR 5/1)	1.5m以下の黒の青色で黒く光る 黒。1.5m以下の黒の青色銀色 を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。				
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			高音ナチ	ナチ	西洋	に高い音 (GYR 6/4)	黒 (GYR 5/1)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...人材音		
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			ナチ	ていないなナチ	西洋	に高い音 (GYR 6/4)	に高い音 (GYR 5/4)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。				
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			高音ナチ ミナチ	ナチ	西洋	高い音 (GYR 5/4)	高い音 (GYR 5/1)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...裏面		
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			ナチ	ていないなナチ	西洋	高い音 (GYR 5/5)	高い音 (GYR 5/4)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...裏面		
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			高音ナチ ミナチ	ナチ	西洋	高い音 (GYR 5/6)	高い音 (GYR 5/4)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...裏面		
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			高音ナチ ミナチ	ナチ	西洋	高い音 (GYR 5/7)	高い音 (GYR 5/4)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...裏面		
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			ナチ	ていないなナチ	西洋	高い音 (GYR 5/8)	高い音 (GYR 5/4)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...裏面		
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			高音ナチ ミナチ	ナチ	西洋	高い音 (GYR 5/9)	高い音 (GYR 5/4)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...裏面		
8	BL	B-1	西経	口 音 黒 音			ナチ	ていないなナチ	西洋	高い音 (GYR 5/10)	高い音 (GYR 5/4)	1.5m以下の黒の青色で黒く光 る黒。1.5m以下の黒の青色銀 色を含む。1.5m以下の黒の青 色の黒銀色を含む。		内避...裏面		

試験 番号	測定 マダ ラド	基盤 マダ	基盤 マダ	太 理		國 理		成 外 面	内 面	色 理	熟 太	番 号	分類
				外 面	内 面	外 面	内 面						
8 101	SA 12	泥鉆	底 部			ナデ	ナデ	直射	に高い密度 (SYR 5/4)	直射 (SYR 3/1)	4m以下の白色、1m以下の 白色、底光と砂粒を含む。 1.5m以下の黄色の砂粒を含 む。	底光一光沢のあ るナデ	
8 102	SA 10	泥鉆	底 部			ナデ	ナデ	直射	明 (SYR 5/4)	底 (SYR 4/4)	1m以上-2mの黄色、黃色 の斑、1m以上-1mの黑色 透明白光沢のものと僅量砂 粒を含む。	底光-スス付着	
8 103	SA 5	泥鉆	底 部			ナデ	ナデ	直射	穀 (SYR 6/6)	底 (SYR 1.7/2)	8m大、5m大、3m以下の 砂粒を少し含む。3m以下の 底光と光沢の砂粒を含む。	内面-第一級化 物付着 上付着	
8 104	SA 5	泥鉆	底 部			ナデ	ナデ	直射	に高い密度 (SYR 7/4)	直射 (SYR 4/1)	3m以下の・黒色の砂粒を 少し含む。2m以下の底、底 光と光沢の砂粒を含む。	内面黒斑 上付着	
8 105	SA 1	泥鉆	底 部			つい白いなナデ ナデ	ナデ	直射	に高い密度 (SYR 5/4)	直射 (SYR 3/1)	1m以下の黄色、薄くて光る 無光透明で光る砂粒を含む。	内面-第一級化物 付着	
8 106	B-5	泥鉆	底 部			ナデ	ナデ	直射	に高い密度 (SYR 5/4)	に高い密度 (SYR 5/4)	1.5m以下の底と光る砂粒の砂 粒を多く含む。4m以下の底の石 英を多く含む。4m以下の底の石 英を多く含む。ナデの底の石 英を多く含む。		
8 107	SA 1	泥鉆	底 部			ナデ方向のナデ 底 部	ナデ・前方向 のつい白いなナ デ	直射	に高い密度 (SYR 5/2)	に高い密度 (SYR 5/2)	1.5m以下の底と光る砂粒と 無光透明の砂粒を含む。 2m以下の黄白色、光沢有。 底光、底色、底の砂粒を含 む。		
8 108	SA 7	泥鉆	底 部			ナデ	ナデ	直射	穀 (SYR 7/4)	底 (SYR 3/1)	1m以下の底光と光る砂粒と 無光透明の砂粒を含む。 2m以下の黄白色、光沢有。 底光、底色、底の砂粒を含 む。	内面-第一級化物付着 上付着	
8 109	SA 1	泥鉆	底 部			新方向のナデ 底 部	丁寧なナデ 底方向のナデ基 本	直射	に高い密度 (SYR 5/2)	に高い密度 (SYR 5/2)	1.5m以下の黄白色、薄くて 光る黑色に光る砂粒を含 む。		
8 110	SA 20	泥鉆	底 部			ナデ	ナデ	直射	に高い密度 (SYR 6/10)	に高い密度 (SYR 5/2)	黒色、透明白光沢のものと無 光透明、底光、底色、底白色の 砂粒を含む。		

### 磨石（図版8）

磨石は完形で、長さ10.0cm、幅9.0cm、厚さ5.6cmである。全面研磨されているが、側面は敲打されている。

### 石皿（図版8）

石皿は3点出土しており、1点はほぼ完形で、2点は半分欠如している。縁と使用面を加工しており、中央の使用面が弓状に緩く窪んでいる。石材は3点とも砂岩である。

## 第5節 弥生時代の遺構と遺物

弥生時代後期～終末期の遺構としては堅穴住居7軒（5号・6号・9号・10号・12号・13号・14号住居）が検出され、標高331.0m～334.5mに等高線に直交して造営されている。

弥生時代後期～終末期の壺・壺・高杯・鉢などと共に、石庖丁・砥石・磨石などの石器、鐵先・鐵などの鐵器が出土している。堅穴住居のプランは一辺5～8mの方形で、主柱穴は2本柱が3軒で、4本柱が4軒である。当時期における堅穴住居の切り合いは13号住居と14号住居のみである。

#### (1)堅穴住居

##### 5号住居（第10図）

5号住居は長さ730cm、幅660cm、深さ5cmの方形プランで、床面の面積は48.2m<sup>2</sup>である。主柱穴は4本柱と推定されるが、柱穴は3本しか検出されなかった。土器量は少ない。

壺 壺としては胴部の最大径に2～3条の突帯を有するタイプ(2)と一条の刻み目突帯を有するタイプ(3～5)がある。1は頸部に一条の突帯を有する壺である。

甕 甕には6のような口縁部が緩やかに外反し、端部を平坦に仕上げるもの(6・7・9)と丸く仕上げるもの(8)がある。10は頸部に櫛描波状文を有する甕である。

##### 6号住居（第13図）

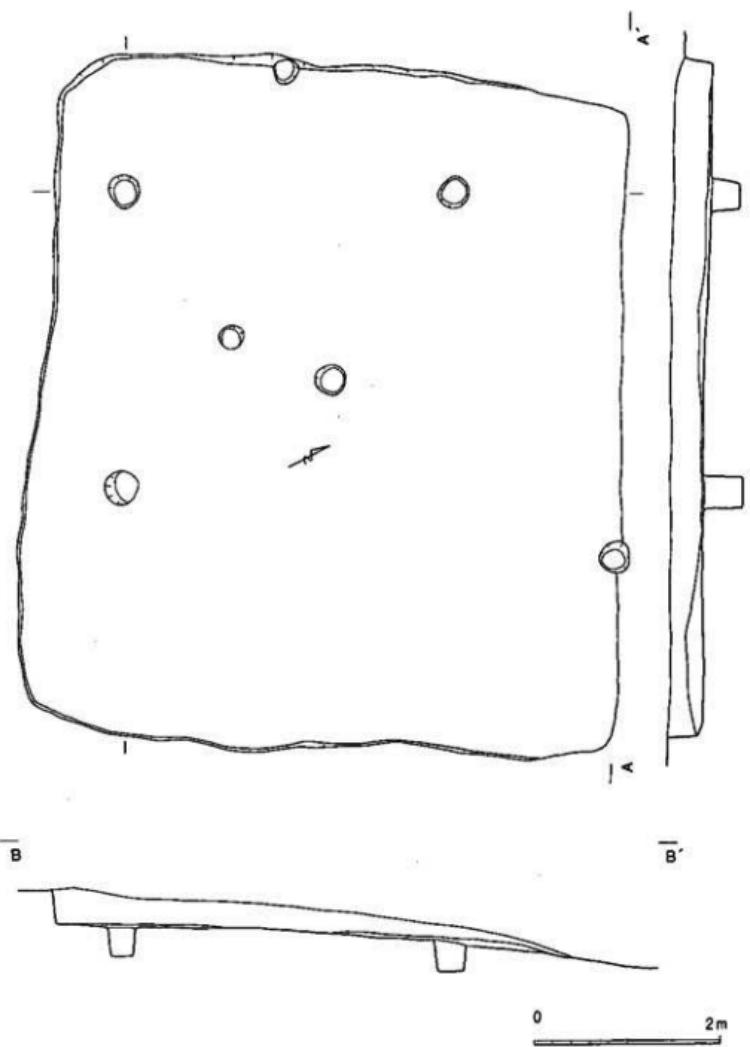
6号住居は長さ560cm、幅490cm、深さ70cmの方形プランである。床面積は27.4m<sup>2</sup>である。主柱穴は2本柱で、等高線に直交する。土器の全体量は少ない。

壺 11・12は頸部と胴部の最大径に2～3条の突帯を有する壺である。13～17は櫛描波状文を有する複合口縁壺である。19は頸部に一条の格縄突帯を有する壺である。

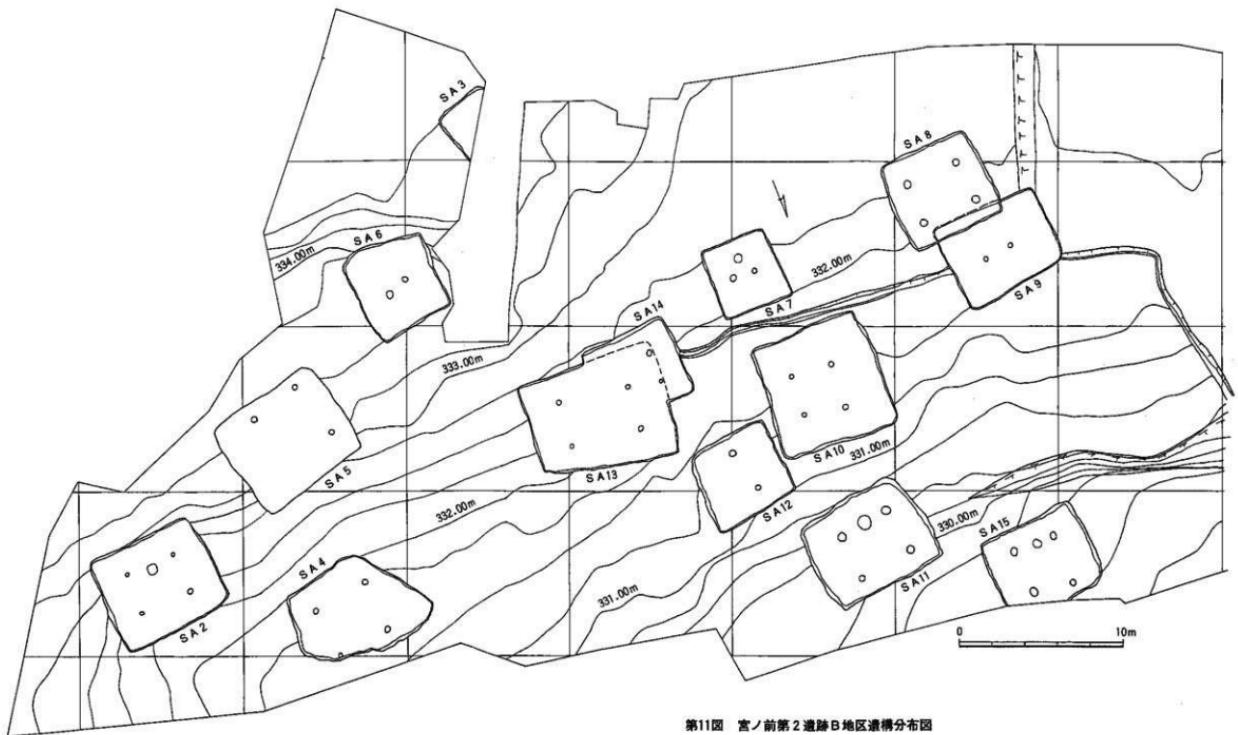
甕 21・22はくの字口縁部の下位に一条の刻み目突帯を有する甕である。27は若干上げ底気味の小さな丸底である。28は底径2.1cmの若干平底を残す底部である。

##### 9号住居（第14図）

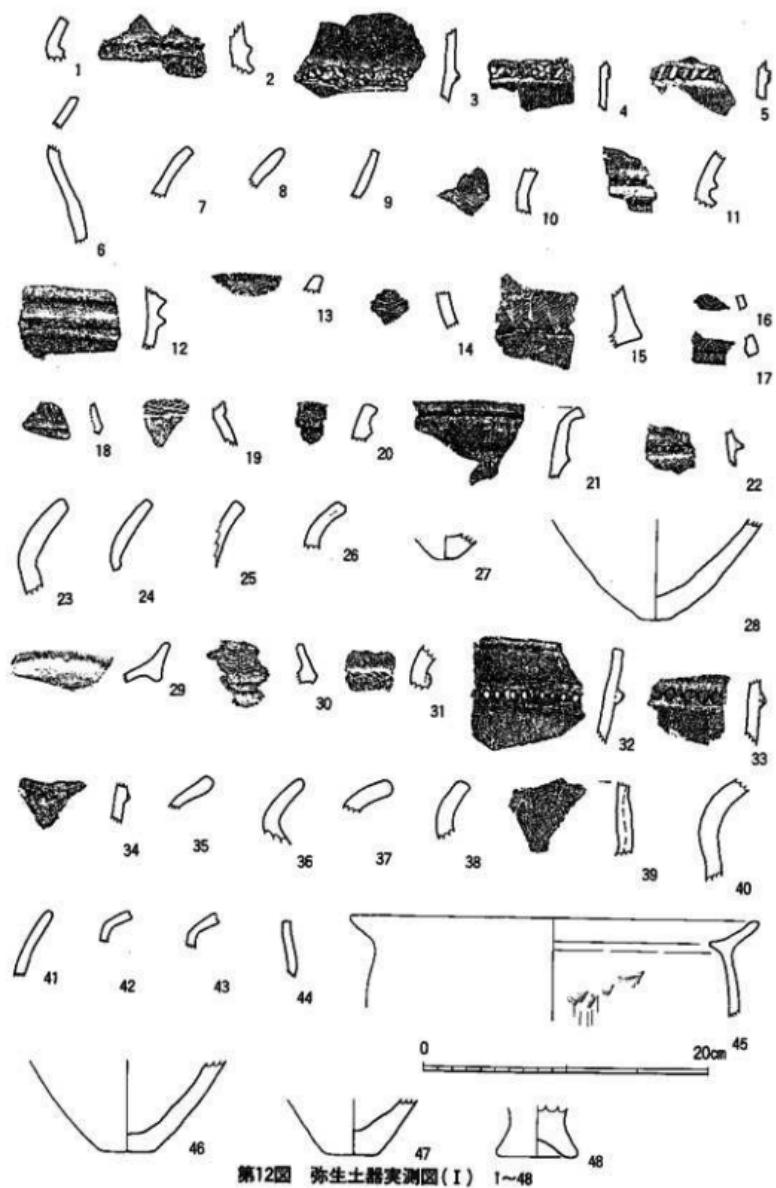
9号住居は長さ670cm、幅536cm、深さ38cmの長方形プランで、床面積は35.9m<sup>2</sup>である。主柱穴は2本柱で、2本柱は等高線に平行する。埋土はⅠ層が厚さ8cmの黒色土層、Ⅱ層が厚さ42cmの



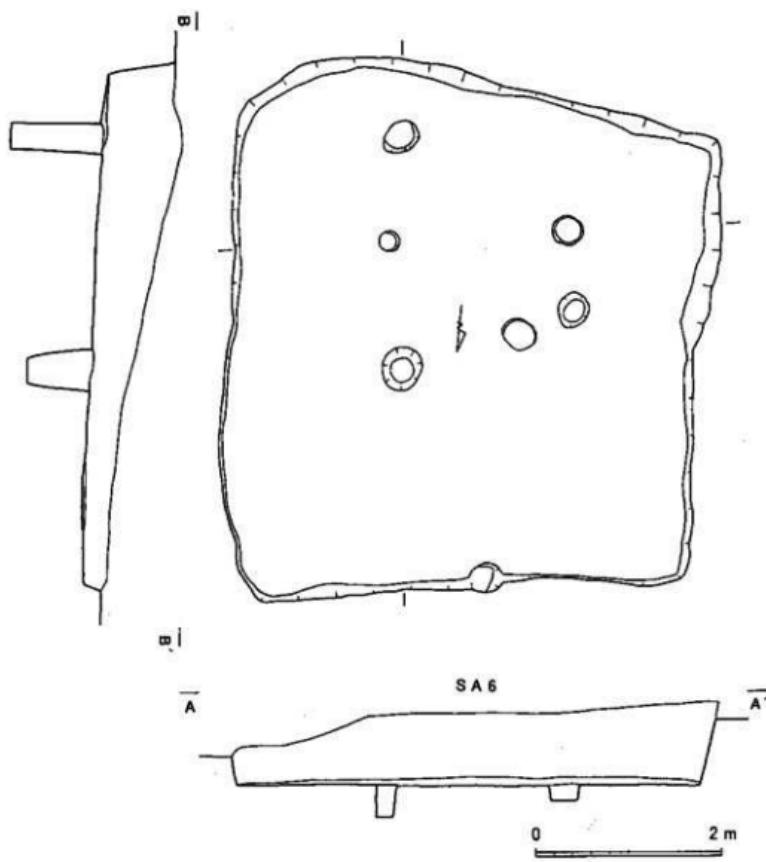
第10図 5号住居実測図



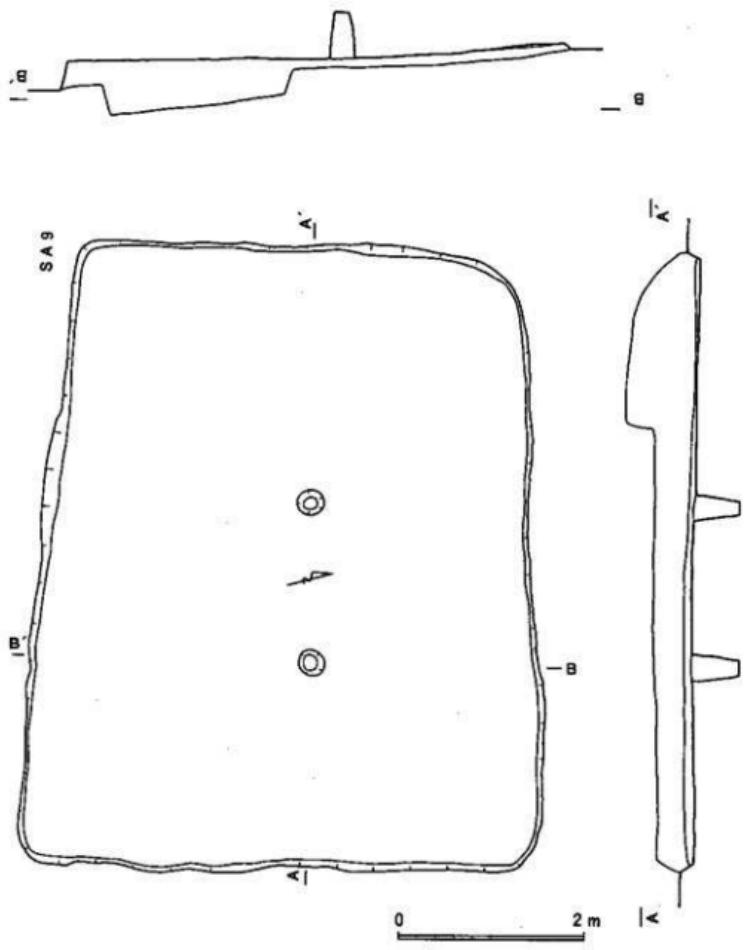
第11図 宮ノ前第2遺跡B地区遺構分布図



第12圖 張生土器實測圖(I) 1~48



第13図 6号住居実測図



第14図 9号住居実測図

アカホヤブロックを多く含む土層、Ⅲ層が厚さ10cmの粘質の青灰色土を多く含む土層である。北側の壁際ではⅡ層とⅢ層の間に木炭粒を多く含む土質がある。土器量は非常に少なかった。

壺 30は横描波状文を有する複合口縁壺である。31は頸部に絡繩突帯を有する壺である。

壺 32~34は直口する口縁部の下位に一条の刻み目突帯を有する壺である。39は頸部に横描波状文を施している壺である。45は口縁部が薄く、内側への張り出しも見られる肥後系の變形土器である。口径28.6cm、頸部径25.1cmである。46は底径3.6cmの平底の底部である。47も46と同タイプである。49は脚部が僅かに開く底部で、底径6.0cmである。

#### 10号住居 (第15図)

10号住居は長さ740cm、幅710cm、深さ52cmの方形プランで、床面積は52.5m<sup>2</sup>である。主柱穴は4本柱である。土器量は少なかった。

埋土はⅠ層が厚さ12~38cmの褐色土層 (Hue 7.5 YR 4/6・木炭粒若干含む)、Ⅱ層が厚さ8cmの褐色土層 (々々 4/4・硬質の黒色土粒が多く、アカホヤ微粒子を若干含む)、Ⅲ層が厚さ14~22cmの褐色土層 (々々 4/6・硬質の黒色土粒を若干含む)、Ⅳ層が厚さ7~22cmの褐色土層 (々々 4/3・粘質の黄色土微粒子を多く、木炭微粒子を若干含む)で、壁際のV層は褐色土層 (々々 4/4・粘質の黄色土ブロックが多い) である。

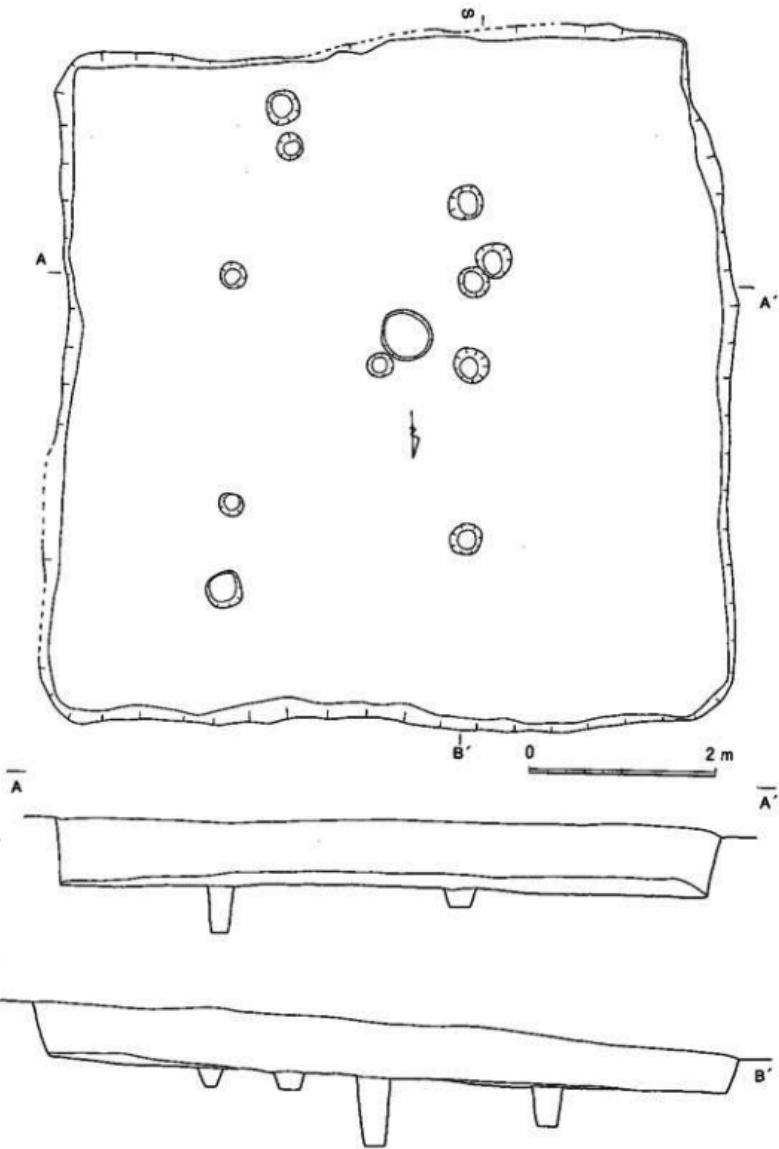
壺 49は頸部と胴部の境に勾玉状の浮文を有する。50は胴部の上位に2条の突帯を有する。53~59の複合口縁壺は横描波状文を施した口縁部がかなり内傾し、口縁部と頸部の境は明瞭な段がある。口唇部は平坦に仕上げており、口縁部に多条の横描波状文を施している。外面ともヨコナデを施す。60は頸部にヘラによる横方向の連続刺突文を施している。61は口縁部がほぼ直口し、頸部に1条の突帯を巡らし、胴部が張り出す小型の壺である。口径5.6cm、頸部径6.0cm、胴部最大径7.9cmである。62は底部3.6cmの平底の底部である。

壺 64は口縁部が直口し、一条の刻み目突帯を有する壺であるのに対して、65はくの字口縁部直下に一条の刻み目突帯を有し、口縁部と突帯の間に穿孔を1有する。65は口径28.2cm、頸部径26.0cmである。66~67は1条の刻み目突帯である。68~69は工字突帯の一部である。70は内側への張り出しの明瞭である肥後系の變形土器である。口径33.0cm、頸部径29.3cmである。71は口縁部が頸部から大きく外反し、口径26.2cm、頸部径23.3cmである。72は口縁部がほぼ直立気味に伸び、口唇部を凹気味に仕上げている。口径13.0cm、頸部径11.8cmである。

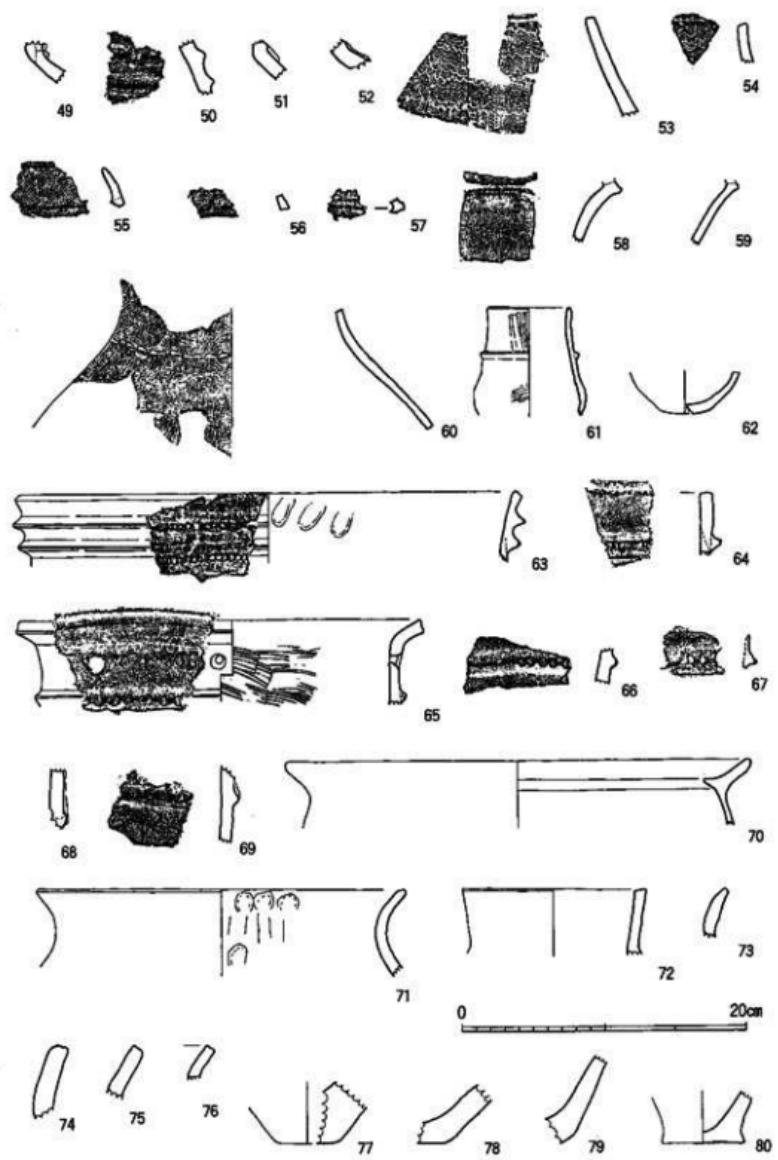
底部 77~79は平底の壺の底部、80は外方に張り出す壺の底部である。

81は口径17.0cmで胴部最大径16.4cmより大きい壺である。86~87は口縁部が大きく外反し、口唇部は凹気味に仕上げている。口縁部から胴部上半部の表面に横方向の粗い叩きを施している。口径17.6cm、頸部径15.2cmである。

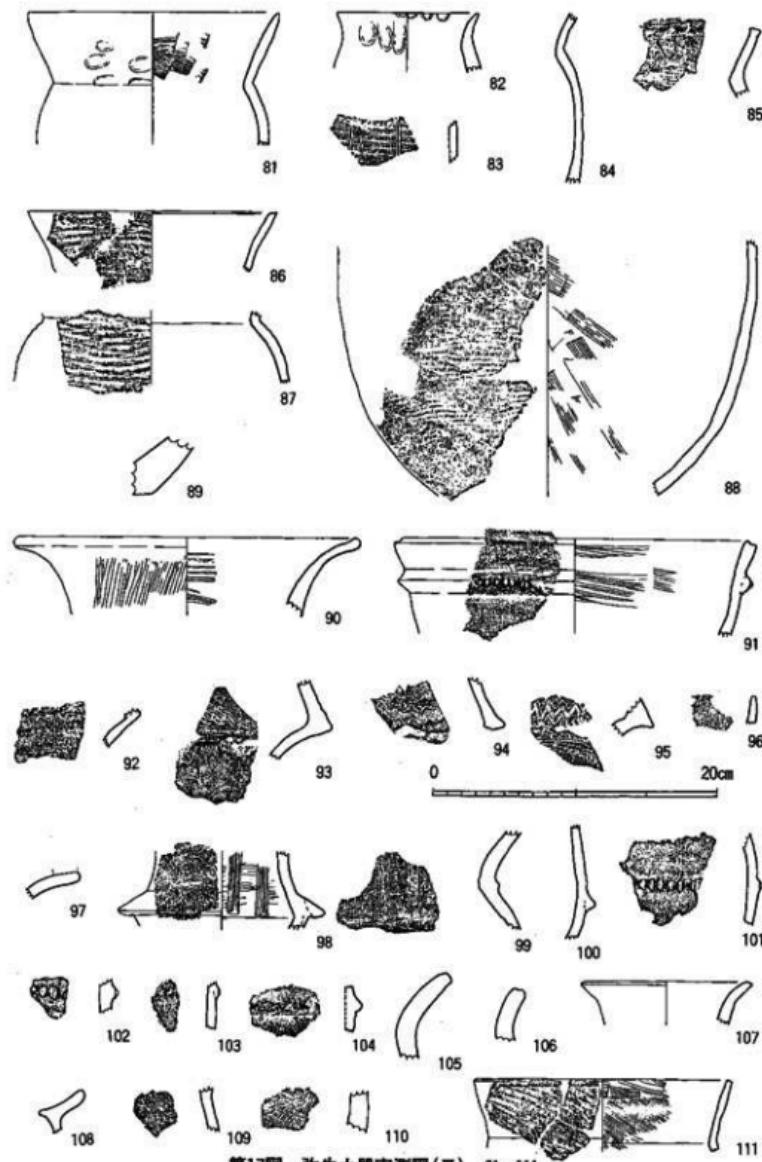
石器 半分欠損した磨製石庵丁は方形タイプの両刃の直刃で、背部は直線である。刃部付近は斜方向の研磨を行っている。孔は1孔のみ残存している。現存長3.4cm、幅3.9cm、厚さ0.3cm、孔上面径0.6cm、孔径0.4cmである。綠泥片岩製の無茎磨製石鑿が2点出土しており、1点は長さ



第15図 10号住居実測図



第16図 弥生土器実測図(Ⅱ) 49-80



第17図 弥生土器実測図(Ⅲ) 81~111

3.5cm、幅1.2cm、厚さ0.2cmである。他の1点は無茎部分を欠損しており、現存長2.5cm、幅1.2cm、厚さ0.2cmである。磁石は平面が長楕円形で、断面も楕円形のタイプで、表面は使用して大きくへこんでいる。頭部と端部は敲打している。長さ20.0cm、幅8.5cm、厚さ6.3cmである。

鉄器としては鉄鎌が1点だけ出土している。

#### 12号住居 (第18図)

12号住居は長さ526cm、幅494cm、深さ48cmの方形プランで、床面積26.0m<sup>2</sup>である。主柱穴は等高線に直交する2本柱である。

壺 90は口縁部が途中から大きく外反し、口径23.8cmである。内外面ともハケメを施す。

壺 91は口縁部が直線的に斜方向に伸び、口縁部直下に一条の刻み目突帯を有する。口唇部は凹気味に仕上げている。口径24.2cmで、内外面ともハケメを施している。

縫石製で六角形の平玉が1点出土しており、長さ0.6cm、幅0.6cm、厚さ0.3cmである。

#### 13号住居 (第19図)

13号住居は14号住居を切っており、長さ864cm、幅650cm、深さ104cmの長方形プランで、床面積56.2m<sup>2</sup>である。4本柱で、南側の2本の柱穴の間に焼土がある。埋土はI層が厚さ54~74cmの褐色土層 (Hue7.5YR 4/4・粘質の黄色土と木炭粒を若干含む)、II層が厚さ14~26cmの黒褐色土層 (Hue 3/4・粘質の黄色土を多く、木炭粒を若干含む)で、壁際のIII層は褐色土層 (Hue 4/6・木炭粒を若干、粘質の黄色土ブロックを多く含む)である。

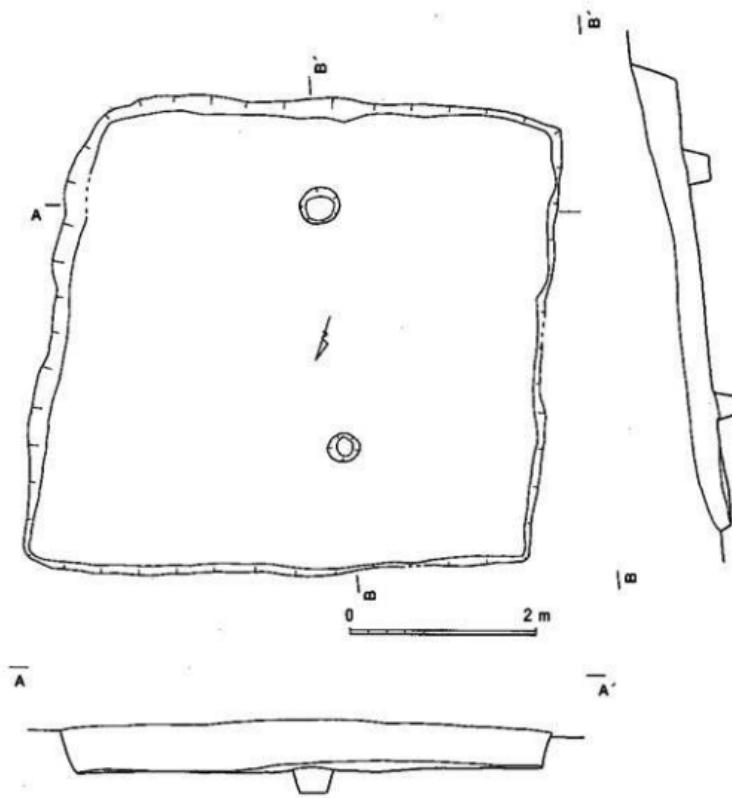
壺 92~98は口縁部が内傾する横描波状文の複合口縁壺である。特に98は複合口縁部と頸部の境が大きく突出しており、内面には横方向のハケメの上から間隔を置いて縦方向にハケメを施している。99は頸部と胴部の境に一条の突帯を有する。

壺 101~104はくの字口縁部の直下に一条の刻み目を有する。107は口縁部が途中から大きく外反し、口径12.1cmである。108は内側の張り出しの明顯である肥後系の壺形土器である。109・110は頸部に横描波状文を施している。111は口縁部はほぼ直立気味に伸び、口径18.3cmである。口縁部の表面は斜方向の叩き目を施している。

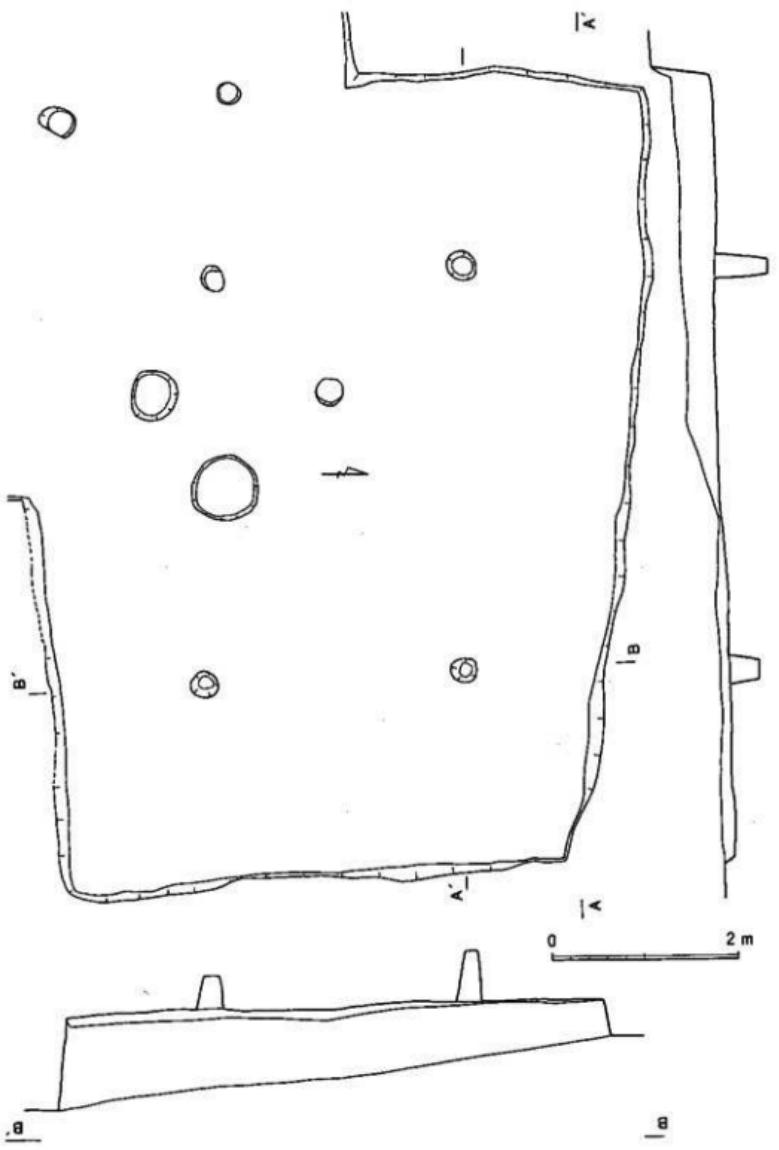
石器 打製石鎌は2本とも無茎の長二等辺三角形のタイプで、頁岩製である。完形の1点は長さ3.3cm、幅1.5cm、厚さ0.4cmである。他の1点は先端部を欠損しており、現存長2.9cm、幅1.6cm、厚さ0.3cmである。無茎磨製石鎌は無茎部分を若干欠如しており、長さ4.2cm、幅1.6cm、厚さ0.2cmである。磨製石斧は刃部も頭部もほとんど欠如しており、側面は平坦に整形している。現存長5.4cm、現存幅2.1cm、現存厚み2.5cmである。

#### 14号住居 (第20図)

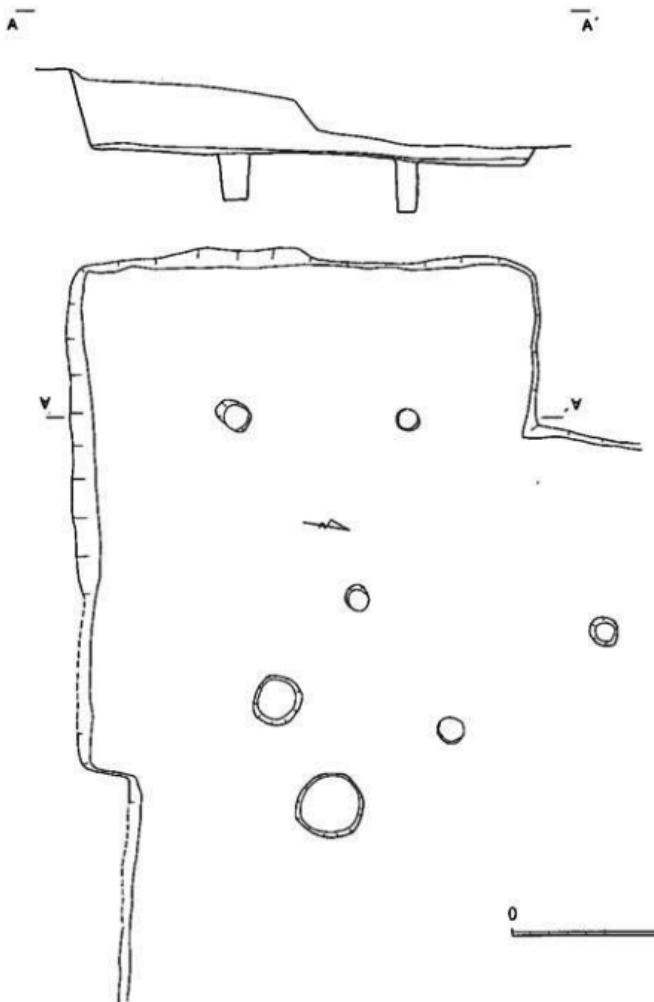
14号住居は13号住居に切られており、長さ560cm、幅500cm、深さ87cmの方形プランで、床面積28.0m<sup>2</sup>である。主柱穴は4本である。埋土はI層が厚さ34~68cmの褐色土層 (Hue7.5YR 4/3・粘質の黄色土を若干含む)、II層が10~28cmの褐色土層 (Hue 4/4・粘質の黄色土ブロックと木炭粒を若干含む)で、壁際のIII層は暗褐色土層 (Hue 3/4・粘質の黄色土粒子が非常に多く



第18図 12号住居実測図



第19図 13号住居実測図

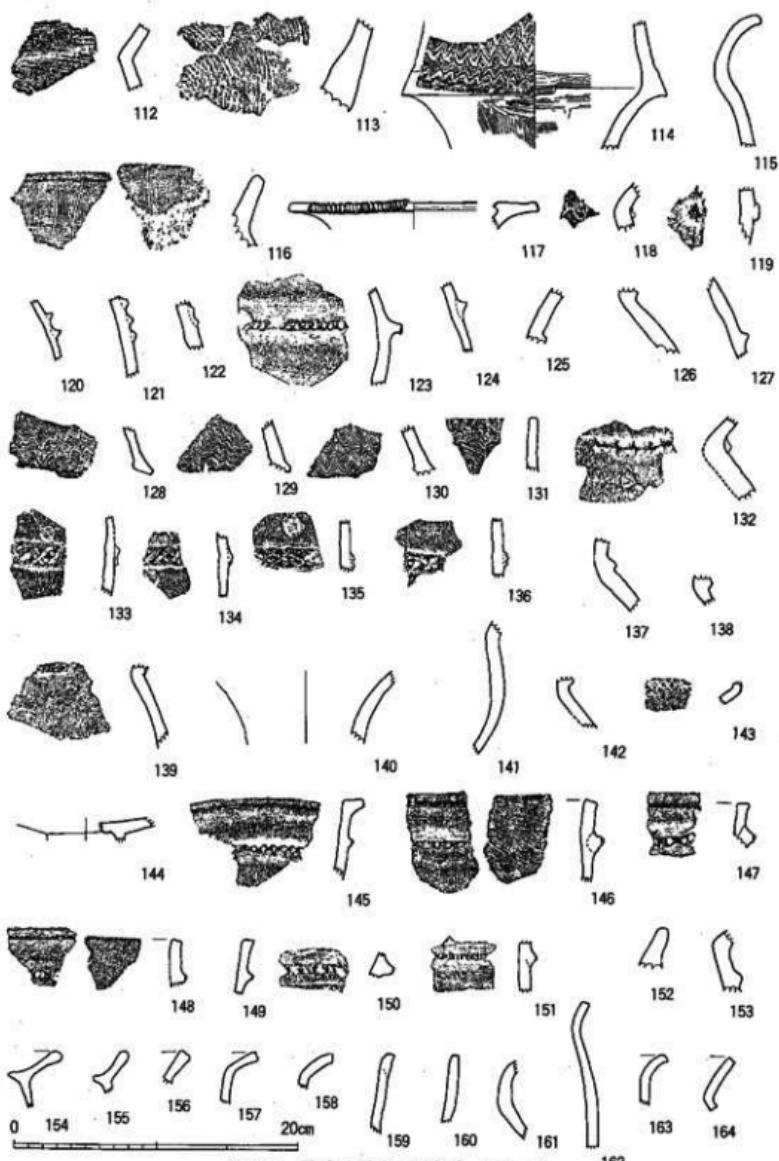


第20圖 14号住居実測図

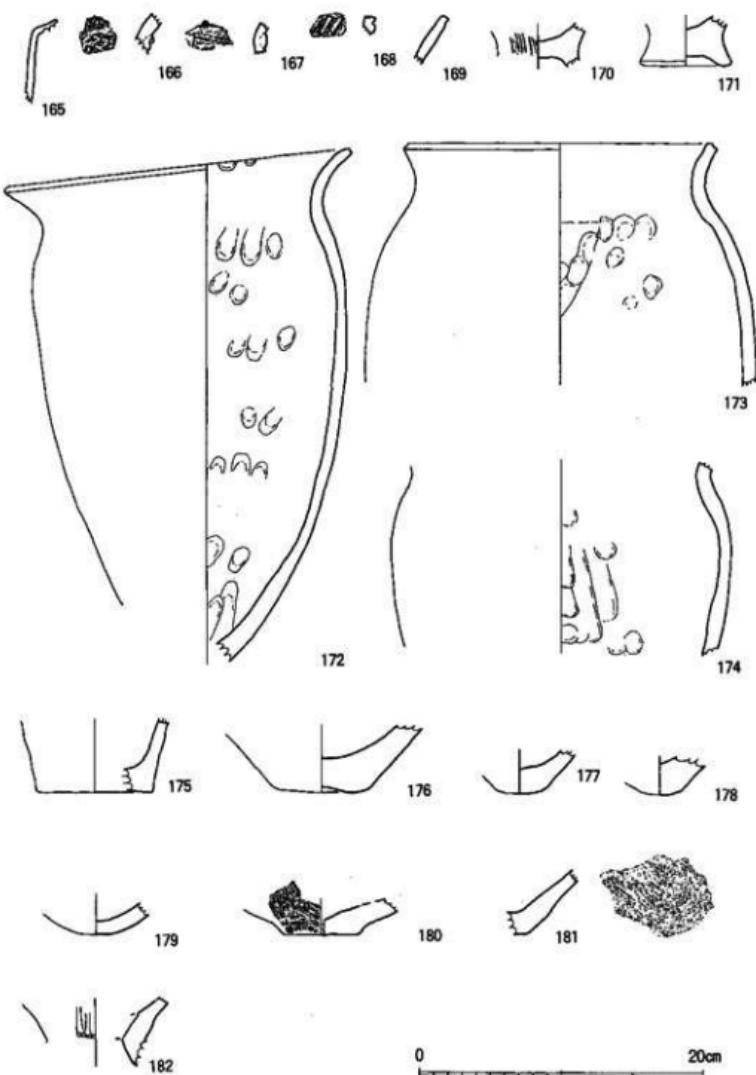
含む）である。

壺 114は口縁部に構造波状文を施した複合口縁壺で、波状文は鋭角的である。

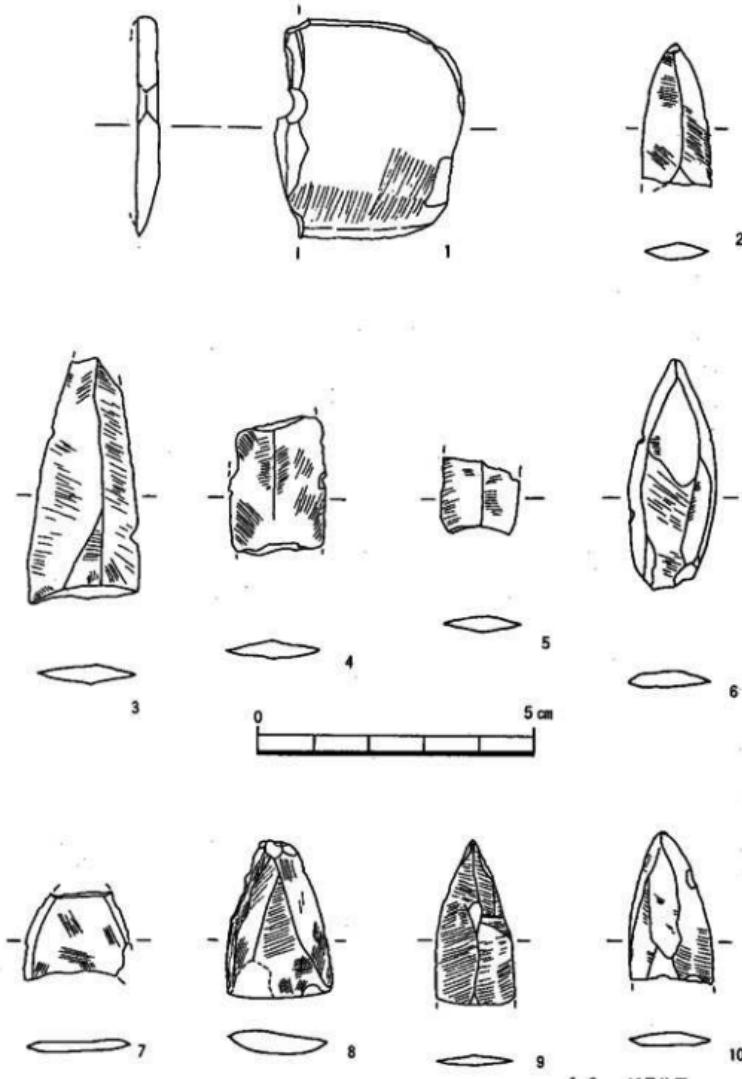
甕 115は口縁部が大きく外反している。115は口縁部の内外面にハケメを縦方向と横方向に施している。



第21図 弥生土器実測図(IV) 112~164



第22図 弥生土器実測図(V) 165~182



第23図 石器実測図

1・2 10号住居  
 3～5 11号住居  
 6・7 13号住居  
 8～10 15号住居

表2 B地区出土弥生土器觀察表

番号	地名	アーチ	形質	目録	器 形		形状	色 満		施 土	備 考	分類
					外 壁	内 壁		外 壁	内 壁			
II-1	SAS	東	直 筒	前方のハケメ 前方のハケメ	ナゲ ぬいナゲ		直好	標準 (7.57H 7.0)	標準 (7.57H 7.0)	1mm以下の黒く光る砂粒、基底の砂粒 0.5mm以下の白色透明で光る砂粒を含む。	外側…三角尖等、基部 外側…舟形等、基部	
II-2	SAS	東	直 筒	ナゲ	風化の有無 不明		直好	にじい場 (7.57H 5.4)	にじい場 (7.57H 5.4)	4mm以下の白色。1mm以下の黒く光る 透明で光る砂粒を含む。	外側…2条の三角尖等	
II-3	SAS	東	直 筒	工具による口 ナゲ	風化の有無 不明		直好	底良 (7.57H 5.2)	底良 (7.57H 5.4)	3mm以下の白色の砂粒、1mm以下の黒 く光る、透明で光る砂粒を含む。	外側…舟形等、黑色部分、底良目安等	
II-4	SAS	東	直 筒	前方のハケメ のあとヨコナゲ	風化の有無 不明		直好	底良 (7.57H 7.0)	にじい場 (7.57H 5.0)	1mm以下の白・透明で光る黒く光る砂 粒を多く含む。	外側…舟形等、底良目安等	
II-5	SAS	東	直 筒	後	風化の有無 不明		直好	にじい場 (7.57H 7.4)	底良 (7.57H 6.4)	1mm以下の黒く光る、透明で光る砂粒 を多く含む、2mmの大粒の砂粒を少 し含む。	外側…直角等、舟形等、底良 目安等	
II-6	SAS	東	口付 直 筒	ヨコ ノコナ ナゲ	風化の有無 不明		直好	標準 (7.57H 7.0)	標準 (7.57H 7.0)	1mm以下の黒・褐色の砂粒を少し含む。	外側…ス付等	
II-7	SAS	東	口付 直 筒	風化の有無 不明	ナゲ		直好	標準 (7.57H 7.0)	標準 (7.57H 7.0)	1mm以下の黒・褐色の砂粒を少し含む。	口部…ヨコナゲ	
II-8	SAS	東	口付 直 筒	ナゲ	ナゲ		直好	底良 (7.57H 5.0)	底良 (7.57H 5.2)	3mm以下の黒・灰白・茶・褐色の砂粒 を少し含む。	口部…ヨコナゲ 内側…直角	
II-9	SAS	東	口付 直 筒	前方のハケメ	ヨコ・前方の ハケメ		直好	底良 (7.57H 5.0)	底良 (7.57H 5.0)	4mm以下の黒・褐色の砂粒、1mm以下 の透明で光る砂粒を少し含む。	口部…ナゲ	
II-10	SAS	東	直 筒	ヨコナ ナゲ	ナゲ		直好	標準 (7.57H 3.2)	標準 (7.57H 4.0)	3mm以下の褐色の砂粒を少し含む。 2mm以下の黒く光る透明灰白の砂粒 を多く含む。	外側…縦縫造灰文、直角	N.I.
II-11	SAS	東	直 筒	直・斜方の ハケメ ヨコナ ナゲ	斜方内のハケメ ヨコナ ナゲ		直好	底良 (7.57H 4.1)	底良 (7.57H 4.1)	1mm以下の黒・灰色、深灰色の砂粒、 5mm以上の青く透明の砂粒、ごく細か い透明で光る砂粒を含む。	外側…船形直角、底良	
II-12	SAS	東	直 筒	ヨコナ ナゲ	ナゲ		直好	にじい場 (7.57H 7.4)	底良 (7.57H 6.4)	0.5~7mmの乳白色の砂粒が目立つ。 1mm以下の白色で黒い砂粒と白色砂 粒、0.5mm以下の白色透明で光る砂粒と黃 色の砂粒。	外側…船形直角等	
II-13	SAS	東	口付 直 筒	前古のナ ゲ	ヨコナ ナゲ		直好	にじい場 (7.57H 7.4)	にじい場 (7.57H 7.4)	0.5~2.5mmの黒く光る砂粒、0.5~1.5 mmの黄色の砂粒、1mm以下の透明で 黒く光る砂粒と白色透明で光る砂粒を含 む。	外側…船形直角状文	
II-14	SAS	東	口付 直 筒	ナ ゲ	ナ ゲ		直好	にじい場 (7.57H 5.0)	にじい場 (7.57H 5.0)	1.5mm以下の砂粒で黒く光る砂粒と1mm 以下の白色透明な砂粒を含む。2mm以 下の灰白・青白・褐色の砂粒を含む。 1mm以下の褐色の砂粒を含む。	外側…縦縫造灰文	
II-15	SAS	東	口付 直 筒	ヨコナ ナゲ	ヨコナ ナゲ		直好	底良 (7.57H 6.4)	底良 (7.57H 6.4)	4.5mm以下の白・褐色の砂粒を多く含む。 1mmの褐色及び灰白色の砂粒、0.5mm以下の 砂粒で黒い砂粒と白色透明で光 る砂粒。	外側…2段の縦縫造灰文	
II-16	SAS	東	口付 直 筒	ヨコナ ナゲ	ヨコナ ナゲ		直好	底良 (7.57H 5.1)	底良 (7.57H 5.1)	1.5mm以下の砂粒で黒く光る砂粒を含 む。0.5mm以下の白色・褐色・黑色の砂 粒を含む。	外側…縦縫造灰文	
II-17	SAS	東	直 筒	ヨコナ ナゲ	ヨコナ ナゲ		直好	底良 (7.57H 5.0)	底良 (7.57H 5.0)	1.5mm以下の砂粒で黒く光る砂粒と1mm 以下の褐色透明な砂粒を含む。2mm以 下の灰白・青白・褐色の砂粒を含む。 1mm以下の褐色の砂粒を含む。	外側…縦縫造灰文	
II-18	SAS	東	口付 直 筒	ヨコナ ナゲ	風化の有無 不明		直好	底良 (7.57H 3.1)	にじい場 (7.57H 5.1)	1.5mm以下の砂粒で黒く光る砂粒と無色 透明な砂粒を含む。黑色・灰白色の砂 粒を含む。	外側…船形直角、スス付 内側…灰白色直角	
II-19	SAS	東	直 筒	ナ ゲ	ナ ゲ		直好	底良 (7.57H 6.3)	底良 (7.57H 6.4)	3.5mm以下の白・青白の砂粒、0.5mm以下 の白色透明な砂粒を含む。0.5mm以下の 白色透明で光る砂粒を含む。	外側…灰白色直角	
II-20	SAS	東	口付 直 筒	ヨコナ ナゲ	ヨコナ ナゲ		直好	底良 (7.57H 5.0)	底良 (7.57H 5.0)	1.5mm以下の砂粒で黒く光る砂粒と無色 透明な砂粒を含む。黑色・灰白色の砂 粒を含む。	外側…舟形等	

回数 番号	生物 番号	アリ 番号	種類	調 査 方 法			測定 方法	色 調			地 土	被 考	分類
				外 部	内 部	底 部		外 部	内 部	底 部			
12 11 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	前方内のハケメ	前方内のナデ			直視	赤青 (G.5YR 4/4)	灰白 (G.5Y 8/2)		0.5m以下の黒く光る部分を多く含む。1~2m以下の黒く光る部分を多く含む。ごく薄かう色色調が光る部分。	外茎一端のみ白苔、部分充電	■
12 22 SAB 黒	周 管	ヨコナデ	ヨコナデ				直視	に赤い葉緑 (G.YW 7/4)	褐色 (G.YW 6/4)		ごく薄かう色色調が光る部分を多く含む。1~2m以下の黒く光る部分を多く含む。0.5m以下の黒く光る部分を多く含む。	外茎一部のみ白苔、内茎一端黒	
12 23 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ				直視	に赤い葉緑 (G.YW 6/4)	褐色 (G.YW 6/4)		3m以下の黒く光る部分を多く含む。1~2m以下の黒く光る部分を多く含む。1~3m以下の黒く光る部分を多く含む。同色色の部分と異色色の部分と混在する。1~2m以下の黒く光る部分を多く含む。	口縫部一部黒	
12 24 SAB 黒	口縫部	前方内のハケメ	前方内のハケメ				直視	灰青 (G.YW 6/4)	浅青 (G.YW 6/4)		9~10mの黒色、赤褐色、灰褐色の部分と、8~10mの黒色、赤褐色、灰褐色の部分と、8~10mの黒色、赤褐色の部分と、3m以下の黒色、赤褐色、灰褐色の部分を多く含む。	口縫部+ナデ 内茎一スズベ付着	
12 25 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ				直視	青 (G.YW 6/4)	青 (G.YW 6/4)		7~2mの黒の部分、赤褐色、灰褐色の部分と、7~2mの黒の部分、赤褐色、灰褐色の部分と、7~2mの黒の部分、赤褐色、灰褐色の部分と、7~2mの黒の部分、赤褐色、灰褐色の部分を多く含む。	外茎一部黒	
12 26 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ				直視	灰青 (G.YW 6/4)	褐色 (G.YW 6/4)		2.5m以下の黒の部分で多く光る部分と、0.5m以下の黒の部分で多く含む。3m以下の黒の部分で多く含む。1~2m以下の黒の部分で多く含む。1~2m以下の黒の部分で多く含む。	口縫部一部黒	
12 27 SAB ハニ チニア	近 部	横なナデ	横なナデ	横なナデ			直視	に赤い葉緑 (G.YW 6/4)	に赤い葉緑 (G.YW 6/4)		3m以下の黒の部分で多く光る部分と、2.5m以下の黒の部分で多く含む。1~2m以下の黒の部分で多く含む。ごく薄かう色色調が光る部分を少量化。	外茎一部黒	
12 28 SAB 黒	前 部	基 部	前方・後方内のナデ	前方・後方内のナデ			直視	に赤い葉緑 (G.YW 6/4)	に赤い葉緑 (G.YW 6/4)		0.5~1.5mの黒の部分で多く含む。1~2m以下の黒の部分で多く含む。1~2m以下の黒の部分で多く含む。1~2m以下の黒の部分で多く含む。1~2m以下の黒の部分で多く含む。	内茎一端黒	
12 29 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ				直視	青 (G.YW 7/4)	青 (G.YW 7/4)		多め黒化。	外茎一端黒淡灰	
12 30 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ				直視	浅青 (G.YW 6/4)	浅青 (G.YW 6/4)		1~8mの灰・基・葉色の部分を多く含む。	外茎一端黒淡灰	
12 31 SAB 黒	前 部	基 部	前方内のハケメ	前・後方内のハケメ			直視	明葉緑 (G.YW 7/5)	明葉緑 (G.YW 7/5)		2~4mの黒の部分を多く含む。2~4m以下の小石を1ヶ含む。	外茎一部子葉部み白苔	
12 32 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ	後方内のハケメ			直視	に赤い葉緑 (G.YW 6/4)	浅青 (G.YW 6/4)		2m程の白苔を少量化。	口縫部+ナデ 外茎一スズベ付着、葉A基 部充電	II B
12 33 SAB 黒	前 部	ヨコナデ	ヨコナデ	ヘラによるヨコナデ			直視	灰葉緑 (G.YW 7/0)	に赤い葉緑 (G.YW 5/0)		1m以下の基色の部分を含む。	外茎一端のみ白苔	
12 34 SAB 黒	前 部	ヨコナデ	ヨコナデ				直視	灰青 (G.YT 5/4)	浅青 (G.YT 5/4)		1m以下の白・白・青色の部分を含む。	外茎一部白苔	
12 35 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ	直 部			直視	黑 (G.YW 5/4)	黑 (G.YW 5/4)		1.5m以下の黒く光る部分を多く含む。0.5m以下のガラス質の透明の光る部分を多く含む。	内茎一部黒	
12 36 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ	直 部			直視	に赤い葉緑 (G.YW 6/4)	に赤い葉緑 (G.YW 6/4)		1.5m以下の黒く光る部分を多く含む。0.5m以下の白・白・青色の部分を多く含む。	内茎一部黒	
12 37 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ	直 部			直視	黑 (G.YW 5/4)	黑 (G.YW 5/4)		1.5m以下の黒く光る部分を多く含む。0.5m以下の白・白・青色の部分を多く含む。	内茎一部黒	
12 38 SAB 黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ	直 部			直視	黑 (G.YW 5/4)	黑 (G.YW 5/4)		1.5m以下の黒く光る部分を多く含む。0.5m以下の白・白・青色の部分を多く含む。	内茎一部黒	
12 39 SAB 黒	前 部	ヨコナデ	ヨコナデ	直 部			直視	黑 (G.YW 5/4)	黑 (G.YW 5/4)		1.5m以下の黒く光る部分を多く含む。0.5m以下の白・白・青色の部分を多く含む。	内茎一部黒	
12 40 SAB 黒	後 部	ヨコナデ	ヨコナデ	直 部			直視	黑 (G.YW 5/4)	黑 (G.YW 5/4)		1.5m以下の黒く光る部分を多く含む。0.5m以下の白・白・青色の部分を多く含む。	内茎一部黒	

番号	種類	グリ	岩種	岩名	質			地式	質			地式	地名
					外	内	底		外	内	底		
12 41 SAB 黒 口縫岩 ミコナデ ミコナデ					良好	に良い岩質 (GOTY 6/3)	良質質 (GOTY 6/3)		1.5m以下の層に光る板状の巻板と1~3mm級の乳白色の石粒。				外第一層灰
12 42 SAB 黒 口縫岩 ミコナデ ハタメ					良好	に良い岩質 (GOTY 6/3)	に良い岩質 (GOTY 6/3)		1mm以下の茶色の巻板を少含む。				口縫部一目、ナダ
12 43 SAB 黒 口縫岩 ミコナデ・前方向のハタメ				ナダ	良好	良質 (GOTY 6/3)	良質質 (GOTY 6/3)		1.5m以下の茶色の巻板が多く含む。				口縫部一目、ナダ
12 44 SAB 小斜傾 前 細 ミコナデ	細・前方向のナダ				良好	に良い岩質 (GOTY 6/3)	良質質 (GOTY 6/3)		2~3mmの乳白色・灰・灰色の石粒を含む。				内第一・基スリ付層、前方向の凹陥部
12 45 SAB 黒 口縫岩 ミコナデ	ミコナデ・ミコナデの上にハタメ				良好	に良い岩質 (GOTY 6/3) 良質質 (GOTY 6/3)	に良い岩質 (GOTY 6/3)		2mm級の乳白色の石粒、4mm以下の層に茶色の巻板を少含む。				外・内第一・スル付層 上部(3.25m) 内第一・変化部付層
12 46 SAB 黒 灰 茶 細 ナダ	ナダ			ナダ	良好	に良い岩質 (GOTY 6/3)	に良い岩質 (GOTY 6/3)		1.5m以下の層に光る板状の巻板、通常の光る巻板と、2~3mmの灰・茶の巻板を含む。				外第一・スル付層 上部(3.25m) 内第一・変化部付層
12 47 SAB 灰 灰 茶 細 ナダ	ナダ			ナダ	良好	に良い岩質 (GOTY 6/3)	良質質 (GOTY 6/3)		1~2mmの白い巻板、3~3mmの茶色の巻板を含む。				外第一・层灰 灰(3.4m) 内第一・変化部付層
12 48 SAB 黒 灰 細 ナダ	ナダの弱開裂 ナダ			ナダ	良好	良質質 (GOTY 6/3)	に良い岩質 (GOTY 6/3)		1mm以下の層に光る板状の巻板と、1mm以下の層に光る巻板を少含む。				底壁-1.7m
16 49 SAB10 黑 灰 細 面内側のナダ 面外側のナダ	面内側のナダ ミコナデ				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		1.5m以下の巻板で覆く光る巻板と1mm以下の層に光る巻板を少含む。5~3mm級の板状・白・灰・灰色の巻板と2mm級の白・灰・黑色・灰色の巻板を含む。				外第一・側内側の付文
16 50 SAB10 黑 灰 細 面内側のヘア巻	ミコナデ				良好	良質 (GOTY 6/3)	弱質 (GOTY 6/3)		1mm以下の巻板で覆く光る巻板と1mm以下の層に光る巻板を少含む。3~3mm級の板状・白・灰・灰色の巻板と2mm級の白・灰・黑色・灰色の巻板を含む。				外第一・弱質、スル付層
16 51 SAB10 黑 灰 細 面内側の弱開裂 無開裂	無開裂の弱開裂 無開裂				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		1.5m以下の巻板で覆く光る巻板と1mm以下の層に光る巻板を少含む。5~2mmの板状・白・灰・灰色の巻板と3mm級の板状・白・灰・黑色・灰色の巻板を含む。				外第一・側内側の付文
16 52 SAB10 黑 灰 細 面内側の無開裂 無開裂	無開裂の無開裂 無開裂				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		1.5m以下の巻板で覆く光る巻板と1mm以下の層に光る巻板を少含む。3~3mm級の板状・白・灰・黑色・灰色の巻板と2mm級の板状・白・灰・黑色・灰色の巻板を含む。				外第一・側内側の付文
16 53 SAB10 黑 口縫岩 ミコナデ	ミコナデ				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		1mm以下の巻板で覆く光る巻板と1mm以下の層に光る巻板を少含む。1mm以下の層に光る巻板を含む。				外第一・側内側の付文
16 54 SAB10 黑 口縫岩 ミコナデ	ミコナデ				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		1mm以下の巻板で覆く光る巻板と1mm以下の層に光る巻板を少含む。1.5mm以下の層に光る巻板を含む。				外第一・弱質灰或灰、丹青 内第一・弱質、丹青
16 55 SAB10 黑 口縫岩 ミコナデ	ミコナデ ナダ				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		1mm以下の巻板で覆く光る巻板と1mm以下の層に光る巻板を少含む。4mm以下の巻板と、底壁の巻板を含む。				口縫部-ミコナデ 底壁-強板状灰
16 56 SAB10 黑 口縫岩 ナダ	ナダ				良好	弱質 (GOTY 6/3)	に良い岩質 (GOTY 6/3)		1mm以下の巻板で少含む巻板と無質の巻板を含む。				外第一・直接強灰付
16 57 SAB10 黑 口縫岩 ナダ	ナダ				良好	良質 (GOTY 6/3)	に良い岩質 (GOTY 6/3)		0.5~1mmの灰色・乳白色の巻板を含む。				外第一・弱質強灰付
16 58 SAB10 黑 口縫岩 ミコナデ 前・後方向のハタメ	ミコナデ 前・後方向のハタメ				良好	に良い岩質 (GOTY 6/3)	成岩 (GOTY 6/3)		1mm以下の巻板で覆く光る巻板と1.5mm以下の巻板を含む。1mm以下の巻板と無質の巻板を含む。				外第一・側強灰或灰文、スル 付層、セドリ
16 59 SAB10 黑 口縫岩 ナダ	ナダ				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		1mm以下の巻板で覆く光る巻板と無質の巻板を含む。1mm以下の巻板と無質の巻板を含む。				外第一・側強灰或灰文、スル 付層、セドリ
16 60 SAB10 黑 口縫岩 ナダ	ナダ				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		4mm以下の赤色で微質の巻板を含む。				外第一・スル付層、黑斑
16 61 SAB10 黑 口縫岩 ナダ	ナダ				良好	良質 (GOTY 6/3)	良質 (GOTY 6/3)		4mm以下の赤色で微質の巻板を含む。				V

目次 番号	地物 名	ダサ レット	緑 豊	細 部	表			地 形	表			基 土	基 層	分類
					外 周	内 周	底 面		外 周	内 周	底 面			
16 41 SA10 小石 堆 積 物	口縁部 ノコナ ド		裏、被方側のへ に盛り て、被方側内へ て盛り	ヨコナ ドハメ			直野	に近い黄緑 (0.5% 7/4)	に近い黄緑 (0.5% 7/4)	0.5～1mm程度の 茶色の粒を含む。	内部一風景 C带～0.4m			
16 42 SA10 草 堆 物	ナテ		裏、被方側のナ テ	ナテ			直野	被 (0.5% 6/4) 灰褐色 (0.5% 6/4)	3mm程度の黄褐色、 灰褐色、赤色の粒と 2mm以下の黄白色、 灰色、黑色の砂粒を含む。	外部一スル付着 底面～2cm				
16 43 SA4 土 堆 積	工事による ヨコナ ド			ヨコナ ド			直野	に近い黄緑 (0.5% 6/4)	に近い黄緑 (0.5% 7/4)	1～4mm程度の茶色、 灰色の粒、透明 の砂粒を少許含む。		IA		
M 54 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド			ヨコナ ド			直野	灰 (2.5% 6/4)	灰 (2.5% 6/2)	黑色・透明の光沢のある 鐵錫鉱少量、 2mm以下～2mm程度の 茶色・灰色の粒を含む。	内部一ヨコナ ド带～3.6m 外周一込み豆莢帶		IB	
16 45 SA20 土 堆 積	工事による ヨコナ ドナ ド		工事による ヨコナ ドハメ	ヨコナ ドハメ			直野	明 褐色 (0.5% 7/4)	0.5～1mm程度の黑色、 白色の粒と少許含む。	内部一風景豆莢帶 C带	C带～0.2m			
16 46 SA20 土 堆 積	ヨコナ ド			ヨコナ ド			直野	褐 (3.5% 6/4) 灰褐色 (0.5% 6/2)	褐色 (3.5% 6/2) 灰褐色 (0.5% 5/2)	1.5mmの鉄錫鉱で 厚く包む粒と1.5mm 以下の茶色透明な砂粒を含む。1.5mm以下の 茶色・灰色、白色、黑色の砂粒を含む。	外部一スル付着、 底面			
16 47 SA20 土 堆 積	ヨコナ ド		ヨコナ ドの高密度 小磯				直野	褐 (3.5% 6/4) (3.5% 6/2)	灰 (3.5% 6/2)	透明	外部一漏斗豆莢帶			
16 48 SA10 土 堆 積	ナ テ		ナ テ	ナ テ			直野	褐 (3.5% 6/4)	灰褐色 (0.5% 6/2)	透明、黑色の光沢のある 鐵錫鉱を多 量。1mm以下～3mm程度の茶色、白 色、灰色の粒を含む。	外部一工事豆莢帶		N 1	
16 49 SA20 土 堆 積	ヨコナ ド		被方側のナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 7/4)	被 (0.5% 6/2)	3mm以下の光沢の 茶色透明な砂粒を 多く含む。0.5mm 以下の茶色透明な砂粒を少 量含む。	内部一工事豆莢帶		V 1	
16 50 SA20 土 堆 積	ヨコナ ド		被方側のナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 6/4)	被 (0.5% 5/2) 褐色 (0.5% 3/2)	3mm以下の光沢の茶色透明な砂粒と 0.5mm以下の茶色透明な砂粒を含む。 3mm以下の茶色、黑色、黄色の砂粒を 含む。	内部一工事豆莢帶		V 2	
16 51 SA20 草 堆 積	ヨコナ ド		ナ テ	ナ テ			直野	二 被 (0.5% 7/4) 灰 (0.5% 7/4)	被 (0.5% 7/4)	黑色の光沢のある 鐵錫鉱少量。1mm 以下の茶色透明な茶色、黑 色、灰色の粒を含む。	外部一風景			
16 52 SA20 草 堆 積	ヨコナ ド			ヨコナ ド			直野	被 (0.5% 6/2)	被 (0.5% 6/2)	0.5～1mmの透明白色の光沢、 1mm以下の茶色、黑色 の粒を含む。	外部一漏斗 C帶～0.2m			
16 53 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド		丁寧なナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 6/4)	被 (0.5% 6/3) 褐色 (0.5% 6/2)	乳白色、黑色の鐵錫鉱を少許含む。	外部一ナ テ C帶～1.3m			
16 54 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド		丁寧なナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 6/2)	被 (0.5% 6/3)	5～3mm程度の黑色、 白色の粒を含む。 2mm以下の白色、黑色、黑色 の砂粒を含む。				
16 55 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド		丁寧なナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 6/4)	被 (0.5% 6/3) 褐色 (0.5% 6/2)	5mm以下の鉄錫鉱で包む粒と 0.5mm以下の茶色透明な砂粒を少許含む。 3mm以下の黑色、白色、黑色 の砂粒を含む。	外部一スル付着 外周一風景			
16 56 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド		丁寧なナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 7/4)	被 (0.5% 7/4)	1mm以下の透明白色の光沢、 1mm以下の茶色透明な茶色、黑色、 黑色的の粒を含む。	外部一スル付着 外周一ナ テ			
16 57 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド		丁寧なナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 7/4)	被 (0.5% 7/4)	5～3mm程度の黑色、 白色の粒を含む。 2mm以下の白色、黑色、黑色 の砂粒を含む。	外部一ナ テ C帶～0.2m			
16 58 SA10 草 堆 積	ヨコナ ド		丁寧なナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 7/4)	被 (0.5% 7/4)	7～3mm程度までの黒色、 透明の透明白色 の粒を多量に含む。	底面～0.6m			
16 59 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド		ナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 7/4) 被 (0.5% 7/4)	2.5mm以下の茶色、 黑色透明な砂粒を少許含む。5 mm以下の茶色、黑色、白色、黑色 の砂粒を含む。					
16 60 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド		ナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 7/4)	2.5mm以下の茶色、 黑色透明な砂粒と1.5mm 以下の茶色透明な砂粒を少許含む。5 mm以下の茶色、黑色、白色、黑色 の砂粒を含む。	外周一スル付着 外周一風化物付着				
16 61 SA10 土 堆 積	ヨコナ ド		丁寧なナ テ	ナ テ			直野	被 (0.5% 5/4)	1.5mm以下の乳白色に光沢を 有する鐵錫鉱少 量。2mm以下の透明白色の粒を含む。 1.5mm以下の乳白色の粒を含む。	底面～0.7m				

番号	種類 番号	ダリ 名	器種	器形	質			地底	色			基 本	考 察	分類
					外 面	内 面	底 部		外 面	内 面	底 部			
17	81	SA10	東 西	口縁部 一 ノ 子	ナデ 前方のハケメ			灰	(7.5YR 6/8) にAVR 6/2 (7.5YR 6/4)	灰 (7.5YR 6/8)	1~3mm程度の褐色・灰色・白色の 斑を含む。	口縁-27cm 内底-1ス付帯、指揮板		
17	82	SA10	東 西	口縁部	ナデ			灰	(20YR 8/4) 灰 (20YR 8/2)	浅黃色 (30YR 8/2)	1~4mm程度の褐色・灰色・白色の 斑を含む。	外底-1ス付 内底-深空 口縁-27cm		
17	83	SA10	東 西	前 部	前 方 の ハ ケ メ と 後 方 の ハ ケ メ	前方向のハケメ と後方向のハケメ		灰	(10YR 6/8) 灰 (30YR 5/2)	灰 (30YR 5/2)	1.5mm以下の粒状で暗く光る表面と無色 透明な部分を含む。3mm以下の黄色・ 灰色・白色の斑を含む。			
17	84	SA10	東 西	前 部	前 方 の ハ ケ メ と 後 方 の ハ ケ メ	前方向のハケメ と後方向のハケメ		灰	にAV-1 灰 (7.5YR 6/4) 灰 (7.5YR 5/2)	灰 (7.5YR 6/8)	1~2mm程度の褐色・灰色・白色の 斑を含む。	外底-1ス付帯		
17	85	SA10	東 西	口縁部	ナデのあとナデ	ナデ		灰	にAV-1 灰 (7.5YR 6/4) 灰 (7.5YR 6/2)	浅黃色 (30YR 5/2)	0.5~4mm程度の褐色・灰色・黑色の 斑を含む。			
17	86	SA10	東 西	口縁部	前方のタキ	前方のナデ		灰	浅黃色 (10YR 6/8) にAV-1 灰 (7.5YR 7/2)	浅黃色 (30YR 5/2)	J mm程の金色に光る部分と1mm程の 粒で暗く光る黒い部分を含む。1mm 以下は無色透明な部分で、無色透明の 部分との境と2mm以下の金色・銀 色・灰色・白色の斑を含む。	口縁部-コナテ 口縁-27.3cm	E	
17	87	SA10	東 西	前 部	前方のハケメ と後方のハケメ	前方のハケメ と後方のハケメ		灰	浅黃色 (7.5YR 6/8) 灰 (7.5YR 6/2)	浅黃色 (30YR 5/2)	1~2mmの金色・灰色・白色・ 黑色の斑と3mm以下の灰褐色・ 黑色・灰色の斑を含む。	外底-1ス付帯		
17	88	SA10	東 西	前 部	前方のタキ	前方のナデ		灰	浅黃色 (10YR 6/8) 灰 (7.5YR 6/2)	灰 (7.5YR 6/8)	J mm以下の金色・灰色・白色・ 黑色・灰色の斑と3mm以下の灰褐色・ 黑色・灰色の斑を含む。	外底-1ス付帯、底面		
17	89	SA10	東 西	前 部	ナデのあと前 方のハケメ	ナデ	ナデ	灰	灰 (7.5YR 6/8)	灰 (7.5YR 6/8)	4~5mm程の金色・灰色・白色・黑色 と灰褐色の斑を含む。2mm以下の灰 色・黑色の斑を含む。	底面 内底-深空		
17	90	SA10	東 西	口縁部	ミコナデ ハケメ	ミコナデ 一部ハケメ		灰	にAV-1 灰 (7.5YR 6/4) にAV-1 灰 (7.5YR 7/2)	浅黃色 (30YR 5/2) にAV-1 灰 (7.5YR 7/2)	J mm以下の金色・光る部分を含む。3mm 以下の灰褐色・白色的斑を含む。	外底-1ス付帯 口縁-23.3cm	E	
17	91	SA10	東 西	口縁部	ナデ	ミコナデ ハケメ		灰	灰 (7.5YR 6/2) 灰 (3.5YR 8/2)	灰 (7.5YR 6/2) 灰 (3.5YR 8/2)	5mm以下の灰・黑色の斑を含む。	口縁部-コナテ 口縁-21.7cm 内底-1ス付帯(底面のみ)	EB	
17	92	SA10	東 西	口縁部	ミコナデ	ミコナデ		灰	灰 (7.5YR 6/4)	灰 (7.5YR 6/1)	1.5~2.5mmの金色・灰褐色の斑を含む。1 mm以下の無色透明な部分と1mmの灰 褐色の粒を含む。	口縁部-前方向の割れ目 内底-深空		
17	93	SA10	東 西	口縁部	前方のハケ メ、ミコナデ 前方のハケメ	前方のハケメ と前方のハケメ		灰	浅黃色 (30YR 5/1)	灰 (7.5YR 6/1)	1mm以下の白色の斑と、2mm以下の灰 色で光る白色で光る部分を含む。	外底-1ス付帯(底面 内底-舟形)	I	
17	94	SA10	東 西	口縁部	ミコナデ	ミコナデ		灰	浅黃色 (10YR 6/8)	浅黃色 (10YR 6/8)	1mm以下の灰褐色で光る部分と、 2mm以下の無色透明な部分と1mmの灰 褐色の粒を含む。	外底-黑色部分、刀物 内底-指揮板状	I	
17	95	SA10	東 西	口縁部	工具による 傷の跡 と 前方のハケメ	ミコナデ 前方のハケメ		灰	浅黃色 (7.5YR 6/4)	浅黃色 (7.5YR 6/4)	1mm以下の灰褐色で光る部分と、 2mm以下の無色透明で光る白色で光る部分を含む。	外底-黑色部分 内底-指揮板状		
17	96	SA10	東 西	口縁部	ナデ	ナデ		灰	灰 (7.5YR 6/1)	灰 (7.5YR 6/1)	1mm以下の無色透明で光る。0.5mm以下 の褐色の斑を含む。	内底-1ス付帯		
17	97	SA10	東 西	口縁部	ミコナデ ミコナデのあと 前方のハケメ	ミコナデ 前方のハケメ		灰	にAV-1 灰 (7.5YR 6/4)	にAV-1 灰 (7.5YR 6/4)	0.5mm以下の白色、黒くて光る、無光 透明で光る部分を含む。	内底-1ス付帯		
17	98	SA10	東 西	口縁部	前方のヘラ型 のあと 前方のハケメ	前方のヘラ型 のあと 前方のハケメ		灰	明黄 (3.5YR 5/4)	にAV-1 灰 (7.5YR 5/2)	3mm以下の灰・2mm以下の灰褐色 と2mm以下の白色で光る。4mmの灰褐色の斑を 含む。	外底-1ス付帯	D	
17	99	SA10	東 西	前 部	前方のハケメ と 後方のハケメ	ナデ		灰	灰 (7.5YR 7/2)	灰 (7.5YR 7/2)	3mm以下の灰褐色の部分。1mm以下の 灰・黑・白・黒・灰色透明で光る白色透明で光る 部分を含む。	外底-1ス付帯		
17	100	SA10	東 西	前 部	ミコナデ 東・底・前方の ハケメ	ミコナデ 東・底・前方のハケメ		灰	にAV-1 灰 (7.5YR 6/4)	にAV-1 灰 (7.5YR 6/4)	1.5mm以下の灰・褐色の斑を含む。 2mm以下の黒くて光る黑色透明で光る 部分を含む。	片底-船行変形		

試験番号	測定番号	アリ ラジ	基準	結果	基 本		測定	色 調		地 土	備 考	測定
					外 面	内 面		外 面	内 面			
17	101	SAL13	黒 基 本	前方角のハケメ ミシナゲ	前方角のハケメ ミシナゲ		無	淡青 (GY 6/2)	にぼい青緑 (GYR 7/2)	1m以下のガラス質で灰白色の砂粒。 0.5m以下の細粒物の砂粒を含む。	外側一組み目直面	
17	102	SAL13	黒 基 本	ヨコナゲ	ヨコナゲ		無	黒 (GY 2/1)	黒	1m以下の白・基・灰色の砂粒を含む。 0.5m以下の黒くて光る砂粒を含む。	外側一組み目直面	
17	103	SAL13	黒 基 本	ヨコナゲ	ヨコナゲ		無	淡青 (GY 6/2)	淡青 (GY 6/2)	1.5m以下の地盤の砂粒。1m以下の 灰・黒くて光る細粒で光る砂粒を含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	
17	104	SAL13	黒 基 本	ヨコナゲ ミシナゲ	ヨコナゲ ミシナゲ		無	にぼい青 (GY 6/2)	にぼい青 (GY 6/2)	2.5m以下の基色の砂粒。1m以下の 灰・黒・灰色で光る細粒で光る砂粒を 含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	
17	105	SAL13	黒 口脚部	ヨコナゲ ミシナゲ	ヨコナゲ ミシナゲ		無	青緑 (GY 4/2)	青緑 (GY 4/2)	3m以下の地盤の砂粒。1m以下の 白・黒・灰色で光る細粒で光る砂粒を 含む。0.5m以下の白・灰色・細粒で光 る砂粒を含む。	外側一組み目ナ 内側一組み目直面	
17	106	SAL13	黒 口脚部	ヨコナゲ	ヨコナゲ		無	淡青 (GY 5/2)	青 (GY 6/2)	1.5m以下の地盤の砂粒。1m以下の 灰・黒・灰色で光る細粒で光る砂粒を 含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	
17	107	SAL13	黒 口脚部	ヨコナゲ 一組み方向のナ ゲ	ヨコナゲ 一組み方向のナ ゲ		無	灰白 (GYW 8/8)	灰白 (GYW 8/8)	3.5m以下の基色の砂粒。1m以下の灰 色・黒くて光る砂粒。0.5m以下の金 色に光る砂粒を含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	
17	108	SAL13	黒 口脚部	ヨコナゲ	ヨコナゲ		無	淡青 (GY 5/2)	青 (GY 6/2)	2m以下の灰白色の砂粒。1m以下の 白色の砂粒。0.5m以下の黒くて光る、 細粒で光る砂粒を含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	V
17	109	SAL13	黒 基 本	ナゲ	ナゲ		無	青緑 (GY 6/2)	青緑 (GY 6/2)	1m以下の白・基・灰色で光る黒くて 光る砂粒を含む。	外側一組み目直面	
17	110	SAL13	黒 基 本	ナゲ	ナゲ		無	青緑 (GY 5/2)	青緑 (GY 5/2)	1m以下の白色の砂粒。1m以下の白 色の砂粒。0.5m以下の黒くて光る、 細粒で光る砂粒を含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	
17	111	SAL13	黒 口脚部	前方向のナタキ 後方向のナタキ	前方向のナタキ 後方向のナタキ		無	淡青 (GY 6/2)	灰白 (GY 8/2)	3m以下の白・基・灰色の砂粒を含 む。	外側一組み目ナ 内側一組み目直面	
21	112	SAL13	黒 基 本	板・前方向のナ タキのあとナゲ	前方向のナタキ 後方向のナタキ		無	にぼい青 (GY 2/2)	青 (GY 5/2)	3.5m以下の白・基・灰色の砂粒を含 む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	
21	113	SAL13	黒 基 本	前方向のナタキ 一組み方向のナ タキ	前方向のナタキ 一組み方向のナ タキ		無	灰白 (GYW 8/2)	灰白 (GY 5/2)	1.5m以下の灰・基色の砂粒。1.5m以 下の灰色の砂粒。0.5m以下の黒て光 る、灰色で光る砂粒を含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	
21	114	SAL13	黒 口脚部	工具による機 械方向のナタキ のあとナゲ	工具による機 械方向のナタキ のあとナゲ		無	淡青 (GY 6/2)	淡青 (GY 6/2)	1m以下の灰・基色・黒くて光る、 細粒で光る砂粒を含む。	外側一組み目直面	
21	115	SAL13	黒 口脚部	機・前方向のナ タキ	機・前方向のナ タキ		無	淡青 (GY 5/2)	灰白 (GY 6/2)	3m以下の灰・基・灰色の砂粒を少 量。1m以下の黒くて光る、黄色で光 る砂粒を含む。	外側一組み目直面	
21	116	SAL13	黒 口脚部	工具による機 械方向のナタキ	工具による機 械方向のナタキ		無	暗褐色 (GY 8/4)	にぼい赤褐色 (GY 8/4)	1m以下の白・基・灰色で光る細粒 で光る砂粒。2m以下の白・基色の砂 粒を含む。	外側一組み目ナ 内側一組み目直面	
21	117	B-2	黒 基 本	ヨコナゲ	ヨコナゲ		無	淡青 (GY 5/2)	淡青 (GY 5/2)	1m以下の白・基・灰色の砂粒を多く 含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	I
21	118	B-2	黒 基 本	風化のみ開闢 不明	風化のみ開闢 不明		無	灰 (GY 6/2)	灰 (GY 6/2)	1~2m程の風化色・風化の砂粒。 1.5m以下の灰白色の砂粒。風化過程で光 る砂粒。	外側一組み目直面	
21	119	B-2	黒 基 本	ナゲ	ナゲ		無	にぼい青 (GY 6/2)	青 (GY 6/2)	1~2m程の風化色・風化の砂粒。 1.5m以下の白・基・灰色で光る細粒で 光る砂粒。	外側一組み目直面	
21	120	B-2	黒 基 本	ナゲ	ナゲ		無	青 (GY 5/2)	青 (GY 5/2)	2~3m程の白・基色の砂粒を含む。 1m以下の白・基色で光る細粒で光る 砂粒。赤褐色・黄褐色の砂粒を含む。	外側一組み目直面 内側一組み目直面	







固有 番号	植物 名	アノ マニア	特徴	形 異 常			地質	色 異 常			基 土	層 号	分類
				外 国	内 国	英 語		外 国	内 国				
II-181	B-4	普 通	根毛ナメ	ナメ	根毛ナメ	良好	褐色 D-3T 6/20 灰褐 D-3V 6/20	黄褐色 GDRH 4/20	0.5-1.5mm程度の褐色の根毛。1-3mm 程の褐色及び黑色の砂粒。4mmと7mm の大の中透明の灰色の根毛を含む。	内面…スス付着			
II-182	B-4	普 通	根毛のヘク セキ	ナメ		良好	灰褐色 GDRH 6/20 灰褐色 GDRH 6/20 灰褐色 GDRH 4/20	1.5mm以下の金色に光る墨毛を含む。 2mm以下の半透明・黑色・白色・灰白 色・淡褐色の砂粒を多く含む。	内面…基層				

## 第6節 古墳時代の遺構と遺物

古墳時代初頭～後期の遺構としては住居が8軒（1号・2号・3号・4号・7号・8号・11号・15号住居）検出され、標高331.0m～334.5mの等高線に直交して造営されている。

古墳時代後期の須恵器・土師器と共に、砥石などの石器、鍬先・鎌などの鉄器、ガラス玉なども出土している。竪穴住居のプランは一辺5～8mの方形と長方形で、主柱穴は2本柱は7号住居のみで、他はすべて4本柱である。竪穴住居の切り合いはない。

### (1) 竪穴住居

#### 1号住居（第26図）

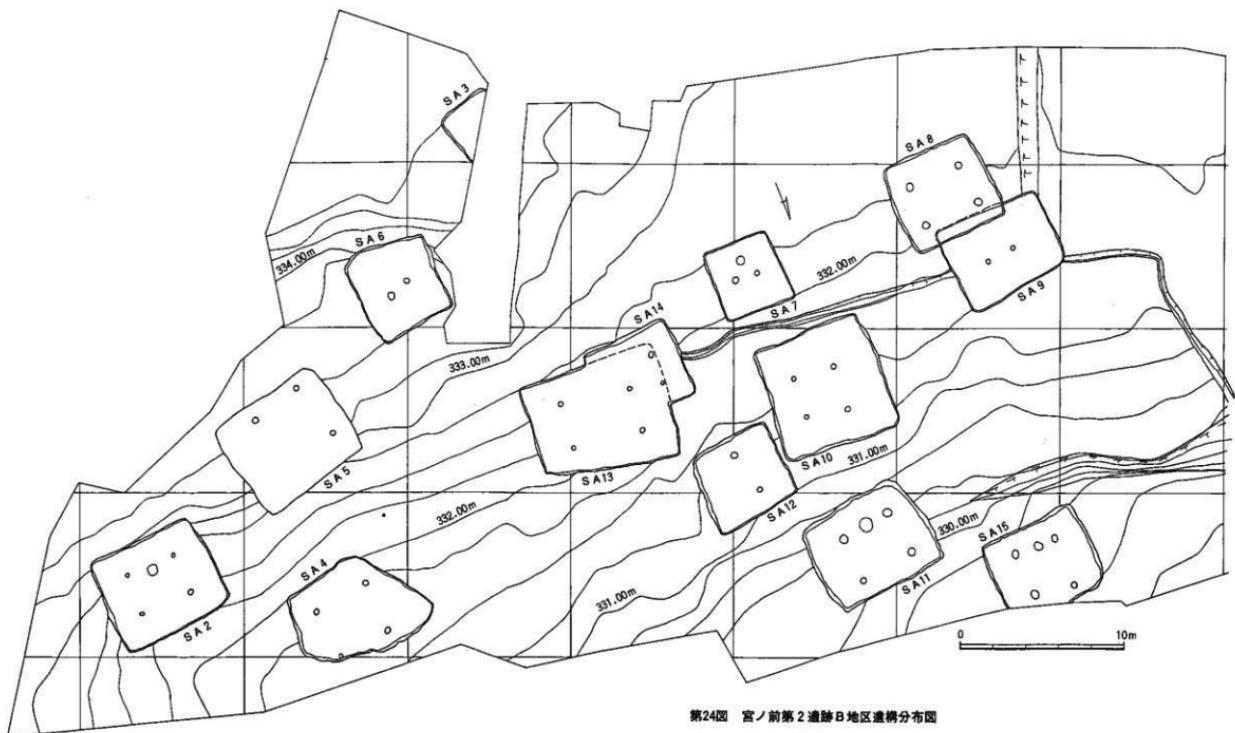
1号住居は長さ618cm、幅572cm、深さ74cmの方形プランで、床面の面積は35.3m<sup>2</sup>である。主柱穴は4本で、南側の2本柱の間に浅い土壇がある。4本柱で囲まれた部分は硬化面を呈している。土器量が多い。埋土はI層が厚さ44cmの褐色土層（Hue 7.5YR 4/3・木炭微粒を若干含む）。II層が厚さ14cmの黒褐色土層（Hue 7.5YR 3/2・木炭粒子を非常に多く含む）、III層が褐色土層（Hue 7.5YR 4/4・木炭粒を若干含む）で、壁際のIV層は褐色土層（Hue 7.5YR 4/4・アカホヤ粒子を多く含む）ある。床面の中央部に幅130cmの範囲で高さ10cmに焼土・木炭粒が検出された。須恵器・壺蓋…1は天井部と口縁部との境は明瞭で、口唇部の内側に沈線を有する。口径15.8cm、現高3.9cmである。7は天井部と口縁部との境は甘くなり、口唇部も丸く仕上げている。口径14.2cm、器高5.2cmである。1・7とも天井部にはヘラ削りを施している。

壺身…11は立ち上がりが途中から直立気味に伸び、口唇部にわずかな沈線を有する。底部の中心はヘラ切り離し後、未調整で、その周囲はヘラ削りを施している。口径13.0cm、受け部径13.0cm、立ち上がり高1.8cm、器高5.8cmである。12は立ち上がりが斜め上方に伸び、底部の中心はヘラ削り離し後、未調整で、その周囲はヘラ削りを施している。14は立ち上がりが斜め上方に伸び、口唇部付近で直立する。立ち上がりと受け部との境には一条の沈線が巡る。底部は全面ヘラ削りを施している。口径12.7cm、受け部径15.4cm、立ち上がり高1.3cm、器高4.7cmである。16・18は法量が14より一回り小さく、口径12.0～12.2cm、受け部径14.5～14.6cm、立ち上がり高1.2～1.4cmである。

壺…43は大型の壺で、少し長胴気味の球形状の胴部の最大径が中位にあり、口縁部が緩やかに外反し、端部は断面三角形に肥厚して外に突出する。口縁部の上位には2条の断面三角形突帯の上下に横描波状文を施している。口径25.4cm、頸部径18.8cmで、底部は丸底と推定される。口頸部の内面はヨコナデを、胴部外面は縱方向の叩きの後、間隔を置いてカキメを施している。胴部内面は同心円叩きを施している。20は口唇部に一条の沈線が巡り、口径が12.4cmである。

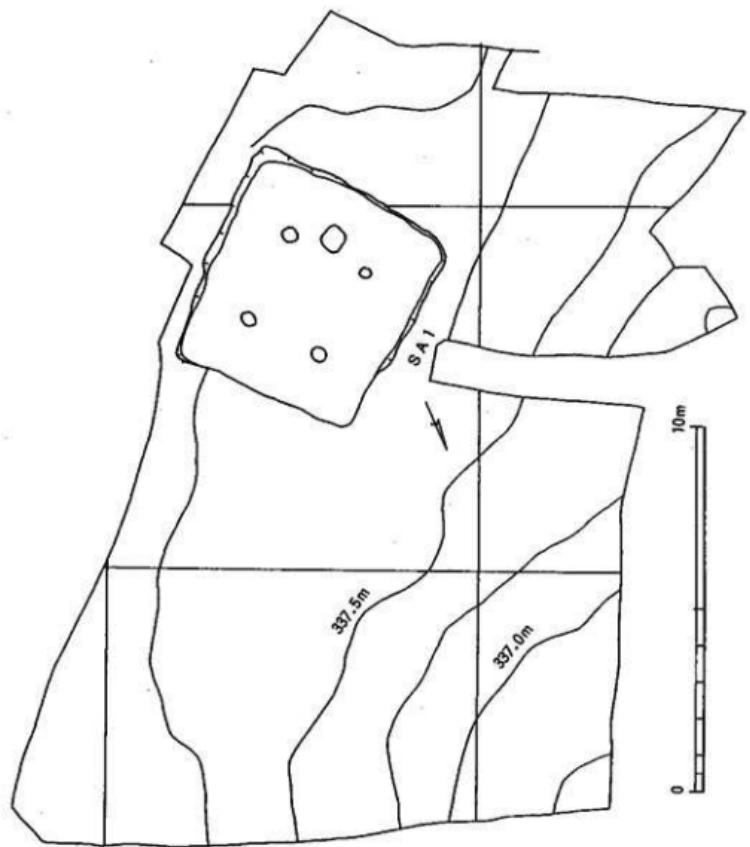
壺…22～24は壺の口縁部で、24はほぼ直線的に斜め上方に伸びた口唇部に横描波状文を施している。

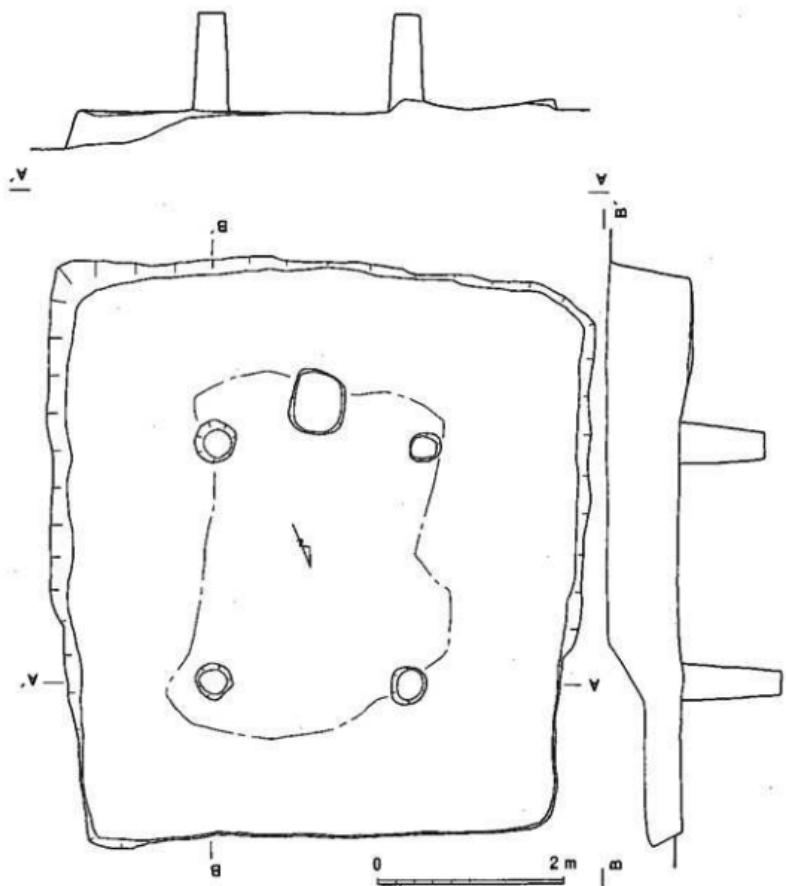
高壺…26は長方形の透かしを有する脚部で、27・28は脚裾部である。



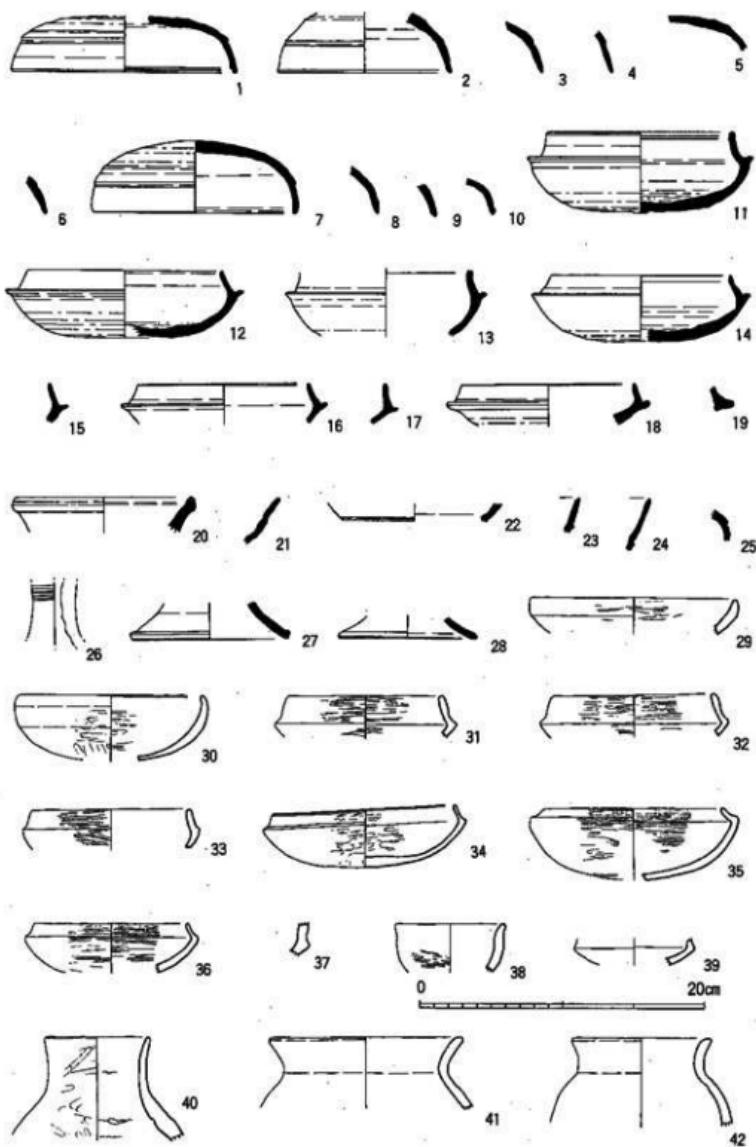
第24図 宮ノ前第2遺跡B地区遺構分布図

第25図 B-1区塊構分布図

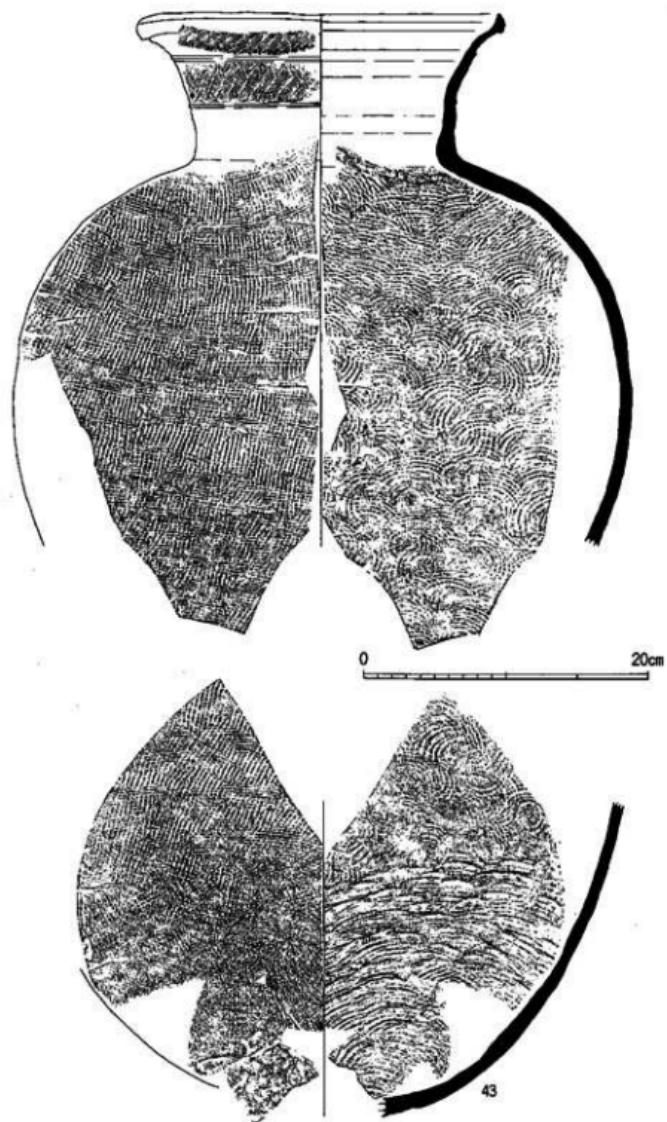




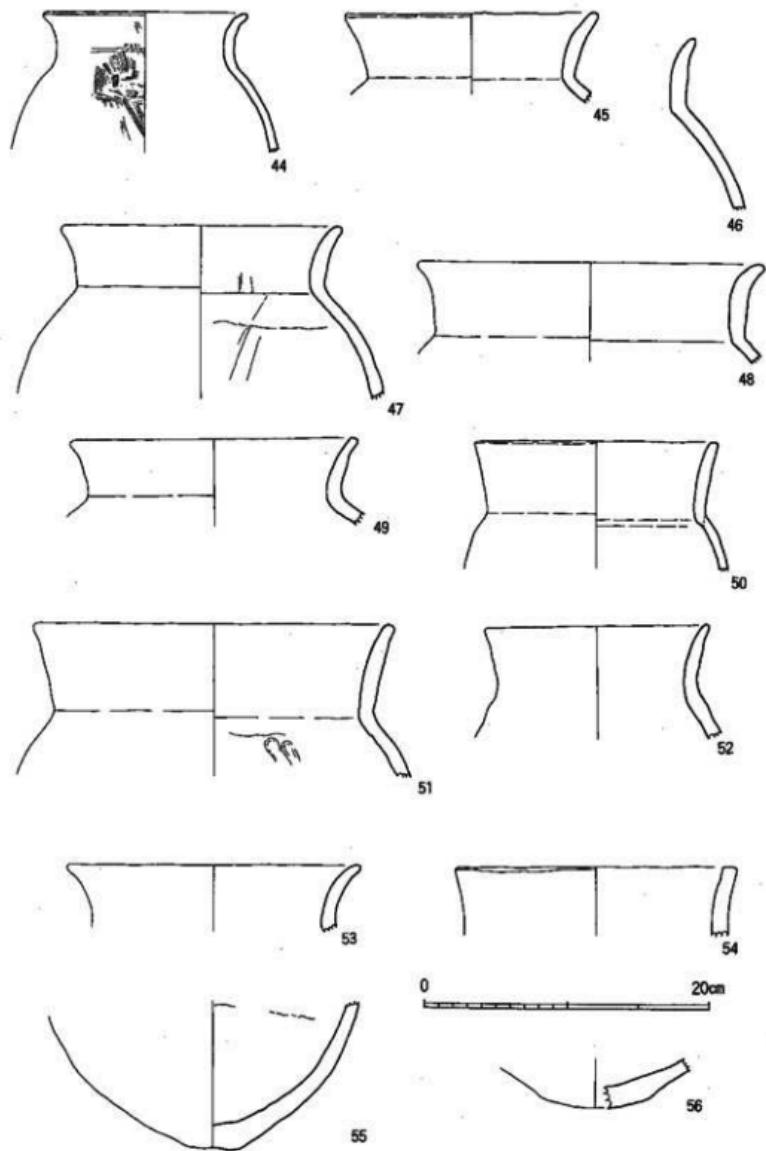
第26図 1号住居実測図



第27圖 1号住居出土土器実測図(I) 1~42



第28図 1号住居出土土器実測図(Ⅱ) 43



第29図 1号住居出土土器実測図(Ⅲ) 44~56

土師器・壺…30は丸底から湾曲して内傾する口縁部に至る。口径12.8cm、現高4.6cmである。31～33は丸底の体部と口縁部を画す稜から内傾する長い口縁部に至る。口径は11.0～11.4cmである。34は内傾する口縁部は短く、口径12.8cm、器高4.0cmである。35・36は深い丸底の体部と口縁部を画す稜からかなり内傾する短い口縁部に至る。35は口径12.6cm、現高5.2cmであるのに対し、36は口径10.2cm、現高3.4cmと一回り小さい。30～36は内外面ともヘラ磨きを施している。

壺…40は長めの口縁部がほぼ直立し、口唇部付近で少し外反する。

壺…41は口縁部が短く大きく外反し、端部を丸く仕上げている。42～48は口縁部が直立し、途中から外反する。50・51は直立気味に斜め上方に長く伸びる。55・56の底部は平底である。

勾玉…緑色の碧玉製勾玉は頭部を欠如しており、胴部断面はほぼ円形で、現長1.9cm、幅1.0cm、厚さ1.2cmである。

#### 2号住居（第30図）

2号住居は長さ714cm、幅600cm、深さ108cmの長方形プランである。床面積は42.8m<sup>2</sup>である。主柱穴は4本柱で、等高線に直交する。土器の全重量は多い。

土師器・壺…57・58は横描波状文を有する複合口縁壺である。59は頸部に一条の絡繆突帯を有する壺である。60は頸部に台形状の突帯を一条有する。

壺…61は口縁部が直角に外反する非常に薄手の壺で、口唇部には明瞭な段を有する。外面はハケメを、内面は横方向のヘラ削りを施している。74は口縁部が直立し、途中から大きく外反し、丸底の長胴の壺である。口径16.8cm、頸部径14.4cm、胴部最大径22.4cm、器高38.8cmである。75は口縁部が斜め上方に直線的に伸び、口径16.6cmより胴部最大径18.8cmと大きく、内外面ともハケメを施す。76は底径4.0cmの底部である。

石器・打製石錐…無茎二等辺三角形錐は完形で、長さ2.4cm、幅1.7cm、厚さ0.5cmである。

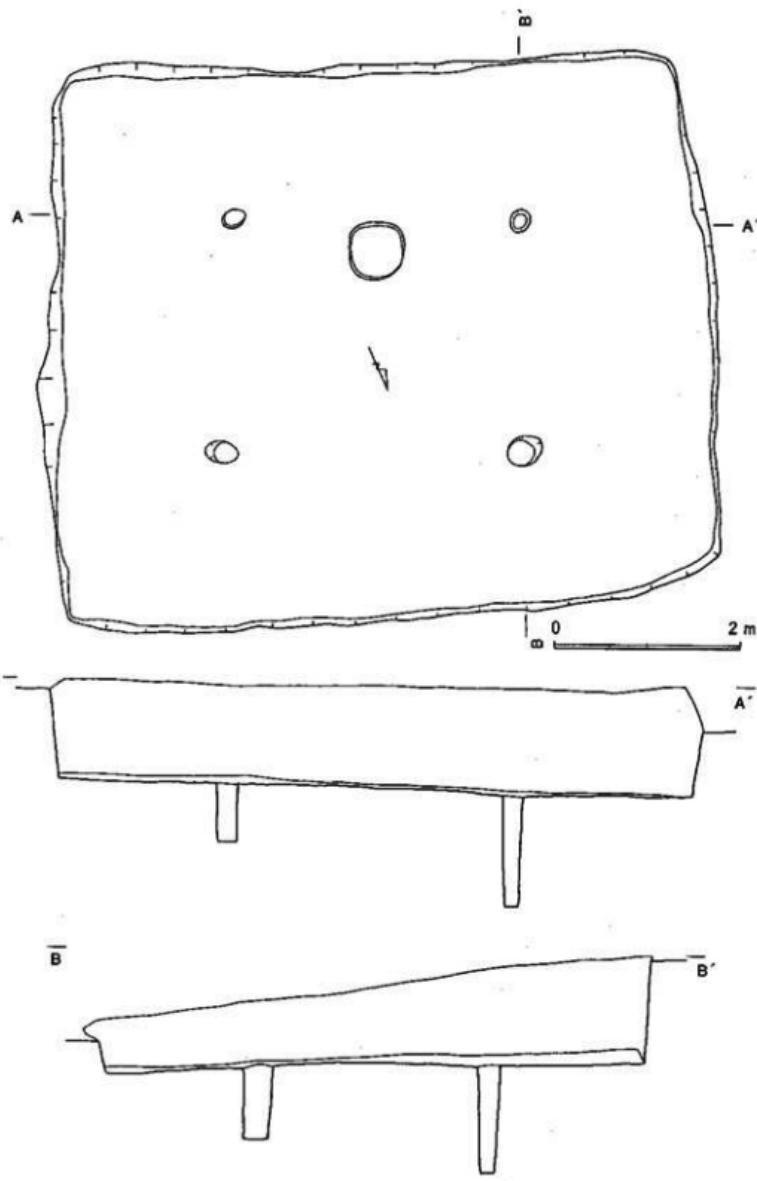
磨製石錐…出土した2点はほぼ完形の無茎長条形錐で、長さ3.8～4.2cm、幅1.3～1.4cm、厚さ0.3cmである。

#### 3号住居（第32図）

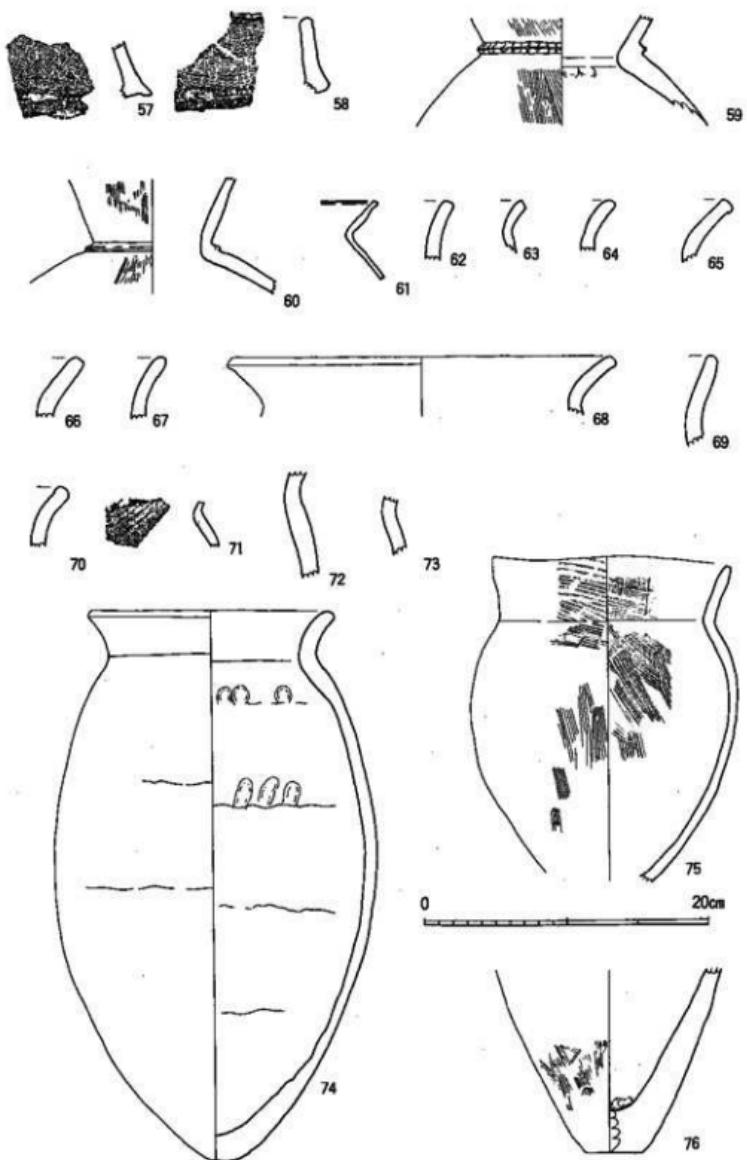
3号住居は長さ360cm、幅350cm+α、深さ53cmの方形プランで、床面積は12.6m<sup>2</sup>+αである。床面積の規模から主柱穴は2本柱と推定される。?埋土はⅠ層が厚さ8cmの黒色土層、Ⅱ層が厚さ42cmのアカホヤブロックを多く含む土層、Ⅲ層が厚さ10cmの粘質の青灰色土を多く含む土層である。北側の壁際ではⅡ層とⅢ層の間に木炭粒を多く含む土層がある。土器量は非常に少なかつた。

須恵器・壺蓋…77は天井部と口縁部の境が不明瞭で、天井部はヘラ削りを施している。口唇部は丸く仕上げており、口径12.6cm、現高3.4cmである。

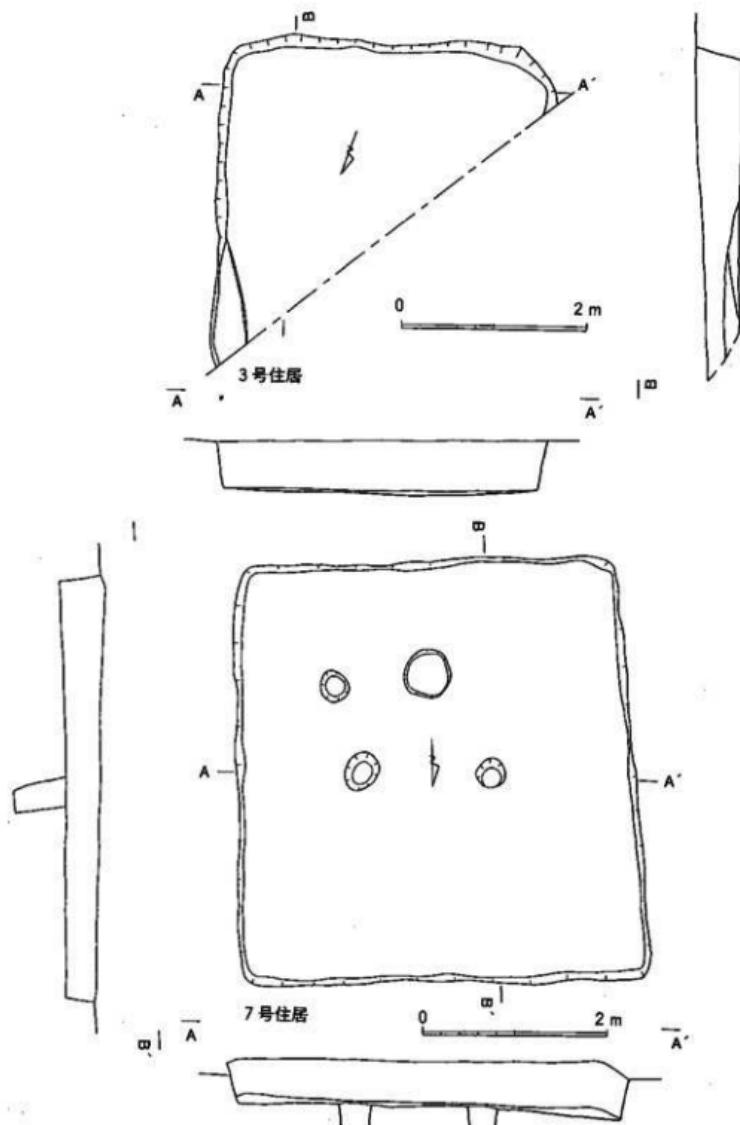
壺身…79は口縁部が斜め上方に伸び、口唇部は丸く仕上げている。口径12.2cm、受け部径14.4cm、立ち上がり高1.2cmである。81は口縁部が途中から直立し、口唇部は丸く仕上げている。口径



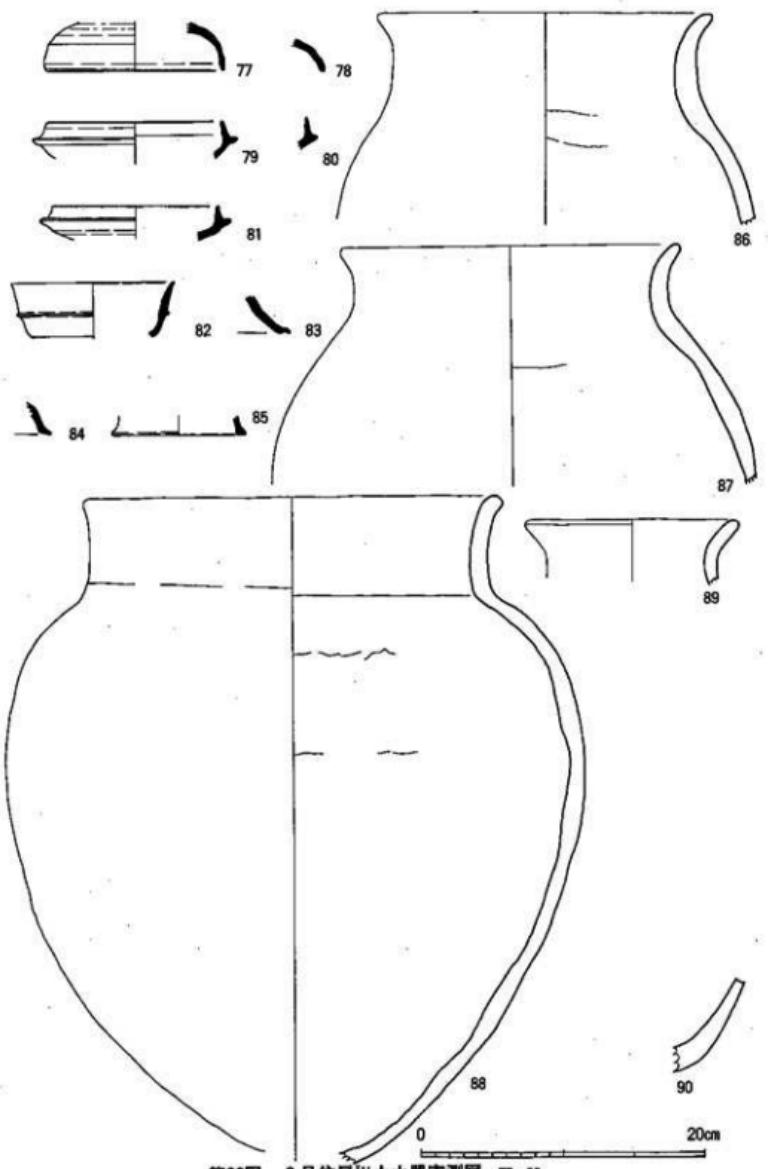
第30図 2号住居実測図



第31図 2号住居出土土器実測図 57~76



第32図 3号・7号住居実測図



第33図 3号住居出土土器実測図 77~90

11.6cm、受け部径13.4cm、立ち上がり高1.1cmである。

聯…82は口縁部が斜め上方に伸び、口唇部を鋭く仕上げ、口径11.4cmである。受け部の中位に一条の突帯が巡り、突帯の下位に斜方向の櫛描波状文を施している。

短頸壺蓋…84は口縁部が斜め下方に大きく伸びている。85は口縁部が水平に肥厚しており、口径9.4cmである。

土師器・壺…86・87は口縁部が内湾しながら外反する。口径は11.9cmと胴部最大径17.1cmより小さい。内外面ともナデを施している。88は口縁部が直立しながら伸び口唇部で大きく外反する。胴部最大径は上位にあり、長胴気味で、底部は丸底と推定される。口径29.7cm、頸部径28.6cm、胴部最大径40.8cm、現高47.0cmである。

#### 4号住居（第34図）

4号住居は長さ754cm、幅596cm、深さ99cmの台形プランで、床面積は44.9m<sup>2</sup>である。主柱穴は4本柱である。

須身器・壺蓋…91は天井部と口縁部の境は明瞭で、口唇部には段を有する。天井部はヘラ削りを施し、口径は14.8cmである。97は天井部と口縁部の境は一条の凹線で、口唇部は丸く肥厚している。口径は13.5cmである。

壺身…109は口縁部が斜め上方に短く立ち上がり、口唇部は鋭く仕上げている。底部はヘラ削りを施し、口径13.3cm、受け部径15.7cm、立ち上がり高0.8cmである。115も109と同タイプであるが、口唇部は平坦に仕上げ、口径11.9cm、受け部径14.6cm、立ち上がり高0.9cmである。117は短い口縁部が途中から直立し、口唇部は鋭く仕上げている。口径12.8cm、受け部径14.8cm、立ち上がり高1.0cmである。

短頸壺蓋…121は口唇部が肥厚しており、口径12.1cmである。

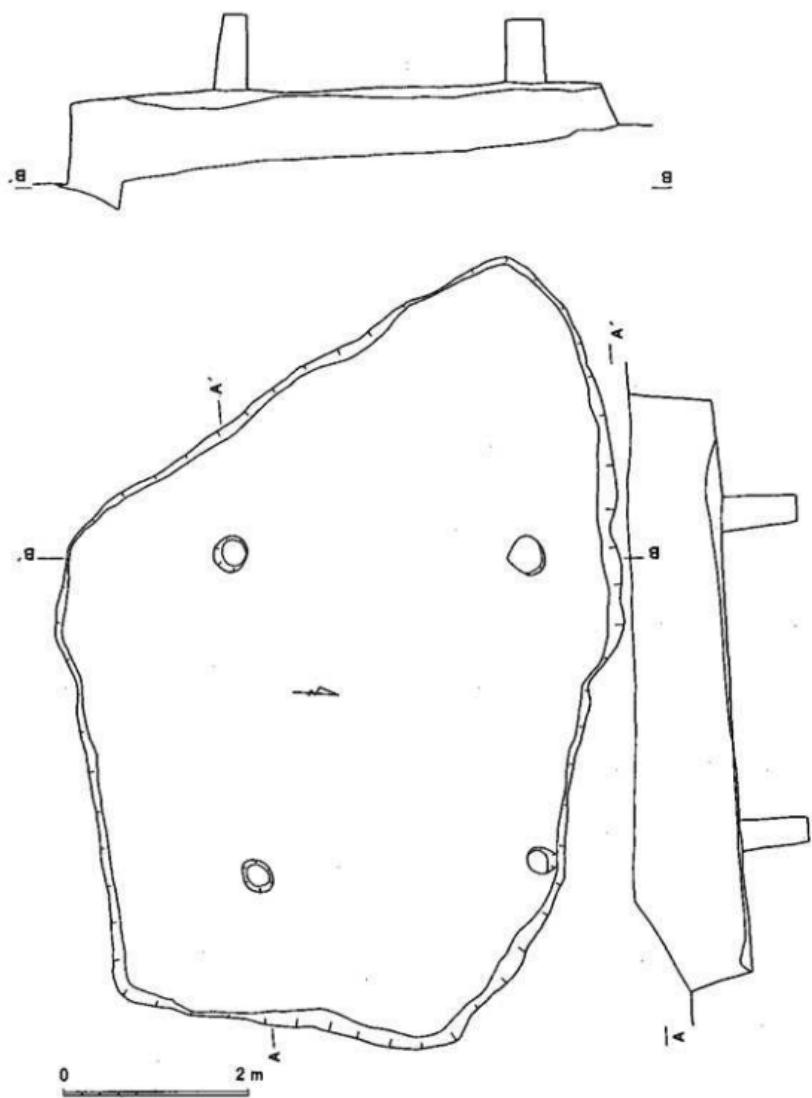
高壺…122・123とも長方形透かしを二段に有する脚部で、外面にはカキ目を施している。透かしは122が二方であるのに対して、123は三方である。

聯…126は口縁部が大きく広がり、口径は16.8cmである。125は口縁部に櫛描波状文を施している。

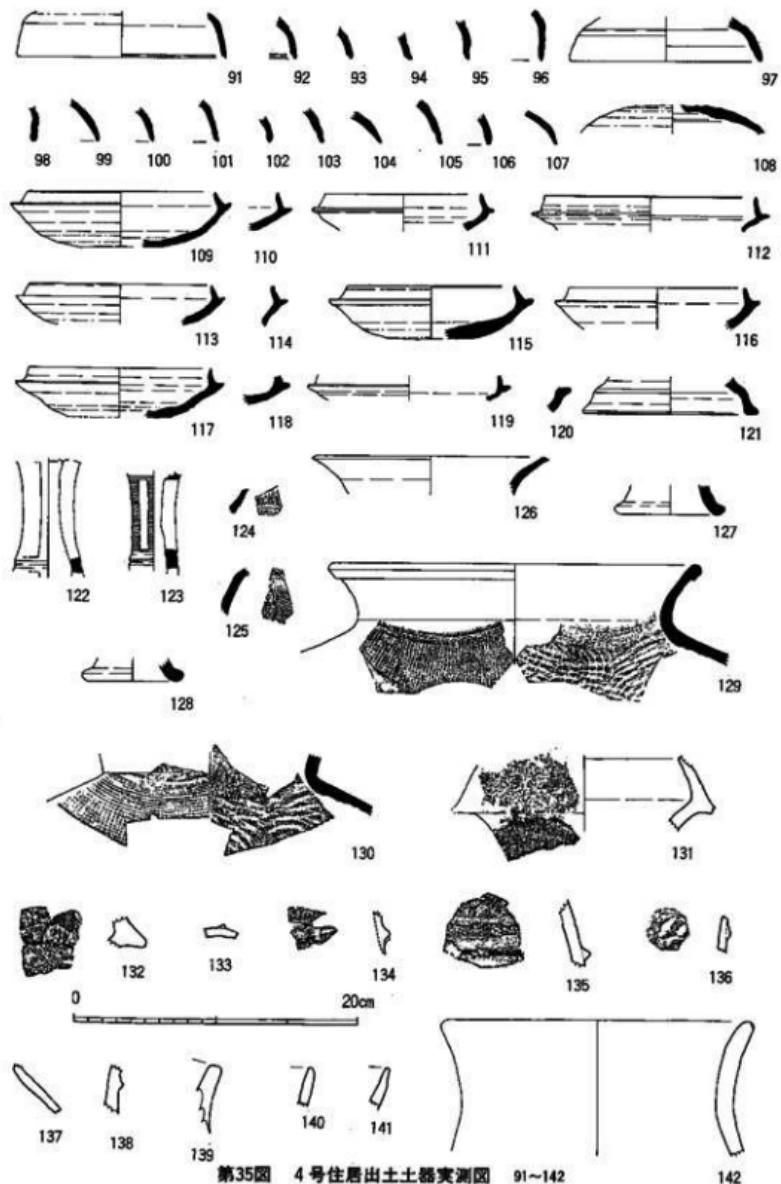
壺…129は短い口縁部が大きく外反し、口唇部には段を有する。口径12.9cmで、外面には格子目叩きを、内面には同心円叩きを施している。

#### 7号住居（第32図）

7号住居は長さ450cm、幅432cm、深さ45cmの方形プランで、床面積19.4m<sup>2</sup>である。主柱穴は等高線に平行する2本柱で、中央部には硬化面がある。2本柱の南側に土壤を有する。埋土はI層が厚さ23cmの明褐色土層（Hue 7.5YR 5/6・木炭粒を若干含む）、II層が厚さ5cmの暗褐色土層（Hue 7.5YR 3/3・木炭粒を非常に多く含む）、III層が厚さ7~25cmの褐色土層（Hue 7.5YR 4/6・アカホヤ粒子を多く、木炭粒を若干含む）で、壁際のIV層は褐色土層（Hue 7.5YR 4/4・アカホヤ粒子を若干含む）である。



第34図 4号住居実測図



第35図 4号住居出土土器実測図 91~142

須恵器・坏身…146は口縁部が途中から直立し、口唇部は鋭く仕上げている。立ち上がりと受け部の境には一条の凹線が巡る。底部はヘラ切り後、未調整で周囲のみヘラ削りを施している。口径12.1cm、受け部径14.3cm、立ち上がり高0.7cm、器高3.4cmである。

土師器・壺…153は緩やかに外反する口縁部で、155は丸底の底部である。

ガラス玉…緑色の小玉が1点出土しており、長さ0.2cm、幅0.2cm、厚さ0.2cmである。

#### 8号住居（第36図）

8号住居は弥生時代後期初頭の9号住居を切っており、長さ626cm、幅566cm、深さ55cmの長方形プランで、床面積は35.4m<sup>2</sup>である。4本柱で、土塙は有しない。埋土はI層が厚さ38cmの褐色土層（Hue 7.5YR 4/4・木炭粒を若干含む）、II層が厚さ14cmの褐色土層（Hue 7.5YR 4/3・木炭粒を多く含む）で、壁際のIII層は褐色土層（Hue 7.5YR 4/6・アカホヤ粒子を多く含む）である。

須恵器・坏蓋…156の口唇部内面には一条の凹線が巡る。

坏身…159は短い口縁部が斜め上方に伸び、口唇部を丸く仕上げている。161は短い口縁部が直立気味に伸び、口唇部は平坦に仕上げている。立ち上がりと受け部の境には一条の凹線が巡る。底部はヘラ削りを施す。口径11.7cm、受け部径13.5cm、立ち上がり高0.9cmである。

#### 11号住居（第38図）

11号住居は長さ760cm、幅592cm、深さ102cmの長方形プランで、床面積45.0m<sup>2</sup>である。主柱穴は4本で、南側の2本柱の中間に土塙を有する。埋土はI層が厚さ38cmの暗褐色土層（Hue 7.5YR 3/4・木炭粒を若干含む）、II層が32cmの褐色土層（Hue 7.5YR 4/6・粘質の黄色土を若干、焼土粒を若干、木炭粒を多く含む）、III層は褐色土層（Hue 7.5YR 4/3・粘質の黄色土ブロックを多く、木炭粒を若干含む）で壁際のIV層は褐色土層（Hue 7.5YR 4/3・粘質の黄色土ブロックを多く含む）ある。

須恵器・坏蓋…173・174は口唇部は丸く仕上げている。

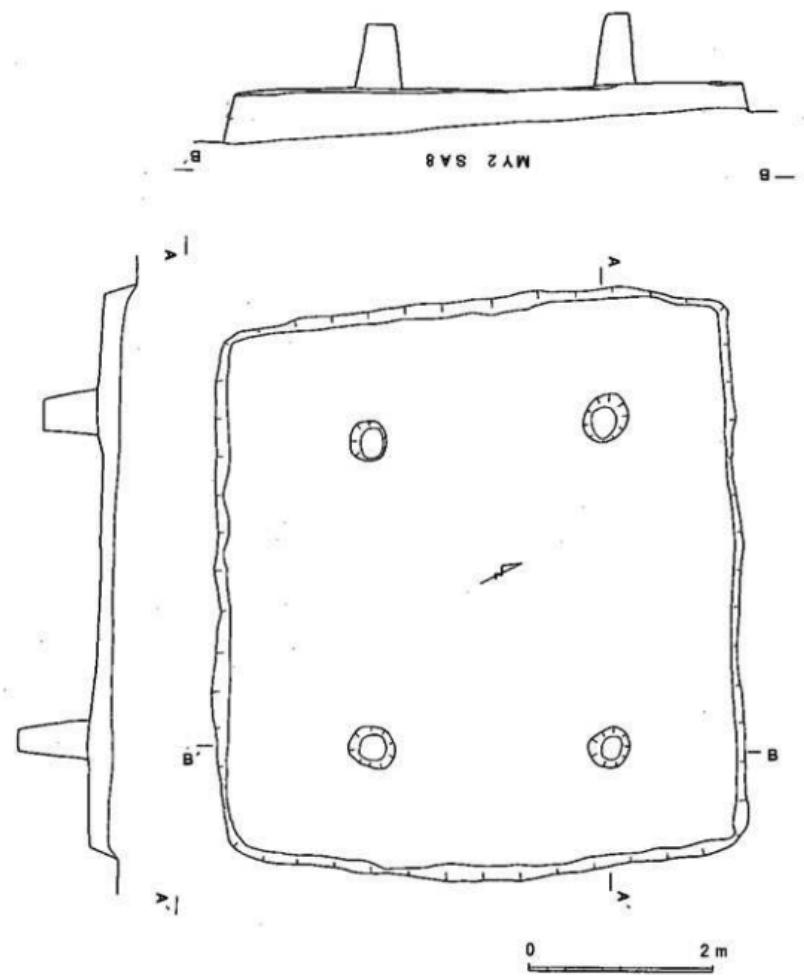
坏身…175は受け部を欠如しているが、直立気味に伸びた口縁部の口唇部は段を有している。177は口縁部の内傾が著しく途中から直立気味である。底部はヘラ削りを施し、自然釉がかかる。口径14.6cm、受け部径17.2cm、立ち上がり高0.7cmである。

短頸壺蓋…179は口縁部が下方に短く屈折し、口唇部は凹気味に平坦に仕上げている。

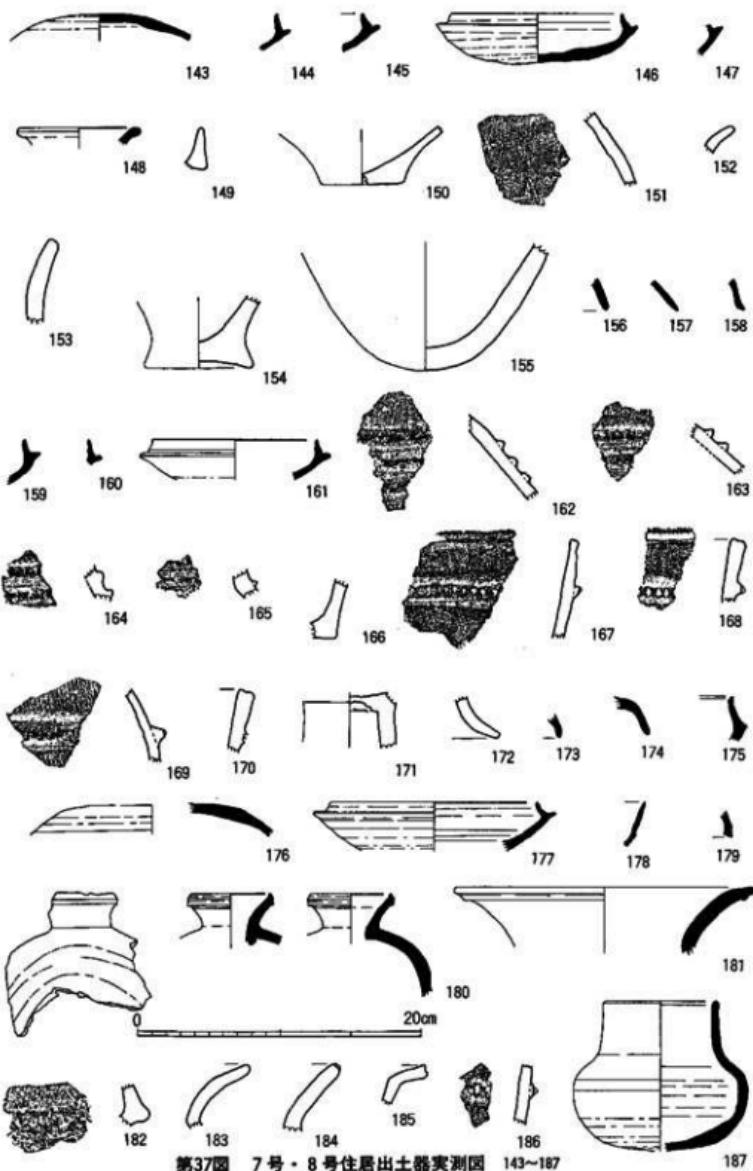
提瓶…180は口縁部が短く外反し、口唇部は肥厚する。口径は5.7cmで、胴部の表面にはカキメを、裏面にはヘラ削りを施している。

壺…181は口縁部が大きく外反し、口唇部には段を有する。口径は20.9cmで、内外面ともナデを施している。

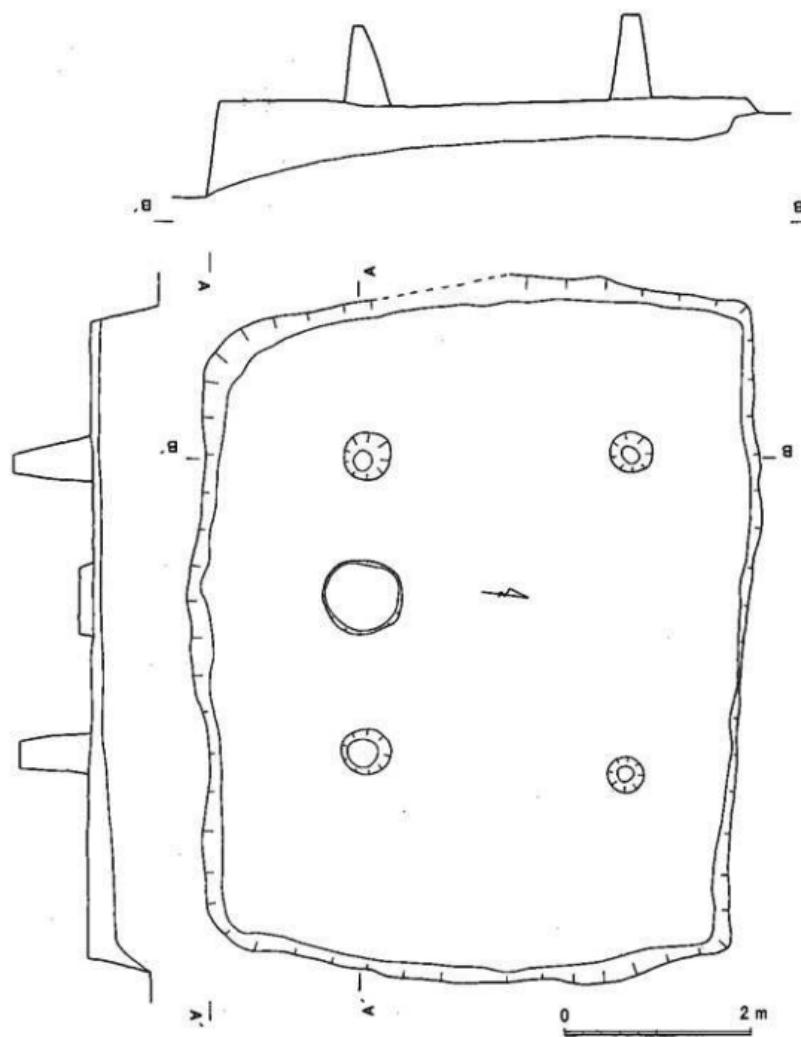
直口壺…187は長い口縁部がほぼ直立して伸び、口唇部は丸く仕上げている。胴部最大径は上位にあり、底部は丸底気味である。口縁部と胴部上位にはナデを、底部にはヘラ削りを施している。



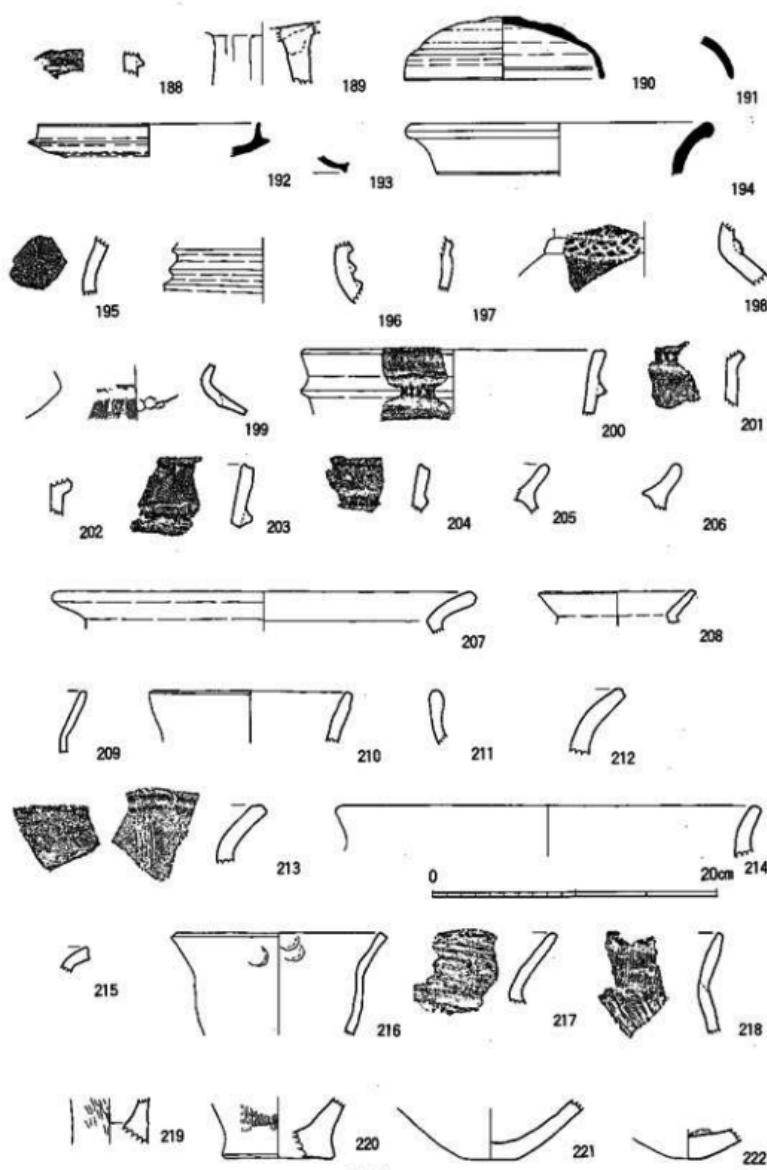
第36圖 8號住居測定図



第37圖 7號・8號住居出土器實測圖 143~187



第38図 11号住居実測図



第39図 11号・15号出土器実測図 188~222

口径7.8cm、頸部径9.0cm、胴部最大径12.4cm、器高10.6cmである。

ガラス玉…竪穴住居の東壁の中央で3点の緑色ガラス平玉と4点の青色ガラス白玉が1ヶ所に集中して出土した。大型の青色の1点は断面が不定形で、長さ0.4cm、幅0.4cm、厚さ0.3cm、孔径0.1cmである。残りの6点は断面がほぼ円形で、長さ0.2~0.3cm、幅0.2~0.3cm、厚さ0.15~0.2cmである。

石器・磨製石器…出土した3点の無茎磨製石器のうち1点は無茎部分を欠如しており、2点は先端部分を欠如している。無茎部分を欠如した大型の石器は両面とも刃部に対して直角に研磨しており、現長4.2cm、幅2.0cm、厚さ0.3cmである。先端部分を欠如した小型の石器は幅1.35cmで、全面研磨している。

#### 15号住居（第40図）

15号住居は長さ650cm、幅526cm、深さ113cmの長方形プランで、床面の面積は34.2m<sup>2</sup>である。主柱穴は4本で、南側の2本柱の間に浅い土壇がある。埋土はI層が厚さ76cmの褐色土層（Hue 7.5YR 4/4・木炭粒と粘質の黄色土を若干含む）、II層が厚さ24cmの褐色土層（Hue 7.5YR 4/4・粘質の黄色土と硬質の黑色土を多く含む）、III層が褐色土層（Hue 7.5YR 4/4・粘質の褐色土を多く含む）で、壁際のIV層は褐色土層（Hue 7.5YR 4/4・粘質の黄色土ブロックを多く含む）である。

須恵器・壺蓋…190は天井部と口縁部の境が不明瞭であり、口唇部は丸く仕上げている。天井部はヘラ切り後、未調整であるが、その周囲はヘラ削りを施している。口径14.0cm、器高4.4cmである。

壺身…192は口縁部がほぼ直立し、口唇部は丸く仕上げている。口径15.6cm、受け部径16.9cm、立ち上がり高0.9cmである。

高壺…193は高壺の脚据部で、壺部が上下に拡張している。内外面ともナデを施している。

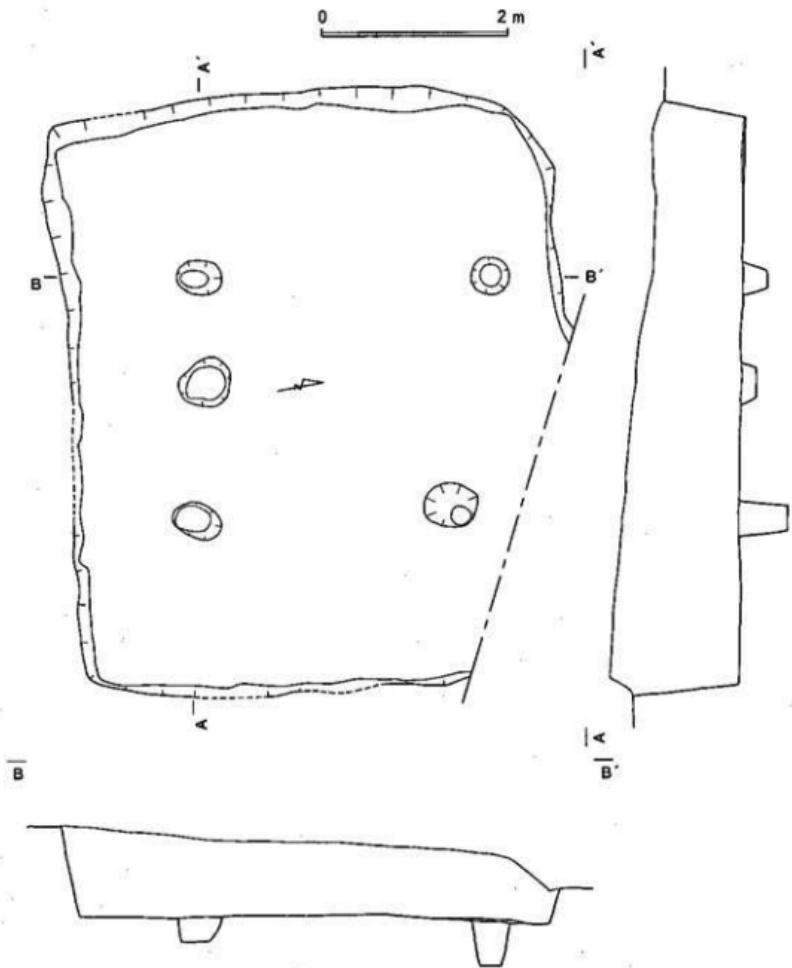
壺…194は口縁部が短く外反し、口唇部は丸く仕上げている。外面は斜方向の平行叩きの後、ヨコナデを施し、自然輪がかかること。

土師器・壺…214は短い口縁部が緩やかに外反し、内外面ともヨコナデを施す。217は口縁部が直線的に外反し、口縁部外面は横方向の叩きである。218は口縁部が直線的に直立気味に外反し、胴部外面に斜方向の叩きを施す。

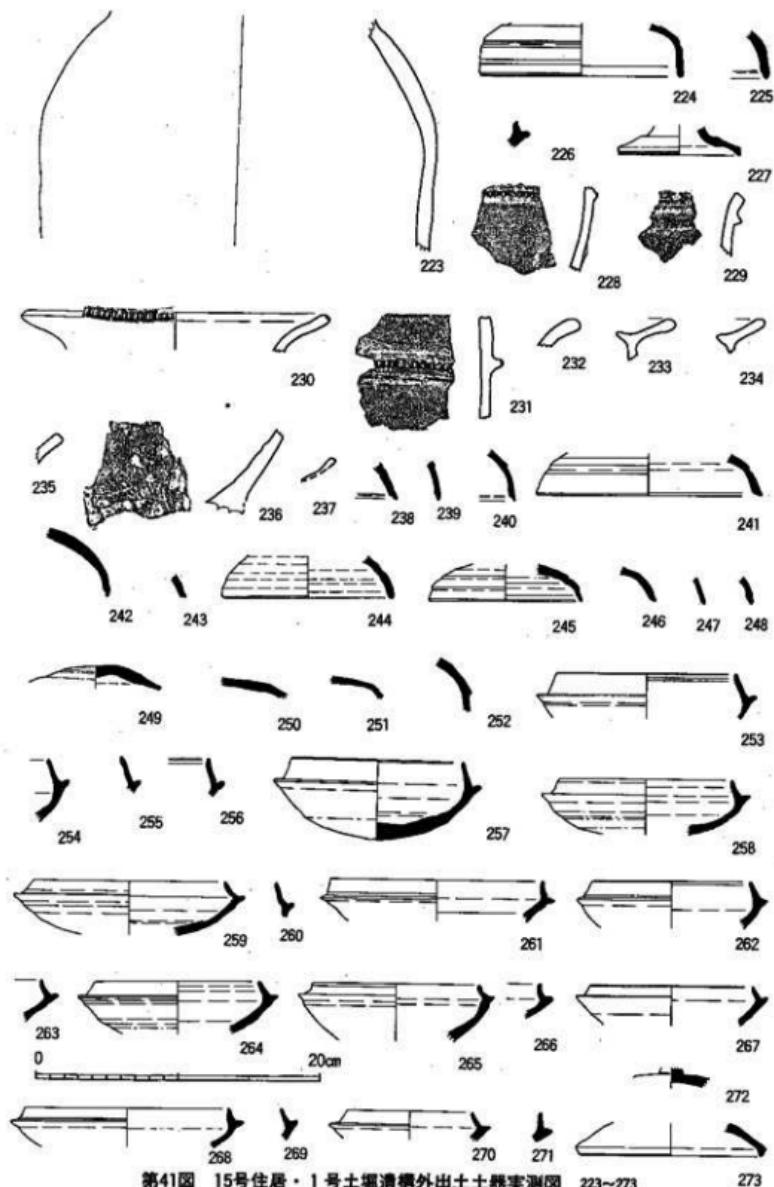
鉄器・鍔…いわゆる打鍔で、長方形の鉄板の両端を折り返して、木製の風呂を挿入している。長さ3.5cm、背幅9.7cm、刃部幅8.8cm、厚さ0.1cmである。

鉄鎌…無茎三角形鎌は長さ3.3cm、幅2.4cm、厚さ0.1cmである。

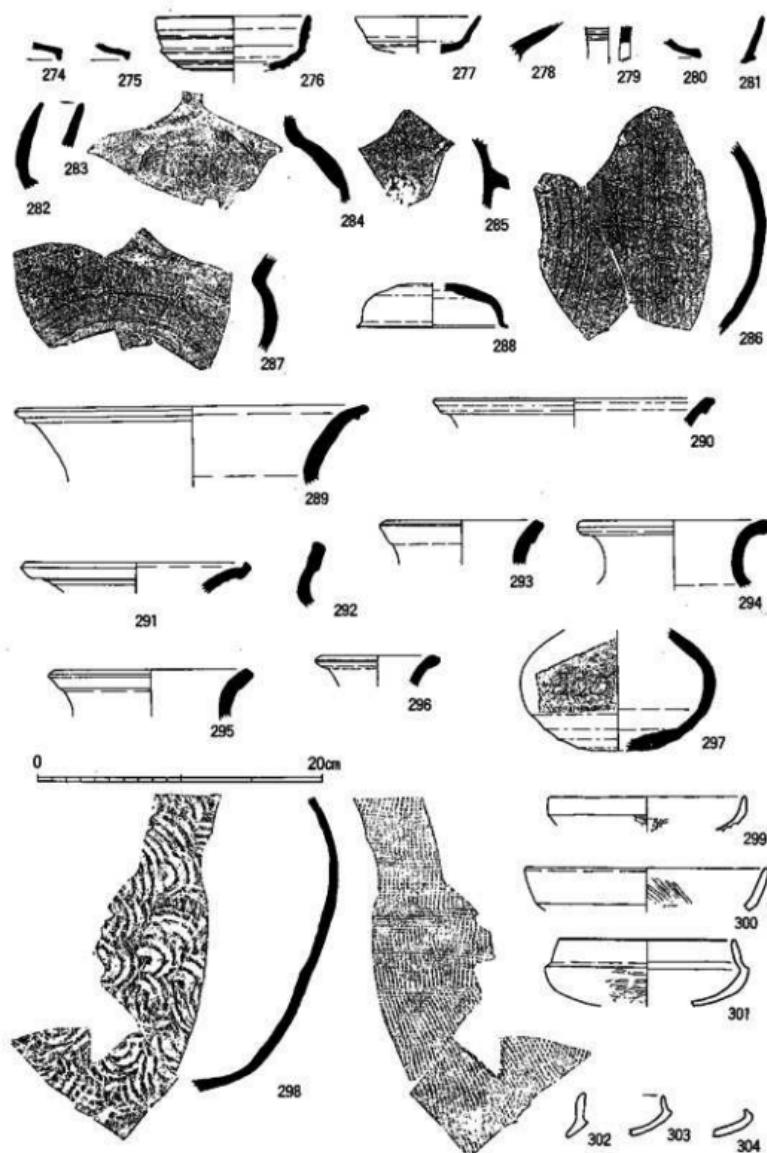
石器・磨製石器…出土した3点の無茎磨製石器のうち1点はほぼ完形であるが、2点は茎部分を欠如している。ほぼ完形の石器は先端部は若干欠如した三角形鎌で、現長2.8cm、幅1.9cm、厚さ0.3cmである。茎部分を欠如した小型鎌は2点とも現長2.7~3.0cm、幅1.4~1.5cm、厚さ0.2cmである。



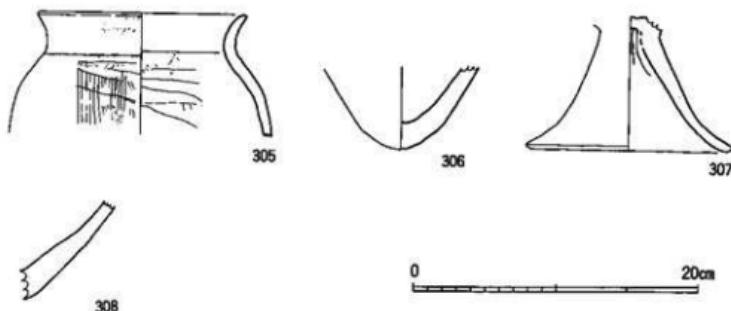
第40図 15号住居実測図



第41図 15号住居・1号土器造構外出土土器実測図 223~273



第42図 遺構外出土土器実測図 274~304



第43図 遺構外出土土器実測図(II) 305~308

表3 積穴住居計測表

住居	プラン	規 長さ×幅×深さ (cm)	面積 (m <sup>2</sup> )	柱穴	焼土塙	備 考
1号住居	方 形	618×572×74	35.3	4	○	勾玉
2号住居	長方形	714×600×108	42.8	4	○	打製石鏃・磨製石鏃
3号住居	方 形	360×350+α×53	12.6+α			
4号住居	台 形	754×596×99	44.9	4		
5号住居	方 形	730×660×5	48.2	3+α		
6号住居	方 形	560×490×70	27.4	2		ガラス玉
7号住居	方 形	450×432×45	19.4	2	○	ガラス玉
8号住居	長方形	626×566×55	35.4	4		ガラス玉
9号住居	長方形	670×536×38	35.9	2		
10号住居	方 形	740×710×52	52.5	4		石庵丁・砥石・鐵鏃
11号住居	長方形	760×592×102	45.0	4	○	磨製石鏃・ガラス玉
12号住居	方 形	526×494×48	26.0	2		平玉
13号住居	長方形	864×650×104	56.2	4	○	打製石鏃・磨製石鏃
14号住居	方 形	560×500×87	28.0	4		
15号住居	長方形	650×526×113	34.2	4	○	鏡先・磨製石鏃・ガラス玉

表4 B地区出土須恵器・土師器観察表

番号	施設	グリ	横径	幅径	高さ	調 定 方 法		構成	性 質		断 土	考 察	沿革	
						外 面	内 面		外 面	内 面				
27 1	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ヨコナギ	ヨコナギ			粗粒 灰 (GKY 6/1) 灰 (GKY 5/2)	灰 (GKY 6/1) 灰 (GKY 5/2)		3mm以下の白色砂粒を含む。		内面一火井 内面一自然施 高さ…3.8cm 口径…15.8cm	A 1
27 2	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ ヘラ削り	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 4/1) 灰 (GKY 5/2)	灰 (GKY 4/1)		2mm以下の白色・青白色・灰色の 砂粒を含む。粗粒。		口径…12.3cm 高さ…12.3cm	
27 3	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ ヘラ削り	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 4/1)		1.5mm以下の白色・灰白色の砂粒を 含む。2mm以上の白色の粒が1つ見 られる。粗粒。		内面一自然	
27 4	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ ヘラ削り	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 4/1)		2mm以下の灰白色・灰色の砂粒を 含む。粗粒。			
27 5	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ ヘラ削り	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 7/1) 灰 (GKY 6/1)		1.5mm以下の灰白色・灰色・黑色の 砂粒を含む。粗粒。			
27 6	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ ヘラ削り	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 6/1)		4~2mmの白色・灰白色の粒と3mm 以下の灰白色・灰白色の砂粒を含 む。粗粒。			
27 7	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ ヘラ削り	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1) 灰 (GKY 5/2)	灰 (GKY 6/1)		4~2mmの白色・灰白色・無色透 明白見と2mm以下の灰白色・灰白 色・黑色の砂粒を含む。粗粒。		口径…14.3cm 高さ…5.3cm 口径…12.5cm	A 3
27 8	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ ヘラ削り	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 6/1)		1.5mm以下の灰白色・灰褐色・黑色 の砂粒を含む。粗粒。			
27 9	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 7/1)		1.5mm以下の灰白色・灰色の砂粒を 含む。粗粒。			
27 10	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1) 灰 (GKY 4/1)	灰 (GKY 6/1)		2mm以下の灰白色・青灰色の砂粒を 含む。粗粒。			
27 11	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ヘラ削り	ナゲ			粗粒 オーリップ灰 (3.GCY 5/2)	オーリップ灰 (3.GCY 6/1)		2.5~3mmの粒は微含む。2mm 以下の灰白色の細かい砂粒を含む。	外窓一火井、 内窓一火井	火井…灰井、 内窓…5.8cm 外窓…13.7cm	A 1
27 12	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ヨコナギ ヘラ削り	ヨコナギ	ヘラ削り		粗粒 灰 (GKY 6/1) 灰 (GKY 5/2)	灰 (GKY 5/2)		2mm以下の白色・灰白色・黑色の 砂粒を含む。粗粒。		内窓一火井、 外窓一火井、 内窓…4.4cm 外窓…12.5cm	A 2
27 13	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1) 灰 (GKY 5/2)	灰 (GKY 6/1)		4~2mmの灰白色・黄色・灰色の 砂粒と1mm以下の灰白色・青灰色の 砂粒を含む。粗粒。	外窓一火井、 内窓一火井、 外窓…4.4cm 内窓…12.5cm	A 2	
27 14	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1) 灰 (GKY 5/2)	灰 (GKY 6/1)		2mm以下の白色・灰白色の砂粒を含 む。粗粒。			
27 15	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 6/1)		2mm以下の白色・灰白色の砂粒を含 む。粗粒。			
27 16	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1) 灰 (GKY 5/2)	灰 (GKY 6/1)		2mm以下の白色・灰白色・青灰色の 砂粒を含む。粗粒。		外窓一火井、 内窓一火井、 外窓…12.5cm	B 1
27 17	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 5/2) 灰 (GKY 5/2)	灰 (GKY 6/1)		2mm以下の白色・灰白色的砂粒を含 む。粗粒。			
27 18	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ ヘラ削り	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 6/1)		4mmの白色・灰色の粒と2mm以下の 灰白色・白色の砂粒を含む。粗粒。			
27 19	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 6/1)	灰 (GKY 6/1)		2mm以下の白色・灰白色的砂粒を含 む。粗粒。		外窓一火井、 内窓一火井	
27 20	SAI	圓筒 灰陶	口縁部 下 火井形	ナゲ	ナゲ			粗粒 灰 (GKY 4/1)	灰 (GKY 4/1)		2mm以下の白色・灰白色・黑色の 砂粒を含む。粗粒。		外窓一火井、 内窓…12.5cm	B 1

地質 番号	地物 番号	グリ ーン	緑野	赤褐色	赤色	西			東			形状	色			新 土	備 考	分類	
						外 葉	内 葉	茎	外 葉	内 葉	茎		外 葉	内 葉	茎				
27	21	SAL	堅葉草	高坪	上須原	ナデ ヘニアリ	ナデ			堅葉	灰 (SY 5/1)	灰 (SY 4/1)	1.5m程の灰褐色の根と3mm以下の灰 色・灰白色の部分を含む。棘果。						
27	22	SAL	堅葉草	高	須	ナデ	ナデ			堅葉	褐青灰 (SY 5/1)	褐 (SY 4/1)	1.5m以下の灰白色の部分を少し含 む。棘果。						
27	23	SAL	堅葉草	基	須原	ナデ	ナデ			堅葉	灰 (SY 5/1)	灰 (SY 4/1)	1mm以下の白色・灰白色的部分を含 む。棘果。						
27	24	SAL	堅葉草	高	须原	ナデ	ナデ			堅葉	灰 (SY 5/1)	灰 (SY 4/1)	1mm以下の白色・灰白色的部分を含 む。棘果。						
27	25	SAL	堅葉草	高	須	ナデ ヘニアリ	ナデ			堅葉	灰 (SY 5/1)	灰 (SY 4/1)	1mm以下の白色・灰白色的部分を含 む。棘果。						
27	26	SAL	堅葉草	高坪	须	ナデ カキナリ	ナデ			堅葉	灰 (SY 5/1)	灰 (SY 4/1)	1mm以下の白色・灰白色的部分を含 む。棘果。						
27	27	SAL	堅葉草	高坪	高	ナデ	ナデ			堅葉	オリーブ灰 (SY 6/1)	オリーブ灰 (SY 5/1)	1mm以下の灰白色・灰色の部分を含 む。棘果。						
27	28	SAL	堅葉草	高坪	高	ナデ 白毛	ナデ			堅葉	灰 (SY 5/1)	褐青灰 (SY 5/1)	1.5m以下の白色・灰色の部 分を含む。棘果。						
27	29	SAL	土	野	年	口須原	わざりに横方向 筋	横方向の筋	横方向の筋	直叶	紫紅 (SY 3/2)	灰褐 (SY 4/2)	0.5m以下の黒くて光る紫色を有 する枝幹。1mm以下の淡紫色の葉枝 を含む。						
27	30	SAL	土	野	年	口須原 （一 区）	横方向のへナリ 筋	横方向の筋と 筋の表面に 上のへナリ筋		直叶	近紅紫 葉 (SY 6/2)	近紅 葉 (SY 5/2)	1mm以下の紫葉の部分を少し含 む。紫葉。						
27	31	SAL	土	野	年	口須原	横方向の筋	横方向の筋	直叶	紫 (SY 5/2)	紫 (SY 4/2)	0.5m以下の紫葉の部分を含む。 紫葉。							
27	32	SAL	土	野	年	口須原	横方向の筋	横方向の筋	直叶	浅紫 (SY 6/2)	浅紫 (SY 5/2)	0.5m以下の紫葉の部分を含む。紫葉。							
27	33	SAL	土	野	年	口須原	横方向のへナリ 筋	横方向の筋	直叶	紫 (SY 6/2)	紫 (SY 5/2)	0.5m以下の紫葉の部分を含む。 紫葉。							
27	34	SAL	土	野	年	口須原 （一 区）	横方向のへナリ 筋 と 筋の表面 によるへナリ筋	横方向の筋	直叶	紫 (SY 5/2)	紫 (SY 4/2)	0.5m以下の紫葉の部分を含む。紫葉。							
27	35	SAL	土	野	年	口須原 （一 区）	横方向の筋	横方向の筋	直叶	紫 (SY 5/2)	紫 (SY 4/2)	0.5m以下の紫葉の部分を含む。紫葉。							
27	36	SAL	土	野	年	口須原	横方向の筋	横方向の筋	直叶	紫 (SY 5/2)	紫 (SY 4/2)	0.5m以下の紫葉の部分を含む。紫葉。							
27	37	SAL	土	野	年	口須原	横方向の筋	横方向の筋	直叶	近紅 葉 (SY 5/2)	近紅 葉 (SY 4/2)	0.5m以下の紫葉の部分を含む。紫葉。							
27	38	SAL	土	野	年	口須原	ハナヨウの筋 ナデ	ナデ	直叶	紫 (SY 5/2)	紫 (SY 4/2)	0.3m以下の灰白・灰色の部分を含 む。紫葉。							
27	39	SAL	土	野	年	口須原	ナデ	ナデナダ	直叶	紫 (SY 5/2)	紫 (SY 4/2)	0.3m以下の灰・灰白色・薄くて光 る部分を含む。紫葉。							
27	40	SAL	土	野	年	口 （一 区）	横方向のへナリ ダ	横ナデ	直叶	紫 (SY 5/2)	近 (SY 4/2)	0.5m以下の紫葉の部分を含む。紫葉。							

番号	植物名	アリ タケ	種類	基部	顶部	葉			色			根	土	備考	分類		
						外 葉	内 葉	茎 葉	外 葉	内 葉	茎 葉						
27	41 SAI 土 島 異	門	株	葉	ヨコナデ	ヨコナデ			美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21		良好				1.5m以下の鮮やかな緑に光る緑か青緑。1m以下の方葉は暗い緑を含む。2-3mほどの葉色の変化を含む。	外側…ススキ付 H高さ15.4m	
27	42 SAI 土 島 異	口	株	葉	ヨコナデ	ヨコナデ ナダ					良好				1.5m以下の緑色透明に光る緑から青緑を含む。2-3mほどの葉色の変化を含む。	1.5m-6.5m 内側灰化物付付	
28	43 SAI 土 島 異	門	株	葉	平行なカキの巻きの 葉と 口	ヨコナデ	ヨコナデ ナダ			良好	黄 GYR 5/4 地味黄 GYR 5/21				0m以下の方葉の青緑を含む。3-4mほどの葉色の変化を含む。	L高さ25.2m	
29	44 SAI 土 島 異	口	株	葉	横方輪 の ハナ	ヨコナデ	ナダ			良好	美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				ごく穏やかに透けて光る緑。0.5-1m以下の葉色の透明。0.5m以下の葉色の透明を含む。2.5-3mほどの葉色の変化を含む。	内側…にススキ付 H高さ15.7m	
30	45 SAI 土 島 異	門	株	葉	横方輪 の ハナ	ヨコナデ	ヨコナデ ナダ			良好	黄緑 GYR 5/4 地味黄 GYR 5/21				1-2m以下の美しい透明に光る緑から青緑を含む。2.5-3mほどの葉色の透明を含む。3-4mほどの葉色の変化を含む。	H高さ17.4m 外側…ススキ付	
30	46 SAI 土 島 異	口	株	葉	横方輪 の ハナ	ヨコナデ	ヨコナデ ナダ			良好	黄 GYR 5/4 地味黄 GYR 5/21				1m以下の葉色は透明に光る緑と青緑と1.5m以下の葉色は透明の光る緑が混在する。0.5-1mほどの葉色の透明を含む。	内側…ススキ付	
30	47 SAI 土 島 異	口	株	葉	横 ・ 横方輪 の ナ ダ	ヨコナデ ナダ				良好	黄 GYR 5/4 地味黄 GYR 5/21				ごく穏やかに透けて光る緑。2-3mほどの葉色と青緑を含む。	H高さ18.9m	
30	48 SAI 土 島 異	門	株	葉	ヨコナデ	ヨコナデ				良好	美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				1.5m以下の葉色は透明に光る緑から青緑を含む。2-3mほどの葉色の透明を含む。	H高さ24.3m	
30	49 SAI 土 島 異	門	株	葉	ナダ	ハケ目状のヨコ ナダ				良好	美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				2m以下の葉色。1m以下の青緑、青綠として光る緑が青緑を含む。	H高さ20.4m	
30	50 SAI 土 島 異	口	株	葉	ヨコナデ ナダ	ヨコナデ ナダ				良好	黄緑 GYR 5/4 地味黄 GYR 5/21				2.5-3mほどの葉色透明に光る緑が青緑を含む。2-3mほどの葉色の透明を含む。0.5-1mほどの葉色の透明を含む。	内側…黒葉 L高さ16.5m	
30	51 SAI 土 島 異	口	株	葉	ヨコナデ 一 部横方輪のナ ダ	ヨコナデ ナダ	ヨコナデ ナダ			良好	美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				1.5m以下の葉色の透明。2m以下の青緑として光る緑を含む。	H高さ25.4m	
30	52 SAI 土 島 異	口	株	葉	ハナ自目的横方 輪のナダ	ナダ				良好	黄 GYR 5/4 地味黄 GYR 5/21				2m以下の葉色。2-3mほどの葉色として光る緑を含む。	L高さ15.8m	
30	53 SAI 土 島 異	口	株	葉	ハナメ状のヨコ ナダ	ハナメ状のヨコ ナダ				良好	美しい緑 GYR 4/21 地味緑 GYR 5/4				1-1.5mほどの葉色透明に光る緑から青緑を含む。2-3mほどの葉色の透明を含む。	H高さ20.8m	
30	54 SAI 土 島 異	口	株	葉	横方輪のハナメ ナダ	ヨコナデ				良好	美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				1-1.5mほどの葉色透明に光る緑から青緑を含む。2-3mほどの葉色の透明を含む。	H高さ19.7m	
30	55 SAI 土 島 異	瓶	瓶	葉	横方輪の園形葉 えだナダ	ナダ				良好	黄赤 GYR 5/4 地味黄 GYR 5/21				2m以下の葉色。葉として光る緑。1m以下の葉色を含む。	近海…4.4m	
30	56 SAI 土 島 異	瓶	瓶	葉	横方輪の園形葉 えだナダ	ナダ				良好	美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				2m以下の葉色透明に光る緑から青緑を含む。1m以下の葉色を含む。	内側…近海付 L高さ7.4m	
31	57 SAI 土 島 異	口	株	葉	ヨコナデ ヨコナデ	ヨコナデ				良好	美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				2m以下の葉色の透明。葉として光る緑を含む。	内側…山根付 H高さ10m	
31	58 SAI 土 島 異	口	株	葉	ヨコナデ	ヨコナデ				良好	美しい緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				2m以下の葉色透明に光る緑。2-3m以下の葉色を含む。	内側…山根付 H高さ14.6m	
31	59 SAI 土 島 異	瓶	瓶	葉	ヨコナデ 瓶側面にハナメ	ヨコナデ、ナダ 瓶側面にナダ				良好	明赤緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				2m以下の葉色の透明。葉として光る緑を含む。	H高さ17.6m	
31	60 SAI 土 島 異	口	株	葉	ヨコナデ	ヨコナデ				良好	明赤緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				2m以下の葉色の透明。葉として光る緑を含む。	H高さ17.6m	
31	61 SAI 土 島 異	口	株	葉	ヨコナデ	ヨコナデ				良好	明赤緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				2m以下の葉色の透明。葉として光る緑を含む。	内側…山根付 H高さ17.6m	
32	62 SAI 土 島 異	口	株	葉	ヨコナデ ナダ	ヨコナデ ナダ				良好	明赤緑 GYR 5/4 地味緑 GYR 5/21				2m以下の葉色の透明。葉として光る緑を含む。	内側…山根付 H高さ19.7m	

団目 番号	通数 番号	ダリ ラッジ	種別	部類	高さ			造成	色			地 点	重 量	分類
					外 周	内 周	底 面		外 周	内 周	底 面			
31	41	SAS	1 2 ミ	無 縫	山根部 下方内安端部 ないケル	ヨコナデ 下方内安端部 ヨコナデ	ヨコナデ 下方内安端部 ヨコナデ	直形	に高い密度 (SYE 7/3)	に高い密度 (SYE 7/3)	に高い密度 (SYE 7/3)	1m以下の高く光る表面、 2m以下の白色地を少し含む。 2m以内。		
31	62	SAS	1 2 ミ	無 縫	口根部 ナド	ヨコナデ	ヨコナデ	直形	に高い密度 (SYE 5/4)	に高い密度 (SYE 7/3)	に高い密度 (SYE 7/3)	1m以下の黄色過度に光る部分、 1.5~2.5m位の形状に近く光る部分、 1.5~2m位の穏かな白色を含む。		
31	63	SAS	1 2 ミ	無 縫	山根部 ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	直形	標準 (SYE 6/5)	灰 (SYE 6/5)	灰 (SYE 6/5)	2m以下の褐色、黒褐色、黒褐色を石 地の下に5mm以下の白色過度に光る箇所 少しある。		
31	64	SAS	2 3 ミ	無 縫	口根部 ナド	ヨコナデ	ヨコナデ	直形	標準 (SYE 7/4)	に高い密度 (SYE 7/4)	に高い密度 (SYE 7/4)	4mm以下の灰・黒の砂粒、5× 5mmの凹凸を含む。		
31	65	SAS	1 2 ミ	無 縫	山根部 ヨコナデ	ハナ日風ナゲ 特徴又有		弧形	に高い密度 (SYE 5/4)	に高い密度 (SYE 5/4)	に高い密度 (SYE 5/4)	0.5mm以下の白色過度の砂粒、1mm 以下の灰・黒色の砂粒、1×3mmの 白い粉を含む。		
21	66	SAS	± 2 ミ	無 縫	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	直形	褐色 (SYE 4/3)	褐 (SYE 6/5)	褐 (SYE 6/5)	1m以下の褐色過度の砂粒、2m以 上の灰で灰や光る砂粒、灰・黒の 白い粉を含む。	内外部…スス付着	
31	67	SAS	1 2 ミ	無 縫	山根部 ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	直形	に高い密度 (SYE 4/3)	標準 (SYE 5/4)	に高い密度 (SYE 5/4)	2m以下の褐色過度の砂粒、2m以 上の白と光る砂粒、2m以下の 白い粉を含む。	口内部…3面に汚 れている	
31	68	SAS	2 3 ミ	無 縫	口根部 ヨコナデ 特徴又有	ヨコナデ 特徴又有	ヨコナデ 特徴又有	直形	に高い密度 (SYE 6/5)	に高い密度 (SYE 7/4)	に高い密度 (SYE 7/4)	4mm以下の明白な砂粒、5~10mmの 黄色過度の砂粒、5×7mmの褐色の 砂粒を含む。	口縁…20.5cm	
31	69	SAS	1 2 ミ	無 縫	口根部 ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	直形	直形 (SYE 5/4)	に高い密度 (SYE 6/5)	に高い密度 (SYE 6/5)	4mm以下の褐色、灰褐色の砂粒、 0.5mm以下の白色過度の砂粒を含 む。	内側面…スス付着	
31	70	SAS	± 2 ミ	無 縫	山根部 ヨコナデ 芯部	ヨコナデ 芯部	ヨコナデ 芯部	直形	直形 (SYE 5/2)	に高い密度 (SYE 6/4)	に高い密度 (SYE 6/4)	2mm以下の柱状の高く光る砂粒、 0.5mm以下の白色過度の砂粒、4mm以 上の白と光る砂粒で5×10mmの量を含 む。		
31	71	SAS	± 2 ミ	無 縫	ナカヒの後・ハケ 直角、ヨコナデ	ナカヒの後・ハケ 直角、ヨコナデ	ナカヒの後・ハケ 直角、ヨコナデ	直形	標準 (SYE 7/4)	標準 (SYE 6/6)	標準 (SYE 6/6)	8mmの暗褐色地、2~2.5mmの 白い粉、2mmの白色の砂粒を含む。 1mm以下の白色過度に光る砂粒を少 量含む。	内側…スス付着	
31	72	SAS	1 2 ミ	無 縫	ヨコナデ 日風、ヨコナデ マテ	ヨコナデ 日風、ヨコナデ マテ	ヨコナデ 日風、ヨコナデ マテ	直形	に高い密度 (SYE 5/2)	標準 (SYE 6/6)	標準 (SYE 6/6)	2~1mmの白色過度に光る砂粒を 多く含む。3~5mmの白色の砂粒、 灰褐色、灰褐色・灰・1mmの灰 く光る砂粒を含む。	内側…スス付着 裏…こはれの斑?	
31	73	SAS	1 2 ミ	無 縫	ナデ 直角	ヨコナデ 直角	ヨコナデ 直角	直形	に高い密度 (SYE 4/3)	標準 (SYE 6/6)	標準 (SYE 6/6)	1.5~1mm以下の白色過度に光る砂 粒を多く含む。3~5mmの白色の砂 粒、淡褐色、灰褐色など の砂粒を多く含む。		
31	74	SAS	± 2 ミ	無 縫	注付 充てん	ナテ・ヨコ・斜 方角のナゲ ヨコ・斜方角のナゲ	ナテ・ヨコ・斜 方角のナゲ ヨコ・斜方角のナゲ	直形	標準 (SYE 5/2)	標準 (SYE 6/6)	標準 (SYE 6/6)	3.5mm以下の灰・灰褐色、灰褐色的 3.5mm以下の黑く光る砂粒、1mm 以下の白色過度である砂粒を含む。 0.5mmの暗褐色の砂粒がふらふら している。	内側…スス付着	
31	75	SAS	± 2 ミ	無 縫	注付 充てん	ナデ 斜方角ナゲ	ナデ 斜方角ナゲ	直形	直形 (SYE 5/2)	標準 (SYE 6/6)	標準 (SYE 6/6)	4mm以下の暗褐色、灰褐色、黑色など の砂粒を多く含む。	内側…スス付着 内側…充てん物付着	
31	76	SAS	± 2 ミ	無 縫	在 株	ハナ日風ナド	ナデ	直形	標準 (SYE 5/2)	直形 (SYE 6/2)	直形 (SYE 6/2)	1.5×5mm以下の灰褐色、白色の砂 粒を含む。4mm以下灰・灰褐色、灰 褐色の砂粒を多量の含む。	内側…スス付着 内側…充てん物付着 直徑…4.5cm	
33	77	SAS	WEG	半葉	口根部 上部	ナデ ヘア割り	ナデ		標準	標準 (SYE 4/2)	標準 (SYE 4/2)	1.5mm以下の白色、灰褐色の砂粒を 含む。根株。	口縁…12.5cm	C 2
33	78	SAS	WEG	半葉	口根部 上部	ナデ ヘア割り	ナデ		標準	灰 (SYE 5/1)	灰 (SYE 5/1)	2mm以下の白色、灰褐色の砂粒を食 む。根株。		
33	79	SAS	WEG	半葉	口根部 上部	ナデ	ナデ		標準	灰 (SYE 5/1)	灰 (SYE 5/1)	2mm以下の白色、灰褐色、灰 褐色の砂粒を含む。根株。	口縁…12.5cm	B 1
33	80	SAS	WEG	半葉	半葉	根 茎	ナデ		標準	灰 (SYE 5/0)	標準 (SYE 6/1)	2mm以下の白色、灰褐色の砂 粒を含む。根株。		



番号	部位	ゲリ	種別	基盤	表面	表面			被膜	色			形	土	種	分類
						外	内	底		外	内	底				
35	III	SAA	頭部	平滑	口縫部	ナテ	ナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の薄色・白色・灰白色の砂粒を含む。被膜。	内面一日自然		
35	202	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 6/1)	灰オーリーブ (3.5Y 6/2)	灰オーリーブ (3.5Y 6/2)	被膜。			
35	203	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 5/1)	灰オーリーブ (3.5Y 6/2)	灰オーリーブ (3.5Y 6/2)	被膜。	口縫部-ナテ	内面一日自然	
35	204	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 6/1)	灰灰 (3.5Y 6/1)	灰灰 (3.5Y 6/1)	乳白・黒色の繊維状を含む。被膜。	口縫部-ナテ		
35	205	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヘラ型ナテ	ナテ		堅膜	灰白 (3.5Y 3/1)	灰灰 (3.5Y 3/1)	灰灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の白い砂粒を含む。被膜。	内面一日自然		
35	206	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	白	白	白	1mm以下の白い砂粒を含む。被膜。	内面一日自然		
35	207	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 6/2)	灰 (3.5Y 6/2)	1mm以下の白い砂粒と1.5mm以下の黒い砂粒を含む。被膜。			
35	208	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヘラ型ナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の白い砂粒を含む。被膜。			
35	209	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の白い砂粒を含む。被膜。			
35	210	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の白い砂粒を含む。被膜。			
35	211	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	オーリーブ灰 (3.5Y 5/1)	オーリーブ灰 (3.5Y 5/1)	オーリーブ灰 (3.5Y 5/1)	白色の繊維状を少し含む。被膜。	口縫-11.4m		
35	212	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の白色の砂粒を多く含む。被膜。	内面一日自然		
35	213	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 5/1)	灰 (3.5Y 5/1)	灰 (3.5Y 5/1)	1mm以下の白色の砂粒を多く含む。被膜。	内面一日自然		
35	214	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	オーリーブ灰 (3.5Y 4/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の灰白色の砂粒を含む。被膜。			
35	215	SAA	頭部	平滑	口縫部	ナテ	ナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	4cm、3mmの大白の砂粒を含む。1mm以下の白・灰・黒の砂粒を少し含む。被膜。	内面一日自然 表面-3.7cm 口縫-11.3cm	B2	
35	216	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	被膜。	口縫-12.4cm 内面一日自然		
35	217	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の白・灰・黑色の砂粒を含む。被膜。	内面一日自然 表面-12.4cm	B2	
35	218	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 4/1)	灰 (3.5Y 4/1)	灰 (3.5Y 4/1)	1mm以下の灰白色の砂粒を含む。被膜。	内面一日自然		
35	219	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の白い砂粒を少し含む。被膜。	内面一日自然		
35	220	SAA	頭部	平滑	口縫部	ヨコナテ	ヨコナテ		堅膜	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	灰 (3.5Y 3/1)	1mm以下の白い砂粒を含む。被膜。	内面一日自然		

回数	種類 番号	アグ ラード	種別	特徴	形態	表面			底面	色			特 性	分類	
						外 面	内 面	底 面		外 面	内 面	底 面			
35	123	SAG	絶縁	可溶	口端部	ヨコナゲ	ヨコナゲ		やや 吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰白 (S.Y 6/2)	灰白	吸水。	内外側一白色 白端-11.5mm	
35	123	SAG	絶縁	不	脚	脚	脚先端のカキ目	ヨコナゲの後部 方向の直痕有		吸水	灰白 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	白	白色の細胞壁を少しまじむ。吸水。	外端-凹端、二方通 し
35	123	SAG	絶縁	不	脚	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ	吸水	灰白 (S.Y 6/1)	灰白 (S.Y 6/2)	灰白 (S.Y 6/2)	2mm以下の白色部分を含む。吸水。	外端-二条状、三 方法し	
35	124	SAG	絶縁	不	脚	ナゲ	ナゲ		吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	吸水。	外端-一辺端、脚状 工具による追削跡有 (縫合)	
35	125	SAG	絶縁	不	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ		吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	1mm以下-2mmの乳白色の壁を含む。吸水。	外端-無指紋状	
35	126	SAG	絶縁	不	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ		吸水	灰白 (S.Y 6/1)	灰白 (S.Y 6/2)	灰白 (S.Y 6/2)	1mm以下-2mmの白い細胞壁と黒い細胞壁を含む。吸水。	外端-白色端 内端-黑色端 白端-11.5mm	
35	127	SAG	絶縁	不	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ		吸水	灰オリーブ灰 (S.G.Y 6/1)	ヨリーブ灰 (S.G.Y 6/1)	1-2mmの乳白色の壁を含む。吸水。	白端-2.5mm		
35	128	SAG	絶縁	不	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ		吸水	灰オリーブ灰 (S.G.Y 6/1)	ヨリーブ灰 (S.G.Y 6/1)	吸水。	白端-1.5mm		
35	129	SAG	絶縁	不	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ		吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	吸水。	口端-0.5mm 外端-白色端	
35	130	SAG	絶縁	不	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ	脚先端の平行ト キサギのカキ目	ヨコナゲ 同心円ナタキ	吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	吸水。	外端-白色端付着
35	131	SAG	8.5	皮	12脚部	ヨコナゲ	乳化状球殻	ヨコナゲ	吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	2mm以下の薄く光る部分。1mm以下の透明で光る部分を多く含む。2mm以下の透明で光る部分を多く含む。	外端-無指紋状 口端-1mm-無指紋		
35	132	SAG	8.5	皮	12脚部	ナゲ	ヨコナゲ		吸水	灰 (S.Y 6/1)	吸水	灰 (S.Y 6/1)	1mm以下の透明で光る部分。4mm以下の透明の細胞壁を多く含む。	外端-無指紋状	
35	133	SAG	8.5	皮	12脚部	ヨコナゲ	ナゲ		吸水	吸水	吸水	吸水	4mm以下の著色の細胞。5mm以下の褐色-灰白色の細胞を少し含む。	口端-ヨコナゲ	
35	134	SAG	8.5	皮	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ	脚の内側壁 不規	吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	2mm以下-3mmの褐色-灰白色の部分を少し含む。	外端-三角形壁、角 内側付支	
35	135	SAG	8.5	皮	脚	ヨコナゲ	ナゲ		吸水	吸水	吸水	吸水	2mm以下の深褐色の部分。2mm以下の褐色の部分を含む。	外端-三角形壁	
35	136	SAG	8.5	皮	脚	ナゲ	ヨコナゲ	ヨコナゲの内側壁 不規	吸水	暗赤	暗赤	暗赤	薄く光る。透明で光る。灰白色など の細胞壁を多く含む。	外端-暗赤背景	
35	137	SAG	8.5	皮	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ	ヨコナゲの内 側-脚内への 寄生	吸水	吸水	吸水	吸水	2mm以下の半透明-薄く光る部分を多く含む。		
35	138	SAG	8.5	皮	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ	ヨコナゲの内側壁 不規	吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	1mm以下の薄く光る。透明で光る部分を多く含む。2mm以下の褐色の部分を含む。	外端-三角形壁	
35	139	SAG	8.5	皮	脚	ヨコナゲ	ヨコナゲ		吸水	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	灰 (S.Y 6/1)	薄く光る。薄く光る。灰白色など の細胞壁を多く含む。	口端-ヨコナゲ 外端-一端	

番号	部位	ゲリ	規則	目録	目移	質			造成	色			基土	度	分類
						外 面	内 面	底 部		外 面	内 面				
35	141	SAT	口	裏	口縫筋	新方向のヘクサ	新方向のヘクサ		良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GYR 4/1)	褐色	褐色の顔面を含む。		
36	142	SAT	口	裏	山縫筋	ヨコナデ	ヨコナデ		良好	褐色 (GY 5/1)	褐色 (GYR 4/1)	褐色	1mm以下の黒く光る鉛錆、透明度をもつた鉛錆を多く含む。1mm以上の褐色の鉛錆を少しあげる。		
37	143	SAT	口	裏	縫	ヘクサ 「一」字 型	ヘクサ 「一」字 型	ナデ	良好	褐色 (GY 5/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	2~4mm程の白い斑点、褐色の粒と 3mm以下の白色・褐色の鉛錆を含む。		
37	144	SAT	口	裏	年身	山縫筋	ナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 5/1)	褐色	3~4mm程の白色の斑と2mm以下の 白色・黑色・褐色の鉛錆を含む。		
37	145	SAT	口	裏	年身	口縫筋	ナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	1mm以下の白色・褐色の粒と 3mm以下の白色・褐色の鉛錆を含む。黑色。		
37	146	SAT	口	裏	年身	口縫筋	ナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GYT 4/1)	褐色	2~4mm程の白色の粒と2mm以下の 白色・黑色・褐色の鉛錆を含む。黑色。		
37	147	SAT	口	裏	年身	口縫筋	ナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~4mm程の灰色の白色の粒と 2mm以下の灰色・白色・黄色の鉛錆を含む。	A部外面...此級 口徑...12mm 厚度...3.5mm	C
37	147	SAT	口	裏	年身	口縫筋	ナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~4mm程の白色の粒と1mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。黑色。		
37	148	SAT	口	裏	年身	口縫筋	ナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~4mm程の白色の粒と1mm以下の白 色・黑色・灰色の鉛錆を含む。黑色。	口徑...8.6mm	
37	149	SAT	口	裏	年身	口縫筋	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	1mm以下の褐色・黑色の鉛錆を少 量含む。		
37	150	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	1.5mm以下の鉛錆で黒く光る鉛錆と 2mm以下の白色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	151	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	152	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	153	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	154	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	155	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	156	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	157	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	158	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	159	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の 白色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	
37	160	SAT	口	裏	年身	ヨコナデ	ヨコナデ	ナデ	良好	褐色 (GY 4/1)	褐色 (GY 4/1)	褐色	3~5mm程の白色の粒と1~2mm以下の白 色・黑色・灰色の鉛錆を含む。	底部...平底 内面...スリット有 外側...芯丸付有 内面...芯丸付有 底面...1.5mm	

番号	測定 部位	グリ ッド	層別	固積	層厚	深 度		地成	色 国		新 土	備 考	分類
						外 部	内 部		外 部	内 部			
37	161	SAB	固積	河床	0cm	ナダ ヘア刷り	ナダ	無機	灰 (X 5/1) オリーブ灰 (Z 5/1)	灰 (X 3/1)	2mm以下の灰白色・黒褐色・白色的 砂粒を含む。粘性。	外因一凹地 口面—11.5cm	C
37	162	SAB	B-E	固	基	ヨコナデ 斜方角のハナダ	ナダ	無機	河床 (DTR 5/4)	河床 (DTR 5/4)	2~4mmの乳白色の石粒を少含む。	外因一冲积	
37	163	SAB	B-E	固	基	ヨコナデ		無機	河床 (DTR 4/2)	河床 (DTR 4/2)	1mmの白い砂粒、黒くて光る砂粒 を含む。		
37	164	SAB	B-S	固	基	ヨコナデ	ナダ	無機	二ぶい赤鐵 (DTR 5/4)	二ぶい赤鐵 (DTR 5/4)	1~4mmの乳白色の石粒を少含む。	外因一冲积	
37	165	SAB	B-S	固	基	ヨコナデ		無機	二ぶい赤鐵 (DTR 5/4)	二ぶい赤鐵 (DTR 5/4)	1~5mmの灰褐色・白色の砂粒を含む。	外因一冲积	
37	166	SAB	B-S	固	基	ヨコナデ 斜方角のナダ	ナダ	無機	河床 (DTR 5/4)	河床 (DTR 5/4)	4mm大、1mm以下の褐色の砂粒を少 し含む。1mm以下の黄褐色で光る砂粒を 多く含む。	内因一冲积	
37	167	SAB	B-S	固	基	ヨコナデ 斜方角のナダ	ヨコナデ 斜方角のハナダ	無機	灰 (Z SY 5/6) 灰褐 (Z SY 4/2)	灰 (Z SY 5/6) 灰褐 (Z SY 5/6)	オカス貝の光る珊瑚鉱。1~3mmの 白い砂粒を少含む。	外因一冲积壳 内因一冲积	
37	168	SAB	B-S	固	基	ヨコナデ 斜方角のナダ	ヨコナデ 斜方角のハナダ	無機	灰 (Z SY 5/6) 灰褐 (Z SY 4/2)	灰 (Z SY 5/6) 灰褐 (Z SY 4/2)	1mm以下の灰白色。透明の光るガラ スの砂粒。多く光る砂粒の砂粒を それぞれ少すづむ。	外因一冲积壳 内因一冲积壳	
37	169	SAB	B-S	固	基	ヨコナデ 斜方角のハナダ		無機	河床 (DTR 4/2)	河床 (DTR 4/2)	1mm以下の白い砂粒、黒く光る砂粒を 含む。	内因一冲积壳 外因一冲积壳	
37	170	SIM	B-S	固	基	ヨコナデ	2-3cm角のナダ	無機	河床 (Z SY 3/8)	河床 (Z SY 3/8)	1mmの白・灰色の砂粒を少含む。	外因一冲积、一部冲 积	
37	171	SAB	B-S	固	基	ナダ・ヨコナデ	ナダ	無機	灰 (SY 5/6)	灰 (SY 5/6)	1~2mmの灰・黑・透明であるく 光る砂粒を多く含む。	内因一冲积 外因一冲积	
37	172	SAB	B-S	固	基	ヨコナデ ナダ	ヨコナデ ナダ	無機	灰 (Z SY 5/4)	灰 (Z SY 5/4)	1mm以下の乳白色・黄色・黑色の砂 粒を含む。透明で光る黑色で光る砂 粒を含む。		
37	173	SAB11	固積	河床	0cm	ヨコナデ 斜方角のナダ	ヨコナデ	無機	灰 (Z SY 6/3)	灰 (Z SY 6/3)	1mm以下~2mmの白色・黃土色の砂 粒を含む。粘性。		
37	174	SAB11	固積	半溝	0cm	ヨコナデ 斜方角のナダ	ヨコナデ	無機	灰 (Z SY 6/3)	灰 (Z SY 6/3)	1mm以下~2mmの白色・黃土色・黑 色の砂粒を含む。	外因一冲积	
37	175	SAB11	固積	半溝	0cm	ヨコナデ	ヨコナデ	無機 柱状	灰 (Z SY 5/4)	灰 (Z SY 5/4)	2mm以下の灰白色的砂粒と1mm以下の 白・黄色の砂粒を含む。粘性。	外因一冲积	
37	176	SAB11	固積	半溝	0cm	ヨコナデ ヘア刷り	ナダ	無機	灰 (SY 5/2)	灰 (SY 5/2)	2mm以下~2mmの白色・黃土色・黑 色の砂粒を含む。粘性。		
37	177	SAB11	固積	半溝	0cm	ヨコナデ ヘア刷り	ヨコナデ	無機	灰 (SY 5/2) 白色 (SY 4/2)	灰 (SY 5/2)	4mm以下の乳白色の砂粒を含む。 粘性。	外因—14.7cm 内因第一冲积 外因—冲积	
37	178	SAB11	固積	半溝	0cm	ナダ	ナダ	無機	灰 (Z SY 5/2)	灰 (Z SY 5/2)	2mm以下の灰白色・灰色・黑色的 砂粒を含む。粘性。	内因第一冲积 外因—冲积	
37	179	SAB11	固積	半溝	0cm	ヨコナデ	ヨコナデ	無機	灰 (SY 6/2)	灰 (SY 6/2)	乳白色・黃土色の細颗粒を含む。 粘性。		
37	180	SAB11	固積	半溝	0cm	ヨコナデ ヘア刷り	ヨコナデ	無機	灰 (X 3/4) (X 3/4) 自然颗粒分	灰 (X 3/4)	2mm以下の白色の砂粒を含む。	外因—6.7cm 内因第一冲积	

規格 番号	被物 名	アリ アンド ワード	種類	特徴	形態	測 定			範囲	色 料			面 材	被 物	分類
						外 面	内 面	底 面		外 面	内 面				
37 184 SAI 000 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ 直脚又は弓				黒 白(0.5Y 7/2) 黄(5.4Y 7/2) 赤(3.5Y 7/2)	オリーブ色 (2.5G 7/1)	2~3mmの白色・青白色の絨毛と 2mm以下の白色・灰白色・黃白色の 砂粒を含む。暗斑。	17mm~20.5mm			
37 185 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ヨコナデ	ヨコナデ				AH	黒 (GYR 6/0)	黒 (GYR 6/0)	3mm以下の灰・黃白色の砂粒を含 む。	内側一側面或は外		
37 186 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ ハケ合状ナデ				黒	黒 (GYR 7/2)	黒 (GYR 7/2)	2mm以上の黒く光る砂粒を含む。 2mm以下の白色・2mm以下の黄色の 砂粒を含む。	内・外側一側面?		
37 187 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ直脚ヨコナ デ				良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の青緑色・黒色・3.5G 7/1 黒、2.5Y 7/2の2色の砂粒を含む。 2mm以下の黒く(白)光る砂粒を含 む。	口縫部…ナデ		
37 188 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ直脚ヨコナ デ				良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	1mm以下の黒・灰・茶色の砂粒を含 む。	門扉部…内側 内側一側面		
37 189 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ直脚ヨコナ デ				良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の黒・灰・茶色の砂粒、 2mm以上の黒く光る砂粒を含む。 2mm以下の青緑色の砂粒を含む。	内側…斜み筋、三角 窓部(下部式)		
37 190 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ				良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2~4mmの灰白色の絨毛と2mm以下 の灰白色・灰色の砂粒を含む。無 斑。	内・外側…直角筋 門扉…7.5mm 窓部…5.5mm 屋根…10.5mm		
39 186 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ ナデ				良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 187 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ				良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内・外側…直角筋 門扉…7.5mm 窓部…5.5mm 屋根…10.5mm		
39 188 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ ナデ				良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 189 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ				良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋、灰色に 変色		
39 190 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ	ナデ ヘア刷りのヘラ刷 りナデ	ナデ ヘア刷りのヘラ刷 りナデ		良好	黒 (GYR 6/0)	黒 (GYR 6/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋、灰色に 変色		
39 191 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ	ナデ ヘア刷り	ナデ ヘア刷り		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 192 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋、自然 色		
39 193 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋、自然 色		
39 194 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 195 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 196 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 197 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 198 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 199 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋		
39 200 SAI 0.1 番	黒	黒	口縫部	ナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		良好	黒 (GYR 5/0)	黒 (GYR 5/0)	2mm以下の白浜の砂粒を含む。	内側…斜み筋、自然 色		



固有 番号	固有 番号	ゲリ ラル	ツド	種類	部類	周 道			造成	生 道			島 土	香 気	分類
						外 道	内 道	深 道		外 道	内 道				
39	232	SAS	B-L	黒 原	純 新	ヨコナダ	ナテ	ナテ	直好	明 (3.5Y 5/6)	暗 (3.5Y 5/6)	明暗 (3.5Y 5/6)	1m以下～4m程度の乳白色・灰 色・褐色・白色などの、直好・直乳の 光沢のある表面を含む。	明暗…5.7m	
40	232	SAS	B-L	黒 原	新 原	ナテ	ナテ 横斑斑葉	ナテ	直好	浅灰 (3.5Y 6/0)	灰 (3.5Y 6/0)	浅灰 (3.5Y 6/0)	3m以下の灰色である状態の明暗。 1m以下の無色透明の明暗。1m以 下の乳白色の明暗。3m以下4X 1m以下6Xの明暗を含む。	明暗…3.3m	
41	233	SAS	B-L	黒 原	新 原	ハテ足状根糸尚 リコナダの直葉 ヨコナダ	ヨコナダ リコナダの直葉 ヨコナダ		直好	暗 (3.5Y 4/0)	赤 (3.5Y 4/0)	暗赤 (3.5Y 4/0)	1m以下の灰色・黑色の明暗。 3m以下4Xの乳白色・黑色の明暗。 1m以下6Xの無色透明の明暗。 1.5m以下の黄色を含む。	内...一部のスズ 青	
41	234	SC1	BBB	口緑	口緑	ヨコナダ ハテ留め?	ヨコナダ		直好	オリーブ (3.5Y 5/0)	オリーブ (3.5Y 5/0)	オリーブ (3.5Y 5/0)	2m以下の灰色の明暗を含む。 無色。	内...外見…無 内見…1.5m以下 口緑…14m	
41	235	SC1	脚留	脚留	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	黄 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 7/0)	黄 (3.5Y 7/0)	1m以下の灰・白色の明暗を含む。 無色。		
41	236	SC1	脚留	脚留	口緑	ナテ	ナテ		直好	(3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	1m以下の灰白色・黃白色の明暗を 含む。無色。		
41	237	SC1	BBB	脚留	脚留	ナテ	ナテ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	1.5m以下の白色の明暗を含む。無 色。	無明暗…8.5m	
41	238	SC1	B-L	黒 原	新 原	ヨコナダ	ヨコナダの上を 筋方向のナテ		直好	黄 (3.5Y 6/0)	赤 (3.5Y 5/0)	黄 (3.5Y 5/0)	1m以下の乳白色の明暗・白・進野 で走る筋跡が多く含む。	内...裏...留み三三角美 容	
41	239	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ 筋方向のナテ	ナテ		直好	明 (3.5Y 5/4)	赤 (3.5Y 5/4)	明 (3.5Y 5/4)	2m～4m大の筋跡を含む。2m以 下の乳白色の明暗を少し含む。	口緑…ヨコナ ダ筋方向…三角美 容	
41	240	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	赤 (3.5Y 5/0)	暗 (3.5Y 5/0)	無・乳白色・黒く光る・進野で走る 筋跡多く含む。	口緑…留み口 口緑…2.5m	
41	241	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ 筋方向のナテ	ヨコナダ 筋方向のナテ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	赤 (3.5Y 6/0)	暗 (3.5Y 6/0)	3m以下の茶・褐色の明暗を少し含 む。黒く走る筋跡で走る筋跡を多く含 む。	内...茶…留み日 口緑…ヨコナ ダ筋方向	
41	242	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 5/0)	暗 (3.5Y 6/0)	1.5m以下の半透明の明暗。透明で光 る黒く筋跡を多く含む。	内...黑…基底	
41	243	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 5/0)	暗 (3.5Y 6/0)	2m以下の明暗。1m以下の黒く 光る・進野で走る筋跡を多く含む。		
41	244	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	暗 (3.5Y 6/0)	2m以下の乳白色・透明で走る・黑 く走る筋跡を多く含む。		
41	245	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ	ナテ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	暗 (3.5Y 6/0)	2m以下の明暗。1m以下の黒く 光る・進野で走る筋跡を多く含む。	内...黑…基底	
41	246	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	暗 (3.5Y 6/0)	1.5m以下の乳白色の明暗。透明で 光る黒く筋跡を多く含む。		
41	247	SC1	B-L	黒 原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	暗 (3.5Y 6/0)	2m以下の明暗。1m以下の黒く 光る・進野で走る筋跡を多く含む。	内...黑…基底	
41	248	B-2	BBB	河原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	暗 (3.5Y 6/0)	黄 (3.5Y 6/0)	暗 (3.5Y 6/0)	2.5m以下の黄色の明暗と1m以下の 若い・春枝を含む。無色。	内...河原…2.5m	
41	249	B-2	BBB	河原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	黄 (3.5Y 5/1)	黄 (3.5Y 5/1)	黄 (3.5Y 5/1)	1m以下の乳白色の明暗を含む。 無色。	外見…河原	
41	250	B-2	BBB	河原	口緑	ヨコナダ	ヨコナダ		直好	黄 (3.5Y 5/1)	黄 (3.5Y 5/1)	黄 (3.5Y 5/1)	2m以下の乳白色の明暗を含む。 無色。		

番号	遺傳 母子	ゲノ ミック	性別	年齢	被服	頭 頭			被服	身 身		脚 脚	尾 尾	場 所	分類
						外 頭	内 頭	乳 頭		外 頭	内 頭				
41 241	B-2	母親	母	新 頭	ヨコナデ		ヨコナデ		黒斑 (3.5Y 6/1) 黃(3.5Y 5/1)	赤色脚	3mm以下の白い跡線と、2.5mm以下の 褐色の跡線を含む。無尾。	口徑…26cm			
41 242	B-2	母親	母	口頭部 1 新 頭	ナデ ヘラ振り	ナデ			黒 (3.5Y 6/1) 黃(3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	1.5mm以下の灰白色、黃白色の跡线 を含む。無尾。				
41 243	B-2	母親	母	口頭部 2 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ			黒 (DGY 6/1) 黃(3.5Y 5/1)	黒 (3.5Y 6/1)	無尾。		外頭…直角地		
41 244	B-2	母親	母	口頭部 1 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ			黒 (3.5Y 5/1)	黒 (3.5Y 6/1)	2mm以下の灰白色の跡线を含む。	D径…13.1cm			
41 245	B-2	母親	母	口頭部 1 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		黒 オリーブ(3. 5GY 6/1)	オリーブ(3. 5GY 6/1)	0.5mm以下の褐色過特で先毛跡線を 含む。1.5mm以下の黃色の跡线を含む。	口徑…20.5cm			
41 246	B-2	母親	母	口頭部 1 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ			黒 (3.5Y 5/1) 黃(3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	無尾。		外頭…直角地？、灰 黄色		
41 247	B-2	母親	母	口頭部 新 頭	ナデ	ナデ			黒 (3.5Y 6/1) 黃(3.5Y 7/6)	黒 (3.5Y 6/1)	2mm以下の灰白色の跡线を含む。 無尾。				
41 248	B-2	母親	母	口頭部 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ			黒 (3.5Y 5/1) 黃(3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	無尾。		内頭…凹頭		
41 249	B-2	母親	母	頭 頭	ナデ ヘラ振り	ナデ			黒 (3.5Y 5/1) 黃(3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	7~1.5mmの白色、灰白色の斑と2mm 以下の灰白色、黃色の跡线を含む。 無尾。				
41 250	B-2	母親	母	頭 頭	ナデ ヘラ振り	ナデ			黒 (3.5Y 5/1) 黃(3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	5~1mmの白色、黃白色の斑と 1.5mm以下の白色、黃白色の跡线を含む。 無尾。		外頭…直角地		
41 251	B-2	母親	母	頭 頭	ナデ ヘラ振り	ナデ			黒 (3.5Y 5/1) 黃(3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	1mm以下の白色の跡线を含む。 無尾。		外頭…直角地、凹頭		
41 252	B-2	母親	母	頭 頭	ナデ ヘラ振り	ヨコナデ			黒 (3.5Y 5/1) 黃(3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	1mm以下~2mmの墨色、乳白色の斑 を含む。無尾。				
41 253	B-2	母親	母	口頭部 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		黒 (3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	2mm以下の白色の跡线を含む。 無尾。		内頭…直角地 内頭…凹頭 口徑…23.6cm		
41 254	B-2	母親	母	口頭部 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ			白地脚 たちぢよがり 黄(3.5Y 7/6)	黒 (3.5Y 6/1)	2.5mm以下の白い跡线を含む。 無尾。		外頭…直角地		
41 255	B-2	母親	母	口頭部 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		黒 (3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	2mm以下の白色の跡线を含む。 無尾。		口管部…ナデ		
41 256	B-2	母親	母	口頭部 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		黒 (3.5Y 5/1)	黒 (3.5Y 6/1)	2mm以下の白色の跡线を含む。 無尾。				
41 257	B-2	母親	母	口頭部 1 新 頭	ナデ	ナデ	ヘラ振り		オリーブ(3. 5GY 6/1) 黄(3.5Y 7/6)	オリーブ(3. 5GY 6/1)	1.5mm以下の灰白色、黃色、黑色の 跡线を含む。無尾。	D径…23.5cm 長さ…5.5cm			
41 258	B-2	母親	母	口頭部 1 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ		オリーブ(3. 5GY 6/1)	オリーブ(3. 5GY 6/1)	1.5mm以下の灰白色の跡线を含む。 無尾。		外頭…直角地 行進…凹頭 D径…23.5cm		
41 259	B-2	母親	母	口頭部 1 新 頭	ヨコナデ	ヨコナデ			黒 (3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	無尾。		口管部…ナデ 内頭…凹頭 口徑…23.5cm		
41 260	B-2	母親	母	口頭部 新 頭	ナデ	ナデ	ナデ		黒 (3.5Y 6/1)	黒 (3.5Y 6/1)	1mm以下の灰白色の跡线を含む。 無尾。				

番号	植物名	ゲリラ ラン	種別	形態	習性	葉		花		地 土	高 度	分類	
						外 葉	内 葉	葉 形	葉 色				
41	261	B-2	0008	平身	口輪部	ヨコナデ	ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	3mm以下の褐色の部分を含む。	口徑…15.5mm	
41	262	B-2	0008	平身	口輪部	ナデ	ナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1) 朱色 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 5/1)	3mm以下の白い部分を含む。葉丸。	口徑…11mm 外側…波状	
41	263	B-2	0008	平身	口輪部	ヨコナデ	ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	オリーブ葉 G.Y 6/1)	3mm以下のオリーブ色の部分と2mm以下の白い部分を含む。葉丸。		
41	264	B-2	0008	平身	口輪部 ノコギ 葉	ヨコナデ	ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 5/1)	葉 G.Y 5/1)	3mm以下の淡黄色の部分を含む。	口徑…11.5mm	
41	265	B-2	0008	平身	口輪部 ノコギ 葉	ヨコナデ	ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 5/2)	3mm以下の淡黄色の部分を含む。葉丸。	口徑…11.5mm	
41	266	B-2	0008	平身	口輪部	ヨコナデ	ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	3mm以下の褐色の部分と1.5mm以下 の白い部分を含む。葉丸。		
41	267	B-2	0008	平身	口輪部 ノコギ 葉	ナデ	ナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1) 葉 G.4/1)	葉緑 葉 G.Y 6/1)	3mm以下の白色・淡白色の部分を含む。 葉丸。	口徑…11.5mm	
41	268	B-2	0008	平身	口輪部	ヨコナデ	ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	4.5mm以下の白い部分と2.5mm以下の 褐色の部分を含む。葉丸。	口徑…14.5mm	
41	269	B-2	0008	平身	口輪部	ヨコナデ	ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	1mm以下-1mmの乳白色・灰色・褐 色の段を含む。	外側…自然端	
41	270	B-2	0008	平身	口輪部	ヨコナデ	ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	0.5mm以下の淡黄色の部分をわざか に含む。	外側…6.0mm	
41	271	B-2	0008	平身	口輪部	ナデ	ナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	1.5mm以下の灰白色・白色の部分を 含む。葉丸。		
41	272	B-2	0008	平身	口輪部		ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	3mm以下の褐色の部分と白く光る部 分を含む。葉丸。	外側…自然端	
41	273	B-2	0008	平身	口輪部	ナデ	ナデ		葉緑 葉 G.Y 7/2) 葉 G.Y 5/1)	葉 G.T 6/1)	3mm以下の乳白色・淡白色の部分を 含む。葉丸。	口徑…12.5mm	
42	274	B-2	0008	平身	口輪部	ナデ	ナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 5/1)	1.5mm以下の白色・淡白色の部分を 含む。葉丸。		
42	275	B-2	0008	平身	口輪部	ナデ	ナキヨシナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	1mm以下の乳白色・淡白色の部分を 含む。葉丸。		
42	276	B-2	0008	平身	口輪部				葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 6/1)	2mm以下の白色部分、1mm以下の淡 色透明の部分を含む。葉丸。	口徑…10.5mm	
42	277	B-2	0008	平身	ヨコナデ ナデ ウツイヨコナデ				葉緑 葉 G.Y 5/2)	葉 G.Y 5/2)	4-6mmの白色の部分を多く含む。 葉丸。	口徑…8.5mm	
42	278	B-2	0008	平身	ヨコナデ ナデ		前方向のナデ ナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 5/1)	茎色・白色の複数色を含む。葉丸。		
42	279	B-2	0008	平身	ヨコナデ		シギリ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 5/2)	3mm以下の乳白色の部分を含む。葉 丸。	外側…1条の波端、 葉丸。	
42	280	B-2	0008	平身	ヨコナデ		ヨコナデ		葉緑 葉 G.Y 6/1)	葉 G.Y 5/2)	1mm以下-1mmの茎色・白色の段を 含む。葉丸。	外側…自然端	



試験番号	試験番号	アリ	種類	品種	品目	質		地底	色		地	土	調	分類
						外	内		表	裏				
42	301	b-2	土壌	年	口歛部	東上方のナダ 表・裏方の表 面にヨモヘナダ ナ	ヨモカダ 丁字ヨモナダ		良好	に高い密度(DV 0.7/4) 異常(DIV 2/2)	に高い密度 DV 0.7/4) 異常(DIV 2/2)	1m以下 の白色の部分や斜面を少 し含む。	内部・風化 D埋=12.5m	
42	302	b-2	土壌	年	口歛部	前方のナダ表 面にヨモヘナダ ナ	前方のナダ表 面		良好	に高い密度 DV 0.5/4)	に高い密度 DV 0.5/4)	斜面を含む。	内・外基—白色層	
42	303	b-2	土壌	年	口歛部	前方の表裏に ヨモヘナダ ナ	前方の表裏に ヨモヘナダ ナ		良好	に高い密度 DV 0.7/4)	に高い密度 DV 0.7/4)	白の部分。	外基—灰色層	
42	304	b-2	土壌	年	表	前方の表裏に ヨモヘナダ ナ	前方の表裏に ヨモヘナダ ナ		良好	に高い密度(DV 0.7/4) 異常(DIV 2/2)	異常 DV 0.8/4)	1m以下の白色・灰色の部分を少 し含む。		
43	305	b-2	土壌	表	口歛部	Dモカダ 丁字モカダ 上から下の新方 向のナダ	丁字ヨモナダ 上から下の新方 向のナダ		良好	高 (DV 1.2/3) 異常 (DV 2/2)	等級 (DV 3/4)	1m以上の黒、石粒を少含む。1- 1.5m以下の白色表面に白と斜粒、 灰開裂、瓦色の斜面を含む。	外基—瓦色 D埋=14.7m	
43	306	b-2	土壌	表	表	前方のナダ 表・裏方のナ ダ	ナダ ナダ ナダ	ナダ	良好	に高い密度 DV 0.7/4)	異常 DV 0.4/4) 高	1m以下 の斜面で黒・光沢地と1.5m以 上の斜面で瓦色の部分を含む。 の風化・瓦色の部分や2-4mm程度の瓦粒 各一色の粒2cm以下での瓦色・白色 混合の斜面を含む。	瓦基—瓦底 D埋=19.2m	
43	307	b-2	土壌	表	表	ナダ ナダ ナダ	ナダ ナダ ナダ		良好	高 (DV 1.2/4) 異常 (DV 2/4)	高 (DV 0.8/4)	0.1-2.5mmの瓦色の砂粒と2- 3mmの瓦色の斜面を含む。0.1- 0.5-5mm程度の瓦色の砂粒。5mm 以下の灰白色の砂粒を含む。	外基—瓦底 D埋=18.5m	
43	308	b-2	土壌	表	表	前方のナダ表 面	ナダ ナダ ナダ		良好	に高い密度 DV 0.4/4) 異常 (DV 2/2)	異常 DV 0.4/4) 異常 (DV 2/2)	1-2mm程度の斜面に瓦色の砂粒を 含む。1mm程度の斜面に瓦色の砂粒か い砂粒を含む。2-3mm程度の瓦粒 各一色の瓦色の砂粒を含む。	外・内基—スズ付 瓦底	

## 第7節 小結

宮ノ前第2遺跡B地区は、旧石器時代の剥片尖頭器、縄文時代後期の土器・石器、弥生時代後期の土器、古墳時代の須恵器などが出土し、弥生時代後期～終末期の竪穴住居7軒、古墳時代初期～後期の住居が8軒などが検出された。当遺跡は旧石器時代から古墳時代後期まで営まれているが、生活空間としての利用されたのは縄文時代後期と弥生時代中期～古墳時代後期である。

### ① 縄文土器について

縄文土器の分類及びその時期については第Ⅲ章第3節と第4節で述べているので、ここでは割愛する。

### ② 石器について

当地区の石器としては、扁平打製石斧13点などの耕具が46.4%と半数近くを占めているのに対して、打製石鎌11点などの狩猟用具が39.3%、磨石1点・石皿3点などの植物調理用石器が14.3%と低い。なお石鎌は欠如している。A地区と比較すると打製石鎌の割合がA地区的26.2%より高いのが目立つ程度ではほぼ同じ様相を示している。今回の発掘調査は調査面積が少なく、斜面地であるために他地域との比較するほどの量出土しなかったので縄文時代後・晩期の様相のほんの一端をかいま見るに止まったが、陣内遺跡に代表されるように当地域の縄文時代後期・晩期の遺跡と同様に扁平打製石斧の割合が高い。

### 註

(1)鈴木重治・賀川光夫「陣内遺跡」『日向遺跡総合調査報告』第2輯 宮崎県教育委員会  
1962

### ③ 弥生土器について

当遺跡の竪穴住居及び包含層から出土した弥生土器について次のように分類される。

#### 壺

I-A類 口縁部が少し外傾し、口縁部の直下に2条の刻み目突帯を有する壺。突帯は高く、断面三角形である。

I-B類 口縁部がほぼ直口し、口縁部の直下に一条の刻み目突帯を有するもの(64・146～149)と、口縁部が少し外傾するもの(32・91)がある。所謂「下城式土器」である。

II類 逆L字口縁部の直下に低い刻み目突帯を有する。(145)。

III類 くの字口縁部直下に一条の刻み目を有する(21・65)。65は口径は28.2cmで、法量では大型である。所謂「中溝式土器」である。

IV-1類 くの字口縁で、肩部に横方向と縦方向に突帯を施す(68・69)。所謂粗製の「工字突帯土器」である。

IV-2類 くの字口縁で、頸部に横描波状文を施している(10・39・110)。

V類 口縁部が薄く、内側への張り出しが見られる(45・70・108・154・155)。口径は45が28.6cm、70が33.0cmで、法量では大型である。底部は48・170のように上げ底の高台である。所謂「肥後系土器」である。

VI類 口径が胴部の最大径より大きく、長胴で、胴部の最大径は肩部付近の上位にある(172)。口縁部は緩やかに外反する。口径24.1cm、現高34.9cmで、法量では大型である。

VII類 口径が胴部最大径より小さく、口縁部が途中から大きく外反する(71・173)。口径は71が26.2cmと大型であるのに対し、173は21.2cmと中型である。

VIII類 口縁部が斜方向に伸び、口径が胴部最大径より小さく、外面は横方向の叩きを施している(86・87)。

### 壺

I類 水平に少し長めに伸びる鋸先口縁部の口唇部と内側の張り出し部に刻み目を有する(117)。

II類 頸部と肩部の境に勾玉状の浮文を複数有する(49・118)。

III類 口縁部が緩やかに外反し、途中から大きく外反する。(90)。

IV類 頸部と肩部の境に突帯を有し、胴部の最大径にも突帯を有する(1)。

V類 締まった頸部にヘラによる横方向の連続刺突文を施し、長い頸部が伸びる。胴部最大径は上位にある。(60)。

### 複合口縁壺

I類 頸部が大きく外反し、短い口縁部が内傾する。口縁部に櫛描波状文を有するタイプ(30・55・93・94)で無文のタイプはない。頸部と肩部の境には突帯を有する。

II類 頸部が大きく外反し、櫛描波状文を有する長い口縁部が内傾する(53・114)。

III類 櫛描波状文を有する長い口縁部が内傾し、頸部の接合部分が著しく外に張り出すタイプである(98)。

### 小型壺

I類 口縁部がほぼ直口し、頸部に一条の突帯を巡らし、胴部が張り出す小型の壺である(61)。胴部の最大径は中位にある。

### 高坏

I類 坏部と脚部の接合部のみで、全体のプロポーションは伺えないが、脚部の径は5.5cmである。

以上のように当遺跡から出土した弥生土器は壺がI～VII類に、壺がI～V類に、複合口縁壺がI～III類に、高坏がI類に分類されるが、破片が多く全体のプロポーションを伺えるものは少ない。

なお壺I類は鋸先口縁部の特徴から須玖II式土器の中期後半に、壺II類は後期前半に比定され

る。壺I類は中期後半、壺II類は中期後半、壺III類は後期初頭、壺VI-I類は後期前葉、壺IV-2類は後期後葉～末葉に、壺VI類は後期後半～末葉に比定される。壺V類は所謂「肥後型土器」である。

当遺跡はI～III期に区分され、その特徴について述べる。

#### 宮ノ前Ⅰ期

この時期資料としては動先口縁の壺I類である117があるが、調査区では堅穴住居などの遺構は検出されていない。中期後半の時期に比定される。

#### 宮ノ前Ⅱ期

この時期の資料としては9号・10号・12号住居出土の土器で、直口する口縁部下に一条の刻み目突帯を有する下城式土器である壺I類、「中溝式土器」の壺III類、「粗製の工字突帯文」の壺IV-1類、「肥後型土器」の壺V類、壺II類の組み合わせである。後期初頭～前葉の時期に比定される。

#### 宮ノ前Ⅲ期

この時期の資料としては5号・6号・13号・14号出土の土器で、構造波状文を有する複合口縁壺I類、壺IV-2類、壺VI類の組み合わせである。後期後葉～末葉に比定される。

#### 註

(1)武末純一「須玖式土器」「弥生文化の研究」4 雄山閣 1987

(2)玉永光洋「豊後における肥後型土器について」「九州考古学」第57号 九州考古学会 1985

玉永光洋「豊後内陸部の土器」「弥生文化の研究」4 雄山閣 1987

#### ④ 弥生時代後期の集落について

当遺跡の弥生時代中・後期の堅穴住居7軒の内訳は、方形・長方形プラン7軒（5号・6号・9号・10号・12号・13号・14号住居）である。13号住居の56.2m<sup>2</sup>を最大規模にして、20m<sup>2</sup>代の住居である6号住居（27.4m<sup>2</sup>）と12号住居（26.0m<sup>2</sup>）と14号住居（28.0m<sup>2</sup>）の中型のグループ、30m<sup>2</sup>代の住居である9号住居（35.9m<sup>2</sup>）の大型グループ、5号住居（48.2m<sup>2</sup>）・10号住居（52.5m<sup>2</sup>）・13号住居（56.2m<sup>2</sup>）の超大型グループに分かれる。平均は39.2m<sup>2</sup>である。主柱穴は2本柱が6号・9号・12号住居の3軒で、4本柱が5号・10号・13号・14号住居の4軒である。2本柱の住居の面積は20～30m<sup>2</sup>と中型・大型の住居で、平均29.8m<sup>2</sup>である。それに対して、4本柱は14号住居を除くと大型・超大型の住居であり、平均46.2m<sup>2</sup>と柱の数と面積が対応している。

7軒の堅穴住居は(3)弥生土器についての時期区分では宮ノ前Ⅱ期（後期初頭～前葉）は9号・10号・12号住居の3軒、宮ノ前Ⅲ期（後期後葉～末葉）は5号・6号・13号・14号住居の4軒である。堅穴住居の分布から集落景観を復元すると次のようになる。

宮ノ前Ⅱ期には標高331.0m～332.5mの調査区の南西部に9号・10号・12号と約6mと近接し

て営まれている。特に10号住居と12号住居の間隔は1mもなくかなり接近して営まれており、時期差か、面積からすれば4本柱の超大型住居と2本柱の中型住居の組み合わせであるので機能差が想定されるかもしれない。

宮ノ前Ⅲ期には分布域を東に移動して、標高331.5m～334.5mと調査区の中央部に5号・6号・12号・13号住居が近接して営まれている。14号住居は13号住居によって切られており、Ⅲ期における時期差と考えられる。また5号住居と6号住居は4本柱の超大型住居と2本柱の中型住居の組み合わせであり、Ⅱ期における10号住居と12号住居の関係に似似している。

なお古墳時代の住居はⅡ期・Ⅲ期の住居群の外側に営まれている。

県内で弥生時代後期後半～末の集落で発掘調査されたのは、高千穂町の当遺跡（4軒）・梅ノ木原遺跡（1軒）、北方町の笠下遺跡（8軒）、延岡市の中尾原遺跡（15軒）、日向市の越シ遺跡（2軒）・後陣遺跡（2軒）・百町原地区遺跡（1軒）、東郷町の橋田遺跡（6軒）、西郷村の内野々遺跡（10軒）、都農町の新別府下原遺跡（7軒）、川南町の上ノ原遺跡（6軒）、高鍋町の中ノ迫A遺跡（1軒）・大戸ノ口第2遺跡（12軒）、西都市の寺原第1遺跡（2軒）、宮崎市の熊野原遺跡B地区（16軒）・前原北遺跡（16軒）・源藤遺跡（5軒）、清武町の浦田遺跡（6軒）、野尻町の大萩遺跡（6軒）、高城町の城ヶ尾遺跡（3軒）、都城市の年見川遺跡（2軒）、丸谷第1遺跡（2軒）・祝吉第1遺跡（7軒）・祝吉第2遺跡（13軒）などがあるが、ほとんどは日向型間仕切り住居を主体とする集落で日向型間仕切り住居を有しない集落は少ない。なお日向型間仕切り住居で構成された集落に比較すると様相は不明であったが、最近は調査が増加し、比較できる程になった。そこで当遺跡と同じく方形住居を主体とする集落を見てみる。

方形住居のみで構成された集落は大淀川下流域より北に分布しており、北から順に概観する。

梅ノ木原遺跡は五ヶ瀬川の支流である岩戸川を南に望む丘陵と山地の転換点の352mに位置する。県道改良工事に伴って高千穂町教育委員会が昭和59年9月3日～28日まで調査を行った。その結果、弥生時代後期中葉の2本柱の方形住居が検出され、面積は6.8m<sup>2</sup>と小型である。

笠下遺跡は五ヶ瀬川右岸の標高80～90mの緩やかな丘陵上に位置する。ゴルフ場建設に伴って北方町教育委員会が調査を行った。その結果、弥生時代終末期から古墳時代初頭の方形プランの竪穴住居が8軒検出された。4期に区分されたうち、Ⅰ期（弥生時代終末期）が3軒、Ⅱ期が2軒、Ⅲ期（古墳時代初頭）が3軒・土壙1基である。Ⅰ期がV区では35.3m<sup>2</sup>のSA4と9.6m<sup>2</sup>のSA6がセットになり、V区のSA1も30.2m<sup>2</sup>である。Ⅱ期がI区では13.0m<sup>2</sup>のSA2と9.0m<sup>2</sup>のSA3がセットになり、Ⅲ期がV区の30.2m<sup>2</sup>のSA3と22.1m<sup>2</sup>のSA2、I区が12.5m<sup>2</sup>のSA1である。平均は20.2m<sup>2</sup>である。

中尾原遺跡は五ヶ瀬川左岸の標高50cmの平坦で南向きの台地上に立地する。県営圃場整備事業

に伴って延岡市教育委員会が調査を行った結果、元年度の調査では弥生時代後期後半～終末期の隅丸方形の住居が15軒、2年度の調査では後期後半～古墳初頭と6世紀代の住居が34軒検出された。方形住居の一部には張り出しを有するものもある。

後陣遺跡は龜崎台地の東南部の標高26mに位置する。区画整理事業に伴って日向市教育委員会が調査を行った結果、方形住居が2軒検出された。1号住居が $33.6\text{m}^2$ 、12号住居が $36.0\text{m}^2$ であり、両者とも4本柱である。

百町原地区遺跡は宮崎平野北部段丘群の北端部にあたり、標高39mに位置する。県営圃場整備事業に伴って日向市教育委員会が調査を行った結果、古墳時代初頭の堅穴住居1軒・周溝状造構一基が検出された。一号住居は $44.8\text{m}^2$ の方形住居で6本柱の大型住居である。周溝状造構は陸橋部を1ヶ所有し、溝で囲まれた部分は $8.5\text{m}^2$ と小型である。

新別府下原遺跡は名貫川下流左岸の宮崎平野北部段丘群の三角洲性低地（名貫川開析扇状地）の標高30mに位置する。県営圃場整備事業に伴って都農町教育委員会が調査を行った結果、弥生時代後期末葉の堅穴住居7軒・周溝状造構3基・土壙5基が検出された。堅穴住居は床面積が平均 $16.6\text{m}^2$ と当時期の方形プランの堅穴住居としては標準的であり、最大規模はA-1区の1号住居の $20.2\text{m}^2$ 、最小規模はB-1区の2号住居の $12.4\text{m}^2$ である。主柱穴はB-1区の3号住居の4本柱を除くと2本柱を基本としている。周溝状造構の溝で囲まれた部分の面積はB-1区のS L 1が $16.4\text{m}^2$ 、B-7区のS L 1が $15.8\text{m}^2$ 、S L 2が $12.8\text{m}^2$ で、平均 $15.0\text{m}^2$ である。住居と周溝状造構の面積にあまり差異はない。特にB-1区で周溝状造構1基・堅穴住居2～3軒・土壙2～3基という集落の基本的な単位が抽出されたのは注目される。

中ノ迫A遺跡は尾鈴山系の東麓の東になだらかに伸びる標高100m前後の舌状台地上に位置する。宮崎県教育委員会が調査を行った結果、弥生時代終末期～古墳時代初頭の $23.0\text{m}^2$ の方形住居が1軒検出された。

上ノ原遺跡は小丸川左岸に広がる標高80～90mの国光原段丘の南縁辺部に立地する。烟造成に伴って川南町教育委員会が調査を行った結果、弥生時代後期後半～終末期の堅穴住居が6軒検出された。堅穴住居のうち5軒は方形プランであるが、3号住居だけが外に張り出し部を1ヶ所有する。最大規模の1号住居が $537\text{cm} \times 527\text{cm}$ の $28.3\text{m}^2$ であるのに対して、2号住居が $20.8\text{m}^2$ 、3～6号住居は一辺3m代の平均 $10.3\text{m}^2$ の小型住居である。平均の面積が $19.4\text{m}^2$ であり、住居間に格差がある。

大戸ノ口第2遺跡は小丸川右岸の牛牧台地東端の丘陵（標高68m）上に位置する。町総合体育施設建設に伴って高鍋町教育委員会が調査を行った結果、弥生時代後期後半の堅穴住居が12軒検出された。張り出し部を有するSA4以外はすべて方形プランであるが、その多くは $10\text{m}^2$ 未満の堅穴状造構である。最大規模のSA4が $20.5\text{m}^2$ であるのに対して、平均 $15.0\text{m}^2$ の3軒の小型住居

である。平均の面積は16.4m<sup>2</sup>であり、住居間の格差はない。

<sup>(1)</sup> 源藤遺跡は大淀川右岸の平野との比高差約20mの丘陵上（標高28.5m）に位置する。団地造成に伴って宮崎市教育委員会が調査を行った結果、後期末葉の方形プランの竪穴住居が5軒検出された。28号住居の36.0m<sup>2</sup>を最大規模にして平均21.5m<sup>2</sup>である。

<sup>(2)</sup> 浦田遺跡は双石山（509m）から東に伸びる丘陵が鏡洲付近で二つに分かれたうちの北側丘陵の標高21mに立地し、谷底低地との比高差は10mである。宮崎学園都市建設に伴って宮崎県教育委員会が調査を行った結果、弥生時代終末期の竪穴住居6軒と土壙10基が検出された。竪穴住居はすべて方形プランで、SA7は701cm×696cmの48.4m<sup>2</sup>と最大規模であるのに対し、SA6の29.1m<sup>2</sup>を除くと平均13.7m<sup>2</sup>の小型住居である。平均の面積16.2m<sup>2</sup>であり、住居間に格差がある。小範囲に営まれた1軒の大型住居・5軒の小型住居・土壙で構成された小集落の姿が明確にされた。

<sup>(3)</sup> 参考までに古墳時代初頭の集落である熊野原遺跡C地区では23軒の方形住居と周溝状遺構1基で構成されている。面積では3～9m<sup>2</sup>（4軒）、10～15m<sup>2</sup>（8軒）、25～29m<sup>2</sup>（3軒）、33～45m<sup>2</sup>（6軒）、57m<sup>2</sup>前後（2軒）に分かれる。特に10～15m<sup>2</sup>の小型住居と33～45m<sup>2</sup>に集中している。

以上、方形プランを主体とする集落は次のように分けられる。20m<sup>2</sup>前後の中型（標準的）住居1～2棟と平均10～15m<sup>2</sup>の小型住居数棟で構成された集落であるAタイプ、36m<sup>2</sup>のやや大型住居1棟と20m<sup>2</sup>前後の中型住居数棟で構成された集落であるBタイプ、30～35m<sup>2</sup>のやや大型住居数棟と10～15m<sup>2</sup>の小型住居数棟で構成された集落であるCタイプ、浦田遺跡の1軒の49m<sup>2</sup>の大型住居1棟と10～15m<sup>2</sup>の小型住居数棟・土壙数基で構成された集落であるDタイプがある。また新別府下原遺跡で抽出された竪穴住居2～3軒・周溝状遺構1基・土壙2～3基という集落の基本的な単位は周溝状遺構の性格付けと共に注目される。当遺跡の場合はBタイプに近く超大型住居1軒と中型住居1軒の組み合わせであり、住居面積が大きい点に注目される。また斜面地に集落が形成されるのは高千穂という地形に由来すると考えられる。

#### 註

- (1)長津宗重「日向型間仕切り住居研究序説」『宮崎学園都市遺跡発掘調査報告書』第2集  
宮崎県教育委員会 1985
- (2)長津宗重「梅ノ木原遺跡」「高千穂町文化財調査報告書」第4集 高千穂町教育委員会 1985
- (3)小野信彦「笠下遺跡」「北方町文化財調査報告書」第1集 北方町教育委員会 1990
- (4)山田聰「上南方地区遺跡」「延岡市文化財調査報告書」第6集 延岡市教育委員会 1991
- (5)緒方博文「後陣遺跡」「亀崎土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財報告書」日向市教育委員会  
1986
- (6)緒方博文「百町原地区遺跡」「昭和63年度県営ほ場整備事業百町原地区工事に伴う埋蔵文化  
財調査概要報告書」日向市教育委員会 1989

- (7)長津宗重「新別府下原遺跡」『都農町文化財調査報告書』第3集 都農町教育委員会 1990  
(8)岩永哲夫「中ノ迫A遺跡」『宮崎県文化財調査報告書』第28集 宮崎県教育委員会 1985  
(9)永友良典「上ノ原遺跡」『川南町文化財調査報告書』4 川南町教育委員会 1986  
⑩戸高真知子「大戸ノ口第2遺跡」『高鍋町文化財調査報告書』第5集 高鍋町教育委員会  
1991  
⑪伊東 但「源藤遺跡」『宮崎市文化財調査報告書』宮崎市教育委員会 1987  
⑫谷口武範「浦田遺跡」『宮崎学園都市遺跡発掘調査報告書』第2集 宮崎県教育委員会  
1985  
⑬西高哲郎「熊野原遺跡C地区」『宮崎県学園都市遺跡発掘調査報告書』第2集 宮崎県教育  
委員会 1985

⑤ 須恵器について

当遺跡の竪穴住居と包含層から出土した須恵器は次のように分類される。

坏蓋

A - 1 類

1は法量は口径15.8cm、器高3.9cm+aである。天井部と口縁部の境は明瞭で、口唇部の内側に沈線を有する。天井部にはヘラ削りを施している。

A - 2 類

91は法量は口径14.8cmである。天井部と口縁部の境は明瞭で、口唇部には段を有する。

A - 3 類

7は1類より一回り小さく、法量は口径14.2cm、器高5.2cmである。天井部と口縁部の境は甘くなり、口唇部は丸く仕上げている。天井部にはヘラ削りを施している。

B類

190は口径14.0cm、器高4.4cmである。天井部から口縁端部で丸く内傾し、天井部と体部の境は不明瞭である。口唇部は丸く仕上げている。天井部はヘラ切り後、未調整であるが、その周囲はヘラ削りを施している。

C - 1 類

97は口径13.5cmでB類よりひとまわり小さい。天井部と体部の境は一条の凹線で、全体的に丸みを帯びる。口縁部はほぼ斜方向に下方に伸び、端部は丸く仕上げている。

C - 2 類

77は口径12.6cm、現高3.4cmで、器高がC-1類より低い。天井部は扁平な丸みをもち、やや外傾気味に立つ体部に統くが、その境は明瞭ではない。口縁部はほぼ直立的に下方に伸び、端部は丸く仕上げている。天井部はヘラ削りを施さないものがある。

## 坏身

### A-1類

11は受部径16.0cm、口径13.0cm、立ち上がり高1.8cm、器高5.8cmである。立ち上がりが途中から直立気味に伸び、口唇部にわずかな沈線を有し、丸く仕上げている。受部は斜め上方に伸び、体部から底部は丸みを帯びている。底部の中心はヘラ切り離し後、未調整で、その周囲丁寧なヘラ削りを施している。

### A-2類

法量は受け部径16.0~16.8cm、口径12.7~13.8cm、立ち上がり高1.3~1.4cm、器高4.7~4.8cmである。12は立ち上がりが斜め上方に伸び、底部の中心はヘラ切り離し後、未調整で、その周囲はヘラ削りを施している。14は立ち上がりと受け部との境には一条の沈線が巡る。底部は全面ヘラ削りを施している。

### B-1類

受部径14.4~14.6cm、口径12.0~12.2cm、立ち上がり高1.2~1.4cmで、A類よりひとまわり小さい。立ち上がりが斜め上方にやや長く伸びるa類(16・18・79)である。多くは口唇部を丸く仕上げているが、平坦に仕上げているものもある。受部はやや斜め上方に伸び、体部から底部は扁平な丸みを帯びている。

### B-2類

受部径13.4~15.7cm、口径11.6~13.3cm、立ち上がり高0.7~1.1cm、B-1類より器高が一回り小さい。立ち上がりの伸びかたにはa類(109・115)と斜め上方に伸び、途中から垂直に伸びるb類(81・117)がある。口唇部は平坦と鋭く仕上げている。受部はほぼ水平に伸び、沈線に入る。底部はヘラ削りを施している。

### C類

受部径13.5~14.5cm、口径11.7~12.1cm、立ち上がり高0.7~0.9cm、器高3.4cmで、最小の法量である。立ち上がりが短く斜め上方に伸びるa類(161)とb類(146)がある。端部は鋭く仕上げているもの(146)と平坦に仕上げているもの(161)がある。受部は水平に伸び、受部と立ち上がりの間に沈線が入る。体部から底部は扁平な丸みを帯びている。底部はヘラ切り後、未調整で周囲のみヘラ削りを施している。

なお当遺跡から出土した須恵器うち坏蓋・坏身A-1類は小田富士雄氏編著のⅡ期に、坏蓋・坏身A-2・3類はⅢA期に、坏蓋・坏身のB類はⅢB期に、坏蓋C類と坏身C類はⅣA期に、高坏・提瓶・甕などの他の器種はⅢB期に相当する。

註

(1)小田富士雄編「八女古窯跡調査報告」I~IV 1968~1972

小田富士雄「須恵器の編年」『九州考古学研究 古墳時代編』 1979

福尾正彦「宮崎県内の須恵器—地下式横穴・高塚古墳出土例を中心として—」『古文化談叢』

第6集 1979

長津宗重「宮崎平野部須恵器編年図(案)」「市の瀬地下式横穴墓群」 1986

福尾正彦「日向の須恵器」「えとのす」32号 1987

⑥ 古墳時代集落について

古墳時代の堅穴住居8軒の内訳は、方形・長方形プラン8軒(1号~4号・7号・8号・11号・15号住居)である。11号住居の45.0m<sup>2</sup>を最大規模にして、10m<sup>2</sup>代の住居である7号住居(19.4m<sup>2</sup>)、30m<sup>2</sup>代の住居である1号住居(35.3m<sup>2</sup>)と8号住居(35.4m<sup>2</sup>)と15号住居(34.2m<sup>2</sup>)、40m<sup>2</sup>代の住居である2号住居(42.8m<sup>2</sup>)と4号住居(44.9m<sup>2</sup>)と11号住居(45.0m<sup>2</sup>)に分かれ。平均は36.7m<sup>2</sup>であるが、古墳時代初頭の住居である2号住居を除くと35.7m<sup>2</sup>である。主柱穴は2本柱が小型住居である7号住居のみで、4本柱は6軒である。2本柱の住居の面積が小型住居であるのに対して、4本柱は大型・超大型の住居であり、平均39.0m<sup>2</sup>と柱の数と面積が対応している。4本柱の住居面積は弥生時代より少ない。また4本柱のうち南側の2本柱の中間に焼土混じりの土壤を有する。

8軒の堅穴住居は(5)須恵器についての時期区分では宮ノ前Ⅰ期(古墳初頭)は2号住居の1軒、宮ノ前Ⅱ期(須恵器ⅢA期)は1号住居の1軒、宮ノ前Ⅲ期(須恵器ⅢB期)は4号・11号・15号住居の3軒、宮ノ前Ⅳ期(須恵器ⅣA期)は3号・7号・8号住居の3軒である。堅穴住居の分布から集落景観を復元すると次のようになる。

宮ノ前Ⅰ期には標高332.0m~333.5mの調査区の東北部に2号住居のみが営まれている。

宮ノ前Ⅱ期には標高338.0m~338.5mの調査区の東端部に1号住居のみが営まれている。

宮ノ前Ⅲ期には標高329.5m~331.0mの調査区の南西部に11号住居と15号住居が営まれ、標高331.5m~332.5mの調査区の北東部に4号住居が営まれている。11号住居と15号住居の間隔は約2mと近接している。4号住居と11号住居は約20m離れている。

宮ノ前Ⅳ期は標高332.0m~333.0mの調査区の南西部に7号住居と8号住居が営まれている。

7号住居と8号住居の間隔は約8mである。標高334.0~334.5mの調査区の南東部に3号住居が営まれている。7号住居と3号住居は約14m離れている。堅穴住居の間隔は十分にとられている。

宮ノ前Ⅰ期とⅡ期が1軒ずつ隣接としているのに対して、Ⅲ期・Ⅳ期になると3軒に増大する。

今回の調査は道路幅だけであるので集落の一部しか調査できなかったので、集落の全容を把握

することができなかつたが、当地域で不明であった古墳時代集落の一部が解明されたのは大きな成果であった。

今回の調査によって刺片尖頭器が出土し、弥生時代中期～後期の集落と古墳時代後期の集落の様相が明らかにされたのは大きな成果であった。なお高千穂という地域は立地の上からも他地域との比較が必要であるが、今回十分に行うことができなかつたので、機会を改めて行いたい。

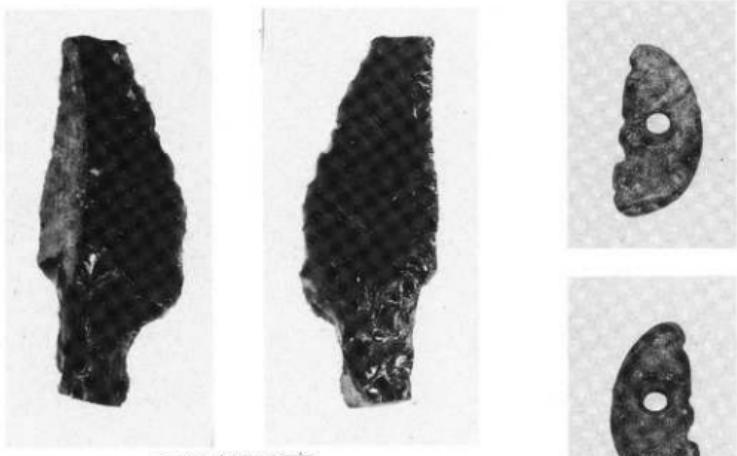
# 図版



B地区全景

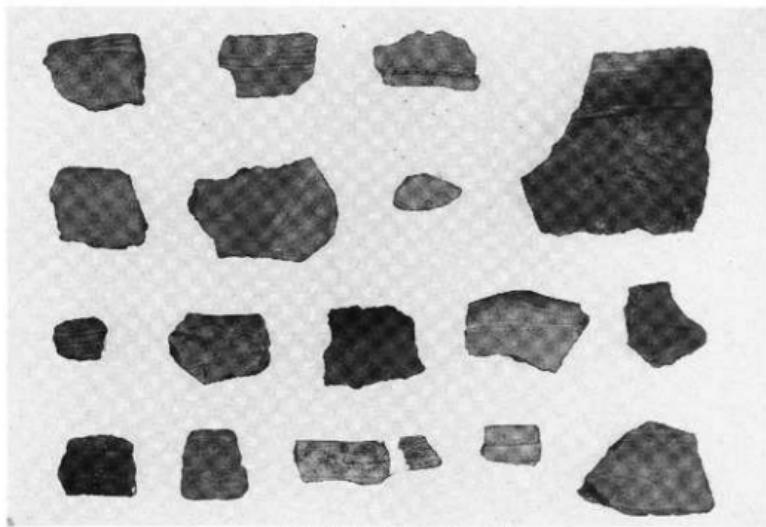


B地区縄文土器出土状況

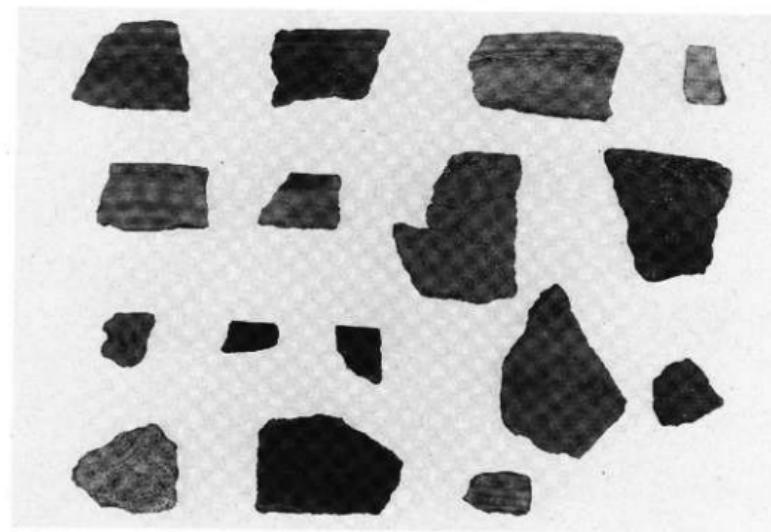


SA10出土剥片尖頭器

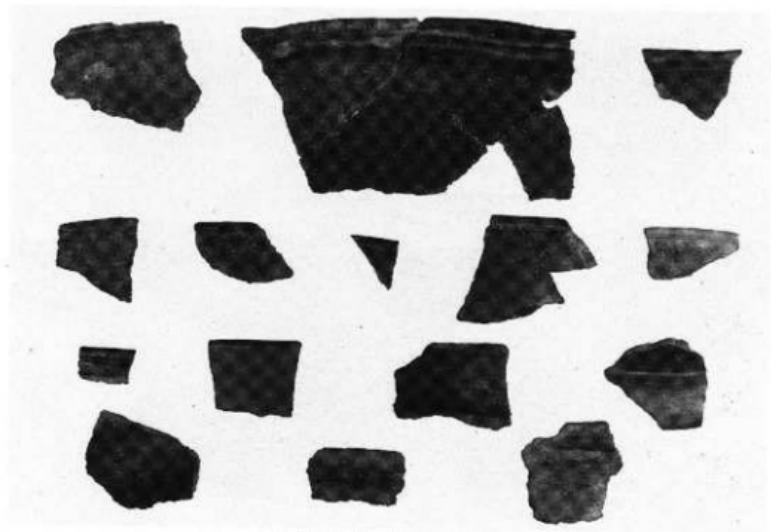
B地区出土勾玉



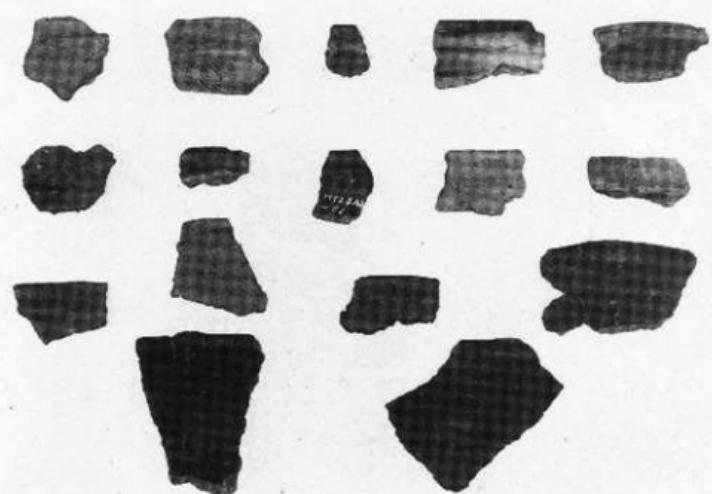
B地区出土陶土器 I · III · IV類



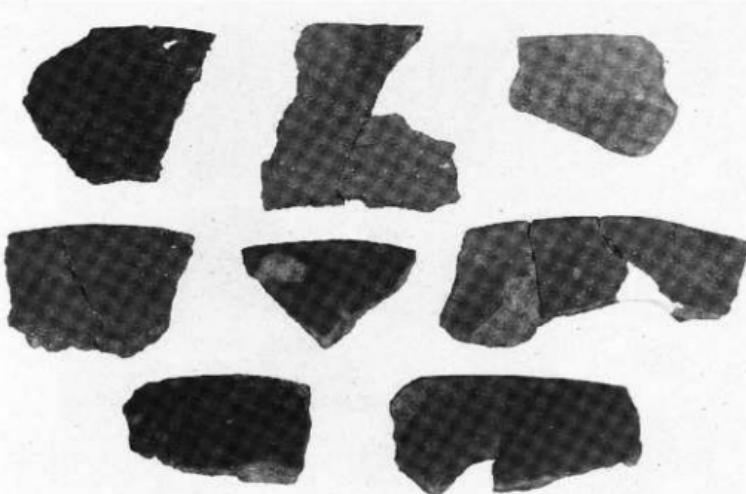
B地区出土縄文土器V類・その他



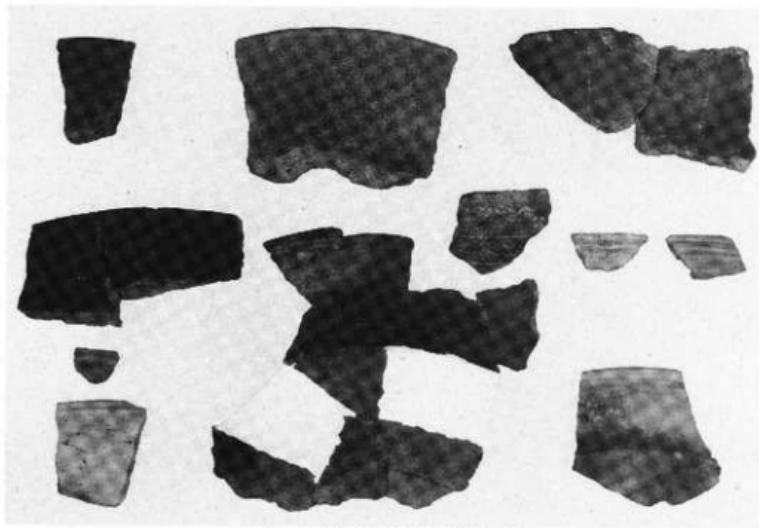
B地区出土縄文土器II・VI類



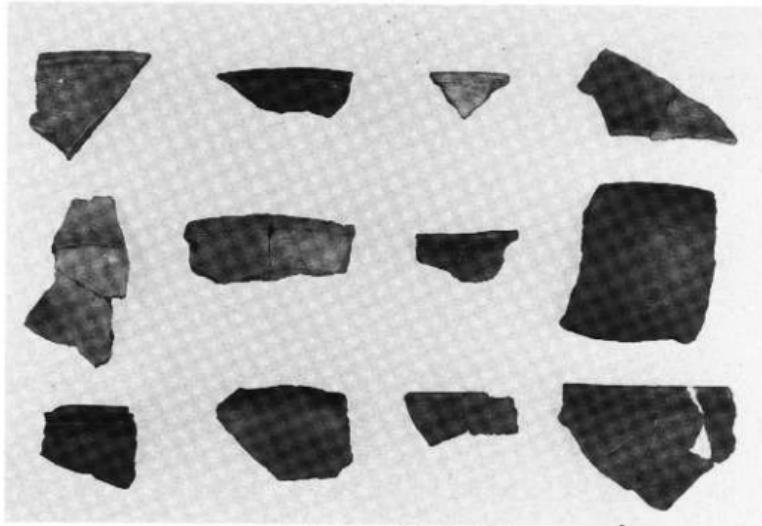
B地区出土绳文土器VI類



B地区出土绳文土器VII類



B地区出土縄文土器Ⅶ類・浅鉢Ⅰ類



B地区出土縄文土器浅鉢Ⅰ・Ⅱ類